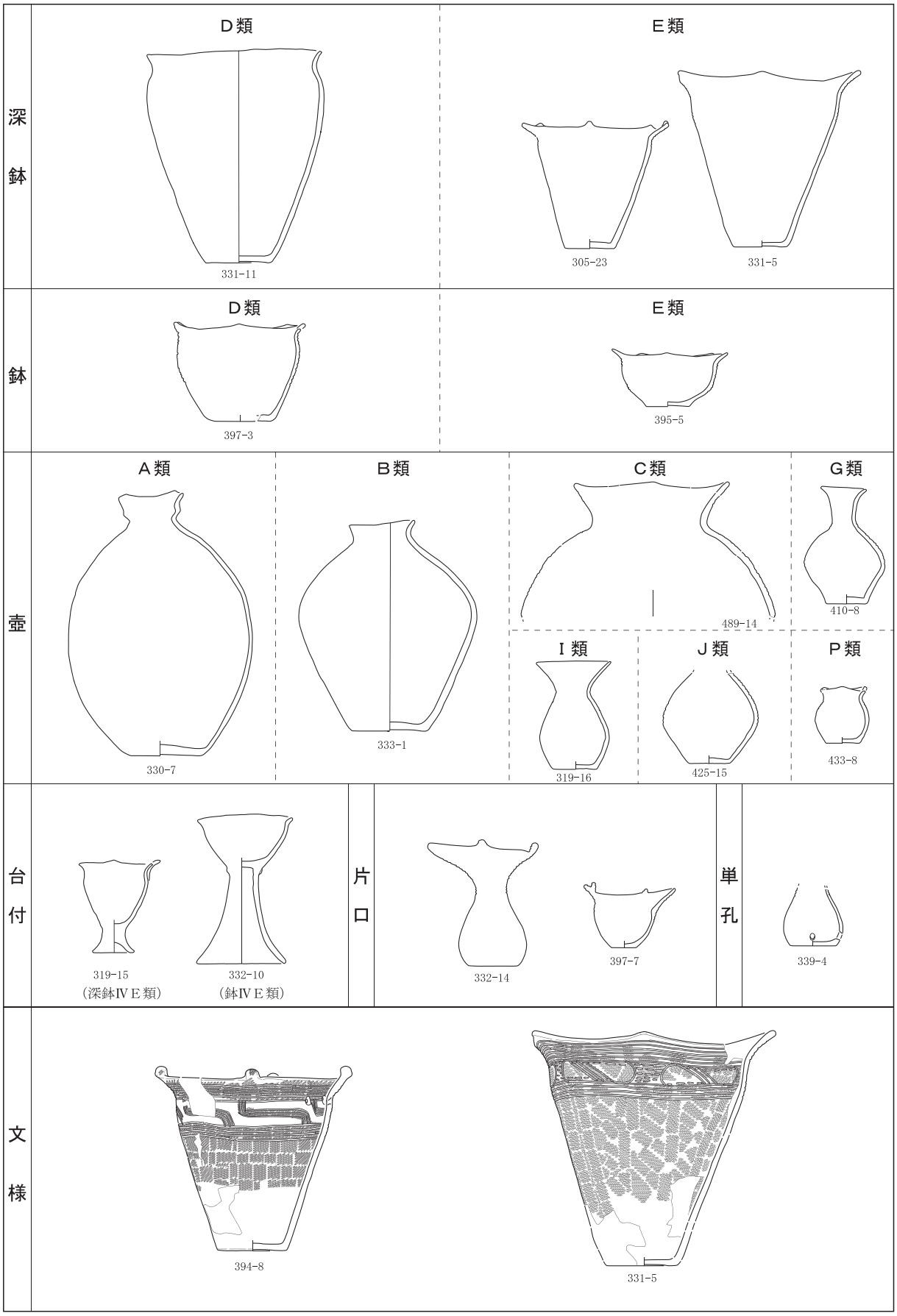



第13図　Ⅳ3群土器分類図

**Ⅳ４群**(第14図)　主にST01捨て場49～61層で出土した土器と、それに類似する土器群。なお、該当層からは状態の良好な台付皿が２点(324-3、324-4)出土しているが、口縁部の突起の様相などから、Ⅳ５～６群に属すると考えられるため、本群には含めていない。

〔器種･器形〕

深鉢：ⅣE～ⅣJ類が存在する。他群と比較して形態が多様である。ⅣG～ⅣI類は本群のみで認められる器形である。精製は各類が存在するが、粗製はⅣG類が主体である。ⅣI類は台付深鉢で主に認められる。

鉢　：ⅣF～ⅣH類が存在する。精製はⅣG･ⅣH類、粗製はⅣF･ⅣG類が主体である。ⅣF類はⅣ5群にも存在するが、出土層位により本群と認められるもののほか、底面に圧痕が残るものを本群に含めた。

壺　：大形はⅣC･ⅣD類、小形はⅣG･ⅣI･ⅣJ類が存在する。本群はⅣ２･Ⅳ３群と比較して大形品の比率が少ない。大形はすべて粗製である。小形はⅣI･ⅣJ類が主体で、ⅣG類が少量含まれる。本群のⅣI類は胴部の最大幅が胴部中位にあり、強く湾曲する傾向がある。

注口：ⅣA類が存在する。306-6や306-7は加曽利B１式に属するものと考えられる。

台付：形態は深鉢ⅣG･ⅣI類、鉢ⅣE･ⅣF･ⅣG類、壺ⅣJ類が存在する。各器種とも台が付かないものに比べ、底径が小さい。台部は直線的に開く例(320-6など)が主流である。

片口：深鉢･鉢･壺ⅣJ類が存在する。深鉢は片口にのみ存在する器形のため、該当する器形分類はない。鉢はⅣE類(512-2)のほかに器形分類に該当しない一群(324-6など)がある。

　壺形はⅣ３群に比較して出土例が少ない。壺形の片口部の形状はⅣ３群と同様である。深鉢形(326-12)は口縁部の平面形が三角形を呈する特殊な器形である。鉢形は、ⅣE類が１点、器形分類に該当しない一群が４点であり、後者が主流である。後者の器形は底部が筒状に深く、胴部は直線的に開き、口縁部は内傾する。片口部は筒形で、口縁部から連続せず、胴部に穿孔し取り付ける。器面は黒色を帯び、丁寧なミガキ調整が施される。本群のみに認められる器形である。

単孔：形態は壺であるが、壺とは形態が異なり、大振りの長胴形である。

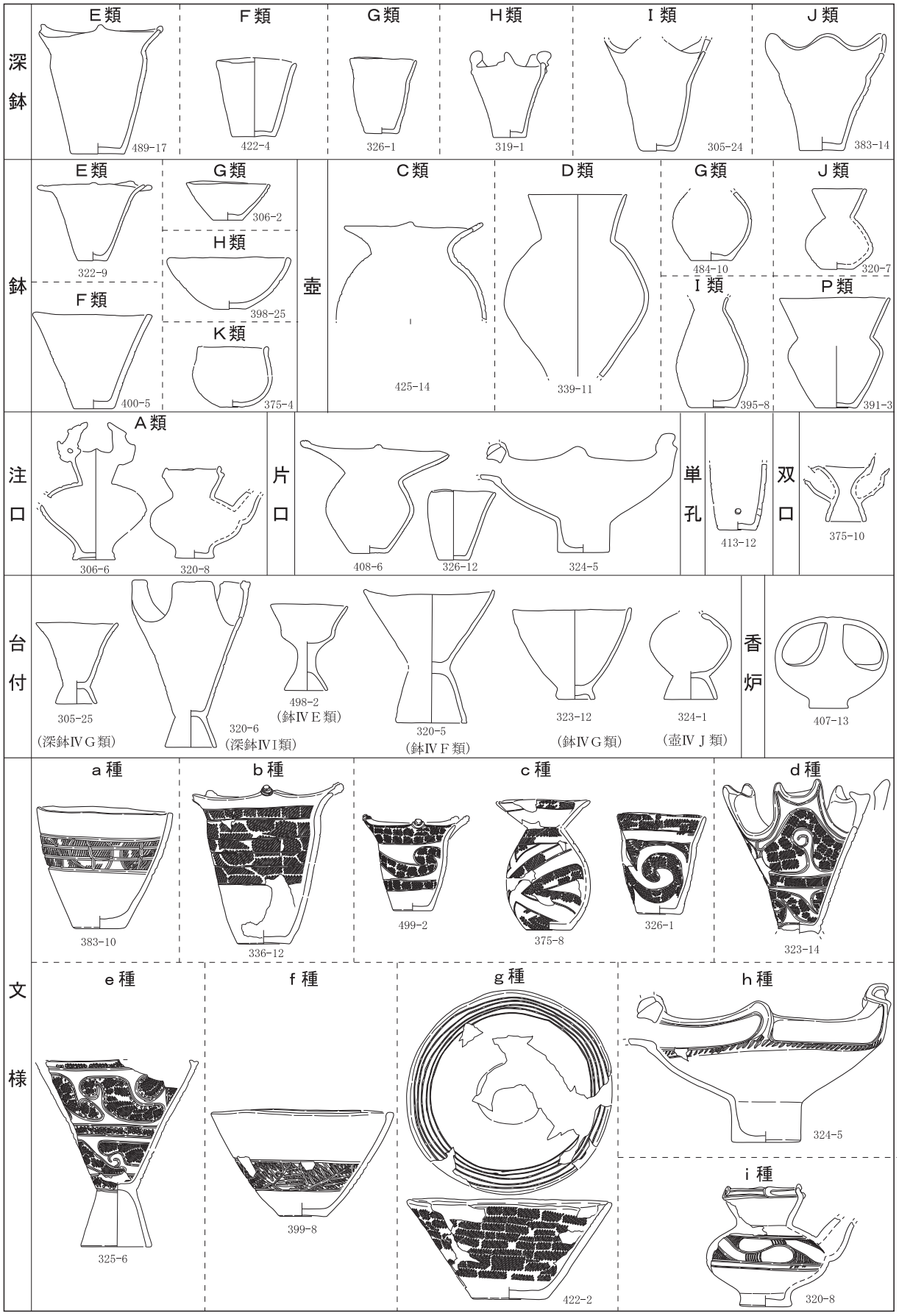
香炉：やや扁平な球形で、胴部上半４か所が大きく開くため、十字の持ち手状を呈する。底部が筒状に深い特徴が本群の注口A類に類似することから、本群に含めた。

双口：ドーナツ状の胴部に２か所の口が付く。底部には台が付く。施文技法が324-2に類似することから、本群に含めた。

小型：深鉢、壺、台付鉢がある。

〔文様〕本群では口縁部に装飾性の強い突起をもつ例が特徴的に認められる。また、ほかの群と比較して器面が黒みを帯び、丁寧に磨かれるものが目立つ。精製･粗製ともに口唇部には縄文を施文する例が多い。底面には製作時の圧痕を残すものも少量認められる。粗製土器では口縁部が無文で、胴部のみに縄文が施される例が一定量認められる。文様はａ～ｉ種に細分した。

ａ種：多重平行沈線文を施すもの。沈線間には縦位の蛇行文やノの字文を施す。口縁部と胴部上半の２か所、もしくは胴部上半のみに施文される。鉢では胴部下半に施文される例(400-5)も認められる。文様内には縄文を施す。深鉢や鉢に施文されるが、特に深鉢ⅣH･ⅣJ類に多い。




第14図　Ⅳ4群土器分類図

ｂ種：平行沈線文を施すもの。縦位の沈線は施文されない。頸部に数条施文される例(407-5など)と、胴部に主文様として施文される例(336-12など)がある。深鉢ⅣE･ⅣG類、鉢ⅣG･ⅣH類、壺ⅣI類などに認められる。

ｃ種：幅広い沈線間に充填縄文を施し、帯状の入組文や渦文、菱形文などを表出するもの。胴部上位～中下位まで施文されるものが多いが、口縁部にも施文する例(305-24)もある。各器種に認められ、本群の中では最も類例が多い。

ｄ種：幅広い沈線間に充填縄文を施し、肥大した曲線文を表出するもののうち、刺突列を伴わないもの。口縁部～胴部全面に施文される。主に台付深鉢に認められる。

ｅ種：幅広い沈線間に充填縄文を施し、肥大した曲線文を表出するもののうち、内側に刺突列を沿わせるもの。口縁部～胴部全面に施文される。主に台付深鉢に認められる。

ｆ種：幅広い平行沈線間に斜行する沈線を交互に充填するもの。主に鉢ⅣG類に施文される。

ｇ種：内面上位に数条の平行沈線を施文するもの。鉢ⅣF類に見られる。加曽利Ｂ１式の系統と考えられる。

ｈ種：隆線文の両脇に沈線を施すもの。片口鉢や注口など特殊な器種の口縁部に施文される。器面は丁寧に磨かれる。

ｉ種：丁寧に磨かれた無文地に沈線で施文されるもの。注口の胴部上半に施文される。２条１対の沈線で施文され、文様の接点には円形の刺突が施されるもの(306-6など)と、単独の沈線を組み合わせたもの(320-8)がある。前者は加曽利Ｂ１式の系統と考えられる。

〔特徴〕器種組成が多様であるほか、深鉢や鉢の形態や文様も多様性に富む。口唇部はやや厚みがあり、角状のものが主流である。また、口縁部に装飾性の強い突起をもつ例が一定量存在する。底部はⅣ２～３群に比較して径が小さく、注口では筒状に深い。深鉢･壺とも胴部の最大幅部分の湾曲は強く、頸部が屈曲する例が多い。深鉢や鉢の胴部、壺の口縁部などは直線的に開く傾向がある。片口はⅣ３群に比べて器種や片口部の形状が多様化する。いずれの器種も器面が黒みを帯び、丁寧にミガキ調整を施す例が特徴的に認められる。また、注口や鉢などでは加曽利Ｂ１式に属すると捉えられる例が確認できる。

**Ⅳ５群**(第15図)　主にST01捨て場39･41層、ST101捨て場47･65･73･89･112層で出土した土器と、それに類似する土器群。

〔器種･器形〕

深鉢：ⅣJ～ⅣM類が存在する。精製はⅣJ･ⅣM類が主体で、ⅣK･ⅣL類が一定量含まれる。粗製はⅣL類が主体である。ⅣM類はⅣ６群にも認められるが、本群におけるⅣM類は波状口縁の波頂部が丸みを帯びるもの(388-11など)が多い。ⅣK･ⅣL類は本群のみに認められる形態である。

鉢　：ⅣF～ⅣM類が存在する。精製はⅣM類が主体でⅣG～ⅣL類が一定量認められる。粗製はⅣH･ⅣL類が主体である。本群における精製の鉢は器壁が全体的に丸みを帯びる傾向がある。

皿　：底部から胴部にかけて直線的もしくはやや内湾して開く。底径は口径の１/３以下と小さく、底部から胴部の立ち上がりはやや反るか低い高台が付く。口径が10cm前後の小形に限られる。

壺　：大形はⅣF類、小形はⅣJ～ⅣN類が存在する。Ⅳ２～３群と比較して大形は少ない。小形はⅣK類が主体であり、ⅣJ、ⅣL～ⅣN類は少量含まれる。鉢と同様に全体的に器壁が丸みを帯び、底部は小さいか胴部と一体となって丸みを帯びる傾向がある。

注口：ⅣB～ⅣE･ⅣK類が存在する。ⅣC･ⅣD類が主体であり、ⅣB･ⅣE･ⅣF･ⅣK類が少量含まれる。鉢や壺と同様に全体的に器壁が丸みを帯び、底部が小さいか胴部と一体となって丸みを帯びる傾向がある。ⅣK類は鉢形と台付鉢形がある。ⅣB～ⅣE類は本群のみに見られる器形である。

台付：形態は鉢ⅣH･ⅣJ類、皿が存在する。鉢ⅣH類の台部は胴部の1/2～2/3程度の高さのものが一般的だが、ⅣJ類(386-3)は極めて小さい。台付皿の内面には縄文が施され、摩滅や敲打痕が顕著に認められる。

異形台付：口縁部のほかに両側面が開口する。３点出土している。

単孔：いずれも内湾する独立した頸部を持つ。胴部は細身で壺とは明らかに形態が異なる。口縁形態は平縁と波状が認められる。単孔付近にアスファルト状の付着物が認められるものが２点(393-4、399-16)ある。

香炉：胴部は扁平で、上面から見ると方形を呈する。方形の各頂点が接着し、ほかは開口する。口縁部は垂直に立ち上がる。底部には台が付く。

小型：形態は鉢、壺が存在する。

〔文様〕各器種とも口縁部から胴部下半にかけて文様が施文される。ただし、深鉢K類のみは胴部は無文である。本群は刻み列を多用することが特徴である。また壺形の注口の多くには、胴部に４単位の貼瘤が付く。壺や単孔の一部にも同様の貼瘤が見受けられる。縄文は多条縄文、羽状縄文が特徴的に用いられる。縄文が深く施文されることも本群の特徴である。文様はａ～ｆ種に分類した。

ａ種：多重平行沈線文を施すもの。沈線間には縦位の蛇行文やノの字文を施す。刻み列が併用される。深鉢、鉢などに認められる。Ⅳ４群の文様ａ種と同種である。

ｂ種：幅広い沈線間に充填縄文を施し、肥大した入組文やクランク文などを表出するもの。各器種に認められ、本群の中では最も類例が多い。

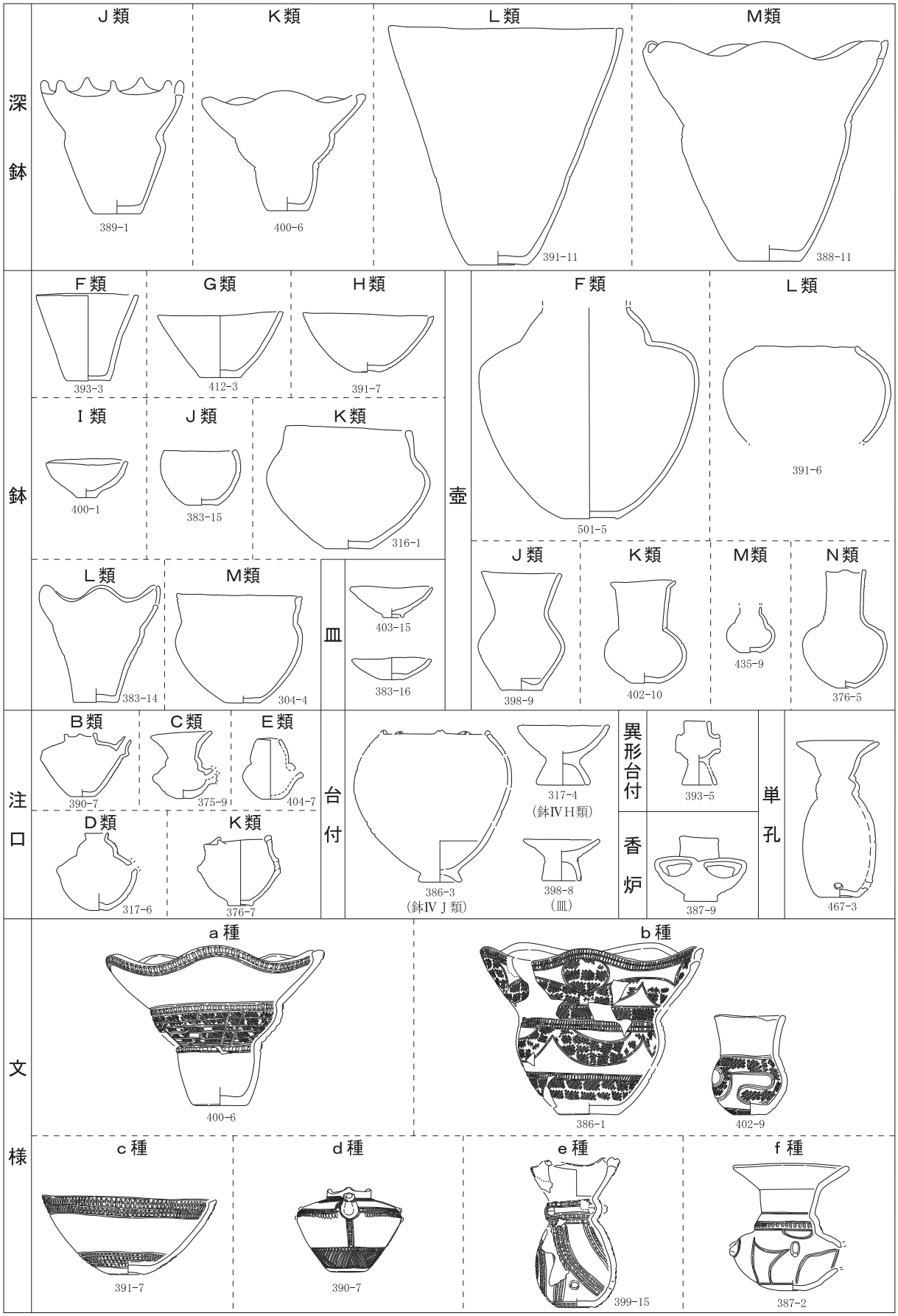
ｃ種：２～５条の平行沈線文内に刻み列を充填する文様を主文様とするもの。鉢や台付鉢などに認められる。

ｄ種：斜行する沈線を交互に施文するもの。Ⅳ４類の文様ｆ種と同種である。

ｅ種：微隆起線文を施すもの。１例のみ認められる。

ｆ種：浮彫状の文様を施すもの。器面は丁寧に磨かれる。注口ⅣD類に認められる。

〔特徴〕他群と比較していずれの器種も器壁が厚く、重量感がある。口唇部は厚く、口縁内側の肥厚が顕著な例(400-6など)が認められる。口唇部は角状が主流である。深鉢の底面形態は平坦なものが多いが、鉢や壺、壺形の注口では底部が小さい傾向があり、上げ底状に反るもの(467-11)や小さな窪みで作出されるもの(402-3など)、丸みを帯びて底面が明瞭でないもの(386-4)も特徴的に認められる。鉢･壺･注口では器壁が球胴状に丸みを帯びる傾向がある。また壺や注口では、内湾する独立した頸部を持つ例が特徴的に見受けられる。器種組成には本群のみに認められる異形台付土器のほか、台付皿や香炉も含まれる。




第15図　Ⅳ5群土器分類図

**Ⅳ６群**(第16図)　ST01捨て場21～40層から主に出土する土器と、それに類似する土器群。

〔器種･器形〕

深鉢：ⅣM･ⅣO類が存在する。精製はⅣM類、粗製はⅣO類である。本群におけるⅣM類は波頂部が尖る傾向がある。ⅣO類はⅣ７･Ⅳ８群にも認められるが、本群のⅣO類は、底部の立ち上がり部分が丸みを帯びる特徴が認められる。ただし、Ⅳ７群の傾向が不明のため、ST01捨て場21～32･40層以外の出土例はⅣ６･７群とした。

鉢　：ⅣH･ⅣM･ⅣO類が存在する。またⅣJ類も本群に含まれる可能性がある。精製はⅣM類が主体で、ⅣH･ⅣO類が若干認められる。粗製はⅣO類が主体である。粗製のⅣO類はⅣ７･Ⅳ８群にも認められる可能性があるため、ST01捨て場21～32･40層出土例のみ本群に該当させた。

壺　：ⅣE･ⅣH･ⅣK～ⅣN･ⅣP類が存在する。大形は精製の壺E類が若干量認められるほか、ⅣD類が本群に含まれる可能性がある。小形はⅣH･ⅣK～ⅣN類がそれぞれ一定量出土している。

注口：ⅣF～ⅣH･ⅣK類が存在する。ⅣF類が主体であり、ⅣG･ⅣH･ⅣK類が少量含まれる。各類とも胴部に４単位の貼瘤が付き、口縁部には４～６単位の突起が付く例が多い。ⅣH類はⅣF･G類に比較して大形の傾向がある。

単孔：胴部は細身で壺とは明らかに形態が異なる。口縁部は残存していない。

台付：形態は深鉢ⅣM類、鉢ⅣG･ⅣH･ⅣM･ⅣO類、皿である。台部はやや内湾して開くものが主流である。台部が極めて低い例(467-10)も認められる。台付皿はⅣ５群と同様に内面に縄文が施され、摩滅や敲打痕が顕著に認められる。

香炉：いずれも台が付く。胴上半が欠損するものが多い。

多孔底：底面に多数の孔が設けられる。Ⅳ７群と同形態のため分別は不可能である。出土層位で特定できるもののみ本群に含めた。

蓋　：蓋と推定される土器が２点出土している。

小型：鉢、壺、注口、香炉、多孔底がある。

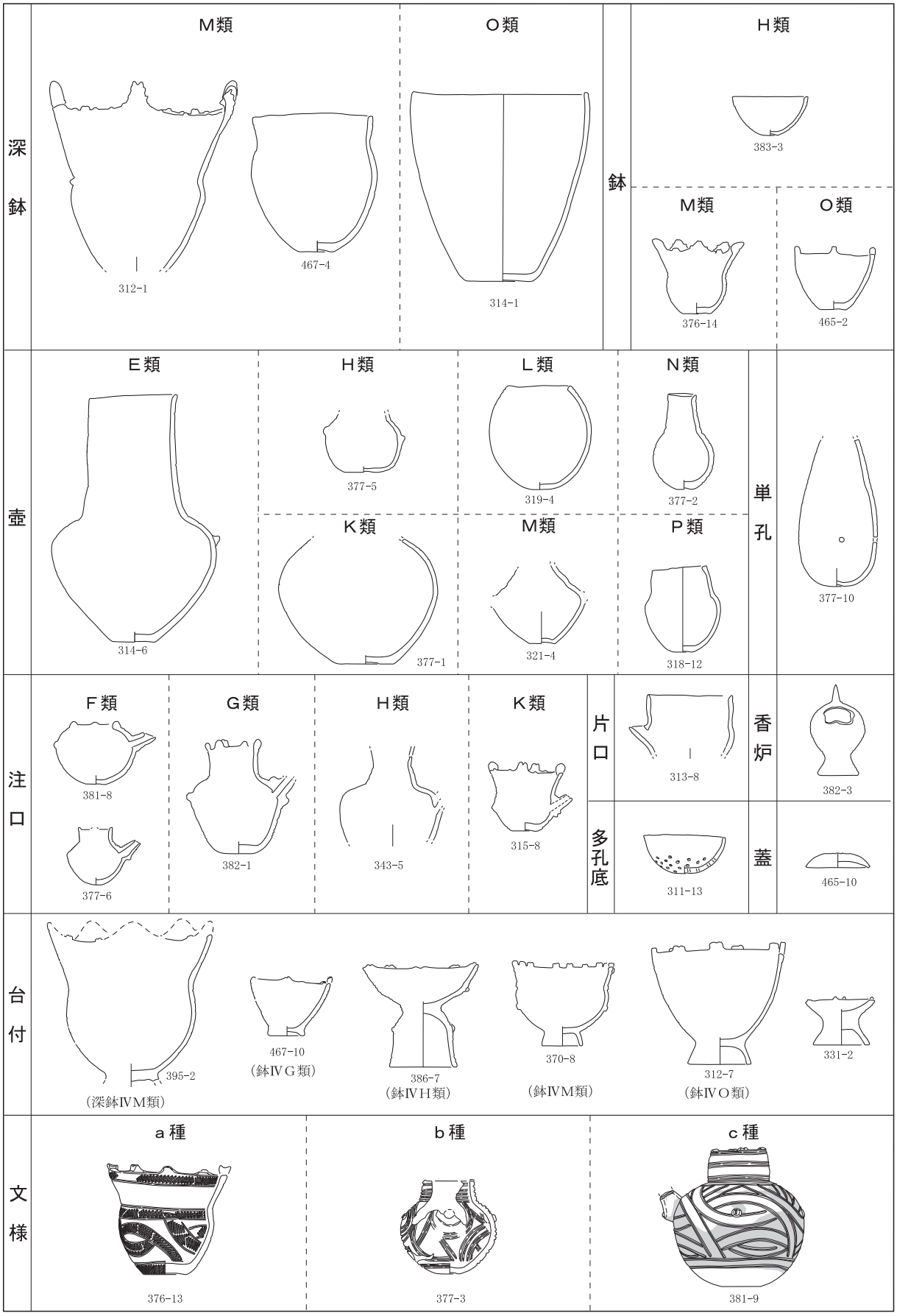
〔文様〕各器種とも口縁部から胴部下半にかけて文様が施文される。注口のほかに、深鉢や鉢の一部にも貼瘤が付く。粗製深鉢や鉢では、縄文のほかに無文や条痕も多く見受けられる。縄文では細身の縄による羽状縄文(382-5など)が若干認められる。無文ではケズリ調整が施されるものが多い。文様はａ～ｃ種に分類した。

ａ種：幅広い沈線間に充填縄文を施し、帯状の文様を表出するもの。特に襷掛文が多用される。各器種に認められ、本群の中では最も類例が多い。

ｂ種：無文地に沈線で文様を施すもの。香炉の文様はすべて本種である。

ｃ種：微隆起線文を施すもの。微隆起線の両脇には沈線を伴う。注口のみに認められる。

〔特徴〕口縁部内側の肥厚は深鉢ⅣM類や鉢ⅣM類の一部で認められるのみである。口唇部はやや厚く内削状もしくは角状が主流である。いずれの器種も底部径は比較的小さく、深鉢や鉢では平坦もしくはやや上げ底状に反る。壺や注口では小さな窪みで作出するもの(343-1)、丸みを帯び底面が明瞭でないもの(370-10)が主流である。器種組成には多孔底と蓋が含まれる。壺が比較的少なく、注口が目立つ。小型土器には香炉や多孔底があり、器種組成を反映した構成となっている。




第16図　Ⅳ6群土器分類図

**Ⅳ７群**(第17図)　６～19層から主に出土する土器のうちⅣ８群に含まれないものと、それに類似する土器群。本群が依拠する層位はⅣ７・８群が出土するため、該当層位から出土した粗製土器などはⅣ７・８群としている。

〔器種･器形〕

深鉢：ⅣN･ⅣO類が存在する。精製はⅣN類、粗製はⅣO類である。ⅣO類は底部の立ち上がりの形態で、Ⅳ６群に類似するものか、Ⅳ８群に類似するものかを区別し、前者はⅣ６・７群、後者はⅣ７・８群としている。

鉢　：ⅣM･ⅣO類が存在する。ⅣN類も本群に含まれる可能性がある。資料数が少なく、器形の特徴を抽出することができないため、文様がないものはⅣ６・８群との区別はできない。

壺　：本群に明確に伴う壺は抽出できなかった。

注口：ⅣH～ⅣK類が存在する。有文のものはⅣH類が主流であり、ⅣI･ⅣJ類が一定量認められる。文様を持たないものはⅣI･ⅣJ類があり、いずれも外面に丁寧なミガキが施される。文様を持たないものはⅣ８群との区別が困難であるが、底部が小さい高台状のものはⅣ８群と考えられる。

香炉：いずれも台が付く。形状は多様である。

多孔底：底部に多数の孔が設けられる。Ⅳ６群と同形態のため分別は不可能である。出土層位で特定できるもののみ本群に含めた。

小型：壺･注口、脚付皿がある。小型の多孔底はⅣ６群と区別が付かないが、本群に属する可能性もある。

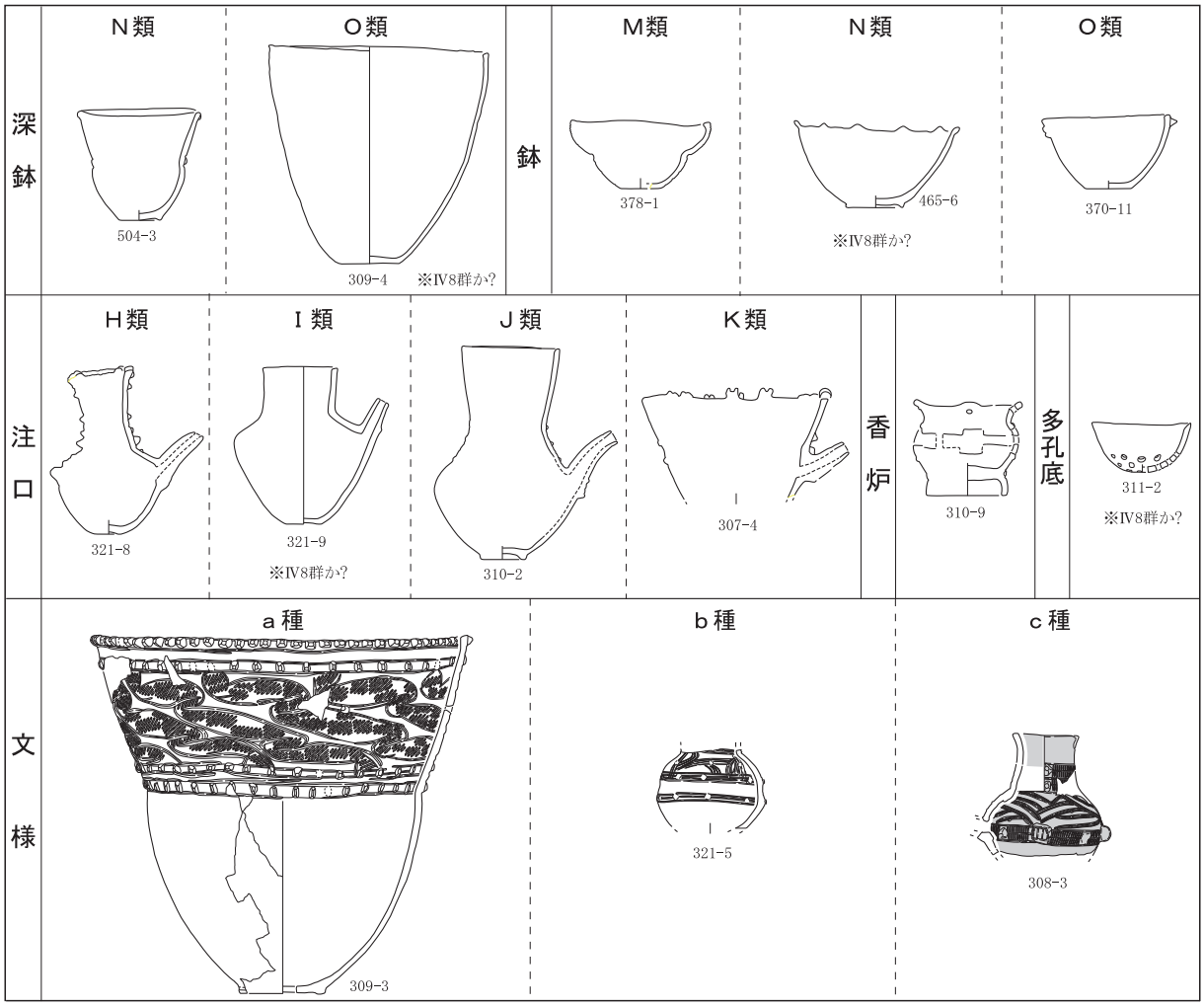
〔文様〕本群は貼瘤を多用することを特徴とする。文様は深鉢では口縁部のみに、壺や注口では口縁部から胴部上半に施文される。粗製土器は時期比定が難しく、特徴を抽出することが困難であるが、概ねⅣ６群と同様と推定される。壺や注口は無文が多く、ミガキ調整が施される。文様はａ～ｃ種に分類した。

ａ種：やや狭い沈線間に充填縄文を施し、帯状の文様を表出するもの。特に入組帯状文が多用される。

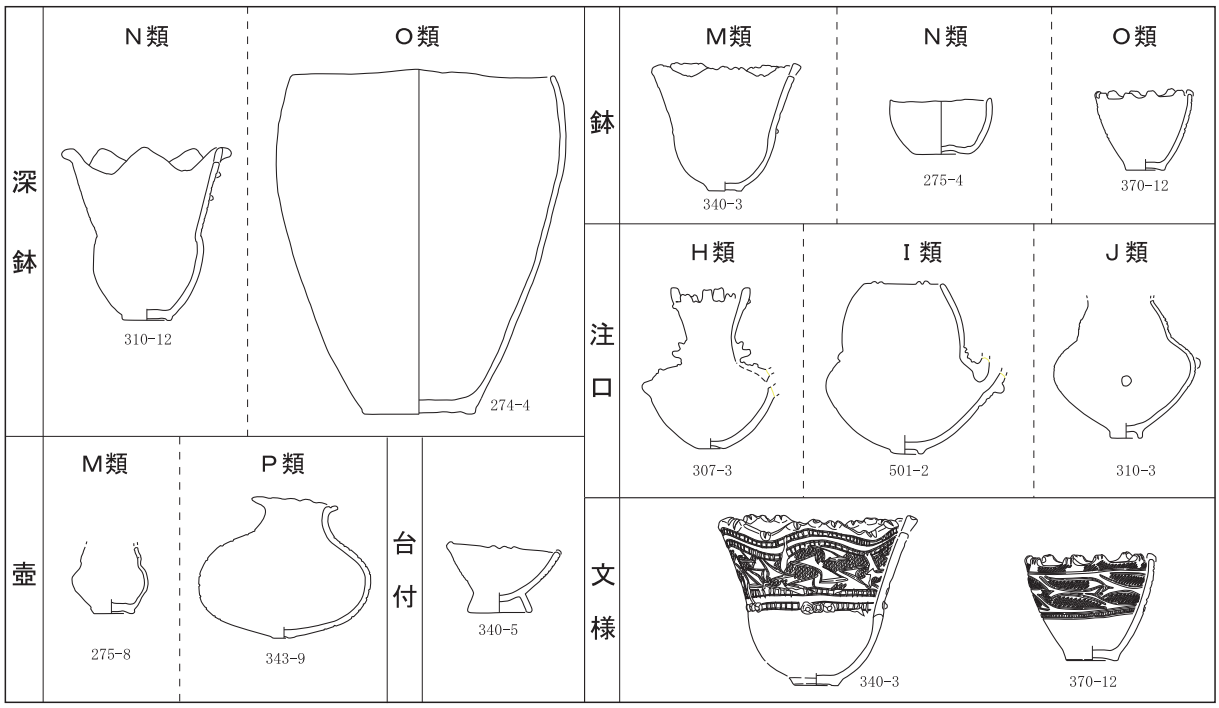
ｂ種：無文地に沈線で文様を施すもの。

ｃ種：微隆起線文を施すもの。微隆起線の両脇には沈線を伴う。微隆起線上に刺突列を施すものもある。

〔特徴〕他群に比較して器壁が薄い。器高が30㎝前後の大形の深鉢においても器壁は薄く、軽い。口唇部の形態は、内削状もしくは角状が主流である。底面は平坦もしくは上げ底状に反るもののほかに、低い高台状を呈するもの(309-3など)や小さな窪みで作出するもの(321-8など)がある。器種組成では、Ⅳ６群と同様に壺が極めて少なく、注口が多い。本群では貼瘤を多用する一方、注口などではミガキ調整の無文も目立つ。




第17図　Ⅳ7群土器分類図




第18図　Ⅳ8群土器分類図

**Ⅳ８群**(第18図)　SX07出土土器とそれに類似する土器群。

〔器種･器形〕

深鉢：ⅣN･ⅣO類が存在する。ⅣN類は精製、ⅣO類は精製と粗製がある。ⅣO類はⅣ６･７群にも認められるが、本群のⅣO類は、底部が低い高台状を呈することが特徴である。ただし、Ⅳ７群の傾向が不明のため、SX07以外の出土例はⅣ７･８群とした。

鉢　：ⅣM～ⅣO類が存在する。資料数が少なく、器形の特徴を抽出することができない。底部には高台を伴う例が多い。

壺　：ⅣM･ⅣO･ⅣP類が存在する。資料数が少なく、器形の特徴を抽出することができないため、文様がないものはⅣ７群との区別はできない。

注口：ⅣH～ⅣJ類が存在する。ⅣI･ⅣJ類が主体であり、ⅣH類は１点が認められるのみである。外面に丁寧なミガキが施されるものが多く、文様が施文されるものは極めて少ない。底部が小さい高台状のものは本群と考えられるが、底部が欠損する場合はⅣ７群と区別できない。

台付：形態は鉢ⅣO類である。１点のみ出土した。

〔文様〕資料数が少ないため細分はしていない。

深鉢の文様は口縁部のみに施され、胴部は無文である。壺や注口は頸部のみに施文されるもの(501-4)と、頸部から胴部に施文されるもの(308-7など)がある。

刻みが多用され、貼瘤が要所に用いられる。ボタン状(501-4)や隆線状(310-3)の貼瘤も認められる。細い入組帯状文や弧線文が施文され、初現の三叉文が認められるもの(370-12など)もある。深鉢ⅣO類の精製土器には刻みや貼瘤を持たない例(271-3など)も認められる。粗製土器は時期比定が難しく、特徴を抽出することが困難であるが、概ねⅣ６群と同様と推定される。注口や壺は無文が多く、ミガキ調整が施される。

〔特徴〕Ⅳ７群と同様に、他群に比較して器壁が薄い。器高が30cm前後の大形の深鉢においても器壁は薄く、軽い。口唇部の形態は、内削状もしくは角状が主流である。底部形態は、深鉢や鉢では低い高台状を呈するものが一般的であり、注口では径の小さい高台状を呈する。鉢･台付鉢･壺･注口は出土例が少ないため、Ⅳ７群との明確な特徴差は抽出できなかった。文様は刻み列が多用され、多様な貼瘤が要所に付される。Ⅳ７群と同様に、壺や注口では文様が施文されず、ミガキ調整の無文が主流である。

**Ⅴ群　弥生時代に属する土器**

ST202捨て場から器形が明らかな深鉢が２点と、遺構内から土器片１点が出土した。そのほか、各捨て場及び遺構外から土器破片が20点程度出土している。胴部は内湾して立ち上がり、頸部で括れ口縁部は開く。口縁形態は低い波状である。文様帯は胴部上位で、いずれも変形工字文が施される。口唇部には刻みか縄文が施文される。口縁部内側には沈線が巡る例(468-14)がある。縄文の施文方向は斜位である。

## ２　石器･石製品

### （１）整理･掲載基準概要

《整理･掲載方法》遺構内出土石器は出土層位や帰属時期に関わらず可能な限り掲載することとした。縮尺は器種に応じて異なるため、各図ごとに縮尺を記載した。捨て場･遺構外出土石器の整理･掲載方法は「第４章第３節５捨て場」に詳細を記載しているため、そちらを参照いただきたい。掲載した石器の法量などは遺構内出土石器は第15表に、捨て場･遺構外出土石器は第20表に記載した。未掲載の石器についても捨て場と遺構外から出土した石器はすべて番号を振り、分類を行った。それらの詳細は第76～81表にすべて記載している。また、各器種における分類ごとの出土点数は第68表に記載した。

《石器計測表について》

第15･20表に掲載した法量値は、図面上で計測した値である。遺物を正位置の状態で、上端と下端の平行線間の距離を「長さ」とし、それに直交する軸における遺物の最大幅を「幅」とした。

### （２）分類

個体の持つ形態や技法上の特徴から、大分類（アルファベット大文字）と小分類（アルファベット小文字）を行ったが、形態･技法上で特に大きな分類項目を必要とする場合やこれら以外の分類要素がある場合は、ローマ数字を用いた。石鏃から礫器を石器、線刻礫以降を石製品と捉え、石製品は第４分冊に集成図を掲載した。分類ごとの実例は図版192～219に掲載した。なお、折損しているものは器種不明としたが、その中には石匙などの製品が多数含まれているものと考えられる。

**石鏃**(図版192～195)

多くは、扁平な三角形状か木葉状を呈する石器で、全面に調整を施したものがほとんどである。石槍と区別するのに、７㎝未満のものを対象にした。

A類　器体が三角形状で、茎部が作出されないもの(無茎)。

a類：基部が凹状のもの(凹基)。

b類：基部がほぼ水平のもの(平基)。

c類：基部が凸状のもの(凸基)。

B類　器体が三角形状で、茎部が作出されるもの(有茎)。器体の側縁は直線的なものが主流であるが、やや括れるもの(452-9など)も認められる。

a類：器体が左右対称で、基部が凹状のもの(凹基)。

b類：器体が左右対称で、基部がほぼ水平のもの(平基)。

c類：器体が左右対称で、基部が凸状のもの(凸基)。

d類：左右非対称のもの。

C類　器体が木葉形状のもの。茎部は作出される。

a類：器体が左右が対称のもの。

b類：器体が非対象のもの。

D類　茎部の基端が幅広なもの。基端の形状は凸状のもの(凸基)と二股のものがある。

**石槍**(図版197)

扁平で両端もしくは一端が尖り、最大幅部断面が菱形状を呈する石器である。石鏃と区別するのに、７㎝以上のものを対象にした。

A類　刃部と基部の境が不明瞭なもののうち、木葉状を呈し、長軸中央に最大幅があるもの。

ａ類：刃部先端が尖るもの。基部末端は弧状である。

ｂ類：刃部先端が弧状のもの。基部末端には一次面を残す。

B類　刃部と基部の境が明瞭なもの。刃部は三角形状を呈し、基部は長方形である。

C類　刃部と基部の境が不明瞭なもののうち、滴状を呈し、長軸下方に最大幅があるもの。

**石錐**(図版195･196)

断面が菱形や三角形状の尖頭部を持つ石器である。

A類　基部と錐部の境が明瞭なもののうち、丁寧な調整により基部が作出されるもの。基部の長軸より錐部が長く、錐部は先細りの棒状である。

ａ類：基部が左右対称で、基部上端が平坦なもの。

ｂ類：基部が左右対称で、基部上端が凹状のもの。

ｃ類：基部が左右対称で、基部上端が凸状のもの。

ｄ類：基部が非左右対称のもの。

B類　基部と錐部の境が不明瞭なもの。

ａ類：基部の全面に調整を施す。　ｂ類：基部の一部に調整を施す。

ｃ類：基部に調整を施さない。

C類　基部と錘部の境が明瞭なもののうち、基部の調整が粗雑もしくは調整を加えないもの。

D類　両端が細く尖るもの。中央部は大きく膨らむ。

**棒状尖頭器**(図版198)

尖った先端を持つ細長い棒状の石器である。

A類　両端が尖頭状を呈するもの。

ａ類：中央部の断面形が菱形状を呈する。

ｂ類：中央部の断面形が凸レンズ状を呈する。

ｃ類：中央部の断面形が三角形状もしくは台形状を呈する。

ｄ類：中央部の断面形が平坦な六角形状を呈する。

B類　一端が尖頭状を呈するもの。

ａ類：中央部の断面形が菱形状を呈する。

ｂ類：中央部の断面形が凸レンズ状を呈する。

ｃ類：中央部の断面形が三角形状もしくは台形状を呈する。

**有撮石器**(図版202)

全面に調整を施した扁平な細身の形態で、一端につまみが付き対極が尖っている石器である。

**石匙**(図版199～201)

つまみ部を持つ石器である。

A類　つまみ部を縦にした場合、器体の長軸が縦位方向のもの。

a類：先端が円刃状を呈する。　b類：先端が尖る。

c類：先端が直刃状を呈する。　d類：先端が抉入状を呈する。

B類　つまみ部を縦にした場合、器体の長軸が横位方向のもの。

a類：左右の先端が円刃状を呈する。

b類：左右の先端は一方が円刃状で他方が尖る。

c類：左右の先端が尖る。

d類：左右の先端は一方が円刃状で他方が直刃状を呈する。

e類：左右の先端が直刃状を呈する。

C類　つまみ部を縦にした場合、器体の長軸が斜位方向のもの。

a類：先端が円刃状を呈する。　b類：先端が尖る。

c類：先端が直刃状を呈する。　d類：先端が抉入状を呈する。

D類　つまみ部を縦にした場合、器体の長軸方向が定まらないもの。

a類：先端が円刃状を呈する。　b類：先端が尖る。

c類：先端が直刃状を呈する。

E類　つまみ部を作り出すが、器体の側縁に明瞭な調整がないもの。

a類：器体の長軸が縦位方向のもの。　b類：器体の長軸が横位方向のもの。

c類：器体の長軸が斜位方向のもの。　d類：器体の長軸が定まらないもの。

F類　上記分類に当てはまらないものを一括した。

**トランシェ様石器**(図版197･202)

刃部に礫皮面もしくは一次剥離面を残す撥形状の石器である。剥片を素材にしている。

A類　刃部と基部に一次面が残存する。

B類　刃部だけに一次面が残存する。

**石篦**(図版197･202･203)

撥形あるいは長方形状のいわゆるヘラ状を呈した石器である。剥片を素材にしている。

A類　刃部が円刃状を呈するもの。

a類：最大幅は刃部で、基部にかけてほぼ同様な幅で推移し、基部は円刃状に調整を施す。

b類：最大幅は刃部で、基部にかけて徐々に窄まり、基部は小さな円刃状を呈する。

c類：最大幅は刃部で、基部にかけて窄まり、基部は尖頭状を呈する。

d類：最大幅は刃部で、基部にかけて窄まり、基部は粗い作り。

e類：最大幅は長軸中央部で、基部も円刃状を呈する。

f類：上記の分類に当てはまらないもの。

B類　刃部が直刃状を呈するもの。

ａ類：最大幅は刃部で、基部にかけてほぼ同様な幅で推移し、基部も直刃状を呈する。

ｂ類：最大幅は刃部で、基部にかけて窄まり、基部は尖頭状を呈する。

ｃ類：最大幅が刃部で、基部にかけて窄まり、基部は粗い作りである。

ｄ類：最大幅は長軸中央部で、基部は粗い作りである。

**スクレイパー**(図版204～206)

剥片の側縁に二次調整による刃部を持つ石器である。Ⅰ類は、剥片の打点と対極の縁辺を調整し、刃部として利用したもの。Ⅱ類はその特徴をもたないものである。

ⅠＡ類　素材が縦長剥片のもの。

ａ類：円刃状の刃部を作出する。　ｂ類：尖頭状の刃部を作出する。

ⅠＢ類　素材が横長剥片のもの。

ａ類：長軸端部のいずれかに調整を施す。　ｂ類：長軸端部に調整を施さない。

ⅡＡ類　定型的なもののうち、円形もしくは楕円形を呈するもの。

ａ類：全周に調整を施す。

ｂ類：部分的にあるいは一部を除いて調整を施す。

ⅡＢ類　定型的なもののうち、木葉形を呈する。

ａ類：両側縁に調整を施すもの。

ｂ類：両側縁に部分的あるいは一部を除いて調整を施す。

ⅡＣ類　定型的でないもののうち、主として長軸の一端が先細りの三角形のもの。

ａ類：三辺に調整を施す。　ｂ類：二側縁に調整を施す。

ｃ類：一側縁に調整を施す。

ⅡＤ類　定型的でないもののうち、主として長軸のある四辺で構成するもの。

ａ類：全辺に調整を施す。　ｂ類：一端と二側縁に調整を施す。

ｃ類：一端と一側縁に調整を施す。　ｄ類：二側縁に調整を施す。

ｅ類：一側縁に調整を施す。

ⅡＥ類　定型的なもののうち、円形･楕円形･木葉形以外の形態のもの。

F類　上記分類に当てはまらないもの。

**柄付きスクレイパー**(図版201･206)

スクレイパーの主要な刃部と対極に、細長い柄の付く石器である。

A類　器体が不整円形もしくは半円形のもののうち、柄が直線状もしくは先端が僅かに広がるもの。

ａ類：柄を縦にした場合に器体が縦長のもの。

ｂ類：柄を縦にした場合に器体が横長のもの。

ｃ類：柄を縦にした場合に器体の縦横が不明瞭なもの。

B類　器体が不整円形もしくは半円形のもののうち、柄の先端が二股に分かれるもの。

C類　器体が不整形のもの。

**抉入スクレイパー**(図版206)

剥片の側縁に二次調整による抉りを持つ石器である。

**鋸歯縁石器**

側縁に凹凸のある小さな剥離が連続する石器である。

**楔形石器**

剥片の上下端部が、平行になるように調整された石器である。

**異形石器**(第615図、図版207)

器種が限定できない石器のうち、丁寧な調整を全面的に施し意図的な形に作られた石器である。

A類　長軸を縦にした場合、左右の突出部がほぼ対称をなすもの。

B類　長軸を縦にした場合、左右の突出部が対をなすもの。

C類　嘴形を呈するもの。

D類　不整形を呈するもの。

E類　上記の分類に当てはまらないもの。

**三脚石器**(第615図、図版207)

等間隔の３つの脚と台部で構成され、脚を平坦面に接地した場合、台部上面が平坦面になる石器である。分割礫を素材にしたと考えられる。

**打製石斧**(図版210)

甲高で、撥形あるいは長方形状を呈した斧形のうち、完成品が打製の手法による石器である。礫を素材にしている。

A類　長軸中央に最大幅があるもののうち、刃部と基部が円刃状のもの。

B類　長軸中央に最大幅があるもののうち、刃部は円刃状で基部は粗い作りのもの。

C類　刃部に最大幅があり、丁寧に整えた基部に向かって徐々に窄まるもの。

D類　上記の分類に当てはまらないもの。

**磨製石斧**(図版208)

撥形あるいは長方形状を呈した斧形のうち、完成品が磨製の手法による石器である。殆どが基端部を除き磨かれており、刃部は両刃の円刃で、側縁が平坦な石器である。大きさにより機能の違いが想定され、長軸長と重量の関係を検討した結果、長軸７㎝ほどで重さ50g代の空白領域を除いて大小の連続性が認められた。よって、50g以上をⅠ類それ以下をⅡ類に分類した。

ⅠA類　刃部と側縁の境に最大幅があり、基部にかけて徐々に窄まるもの。

ⅠB類　刃部と側縁の境よりやや基部よりに最大幅があり、基部にかけて徐々に窄まるもの。

ⅠC類　最大幅が中央辺りにあり、基部にかけて緩く窄まるもの。

ⅡA類　刃部と側縁の境に最大幅があり、基部にかけて徐々に窄まるもの。

ⅡB類　刃部と側縁の境よりやや基部よりに最大幅があり、基部にかけて徐々に窄まるもの。基部周辺に磨きが施されない例(507-4)がある。

ⅡC類　最大幅が中央辺りにあり、基部にかけて緩く窄まるもの。

ⅡD類　素材は刃部とほぼ同じ幅で細長く、基部で短く窄まり、全面に磨きがあり基部は刃部状の薄い作りのもの。

ⅡE類　両端にほぼ同じ幅の刃部があり、素材は刃部とほぼ同じ幅で細長く、両側縁を磨いていないもの。

**石核**

剥片素材を得るための母材のうち、最終段階を示す石器である。礫を素材にしている。

A類　扁平な自然礫の側縁から、全周するように両面から剥片を得ており、残核は両面体状を呈する。

B類　やや厚手の剥片を素材に、主に側縁を全周するように剥片を得ており、残核は薄い円錐状もしくは皿状を呈する。

C類　刃部状を呈する側縁の反対側に細長い平坦面を形成し、平坦面では垂直方向もしくは水平方向に、刃部状の側縁では両面から打撃を加えて剥片を得ており、残核は舟形状を呈する。

D類　分厚い椀形の分割素材を基に、縁辺を全周するように分割面中央へまた分割面の垂直方向へそれぞれ打撃を加えて剥片を得ており、残核は椀形状や皿形状を呈する。

E類　分厚い椀形の分割素材を基に、縁辺を全周するように分割面の垂直方向へ打撃を加えて剥片を得ており、残核は厚い円錐状を呈する。

F類　自然礫もしくは分割礫を素材に三面以上の面を利用して、打面を変えながら剥片を得ており、残核は多面体のブロック状を呈する。

G類　上記分類に当てはまらないもの。

**扁平打製石器**(図版209)

横軸が縦軸と同じかそれよりも長い扁平な礫で、下辺（底縁）に刃部があり両側縁に調整を持つ石器である。礫を素材にしている。

A類　上辺が弧状で、両側縁辺に弧状の調整があるもの。

B類　上辺が弧状で、両側縁辺に弧状と直線状の調整があるもの。

C類　上辺が弧状で、両側縁辺に弧状と窪み状の調整があるもの。

D類　上辺が弧状で、両側縁辺に窪み状の調整があるもの。

E類　上辺が直線状で、両側縁辺に直線状の調整があるもの。

F類　上辺が直線状で、両側縁辺に直線状と窪み状の調整があるもの。

G類　上辺が直線状で、両側側辺に窪み状の調整があるもの。

H類　上記の分類に当てはまらないもの。

**石錘**(図版210)

扁平な礫に紐を回すための窪みや刻みを持ったり、紐の痕跡が確認できる石器である。

A類　長軸方向の両端中央に粗い窪み部があるもの。

B類　長軸方向の両側縁中央に粗い窪み部があるもの。

C類　長軸方向の両端と両側縁中央に、粗い窪み部があるもの。

D類　長軸方向の両端中央に細い刻み目があるもの。

E類　長軸方向の両側縁中央に紐を回した痕跡があるもの。

F類　上記分類に当てはまらないもの。

**敲石**

礫の端部や側縁に敲打痕のある石器である。

A類　扁平な礫を素材とするもの。

a類：長軸の一端に敲打痕がある。　b類：長軸の両端に敲打痕がある。

c類：短軸の一側縁に敲打痕がある。　d類：短軸の二側縁に敲打痕がある。

e類：短軸端と長軸端に敲打痕がある。

B類　細長い棒状礫を素材とするもの。

a類：一端に敲打痕がある。　b類：両端に敲打痕がある。

c類：上記分類に当てはまらないもの。

**凹石**

礫の平坦面や側面に、意図的な窪みを持つ石器である。

A類　扁平な礫を組材にしたもの。

a類：片面に窪みがある。　b類：両面に窪みがある。

c類：両面と側縁に窪みがある。

B類　細長い棒状礫を組材にして側面に窪みがあるもの。

C類　上記分類に当てはまらないもの。

**磨石**

礫の一部もしくは大部分に、平坦な磨面を持つ石器である。

A類　扁平な礫を組材にしたもの。

a類：片面に磨面がある。　b類：両面に磨面がある。

c類：扁平な面と側縁に磨面がある。

B類　細長い棒状礫を組材にして一端と両面に磨面があるもの。

C類　上記分類に当てはまらないもの。

**石皿**(図版211)

多くは平坦な礫を用いて幅広の平坦面を形成する石器である。そのうち、加工しない礫に磨面のあ

るものをⅠ類、加工した礫に磨面のあるものをⅡ類とする。明確な縁が認められる場合、それを外縁と呼び側縁と区別して用いる。Ⅰ類には外縁を持つ例はない。

ⅠＡ類　磨面が片側のもの。

ａ類：磨面が窪むもの。　　ｂ類：磨面は平坦なもの。

ⅠＢ類　磨面が両面のもの。

ａ類：磨面が窪むもの。　　ｂ類：磨面は平坦なもの。

ⅡＡ類　磨面が片側のもの。

ａ類：外縁があるもののうち、磨面と外縁の境が屈折もしくは屈曲するもの。

ｂ類：外縁があるもののうち、磨面と外縁の境が緩やかなもの。

ｃ類：外縁がないもののうち、磨面が窪むもの。

ｄ類：外縁がないもののうち、磨面が平坦もの。

ⅡＢ類　磨面が両側のもの。

ａ類：両面とも磨面と外縁の境が屈折するもの。

ｂ類：片側は磨面と外縁の境が屈折もしくは屈曲し、反対側は磨面と外縁の境が緩やかなもの。

ｃ類：両面とも磨面と外縁の境が緩やかなもの。

ｄ類：片面は磨面と外縁の境が屈折し、反対側は外縁がなく磨面が窪むもの。

ｅ類：片面は磨面と外縁の境が緩やかで、反対側は外縁がなく磨面が窪むもの。

ｆ類：両面とも外縁がなく磨面が窪むもの。

ⅡＣ類　上記Ⅱ類の分類に当てはまらないものを一括した。

**砥石**(図版211)

平坦な礫を用いた研磨するための石器である。

A類　平坦な砥面を持つものである。

ａ類：砥面に線刻状の痕跡がある。　　ｂ類：砥面に溝状の痕跡がある。

ｃ類：砥面に線刻状･溝状の痕跡がある。

B類　湾曲する砥面をもつものである。

ａ類：砥面が１か所のもの。　　ｂ類：砥面が複数存在するもの。

C類　上記分類に当てはまらないものを一括した。

**岩板**

両面や縁を加工した板状を呈する石器である。

**礫器**(図版212)

礫の一部に調整のある石器である。

A類　長軸の端に調整を持つもの。

ａ類：礫長軸の一端に粗い調整があるもの。　　ｂ類：礫長軸の両端に粗い調整があるもの。

B類　長軸の一側縁に粗い調整があるもの。

C類　長軸の一端と側縁の一端に粗い調整があるもの。
D類　長軸の一端と両側縁に粗い調整があるもの。
E類　上記分類に当てはまらないもの。

**線刻礫**(集成図第615図、図版213)
礫に線を刻んだ石器である。
A類　複雑な線刻があるもの。
B類　一定方向に単調な線刻があるもの。

**有孔石製品**(集成図第616図、図版214)
礫を磨き、穿孔を施す石器である。孔が貫通するものと盲孔のものがある。石質を基準に分類した。
Ⅰ類　装飾品と考えられるもののうち、翡翠や緑閃石岩製などの光沢のある緑色系石材を素材とするもの。
Ⅱ類　装飾品と考えられるもののうち、光沢のある褐色系石材を除いたもの。
Ⅲ類　装飾品ではないと考えられるもの。

**板状石製品**(集成図第617図、図版215)
礫を板状に加工したもので、文様は施していない。礫を素材にしている。
A類　板状で円形を呈するもの。
　a類：両面と縁辺を磨くもの。　　b類：縁辺は打ち欠いたままのもの。
B類　板状で長方形を呈し、両面と縁辺を磨くもの。
C類　板状で台形もしくは三角形状を呈し、両面と縁辺を磨くもの。

**有溝石製品**(集成図第617図、図版215)
礫に溝状の線刻を施した石器である。

**球状石製品**(集成図第615図、図版219)
礫の全面を磨いた球体を呈する石製品である。
A類　球体状のもの。
　a類：突起が付かない。　　b類：突起が付く。
B類　球体状が連結するもの。
　a類：突起が付かない。　　b類：突起が付く。

**椀形石製品**(集成図第616図、図版215)
礫を椀形に刳り抜いた石製品である。

**石棒**(集成図第618図、図版216)

全面的に磨かれた棒状を呈する石製品である。棒状先端に装飾のあるⅠ類とそれのないⅡ類に分類する。礫を素材にしている。

ⅠＡ類　太く大振りのもの。

ａ類：独立した亀頭状の単純な装飾を持ち、上面観は同心円のもの。

ｂ類：独立した亀頭状の単純な装飾を持ち、上面観は楕円のもの。

ｃ類：先端に僅かな括れがあり、先端に沈線による文様があるもの。上面観は同心円である。

ｄ類：先端側に区画を示す雑な沈線による文様があるもの。上面観は同心円である。

ⅠＢ類　細身のもの。両端あるいは片方に亀頭状の装飾があり、中央部に最大径がある。亀頭部分に精緻な装飾を施す例(447-1など)がある。

ⅡＡ類　一端が尖り反対側の先端は尖らない。尖らない先端側に区画を示す沈線がないもの。

ⅡＢ類　一端が尖り反対側の先端が尖らない。尖らない先端側に区画を示す沈線があるもの。

ⅡＣ類　ⅡA･ⅡB類に含まれないもの。

**石剣**(集成図第619図、図版217)

握り部のある扁平な細長い形態で、両側縁が鋭角で直線的である。礫を素材にしている。

A類　両面断面が緩い曲線のもの。

B類　片面断面の中央が稜線による緩い角状を呈するもの。

**石刀**(集成図第619図、図版217)

握り部のある扁平な細長い形態で、側縁の片側が鋭角な内反りを呈する。礫を素材にしている。

A類　柄の先端に沈線の区画を持つもの。

B類　柄の先端に突出部があるもの。刃部は峰の幅が広く、全体の断面は三角形状で分厚いもの。

C類　柄の先端に沈線の区画や突出部がなく、穿孔を施すもの。

D類　上記分類に当てはまらないもの。

**青竜刀形石器**(集成図第616図、図版218)

棒状の柄と扁平な半月状の刃部縁が連結した形態で、いわゆる中国の青竜刀の形をした石製品である。弧状部分には浅い溝が形成されてる。礫を素材にしている。

**石冠**(集成図第619図、図版218)

底面が長方形で長軸の両端が三角形の三角柱体を呈する形態である。礫を素材にしている。頭部の縦断面が鋭角なものをⅠ類、コの字状のものをⅡ類とする。Ⅰ･Ⅱ類とも横断面の両隅は、鋭いものと丸みを持つものがある。礫を素材にしている。

ⅠＡ類　底面が凸面状を呈するもの。

ⅠＢ類　底面が平坦なもの。

ⅠＣ類　底面が凹面状を呈するもの。

ⅡＢ類　底面が平坦なもの。

**岩偶**(集成図第617図、図版219)

礫を偶像化した石器である。礫を素材にしている。

**動物形石製品**

礫を動物形に象った石器である。礫を素材にしている。

**ミニチュア**(図版219)

石器の器種を小さく象った石器で、実用には用いない。礫を素材にしている。

第12表　石器・石製品出土点数及び掲載率

| | 遺構内 | | | ST01 | | | ST101 | | | ST202 | | | ST311 | | | ST404 | | | 遺構外 | | | 総数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 |
| 石鏃 | 53 | 51 | 96% | 250 | 61 | 24% | 365 | 95 | 26% | 179 | 59 | 33% | 103 | 24 | 23% | 46 | 10 | 22% | 145 | 45 | 31% | 1141 | 345 | 30% |
| 石鏃の未製品 | 3 | 3 | 100% | 8 | 0 | 0% | 8 | 0 | 0% | 9 | 0 | 0% | 2 | 1 | 50% | − | − | − | 3 | 0 | 0% | 33 | 4 | 12% |
| 石槍 | 2 | 2 | 100% | 10 | 4 | 40% | 3 | 2 | 67% | 2 | 2 | 100% | 3 | 3 | 100% | − | − | − | 9 | 9 | 100% | 29 | 22 | 76% |
| 石錐 | 8 | 8 | 100% | 64 | 15 | 23% | 72 | 31 | 43% | 38 | 15 | 39% | 28 | 14 | 50% | 11 | 4 | 36% | 41 | 17 | 41% | 262 | 104 | 40% |
| 石錐の未製品 | − | − | − | − | − | − | 1 | 0 | 0% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 1 | 0 | 0% |
| 棒状尖頭器 | 2 | 2 | 100% | 50 | 23 | 46% | 63 | 25 | 40% | 19 | 5 | 26% | 10 | 4 | 40% | 6 | 2 | 33% | 14 | 11 | 79% | 164 | 72 | 44% |
| 棒状尖頭器の未製品 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 1 | 50% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 1 | 50% |
| 有撮石器 | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 1 | 50% | 3 | 2 | 67% |
| 石匙 | 54 | 50 | 93% | 517 | 63 | 12% | 769 | 149 | 19% | 440 | 147 | 33% | 67 | 7 | 10% | 119 | 18 | 15% | 270 | 39 | 14% | 2236 | 473 | 21% |
| 石匙の未製品 | 2 | 2 | 100% | 1 | 0 | 0% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 3 | 2 | 67% |
| トランシェ様石器 | − | − | − | 4 | 1 | 25% | 3 | 0 | 0% | − | − | − | − | − | − | 1 | 0 | 0% | 6 | 3 | 50% | 14 | 4 | 29% |
| 石篦 | 11 | 10 | 91% | 14 | 3 | 21% | 19 | 8 | 42% | 9 | 5 | 56% | 7 | 2 | 29% | 8 | 4 | 50% | 42 | 21 | 50% | 110 | 53 | 48% |
| スクレイパー | 143 | 108 | 76% | 748 | 87 | 12% | 604 | 55 | 9% | 178 | 20 | 11% | 156 | 12 | 8% | 248 | 19 | 8% | 483 | 39 | 8% | 2560 | 340 | 13% |
| 柄付スクレイパー | − | − | − | 9 | 5 | 56% | 17 | 7 | 41% | 5 | 2 | 40% | 2 | 0 | 0% | 8 | 3 | 38% | 8 | 0 | 0% | 49 | 17 | 35% |
| 抉入スクレイパー | 2 | 2 | 100% | 5 | 3 | 60% | 2 | 1 | 50% | 2 | 0 | 0% | 3 | 0 | 0% | 3 | 0 | 0% | 11 | 1 | 9% | 28 | 7 | 25% |
| 鋸歯縁石器 | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 2 | 100% |
| 楔形石器 | − | − | − | 27 | 2 | 7% | 14 | 2 | 14% | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 6 | 0 | 0% | 7 | 0 | 0% | 55 | 5 | 9% |
| 異形石器 | 2 | 2 | 100% | 9 | 6 | 67% | 9 | 9 | 100% | 6 | 5 | 83% | − | − | − | 4 | 4 | 100% | 4 | 3 | 75% | 34 | 29 | 85% |
| 三脚石器 | − | − | − | 1 | 0 | 0% | 1 | 1 | 100% | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 3 | 3 | 100% | 7 | 6 | 86% |
| 打製石斧 | − | − | − | 5 | 4 | 80% | 5 | 4 | 80% | 1 | 0 | 0% | 1 | 0 | 0% | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 14 | 10 | 71% |
| 磨製石斧 | 9 | 9 | 100% | 65 | 14 | 22% | 154 | 31 | 20% | 31 | 5 | 16% | 19 | 2 | 11% | 19 | 3 | 16% | 58 | 8 | 14% | 355 | 72 | 20% |
| 磨製石斧の未製品 | − | − | − | 2 | 0 | 0% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 0 | 0% |
| 石核 | 73 | 15 | 21% | 57 | 3 | 5% | 28 | 2 | 7% | 7 | 1 | 14% | 18 | 1 | 6% | 8 | 0 | 0% | 44 | 3 | 7% | 235 | 25 | 11% |
| 扁平打製石器 | 15 | 15 | 100% | 2 | 1 | 50% | 4 | 0 | 0% | 1 | 1 | 100% | 3 | 0 | 0% | − | − | − | 70 | 9 | 13% | 95 | 26 | 27% |
| 石錘 | − | − | − | 4 | 3 | 75% | 8 | 6 | 75% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 17 | 6 | 35% | 29 | 15 | 52% |
| 敲石 | 44 | 11 | 25% | 107 | 11 | 10% | 74 | 6 | 8% | 5 | 0 | 0% | 11 | 0 | 0% | 5 | 1 | 20% | 62 | 4 | 6% | 308 | 33 | 11% |
| 凹石 | 47 | 34 | 72% | 221 | 6 | 3% | 266 | 13 | 5% | 3 | 0 | 0% | 15 | 0 | 0% | 12 | 1 | 8% | 135 | 0 | 0% | 699 | 54 | 8% |
| 磨石 | 164 | 24 | 15% | 114 | 4 | 4% | 117 | 5 | 4% | 2 | 0 | 0% | 7 | 1 | 14% | 5 | 1 | 20% | 83 | 2 | 2% | 492 | 37 | 8% |
| 石皿 | 37 | 31 | 84% | 43 | 11 | 26% | 124 | 20 | 16% | 3 | 1 | 33% | 17 | 2 | 12% | 15 | 6 | 40% | 63 | 5 | 8% | 302 | 76 | 25% |
| 石皿の未製品 | − | − | − | − | − | − | 1 | 0 | 0% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 1 | 0 | 0% |
| 砥石 | 1 | 1 | 100% | 13 | 4 | 31% | 38 | 2 | 5% | − | − | − | 6 | 0 | 0% | 4 | 0 | 0% | 34 | 1 | 3% | 96 | 8 | 8% |
| 岩板 | − | − | − | 2 | 1 | 50% | 1 | 0 | 0% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 3 | 2 | 67% | 6 | 3 | 50% |
| 礫器 | 1 | 0 | 0% | 6 | 1 | 17% | 7 | 4 | 57% | 1 | 1 | 100% | 1 | 0 | 0% | 1 | 0 | 0% | 21 | 3 | 14% | 38 | 9 | 24% |
| 線刻礫 | 1 | 1 | 100% | 4 | 1 | 25% | 4 | 4 | 100% | − | − | − | − | − | − | 1 | 0 | 0% | 9 | 5 | 56% | 19 | 11 | 58% |
| 有孔石製品 | 9 | 9 | 100% | 14 | 14 | 100% | 32 | 27 | 84% | 2 | 1 | 50% | 5 | 4 | 80% | 5 | 5 | 100% | 3 | 2 | 67% | 70 | 62 | 89% |
| 板状石製品 | 5 | 4 | 80% | 20 | 9 | 45% | 14 | 11 | 79% | 3 | 2 | 67% | 5 | 3 | 60% | 9 | 5 | 56% | 18 | 6 | 33% | 74 | 40 | 54% |
| 有溝石製品 | 1 | 1 | 100% | − | − | − | 1 | 1 | 100% | − | − | − | 2 | 2 | 100% | 1 | 1 | 100% | − | − | − | 5 | 5 | 100% |
| 球状石製品 | − | − | − | 4 | 1 | 25% | 2 | 1 | 50% | 7 | 2 | 29% | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 3 | 3 | 100% | 18 | 9 | 50% |
| 椀形石製品 | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 3 | 2 | 67% | 7 | 6 | 86% |
| 石棒 | 3 | 3 | 100% | 5 | 4 | 80% | 20 | 18 | 90% | 16 | 16 | 100% | 3 | 2 | 67% | 3 | 2 | 67% | 9 | 8 | 89% | 59 | 53 | 90% |
| 石剣 | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 4 | 4 | 100% |
| 石剣の未製品 | − | − | − | − | − | − | 2 | 2 | 100% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 3 | 3 | 100% |
| 石刀 | 1 | 1 | 100% | 4 | 3 | 75% | 4 | 4 | 100% | − | − | − | 2 | 2 | 100% | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 12 | 11 | 92% |
| 石刀の未製品 | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% |
| 青竜刀形石器 | − | − | − | 1 | 1 | 100% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | 2 | 2 | 100% |
| 石冠 | − | − | − | 2 | 2 | 100% | 5 | 5 | 100% | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | − | − | − | 2 | 1 | 50% | 11 | 10 | 91% |
| 岩偶 | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% |
| 動物形石製品 | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% |
| ミニチュア | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | − | − | − | − | − | − | 1 | 1 | 100% | − | − | − | 2 | 2 | 100% |
| 石製品 | 1 | 0 | 0% | 12 | 7 | 58% | 7 | 4 | 57% | 1 | 0 | 0% | 1 | 1 | 100% | 2 | 1 | 50% | 3 | 1 | 33% | 27 | 14 | 52% |
| 石製品の未製品 | − | − | − | 1 | 0 | 0% | 1 | 0 | 0% | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 0 | 0% |
| 器種不明 | 1 | 1 | 100% | 273 | 0 | 0% | 138 | 0 | 0% | 47 | 0 | 0% | 46 | 0 | 0% | 77 | 0 | 0% | 175 | 0 | 0% | 757 | 1 | 0% |
| 総計 | 696 | 401 | 58% | 2700 | 380 | 14% | 3015 | 563 | 19% | 1021 | 293 | 29% | 547 | 91 | 17% | 633 | 96 | 15% | 1868 | 268 | 14% | 10480 | 2092 | 20% |

## ３ 土製品

遺構内から21点、捨て場･遺構外からは736点の土製品が出土した。種別ごとの数量は、円盤状土製品が274点と最も多く、続いて土偶155点、環状土製品103点、鐸形土製品70点、耳飾り58点、垂飾形土製品14点、分銅形土製品11点、スタンプ形土製品９点である。ほかにキノコ形土製品･球状土製品･土版･動物形土製品などがそれぞれ少量出土した。出土地点別の出土点数及び掲載率は第13表の通りである。掲載遺物の詳細は第22～27表に記載した。種別ごとの集成図は第620～630図に掲載した。

なお、ここで記載した点数は、接合したものは複数の捨て場から出土したものでも１点と数え、出土地点は最も大きい破片に属させた。同一個体でも接合しない場合は、それぞれを１点として計上した。

**土偶**(集成図第620･621図、第22表、図版220～222)

遺構内４点を含む155点が出土した。形態は立体が多数を占め、板状は破片数11点のみである。実測可能なものはすべて実測し、掲載した。

板状土偶は後期初頭に典型的に認められる体部が逆三角形を呈するものである。その内１点(371-15)には腕の表現が認められる。破片数11点のうちST404出土の頭部(502-2)と胸部(504-13)が同一個体と推定できることから、板状土偶の個体数は10点である。頭部が３点、体部が８点で、全形が残存するものはない。体部の残存率はすべて1/2以下と、破損が著しい。出土地点は、ST311を除いた各捨て場、及び遺構外であり、それぞれ１～３個体と遺跡全体から散出している。

立体の土偶は137点である。頭部･腕部など単独部位のみが残存するものが多く、総数で100点を超える。立像と屈折像に分類でき、立像は33点、屈折像もしくは屈折像と推定できるものは16点、ほかは破片のため不明である。

屈折像としたもののうち胴から足が残存しており、明らかに屈折像とわかるものは３点(380-1、412-8、416-5)のみである。これらはいずれも10cm以下の小形の土偶である。ほかは単独部位のみが残存する。腕を十字に組んでいるものが５点(322-1-(１)ほか･341-1･341-2･371-23･未掲載)、合掌しているもの１点(416-6)、腕の形状は不明であるが腕を膝に乗せているもの２点(328-5･412-7)が確認できる。なお、腕を十字に組むものは、すべて左腕を立て、右腕を水平に置く。

立体の土偶の大きさは、推定値ではあるが、30cm前後のもの(大形)、15～20cm前後のもの(中形)、10cm未満(小形)のものに分類できる。大きさが推定できる61点のうち、30cm前後が７点、15～20cmが37点、10cm未満は17点であり、中形が最も多い。成形技法は317-12を除きすべて中実である。317-12は上半身は中空、下半身は中実で成形される。

表面に赤色顔料が付着する例は８点あるものの、僅かに確認できる例が大半であり、全面に塗布が認められる例は343-20と371-16のみである。ほかに黒色付着物が斑状に認められる例が２点(371-16、422-14)ある。２点とも残存状態が良く、全身に斑状の付着物が認められる。欠損部にアスファルトが付着する例は13点確認できる。

**環状土製品**(集成図第622図、第23表、図版223･224)

遺構内出土５点を含む個体数103点が出土した。文様や胎土が酷似するものが２個体存在する例が４例あることから(341-9と380-11、415-8と416-7、P1027※未掲載と220-7、502-16と502-17)、同一

個体とみなした破片でも２個体である可能性があるため、個体数は増加する可能性がある。遺構内出土は全点、捨て場及び遺構外出土は残存状況が良好なものを選出し、46点を掲載した。

形態は環状で、器壁が厚く重量がある。上下端は平坦なものが主流であるが、上端に低い突起が付くものもある(483-5など)。上下端とも平坦なものは、どちらか一方がより平坦に調整される傾向が看取できることから、より平坦な側を下と捉えた。調整はすべて内外面ともナデ調整である。外面は平滑であるが、内面には比較的凹凸が認められる。内面には擦痕などの明確な使用痕は認められない。

平面形態は、円形と楕円形の２種類があり、円形56点、楕円形８点、不明25点である。楕円形のもの(341-10など)は、長軸方向に縦位の隆線が施され、隆線上には刻み列もしくは刺突列が施される。文様は沈線文で、表裏面に同じ文様が描かれる。無文のものはない。円形のものは、無文が９点、有文が47点である。文様は平行沈線で描かれ、縄文が充填されるもの(485-9など)もある。文様モチーフは連続する波状文、連続する巴文、楕円形文、三角形文などである。刺突が施されるもの(380-11など)もある。文様単位は２～７単位で、３、４単位が最も多い。ほかに上下端に刺突列を施すもの(333-7など)も３点認められる。

赤色付着物が確認できる例は認められないが、斑状の黒色付着物が全面に付着する例が１点(485-10)認められる。時期は文様要素から、Ⅳ２期(後期前葉)に限定的に作られたものと考えられる。

**耳飾り**(集成図第624図、第25表、図版225)

耳飾りは遺構内出土２点を含む58点が出土した。形態は耳栓が46点、環状を呈するものが12点である。耳栓は各捨て場とも半数前後、環状は残存状況の良いものを掲載した。

耳栓は径10～20㎜の鼓形で、表裏はほぼ同じ大きさである。15㎜前後が最も多い。形態は規格性が強いが、398-20は中心が突起し、特異な形状を呈する。全体の75％(31点)には赤彩が施される。中心孔があるものは23点である。出土地点はST01が11点、ST101が21点、ST202が１点、ST311が７点、遺構外出土が３点で、ST404からは出土していない。

環状は径８㎝前後で外径の中央が括れるものである。残存状況が良いものは３点で、ほかは残存率1/2以下である。赤彩が施されるものは１点である。出土地点はST01が６点、ST202が２点、ST01に続く北側斜面が３点である。

**鐸形土製品**(集成図第623図、第24表、図版225･226)

鐸形土製品は遺構内出土１点を合わせて70点が出土した。そのうち残存状態が良いものを掲載した。

断面の形状は円形･楕円形･隅丸三角形の３種類がある。円形が44点と最も多く、楕円形が15点、隅丸三角形は３点である。また、つまみ部の形状は、独立したつまみが作り出されるもので、上端が平坦もしくは二股に分かれるもの(Ⅰ)、独立したつまみが作り出されるもので、上端が円錐状のもの(Ⅱ)つまみは独立せず、つまみが胴部と一体となっているもの(Ⅲ)、の３種類に分類が可能である。Ⅰは９点、Ⅱは25点、Ⅲは21点である。つまみにはほとんどに穿孔が施されるが、Ⅱタイプでは１点、Ⅲタイプでは３点、穿孔が施されないものがある。

文様は無文が23点、縄文が１点、有文が46点である。無文のものはすべてナデ調整である。無文のものは断面は円形がほとんどで、１点のみ楕円形である。縄文が施されるものは断面楕円形である。

文様は沈線で描かれ、沈線間に刺突列が施されるものもある。断面形状が楕円形もしくは隅丸三角形のものは、それぞれの頂点にあたる側面に鰭状の貼付隆線が施される。文様モチーフは、巴文･渦文･蛇行文などで、連続する波状文は認められない。文様単位は断面が楕円形のものは２単位、隅丸三角形のものは３単位と器形に規制される。断面が円形のものは２～５単位の文様が施文される。外面に赤色顔料が付着するものが、ST101から２点出土している。内面には全体の約８割(44点)に、煤状の黒色付着物が認められる。使用時の痕跡の可能性が考えられる。

時期は文様から、Ⅳ２(後期前葉)に限定的に作られたものと考えられる。環状土製品とほぼ同時期であり、鰭状貼付隆線が施されるなど器形や文様に関連性が窺われる。しかしその一方で、環状土製品に多く施される連続する波状文がないことや、鐸形土製品に一定量ある沈線間の刺突列が環状土製品には施されないなど、差異も認められる。

**スタンプ形土製品**(集成図第624図、第27表、図版227)

粘土板につまみを付けた形状である。９点が出土し、８点を掲載した。ここでは本土製品をスタンプとして使用した場合に印面にあたる部分について、便宜的に「印面」と呼称するが、本土製品の機能を示すものではない。

粘土板の形状は円形、楕円形のほかにS字状を呈するものが１点(343-25)ある。粘土板の大きさは、円形では径２㎝前後、楕円形やS字状では短軸２㎝程度の小形が主体であるが、短軸が４㎝以上の大形のものも２点(372-10、399-5)認められる。小形と大形ではつまみ部分の形状が大きく異なる。小形のつまみ部分は、粘土塊を貼り付けるか、粘土板と一体で作り出され、１点(343-25)を除き穿孔が施される。一方、大形では粘土紐を橋状に貼り付けて作出される。印面には、沈線で文様が描かれる。小形の中には刺突が施されるもの(341-13)もある。スタンプ状に使用した場合の磨滅痕などは認められない。出土地点はST01から２点、ST101が６点、ST202が１点である。大形は２点ともST101から出土した。

**分銅形土製品**(集成図第624図、第27表、図版227)

瓢箪状を呈するものである。11点が出土し、すべて掲載した。つまみ部分は円柱状もしくは楕円柱状である。無文や縄文のほかに、沈線文で文様が描かれるものがあり、上端が二股に分かれるなど装飾性の強いものも認められる。また、穿孔が施される例は８点ある。下部は球状もしくは扁平面を下にした半球状で、無文もしくは縄文が施されるのみである。下面にはすべて磨滅痕、もしくは敲打痕が認められる。また、つまみ部分にも磨滅が認められるものがあることから、つまみ部を持って磨ったり敲いたりする使用状況が復元できる。なお、下面が球状を呈するものでも、自立可能な安定面があることから、使用時に面が形成されるような力が加わったと考えられる。時期は、羽状縄文が施される例が一定数あることから、後期中葉～後葉と考えられる。出土地点はST01が３点、ST101が６点、ST202に隣接するグリッドが１点である。ST311とST404からは出土していないが、これは両捨て場の主体時期が後期前葉であることに起因すると推定される。

**キノコ形土製品**(集成図第624図、第27表、図版226～228)

７点が出土し、すべて掲載した。粗雑な成形のものが多く、調整はすべてナデ調整である。傘の部分は扁平な円形が多く、内湾するものは１点のみである。また、軸部分が残存するものについてはすべて直線である。軸の中心に貫通しない空隙をもつものが１点(324-12)あり、成形時に串状の軸を用いていた可能性も考えられる。出土地点はST01が１点、ST101が２点、ST311が２点、ST404が２点である。資料数が少ないため一概には言えないが、ST311とST404で過半数を占めることは、ほかの土製品にはない特徴であり、キノコ形土製品が廃棄された時期と両捨て場の機能時期が合致した結果と考えられる。

**垂飾形土製品**(集成図第626図、第27表、図版225･227･228)

ペンダント状に使用することが可能な14点を垂飾形土製品とし、全点を掲載した。形状は様々であるなかで、類似する法量、文様のものが４点(380-23、403-14、433-13、485-14)出土した。いずれも赤色顔料が施される。また、ST404からは酷似する２点の遺物(503-8、503-9)が同じ出土地点から見つかっている。精巧に作られており、一般的な形状でないことを考え合わせると、製作から廃棄までセットで扱われていた可能性が考えられる。そのほかに鏃状、渦巻き状、ヒトデ状、鍬状などの形状がある。

**腕輪形土製品**(集成図第626図、第27表、図版228)

５点出土したが、いずれも残存状況が悪く、残存率はいずれも1/4以下である。２点を掲載した。沈線で文様が描かれるものが２点、無文が２点、縄文が１点である。赤色顔料が塗布される例は認められない。

**土版**(集成図第626図、第27表、図版227･228)

４点が出土し、全点を掲載した。大きさはいずれも４㎝程度である。円形が３点(343-26、380-20、398-21)、三角形が１点(504-11)である。円形土版のうち２点(343-26、380-20)は粘土紐を渦状に巻いたもので、成形は粗雑である。１点(398-21)は円形の粘土板の表裏面に渦状の沈線を施す。ST01とST101から出土した。三角形土版は、調整はナデ調整であるが、成形は精緻である。表面に刺突で文様が描かれ、裏面は平滑である。ST404から出土した。

**球状土製品**(集成図第626図、第27表、図版228)

４点が出土し、全点を掲載した。大きさは２～４㎝である。いずれも表面が平滑に仕上げられている。２点(382-18、466-8)には穿孔が施される。

**動物形土製品**(集成図第624図、第27表、巻頭図版12)

ST404から１点が出土し、掲載した。胴部は中空、足部は中実で成形される。４つ足で、胴部は比較的扁平である。腹部には粘土塊が３か所に貼り付けられており、乳房と臍を表したものと考えられる。顔部と足部３か所は欠損し、胴部も破損が著しい。胴部には沈線と充填のLR縄文で文様が施さ

れ、縄文が施されない部分は丁寧にミガキ調整が施されている。形態は抽象的であるが、乳房の表現が２か所であることから熊の可能性が高い。

**錘状土製品**(集成図第626図、第27表、図版228)

５点出土し、全点掲載した。いずれも側縁に沈線状の溝を持ち、２点(372-13、380-21)は短軸方向にも溝が施される。短軸方向の溝を持たない１点(400-11)は、短軸方向に穿孔が施される。調整はいずれもナデ調整で、器面は平滑である。遺構内２点、ST101から３点出土した。

**焼成粘土塊**(集成図第626図、第27表)

出土点数は極めて少なく２点のみ出土し、ともに掲載した。大きさは４㎝前後で、ST01とST101から出土した。

**円盤状土製品**(集成図第625図、第26表、図版229)

278点が出土した。土器片を成形して作られている。形状は円形である。やや楕円形を呈するものも認められるが、明確に楕円形を意図したと考えられるものは確認できない。使用される部位は胴部が主体であるが、底部が使用されたものが10点前後、口縁部が使用されたものが５点程度見受けられる。周辺は、全周を丹念に磨いたもの17点、ほぼ全周磨いたもの29点、一部磨いたもの72点、打ち欠いただけのもの153点である。沈線など文様のあるものもあるが、縄文のみが81点であり、有文のものに有意性はない。法量は径24～45㎜、重さは３～19gの範囲でまとまる。最も小さいものは径18㎜重さ２g、最大のものは径90㎜、重さ80gである。

**その他の土製品**(集成図第626図、第27表、図版228)

上記以外にも定型的でないが、形状が明瞭な土製品が20点出土している。巻貝形土製品と三角形土製品を除き、全点掲載した。

311-6と408-9は高さ２㎝前後の土製品で、植木鉢を逆さにしたような形状を呈する。無文でナデ調整が施されるが、器面は平滑である。１点(398-22)は上面に、もう１点(311-6)は側面に穿孔が施される。垂飾として使用された可能性も考えられる。413-8と435-22は棒状の土製品である。無文でナデ調整が施されるが、器面は平滑である。どちらも長軸方向に穿孔が施されることから、垂飾として使用された可能性も考えられる。305-21、390-11、398-23は傘状の土製品である。305-21と398-23は尖底土器の底部の可能性もあるが、胎土や調整から後期に属すると判断し、土製品とした。端部はいずれも同様に欠損し、３点とも同形態を呈する。325-1は皿状の土製品である。４本の足が貼り付けられていたと復元できることから、動物を模した可能性が考えられる。372-11は鼻状、513-29は獣足状を呈するものである。香炉の把手の可能性もある。483-10は成形は粗雑であるが、形状から巻貝を模した可能性も考えられる。

巻貝形土製品は２点出土している。どちらも小片であるが、径が円ではなく、渦状であることから巻貝形土製品と推定した。三角形土製品も２点出土した。土器片を打ち欠いて成形したものである。

第13表　土製品出土点数及び掲載率

| | 遺構内 | | | ST01 | | | ST101 | | | ST202 | | | ST311 | | | ST404 | | | 遺構外 | | | 総数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 | 出土点数 | 掲載点数 | 掲載率 |
| 土偶 | 4 | 4 | 100% | 40 | 34 | 85% | 51 | 47 | 92% | 8 | 7 | 88% | 7 | 7 | 100% | 23 | 23 | 100% | 22 | 18 | 82% | 155 | 140 | 90% |
| 環状 | 5 | 5 | 100% | 10 | 8 | 80% | 46 | 18 | 38% | 4 | 0 | 0％ | 12 | 8 | 67% | 21 | 10 | 48% | 5 | 2 | 40% | 103 | 51 | 50% |
| 耳飾り | 2 | 2 | 100% | 19 | 13 | 68% | 21 | 10 | 48% | 3 | 2 | 67% | 7 | 4 | 57% | － | － | － | 6 | 3 | 50% | 58 | 34 | 59% |
| 鐸形 | 1 | 1 | 100% | 13 | 11 | 85% | 28 | 25 | 89% | 3 | 0 | 0％ | 13 | 10 | 77% | 10 | 7 | 70% | 2 | 1 | 50% | 70 | 55 | 79% |
| スタンプ形 | － | － | － | 2 | 2 | 100% | 6 | 5 | 83% | 1 | 1 | 100% | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 9 | 8 | 89% |
| 分銅形 | － | － | － | 4 | 4 | 100% | 6 | 6 | 100% | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 1 | 1 | 100% | 11 | 11 | 100% |
| キノコ形 | － | － | － | 1 | 1 | 100% | 2 | 2 | 100% | － | － | － | 2 | 2 | 100% | 2 | 2 | 100% | － | － | － | 7 | 7 | 100% |
| 垂飾形 | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 6 | 6 | 100% | － | － | － | 2 | 2 | 100% | 3 | 3 | 100% | 1 | 1 | 100% | 14 | 14 | 100% |
| 腕輪形 | － | － | － | 2 | 1 | 50% | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 1 | 0 | 0% | 2 | 1 | 50% | 5 | 2 | 40% |
| 土版 | － | － | － | 1 | 1 | 100% | 2 | 2 | 100% | － | － | － | － | － | － | 1 | 1 | 100% | － | － | － | 4 | 4 | 100% |
| 球状 | － | － | － | － | － | － | 3 | 3 | 100% | 1 | 1 | 100% | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 4 | 4 | 100% |
| 動物形 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 1 | 1 | 100% | － | － | － | 1 | 1 | 100% |
| 錘状 | 2 | 2 | 100% | － | － | － | 3 | 3 | 100% | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 5 | 5 | 100% |
| 焼成粘土塊 | － | － | － | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 2 | 2 | 100% |
| 三角形 | － | － | － | － | － | － | 1 | 0 | 0％ | － | － | － | 1 | 0 | 0％ | － | － | － | － | － | － | 2 | 0 | 0％ |
| 巻貝形 | － | － | － | 1 | 0 | 0％ | － | － | － | 1 | 0 | 0％ | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 2 | 0 | 0％ |
| 土製品 | 3 | 3 | 100% | 8 | 4 | 50% | 9 | 8 | 89% | 6 | 2 | 33% | 1 | 1 | 100% | － | － | － | 2 | 2 | 100% | 30 | 21 | 70% |
| 円盤状 | 4 | 4 | 100% | 59 | 12 | 20% | 119 | 21 | 18% | 25 | 0 | 0％ | 12 | 3 | 25% | 39 | 8 | 21% | 20 | 7 | 35% | 278 | 55 | 20% |
| 総計 | 22 | 22 | 100% | 103 | 81 | 79% | 186 | 136 | 73% | 27 | 13 | 48% | 45 | 34 | 76% | 62 | 47 | 62 | 41 | 29 | 71% | 760 | 413 | 54% |

## ４　漆･アスファルト関連遺物

本遺跡からは、漆やアスファルトに関連する多種多様な遺物が出土した。製品としては赤色塗彩が施された土器･土製品のほかに、編組製品や糸玉がある。製作工程に関連する遺物としては、漆液容器･アスファルト容器･ベンガラ容器･ベンガラ素材礫･アスファルト塊が出土した。

**編組製品**(第423･550･551図、巻頭図版16)

ST101捨て場の286層から２点出土した。後述する糸玉と同一層位である。

423-1は発掘調査段階で赤漆膜の広がりが確認できたため、約50cm四方を10cm程度の厚みで土ごと切り取り､(株)吉田生物研究所に保存処理を委託した。赤漆膜は約33cm四方の範囲に広がる。胎は残存していないが、漆膜の凹凸により部分的に繊維の状態が確認できる。繊維は幅約1mmの扁平状で５本１組で用いられる。斜めに交差する１組越え１組潜り１組送りだが、部分的に不整に編み込まれる繊維が認められる。

551-№2は約6.0cm×3.5cmの略方形で、表面は赤漆膜が残存し、裏面は繊維が露出する。残存部分は一部であることから、全体の形状は復元できない。このためここでは長軸方向を横、短軸方向を縦と便宜的に呼ぶ。縦方向の繊維は断面方形で幅約2.5mm、横方向の繊維は幅約0.5mmである。構造は表面側に横方向に並べた繊維の下に縦方向の繊維を並べ、細い糸状の繊維で縦横の繊維を止める構造である。編まれていないことが特徴である。

**糸玉**(第423･550～555図、巻頭図版16)

ST101捨て場の286層から集中して出土した。発掘調査段階で、繊維状の赤漆膜が検出されたため、まとまりごとに６ブロックにわけて土ごと切り取り､(株)吉田生物研究所にクリーニングと保存処理を委託した。クリーニングの結果、554-№8-1など土塊の中から新たに検出されたものも含め、出土数の合計は10点である。なお、保存処理した土塊の中にさらに複数の糸玉が含まれている可能性もあ

る。

形状は、10点のうち１点（554-№8-1）は放射状に糸を巻き付け、ドーナツ形に整形する。ほかの９点は残存状態が悪いため詳細な形状は定かではないが、複数本の糸を束ねて結んだものと推定される。糸玉の大きさはいずれも１cm前後である。繊維が残存する例はなく、繊維に塗布された赤漆膜が残存するのみである。糸の太さは１mm以下である。赤漆膜が糸状であることから、細い糸状の繊維に赤漆を塗布し、乾燥する前に整形したものと考えられる。

糸玉が出土した286層は捨て場斜面下の低湿地に堆積する。286層は斜面に廃棄された遺物や土砂が流出し、斜面下の低湿地に堆積した二次堆積層と捉えられる。このことから、出土した糸玉は斜面下の低湿地に流出した一部の糸玉が残存したものと考えられ、本来はさらに多くの糸玉が廃棄されたものと推定される。

**漆液容器･アスファルト容器**(集成図第627･628図、第21表、巻頭図版14･15、図版230～232)

遺跡からは内面に膜状や塊状の付着物が付いた土器が122点出土した。出土地点は遺構内から５点、捨て場･遺構外から117点である。遺構内出土の５点はいずれも破片資料である。捨て場･遺構外出土資料は、約70点は比較的残存状況がよく、約50点は破片資料である。

土器の内面に付着する膜状や塊状の付着物の成分としては、現時点では漆とアスファルトが知られている。ここではこれらの付着物を、以下の通りの基準で漆とアスファルトに分別した。

まず124点の資料のうち72点は、奈良文化財研究所にてフーリエ変換赤外分光分析を行い、漆を同定した。しかしアスファルトについては同分析では確定できないことから、アスファルトと推定されたもののうち４点について、さらにPy－GC/MS分析を行いアスファルトであることを確定させた(第５章第10節)。これらの科学分析で同定された資料を基準とし、肉眼で漆とアスファルトの可視的な特徴を観察した結果、漆は表面が膜状を呈し、アスファルトは膜状ではないという特徴が認められた。科学分析を行わなかった68点についてはこの特徴により、肉眼観察で漆とアスファルトを分別した。また、科学分析の結果、漆とアスファルトの成分が混在する資料が認められているが、これついては漆とアスファルトの両方の特徴を兼ね備えるものとし、肉眼観察を行った。この結果、漆液容器75点、アスファルト容器39点、漆液とアスファルトが混入する容器が８点認められた。

個々の遺物の詳細な状態は第21表に記載した。ページ数の都合により実測図や写真を掲載できなかったものについても、概要を第21表に掲載した。

**ベンガラ容器**(集成図第628図、巻頭図版14)

内側に赤色顔料が付着する土器をベンガラ容器と推定した。ベンガラ容器と考えられる土器は、遺構内から３点(210-28、221-23、231-28)、捨て場･遺構外から６点(333-2、398-17、339-13、421-8、431-4、468-16)が出土した。遺構内出土の３点はいずれも破片資料である。398-17はベンガラが入った状態で出土した(図版171)。

**アスファルト塊**

16点、229gが出土した。出土地点ごとの点数はST01で５点、ST101で５点、ST202で１点、ST404

で１点、遺構外で４点である。大きさは最大で子供の拳大程度である。土器や布袋などの容器の痕跡は認められないことから、塊状で廃棄されたものと考えられる。出土状況には、集中して出土するなどの特別な要素は認められなかった。なお実測図などは掲載していない。

**ベンガラ素材礫**(巻頭図版14)

遺構内ではSK10152から15点、約６kgが出土した。土坑内に充填されるように出土していることから、貯蔵されたものと推定される。捨て場･遺構外からは905点、46.12kgが出土した。各地点ごとの出土重量はST01が4.5kg、ST101が5.2kg、ST311が0.02kg、遺構外が36.4kgである。なお、出土したすべてのベンガラ素材礫を計量することができなかったため、この値は最小値である。出土状況には、集中して出土するなどの特別な要素は認められなかった。

## ５　陶磁器(第82表)

陶器が172点、磁器が104点出土し、柱穴様ピットから出土した残存状況のよい３点(297-32･33･34)を掲載した。その他の陶磁器類については、一覧表を第82表に掲載した。時期は16世紀末～19世紀にかけてで、なかでも16世紀末～17世紀前半にまとまった出土量が認められる。特に高位面南西付近からの出土量が多い。陶器は、産地では各時期とも肥前産が圧倒的に多いものの、大窯期の瀬戸美濃産も若干量認められる。器種は、碗や皿などの食膳具のほかに、貯蔵具が認められる。調理具は出土していない。磁器は肥前産が多数を占めるが、舶載と思われる磁器片も若干出土している。瀬戸産の磁器は１点のみ出土した。

## ６　金属製品･金属関連製品

鉄製品･銭貨･羽口･鉄滓･坩堝が出土した。羽口･鉄滓･坩堝はST202から、鉄製品と銭貨は遺跡全域から出土した。掲載したものは鉄製品(釘)１点と坩堝１点のみである。

鉄製品は、SN107炉跡及びST202から釘がそれぞれ１点出土しているほか、形状をとどめない鉄製品が約31点出土した。釘は形状から中近世と所産と考えられる。SN107炉跡出土の釘(297-30)を掲載した。形状をとどめない鉄製品はいずれも盛土や表土層付近で出土したことから、近現代まで下る可能性もある。

銭貨は17点出土した。寛永通寶７点、元豊通寶１点、元符通寶１点、至道元寶１点、皇宋通寶１点、判読不明６点である。羽口は６点、鉄滓は63点(1,795g)、坩堝は１点出土した。坩堝の付着金属は鉄である可能性が高いことが指摘されている(第５章第11節)。

## ７　木材

SA1171柱列跡で、柱と推定される木材が12点出土した。残存状態が悪いため、樹種は切片の観察により同定を行った４点以外は不明である(第５章第１節参照)。木材は幅約25～40cmの円形断面で、基部は粗く加工され尖る。

秋田県文化財調査報告書第464集
漆　下　遺　跡
―森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書XXⅢ―
第１分冊　本　文　篇

印刷・発行　平成23年１月
編　　集　秋田県埋蔵文化財センター
〒014－0802　大仙市払田字牛嶋20番地
電話(0187)69－3331　FAX(0187)69－3330
発　　行　秋田県教育委員会
〒010－8580　秋田市山王三丁目１番１号
電話(018)860－5193
印　　刷　秋田協同印刷株式会社

／埋蔵文化財／漆下遺跡・第２分冊・表紙／表紙　2011.01.21 13.51.35　Page 1

秋田県文化財調査報告書第464集

漆　下　遺　跡　第２分冊　遺構図・遺構内出土遺物図篇

２０１１・１　秋田県教育委員会

秋田県文化財調査報告書第464集

# 漆　下　遺　跡

## ― 森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 XXⅢ ―

## 第２分冊　遺構図・遺構内出土遺物図篇

２０１１・１

秋 田 県 教 育 委 員 会

／埋蔵文化財／漆下遺跡（第１～４分冊）／見返し（共通）　2011.01.21 13.51.53　Page 1

シンボルマークは、北秋田市浦田白坂（しろざか）遺跡
出土の「岩偶」です。
縄文時代晩期初頭、1992年８月発見、高さ７㎝、凝灰岩。

／埋蔵文化財／漆下遺跡（第１～４分冊）／第２分冊・扉　2011.01.21 13.52.05　Page 3

# 漆（うるし）下（した）遺跡

― 森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 XXⅢ ―

## 第２分冊　遺構図・遺構内出土遺物図篇

２０１１・１

秋 田 県 教 育 委 員 会

／埋蔵文化財／漆下遺跡（第１～４分冊）／第２分冊・目次　2011.01.21 13.52.26　Page 10

秋田県文化財調査報告書第464集
『漆下遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書XXⅢ－』第１～５分冊
第２分冊　遺構図・遺構内出土遺物図篇

# 本　文　目　次

凡例……i　　挿図目次……ii～vi　　表目次……vi

# 挿　図　目　次

第19図　遺構配置図区割図……1(363)
第20図　遺構配置図分割図①……2(364)
第21図　遺構配置図分割図②……3(365)
第22図　遺構配置図分割図③……4(366)
第23図　遺構配置図分割図④……5(367)
第24図　遺構配置図分割図⑤……6(368)
第25図　遺構配置図分割図⑥……7(369)
第26図　遺構配置図分割図⑦……8(370)
第27図　遺構配置図分割図⑧……9(371)
第28図　遺構配置図分割図⑨……10(372)
第29図　遺構配置図分割図⑩……11(373)
第30図　遺構配置図分割図⑪……12(374)
第31図　遺構配置図分割図⑫……13(375)
第32図　遺構配置図分割図⑬……14(376)
第33図　遺構配置図分割図⑭……15(377)
第34図　遺構配置図分割図⑮……16(378)
第35図　遺構配置図分割図⑯……17(379)
第36図　遺構配置図分割図⑰……18(380)
第37図　遺構配置図分割図⑱……19(381)
第38図　遺構配置図分割図⑲……20(382)
第39図　遺構配置図分割図⑳……21(383)
第40図　遺構配置図分割図㉑……22(384)
第41図　遺構配置図分割図㉒……23(385)
第42図　縄文(前期)遺構図１　SI10004竪穴住居跡……24(386)
第43図　縄文(前期)遺構図２　SI10106竪穴住居跡……25(387)
第44図　縄文(前期)遺構図３
SK465･466･494･622･10129･10131土坑　……26(388)
第45図　縄文(前期)遺構図４　SK10141･10153土坑、
SKF02･04フラスコ状土坑　……27(389)
第46図　縄文(前期)遺構図５
SKF05フラスコ状土坑、SQ277集石遺構、
SRN425･453土器埋設炉、SN10026焼土遺構……28(390)
第47図　縄文(中期)遺構図１　SI129竪穴住居跡……29(391)
第48図　縄文(中期)遺構図２
SI211･306･524竪穴住居跡　……30(392)
第49図　縄文(中期)遺構図３
SI531･1026竪穴住居跡　……31(393)
第50図　縄文(中期)遺構図４　SI10011竪穴住居跡……32(394)
第51図　縄文(中期)遺構図５
SI10047竪穴住居跡、SK11･677土坑　……33(395)
第52図　縄文(中期)遺構図６　SKT858陥し穴、
SRN903土器埋設炉、SN1096焼土遺構　……34(396)
第53図　縄文(後期)遺構図１
SI171･195･205･226竪穴住居跡　……35(397)
第54図　縄文(後期)遺構図２
SI168･169･170･196･204･312竪穴住居跡　……36(398)
第55図　縄文(後期)遺構図３
SI168･169･170･196･204･312竪穴住居跡　……37(399)
第56図　縄文(後期)遺構図４
SI263･278･313･333竪穴住居跡　……38(400)
第57図　縄文(後期)遺構図５　SI326竪穴住居跡……39(401)
第58図　縄文(後期)遺構図６　SI331竪穴住居跡……40(402)
第59図　縄文(後期)遺構図７　SI332竪穴住居跡……41(403)
第60図　縄文(後期)遺構図８
SI335･353･485竪穴住居跡　……42(404)
第61図　縄文(後期)遺構図９　SI403竪穴住居跡……43(405)
第62図　縄文(後期)遺構図10
SI906･10006竪穴住居跡、SN10005焼土遺構……44(406)
第63図　縄文(後期)遺構図11
SI975･10013･10091竪穴住居跡　……45(407)
第64図　縄文(後期)遺構図12
SB918･921･925掘立柱建物跡　……46(408)
第65図　縄文(後期)遺構図13
SB922･923･927掘立柱建物跡　……47(409)
第66図　縄文(後期)遺構図14
SB924･926･929･930掘立柱建物跡　……48(410)
第67図　縄文(後期)遺構図15
SB928･931･932掘立柱建物跡　……49(411)
第68図　縄文(後期)遺構図16
SB933･937･938･939･940掘立柱建物跡　……50(412)
第69図　縄文(後期)遺構図17
SB941･942･943･944掘立柱建物跡　……51(413)
第70図　縄文(後期)遺構図18
SB945･946･948･949･950掘立柱建物跡　……52(414)
第71図　縄文(後期)遺構図19
SB947･972･1016掘立柱建物跡……53(415)
第72図　縄文(後期)遺構図20
SB1006･1007･1017･1018掘立柱建物跡　……54(416)
第73図　縄文(後期)遺構図21
SB1019･1027･1036･1037･1040掘立柱建物跡……55(417)
第74図　縄文(後期)遺構図22
SB1042･1045･1049･1051掘立柱建物跡　……56(418)
第75図　縄文(後期)遺構図23
SB1054･1060･1105･1106掘立柱建物跡　……57(419)
第76図　縄文(後期)遺構図24
SB1107･1108･1109掘立柱建物跡……58(420)
第77図　縄文(後期)遺構図25
SB1110･1111･1112･1113･1114掘立柱建物跡……59(421)
第78図　縄文(後期)遺構図26　SB1115･1116･1117･1118･
1119･1120掘立柱建物跡　……60(422)
第79図　縄文(後期)遺構図27
SB1121･1122･1123･1124･1125掘立柱建物跡……61(423)
第80図　縄文(後期)遺構図28
SB1126･1127･1128･1129掘立柱建物跡　……62(424)
第81図　縄文(後期)遺構図29　SB1130･1131･1133･1134･
1136･1137掘立柱建物跡　……63(425)

／埋蔵文化財／漆下遺跡（第１～４分冊）／第２分冊・目次　2011.01.21 13.52.26　Page 11

第82図　縄文（後期）遺構図30 SB1138・1139・1140・1141・1142・1143掘立柱建物跡 ……64（426）
第83図　縄文（後期）遺構図31 SB1144・1145・1146・1147・1148・1149・1150・1151掘立柱建物跡 ……65（427）
第84図　縄文（後期）遺構図32 SB1155・1156・1157・1158・1159・1160・1161掘立柱建物跡 ……66（428）
第85図　縄文（後期）遺構図33 SB1162・1163・1164・1165・1166・1167・1168掘立柱建物跡 ……67（429）
第86図　縄文（後期）遺構図34 SK12・102・115・120・126・127土坑……68（430）
第87図　縄文（後期）遺構図35 SK131・132・134・135・136・140・141・143土坑 ……69（431）
第88図　縄文（後期）遺構図36 SK144・145・150・152・155・157・161・513土坑、SKF1170フラスコ状土坑 ……70（432）
第89図　縄文（後期）遺構図37 SK158・159・575・576・577・578土坑 ……71（433）
第90図　縄文（後期）遺構図38 SK173・175・176・177・183・519土坑、SKF184フラスコ状土坑 ……72（434）
第91図　縄文（後期）遺構図39 SK187・190・191・192・197・434・436・471・1169土坑 ……73（435）
第92図　縄文（後期）遺構図40 SK206・207・229・230・234・237・238・467・609土坑、SKF594フラスコ状土坑 ……74（436）
第93図　縄文（後期）遺構図41 SK246・260・325・347・348・356・733・875土坑 ……75（437）
第94図　縄文（後期）遺構図42 SK261・352・357・786・789・826土坑 ……76（438）
第95図　縄文（後期）遺構図43 SK336・338・339・343・382土坑、SKF337フラスコ状土坑 ……77（439）
第96図　縄文（後期）遺構図44 SK358・359・361・362・363・364・365・368・369土坑 ‥78（440）
第97図　縄文（後期）遺構図45 SK370・372・373・374・376・426・666土坑 ……79（441）
第98図　縄文（後期）遺構図46 SK380・389・392・394・395・396・417・418・433土坑 ‥80（442）
第99図　縄文（後期）遺構図47 SK431・432・437・438・445土坑 ……81（443）
第100図　縄文（後期）遺構図48 SK439・440・441・442・444・449・450・456土坑、SKF377フラスコ状土坑 ……82（444）
第101図　縄文（後期）遺構図49 SK458・459・460・469・472土坑、SKF457フラスコ状土坑、SKQ367配石土坑 ……83（445）
第102図　縄文（後期）遺構図50 SK476・484・486・487・491・497・500・507・509土坑‥84（446）
第103図　縄文（後期）遺構図51 SK477・478・510・520・525・580・653・726土坑、SKF489フラスコ状土坑 ……85（447）
第104図　縄文（後期）遺構図52 SK516・517・523・528・530・533・534・538土坑、SKF515フラスコ状土坑 ……86（448）
第105図　縄文（後期）遺構図53 SK536・541・543・544・545・637・638・910土坑……87（449）
第106図　縄文（後期）遺構図54 SK548・556・562・564・565・566・571・584土坑、SKF241フラスコ状土坑 ……88（450）
第107図　縄文（後期）遺構図55 SK574・579・583・585・586・587・591土坑……89（451）
第108図　縄文（後期）遺構図56 SK588・600・602・603・605・606・608土坑、SKQ287配石土坑 ……90（452）
第109図　縄文（後期）遺構図57 SK611・612・613・614・618・621・623・627・791・792・793土坑 ……91（453）
第110図　縄文（後期）遺構図58 SK626・629・631・632・633・634・635・639土坑……92（454）
第111図　縄文（後期）遺構図59 SK640・641・644・647・648・676・717土坑……93（455）
第112図　縄文（後期）遺構図60 SK649・651・656・657・658・659・668・744・837土坑、SKF660フラスコ状土坑 ……94（456）
第113図　縄文（後期）遺構図61 SK661・662・667・671・674・686・688・690・740・741・861土坑 ……95（457）
第114図　縄文（後期）遺構図62 SK693・700・701・702・703・704・705・709・1084土坑、SKF795フラスコ状土坑 ……96（458）
第115図　縄文（後期）遺構図63 SK706・710・712・716・718・729・730・734・1087土坑 ……97（459）
第116図　縄文（後期）遺構図64 SK737・739・743・745・746・747・748・805土坑……98（460）
第117図　縄文（後期）遺構図65 SK749・753・756・758・759・760・794・1080土坑、SKQ314・757配石土坑 ……99（461）
第118図　縄文（後期）遺構図66 SK766・767・768・773・774・777・778・782・785土坑 ……100（462）
第119図　縄文（後期）遺構図67 SK796・799・813・814・823・825・831・834・838土坑 ……101（463）
第120図　縄文（後期）遺構図68 SK836・839・842・844・850・851・859土坑、SKF7770フラスコ状土坑 ……102（464）
第121図　縄文（後期）遺構図69 SK855・860・862・869・871・878・886・893土坑、SKF1067フラスコ状土坑 ……103（465）
第122図　縄文（後期）遺構図70 SK891・894・905・908・911・954土坑、SKF561フラスコ状土坑 ……104（466）
第123図　縄文（後期）遺構図71 SK907・916・960・971土坑、SKF790フラスコ状土坑、SQ288・298配石遺構、SR846土器埋設遺構 ……105（467）
第124図　縄文（後期）遺構図72 SK953・956・961・962・968・997土坑、SKQ289・290・974配石土坑 ……106（468）
第125図　縄文（後期）遺構図73 SK963・964・965・966・967・985・990・998土坑、SKF986フラスコ状土坑 ……107（469）
第126図　縄文（後期）遺構図74 SK983・984・999・1002・1029・1033土坑、SKF977・978フラスコ状土坑、SKQ282配石土坑 ……108（470）
第127図　縄文（後期）遺構図75 SK428・1030・1031・1032・1062・1066・1068・1069・1070・1073土坑 ……109（471）
第128図　縄文（後期）遺構図76 SK10081・10083土坑、SKQ270・271・272・10018・10019・10020・10038・10048・10049・10085配石土坑 ……110（472）
第129図　縄文（後期）遺構図77 SK10045・10059・10094・10111土坑 ……111（473）
第130図　縄文（後期）遺構図78 SK1072・1074・1075・1077・1172・10007・10028土坑、SKQ1076配石土坑 ……112（474）
第131図　縄文（後期）遺構図79 SK10109・10121・10130・10142・10143土坑 ……113（475）
第132図　縄文（後期）遺構図80 SKF03・06・148・178フラスコ状土坑 ……114（476）
第133図　縄文（後期）遺構図81 SKF180・185・186・199フラスコ状土坑 ……115（477）
第134図　縄文（後期）遺構図82 SKF200・236・245・247・249・251フラスコ状土坑 ……116（478）
第135図　縄文（後期）遺構図83 SKF259・390・400・411・413・416・422フラスコ状土坑 ……117（479）

／埋蔵文化財／漆下遺跡（第１～４分冊）／第２分冊・目次　2011.01.21 13.52.26　Page 12

第136図　縄文（後期）遺構図84 SKF430・454・464・470・480・483・498フラスコ状土坑 ……118（480）
第137図　縄文（後期）遺構図85 SKF501・502・508・518・535・540・549・553フラスコ状土坑 ……119（481）
第138図　縄文（後期）遺構図86 SKF559・560・567・599・601フラスコ状土坑、SQ300配石遺構 ……120（482）
第139図　縄文（後期）遺構図87 SKF643・663・664・698・699・707・708・713・727フラスコ状土坑 ……121（483）
第140図　縄文（後期）遺構図88 SKF750・752・780・784・788・821・822・845フラスコ状土坑 ……122（484）
第141図　縄文（後期）遺構図89 SKF824・852・856・880・881・883フラスコ状土坑 ……123（485）
第142図　縄文（後期）遺構図90 SKF887・889・890・895・912・958・981・982 フラスコ状土坑、SKQ888配石土坑 ……124（486）
第143図　縄文（後期）遺構図91 SKQ110・149・209配石土坑 ……125（487）
第144図　縄文（後期）遺構図92 SKQ212・213・214・10061・10125・10127配石土坑 ……126（488）
第145図　縄文（後期）遺構図93 SKQ212・213・214・217・221・10061・10125・10127配石土坑 ……127（489）
第146図　縄文（後期）遺構図94 SKQ215・222配石土坑 ……128（490）
第147図　縄文（後期）遺構図95 SKQ224・231・232・268・269配石土坑 ……129（491）
第148図　縄文（後期）遺構図96 SKQ273・274・276・284配石土坑 ……130（492）
第149図　縄文（後期）遺構図97 SKQ283・304・305・308配石土坑 ……131（493）
第150図　縄文（後期）遺構図98 SKQ317・318・319・323 配石土坑、SQ321配石遺構 ……132（494）
第151図　縄文（後期）遺構図99 SKQ407・451・462・496・506・617・742配石土坑 ‥133（495）
第152図　縄文（後期）遺構図100 SKQ763・769・797・804・819・847配石土坑 ……134（496）
第153図　縄文（後期）遺構図101 SKQ848・877・884・902・955・969配石土坑 ……135（497）
第154図　縄文（後期）遺構図102 SKQ10022・10023・10024・10027・10031・10040配石土坑 ……136（498）
第155図　縄文（後期）遺構図103 SKQ10034・10036・10050・10089・10133配石土坑、SN10090焼土遺構 ……137（499）
第156図　縄文（後期）遺構図104 SQ218・219・220配石遺構 ……138（500）
第157図　縄文（後期）遺構図105 SQ225配石遺構 ……139（501）・140（502）
第158図　縄文（後期）遺構図106 SQ223配石遺構 ‥‥141（503）
第159図　縄文（後期）遺構図107 SQ293・294・295・296・297配石遺構 ……142（504）
第160図　縄文（後期）遺構図108 SQ309・315・316・324・340配石遺構 ……143（505）
第161図　縄文（後期）遺構図109 SQ330・1091・1092・1093・1097・1101・10029・10030・10110配石遺構、SQN595・10122石囲炉 ……144（506）
第162図　縄文（後期）遺構図110 SR09・172・228・267・1078・10117・10120土器埋設遺構 ……145（507）
第163図　縄文（後期）遺構図111 SN342・554・1095・1098・1100・1103・10001・10010焼土遺構 ……146（508）
第164図　縄文（後期）遺構図112 SD310・829・830・876溝跡 ……147（509）
第165図　縄文（後期）遺構図113 SM800石積階段状遺構 ……148（510）
第166図　縄文（後期）遺構図114 SM800石積階段状遺構 ……149（511）
第167図　縄文（後期）遺構図115 SM322道跡 ……150（512）
第168図　縄文（後期）遺構図116 SX07性格不明遺構 ……151（513）
第169図　縄文（詳細時期不明）遺構図１ SI355竪穴住居跡、SB951掘立柱建物跡、SK118・123土坑 ……152（514）
第170図　縄文（詳細時期不明）遺構図２ SK133・401・414・473・474・503・555・615・807土坑 ……153（515）
第171図　縄文（詳細時期不明）遺構図３ SK806・809・828・980・988・1003土坑 ……154（516）
第172図　縄文（詳細時期不明）遺構図４ SK10137・10152土坑、SKQ616配石土坑、SQ334配石遺構、SN350・1089焼土遺構 ……155（517）
第173図　縄文（詳細時期不明）遺構図５ SN424・10008・10134焼土遺構 ……156（518）
第174図　縄文（前期）遺構内出土遺物図１ SI10004竪穴住居跡 ……157（519）
第175図　縄文（前期）遺構内出土遺物図２ SI10106竪穴住居跡 ……158（520）
第176図　縄文（前期）遺構内出土遺物図３ SI10106竪穴住居跡 ……159（521）
第177図　縄文（前期）遺構内出土遺物図４ SI10106竪穴住居跡、SK465・466土坑 ……160（522）
第178図　縄文（前期）遺構内出土遺物図５ SK494・622・10131土坑 ……161（523）
第179図　縄文（前期）遺構内出土遺物図６ SK10129・10153土坑、SKF02・04・05フラスコ状土坑、SQ277集石遺構 ……162（524）
第180図　縄文（前期）遺構内出土遺物図７ SQ277集石遺構 ……163（525）
第181図　縄文（前期）遺構内出土遺物図８ SQ277集石遺構 ……164（526）
第182図　縄文（前期）遺構内出土遺物図９ SQ277集石遺構、SRN425・453土器埋設炉 ‥‥165（527）
第183図　縄文（中期）遺構内出土遺物図１ SI129・211・306・524竪穴住居跡 ……166（528）
第184図　縄文（中期）遺構内出土遺物図２ SI531・10011・10047竪穴住居跡 ……167（529）
第185図　縄文（中期）遺構内出土遺物図３ SK11・677土坑、SKT858陥し穴、SRN903土器埋設炉 ……168（530）
第186図　縄文（後期）遺構内出土遺物図１ SI168竪穴住居跡 ……169（531）
第187図　縄文（後期）遺構内出土遺物図２ SI169・170竪穴住居跡 ……170（532）
第188図　縄文（後期）遺構内出土遺物図３ SI171・195・196竪穴住居跡 ……171（533）
第189図　縄文（後期）遺構内出土遺物図４ SI196・205竪穴住居跡 ……172（534）
第190図　縄文（後期）遺構内出土遺物図５ SI226・263竪穴住居跡 ……173（535）
第191図　縄文（後期）遺構内出土遺物図６ SI263・278竪穴住居跡 ……174（536）
第192図　縄文（後期）遺構内出土遺物図７ SI312・326竪穴住居跡 ……175（537）
第193図　縄文（後期）遺構内出土遺物図８ SI326・331竪穴住居跡 ……176（538）

／埋蔵文化財／漆下遺跡（第１～４分冊）／第２分冊・目次　2011.01.21 13.52.26　Page 13

第194図　縄文（後期）遺構内出土遺物図９
SI331・332・333竪穴住居跡 ……177（539）
第195図　縄文（後期）遺構内出土遺物図10
SI353竪穴住居跡 ……178（540）
第196図　縄文（後期）遺構内出土遺物図11
SI403竪穴住居跡 ……179（541）
第197図　縄文（後期）遺構内出土遺物図12
SI485・906・975竪穴住居跡 ……180（542）
第198図　縄文（後期）遺構内出土遺物図13
SI975・10006・10013竪穴住居跡 ……181（543）
第199図　縄文（後期）遺構内出土遺物図14
SB918・921・922・923・924掘立柱建物跡 ……182（544）
第200図　縄文（後期）遺構内出土遺物図15
SB925・926・928・929・930・931掘立柱建物跡 ……183（545）
第201図　縄文（後期）遺構内出土遺物図16 SB931・932・
933・937・938・939・940・941掘立柱建物跡 ……184（546）
第202図　縄文（後期）遺構内出土遺物図17 SB942・943・
944・945・946・947・948・972・1006掘立柱建物跡 ‥185（547）
第203図　縄文（後期）遺構内出土遺物図18
SB1007・1016・1017・1018・1019・1027・1036・1037・
1040・1042掘立柱建物跡 ……186（548）
第204図　縄文（後期）遺構内出土遺物図19
SB1049・1054掘立柱建物跡 ……187（549）
第205図　縄文（後期）遺構内出土遺物図20
SB1060掘立柱建物跡 ……188（550）
第206図　縄文（後期）遺構内出土遺物図21
SB1060・1108・1109掘立柱建物跡 ……189（551）
第207図　縄文（後期）遺構内出土遺物図22
SB1113・1117・1120・1122・1123・1124・1125・
1126掘立柱建物跡 ……190（552）
第208図　縄文（後期）遺構内出土遺物図23
SB1127・1130・1133・1139・1140・1141・1143・1144・
1145・1156・1157・1165・1167掘立柱建物跡 ……191（553）
第209図　縄文（後期）遺構内出土遺物図24
SK12・102・115・120土坑 ……192（554）
第210図　縄文（後期）遺構内出土遺物図25
SK126・127・131・132・134・135・136土坑 ……193（555）
第211図　縄文（後期）遺構内出土遺物図26
SK140・141・143・144・150土坑 ……194（556）
第212図　縄文（後期）遺構内出土遺物図27
SK152・155・157・158土坑 ……195（557）
第213図　縄文（後期）遺構内出土遺物図28
SK159・161・173・175土坑 ……196（558）
第214図　縄文（後期）遺構内出土遺物図29 SK176・183・
190・191・197・206・207・234・237土坑 ……197（559）
第215図　縄文（後期）遺構内出土遺物図30
SK261・325・336土坑 ……198（560）
第216図　縄文（後期）遺構内出土遺物図31
SK338・339・343・347土坑 ……199（561）
第217図　縄文（後期）遺構内出土遺物図32
SK348・352・357・358・359・361・363土坑 ……200（562）
第218図　縄文（後期）遺構内出土遺物図33
SK364・368・370・372土坑 ……201（563）
第219図　縄文（後期）遺構内出土遺物図34
SK373・374・380・389・392・418・426・431土坑 ……202（564）
第220図　縄文（後期）遺構内出土遺物図35
SK432・433・434・438土坑 ……203（565）
第221図　縄文（後期）遺構内出土遺物図36
SK439・440・441・445・459・460・467・469土坑 ……204（566）
第222図　縄文（後期）遺構内出土遺物図37
SK476・484・486・487・497・500・507・509土坑 ……205（567）
第223図　縄文（後期）遺構内出土遺物図38
SK513・519・520・523土坑 ……206（568）
第224図　縄文（後期）遺構内出土遺物図39 SK530・533・
536・541・543・544・545・562・571・575土坑 ……207（569）
第225図　縄文（後期）遺構内出土遺物図40
SK576・577・578・584・588・591・600土坑 ……208（570）
第226図　縄文（後期）遺構内出土遺物図41 SK602・603・
605・606・608・609・611・612・613・614・618土坑 ‥209（571）
第227図　縄文（後期）遺構内出土遺物図42
SK623・627・629・631・632・639・640・647・649・651・
653・656・657土坑 ……210（572）
第228図　縄文（後期）遺構内出土遺物図43 SK659・661・
662・671・674・688・690・693・701土坑 ……211（573）
第229図　縄文（後期）遺構内出土遺物図44 SK705・706・
709・710・712・717・718・729・730・733土坑 ……212（574）
第230図　縄文（後期）遺構内出土遺物図45
SK737・739・740・741・744・746・749・756土坑 ……213（575）
第231図　縄文（後期）遺構内出土遺物図46
SK758・759・760・766・773・782・785・786土坑 ……214（576）
第232図　縄文（後期）遺構内出土遺物図47
SK791・793・794・799・814・823土坑 ……215（577）
第233図　縄文（後期）遺構内出土遺物図48
SK825・826・831・838・839土坑 ……216（578）
第234図　縄文（後期）遺構内出土遺物図49 SK842・855・
859・871・878・893・905・907・908・911・916・953・954・
960・962・963・964・966・968・983土坑 ……217（579）
第235図　縄文（後期）遺構内出土遺物図50
SK956・984・985土坑 ……218（580）
第236図　縄文（後期）遺構内出土遺物図51 SK990・998・
1002・1029・1030・1031・1033・1062土坑 ……219（581）
第237図　縄文（後期）遺構内出土遺物図52 SK1068・1070・
1072・1073・1074・1075・1077・1080土坑 ……220（582）
第238図　縄文（後期）遺構内出土遺物図53
SK10007・10028・10045・10059・10094土坑 ……221（583）
第239図　縄文（後期）遺構内出土遺物図54
SK10109・10111・10130・10142・10143土坑 ……222（584）
第240図　縄文（後期）遺構内出土遺物図55
SKF03・06・148・178・180・184・199・200・236・241・
245フラスコ状土坑 ……223（585）
第241図　縄文（後期）遺構内出土遺物図56
SKF247・251・337フラスコ状土坑 ……224（586）
第242図　縄文（後期）遺構内出土遺物図57
SKF259・377・400・422フラスコ状土坑 ……225（587）
第243図　縄文（後期）遺構内出土遺物図58 SKF416・
430・454・457・464・470・480フラスコ状土坑 ……226（588）
第244図　縄文（後期）遺構内出土遺物図59
SKF498・501・502・540フラスコ状土坑 ……227（589）
第245図　縄文（後期）遺構内出土遺物図60
SKF549・553・559・560・561・567・594・599
フラスコ状土坑 ……228（590）
第246図　縄文（後期）遺構内出土遺物図61
SKF601・663・664・698・699・707・708・713・752・
770フラスコ状土坑 ……229（591）
第247図　縄文（後期）遺構内出土遺物図62 SKF784・
788・790・821・822・824フラスコ状土坑 ……230（592）
第248図　縄文（後期）遺構内出土遺物図63 SKF845・
852・856・880・883・890フラスコ状土坑 ……231（593）

第249図　縄文(後期)遺構内出土遺物図64 SKF912・958・977・978・981・982・986フラスコ状土坑 ····232(594)
第250図　縄文(後期)遺構内出土遺物図65 SKQ110・149・209・213・214配石土坑 ··········233(595)
第251図　縄文(後期)遺構内出土遺物図66 SKQ212配石土坑 ··························234(596)
第252図　縄文(後期)遺構内出土遺物図67 SKQ215・221・222・224・232・268配石土坑 ······235(597)
第253図　縄文(後期)遺構内出土遺物図68 SKQ269・270配石土坑 ······················236(598)
第254図　縄文(後期)遺構内出土遺物図69 SKQ271・272・273・276・283・284配石土坑 ······237(599)
第255図　縄文(後期)遺構内出土遺物図70 SKQ287・289・290配石土坑 ··················238(600)
第256図　縄文(後期)遺構内出土遺物図71 SKQ304・305・308・314・317・319・323・367配石土坑 ······239(601)
第257図　縄文(後期)遺構内出土遺物図72 SKQ318・462配石土坑 ······················240(602)
第258図　縄文(後期)遺構内出土遺物図73 SKQ496・506配石土坑 ······················241(603)
第259図　縄文(後期)遺構内出土遺物図74 SKQ617・742・763・769・797・819・847・884・969・1076配石土坑 ······························242(604)
第260図　縄文(後期)遺構内出土遺物図75 SKQ10019・10022・10027・10031・10034・10036・10040・10050・10061・10089・10133配石土坑 ··········243(605)
第261図　縄文(後期)遺構内出土遺物図76 SQ219・223配石遺構 ························244(606)
第262図　縄文(後期)遺構内出土遺物図77 SQ225・1091・1101配石遺構 ··················245(607)
第263図　縄文(後期)遺構内出土遺物図78 SQ293・298配石遺構 ························246(608)
第264図　縄文(後期)遺構内出土遺物図79 SQ321配石遺構 ····························247(609)
第265図　縄文(後期)遺構内出土遺物図80 SQN595石囲炉、SR09・228・267土器埋設遺構 ················248(610)
第266図　縄文(後期)遺構内出土遺物図81 SR172・846・1078・10120土器埋設遺構 ········249(611)
第267図　縄文(後期)遺構内出土遺物図82 SR10117土器埋設遺構、SN342・554・1095・1098・1100焼土遺構 ······························250(612)
第268図　縄文(後期)遺構内出土遺物図83 SN1103・10001焼土遺構、SD153溝跡、SM800石積階段状遺構 ······················251(613)
第269図　縄文(後期)遺構内出土遺物図84 SX07性格不明遺構 ························252(614)
第270図　縄文(後期)遺構内出土遺物図85 SX07性格不明遺構 ························253(615)
第271図　縄文(後期)遺構内出土遺物図86 SX07性格不明遺構 ························254(616)
第272図　縄文(後期)遺構内出土遺物図87 SX07性格不明遺構 ························255(617)
第273図　縄文(後期)遺構内出土遺物図88 SX07性格不明遺構 ························256(618)
第274図　縄文(後期)遺構内出土遺物図89 SX07性格不明遺構 ························257(619)
第275図　縄文(後期)遺構内出土遺物図90 SX07性格不明遺構 ························258(620)
第276図　縄文(後期)遺構内出土遺物図91 SX07性格不明遺構 ························259(621)
第277図　縄文(後期)遺構内出土遺物図92 SX07性格不明遺構 ························260(622)
第278図　縄文(後期)遺構内出土遺物図93 SK1172土坑 ······························261(623)
第279図　縄文(詳細時期不明)遺構内出土遺物図１ SI355竪穴住居跡、SK401土坑、SN424・1089焼土遺構 ·····························262(624)
第280図　縄文(詳細時期不明)遺構内出土遺物図２ SK10152土坑 ·····························263(625)
第281図　縄文(詳細時期不明)遺構内出土遺物図３ 柱穴様ピット(１) ··························264(626)
第282図　縄文(詳細時期不明)遺構内出土遺物図４ 柱穴様ピット(２) ··························265(627)
第283図　縄文(詳細時期不明)遺構内出土遺物図５ 柱穴様ピット(３) ··························266(628)
第284図　縄文(詳細時期不明)遺構内出土遺物図６ 柱穴様ピット(４) ··························267(629)
第285図　弥生以降遺構図１ SKI111竪穴状遺構··························268(630)
第286図　弥生以降遺構図２ SB1009・1010掘立柱建物跡 ··················269(631)
第287図　弥生以降遺構図３ SB1011・1012・1013掘立柱建物跡··············270(632)
第288図　弥生以降遺構図４ SB1014掘立柱建物跡 ····271(633)
第289図　弥生以降遺構図５ SB1015掘立柱建物跡、SA1028柱列跡 ········272(634)
第290図　弥生以降遺構図６ SA1171柱列跡 ··················273(635)・274(636)
第291図　弥生以降遺構図７ SK266・281・354土坑、SN106・107焼土遺構 ························275(637)
第292図　弥生以降遺構図８ SN103・105焼土遺構 ····276(638)
第293図　弥生以降遺構図９ SN104焼土遺構 ········277(639)
第294図　時期不明遺構図１ SD547・589・590・592・593溝跡 ················278(640)
第295図　時期不明遺構図２ SD13・153・156・812溝跡 ··279(641)
第296図　弥生以降遺構内出土遺物図１ SKI111竪穴状遺構、SB1012・1013掘立柱建物跡、SK266・281土坑 ··························280(642)
第297図　弥生以降遺構内出土遺物図２ SK354土坑、SN103・105・107焼土遺構、SKP1555・1624・1925柱穴様ピット ····················281(643)

# 表　目　次

第14表　遺構内出土土器類観察表１～27 ································282(644)～308(670)
第15表　遺構内出土石器類観察表１～８ ································309(671)～316(678)

## 第２分冊　遺構図・遺構内出土遺物図篇

# 凡　　例

1　本書に掲載した平面図の方位は日本測地系平面直角座標第X系座標北である。巻末の報告書抄録の経緯度は世界測地系に準拠する。

2　頁番号は各分冊ごとに１から付し、総頁番号を(　)を付けて併記した。

3　略記号は以下の通りである。

| | | | |
|---|---|---|---|
| SI　：竪穴住居跡 | SQ　：配石遺構･集石遺構 | SM　：道跡･石積階段状遺構 | RP：土器 |
| SB　：掘立柱建物跡 | SQN：石囲炉･立石炉 | ST　：捨て場 | RQ：石器 |
| SK　：土坑 | SR　：土器埋設遺構 | SA　：柱列跡 | S　：礫 |
| SKF：フラスコ状土坑 | SRN：土器埋設炉･土器片囲炉 | SKI：竪穴状遺構 | |
| SKQ：配石土坑 | SN　：焼土遺構･炉跡 | SX　：性格不明遺構 | |
| SKT：陥し穴 | SD　：溝跡 | SKP：柱穴様ピット | |

※SKFフラスコ状土坑は、上端より壁もしくは下端が広い部分があるものとした。

4　遺構図及び遺物図の縮尺は以下の通りである。各図にスケールを付した。

SI：１/20、１/40、１/50　SI炉･SRN･SN：１/20、１/40　SB：１/100　SR：１/20　SM･SX：１/80

SK･SKF･SKQ･SQ･SQN･SKT･SKI：１/40　SD：１/40、１/80、１/160　SA：1/80、１/100　ST：１/60

土器実測図：遺構内１/３(遺構内)、１/４(捨て場･遺構外)　土製品実測図：１/３、１/４

石器実測図：剥片石器１/２、１/３　礫石器１/３、１/４　石皿１/４、１/６　石製品実測図：１/２、１/３、１/４

5　土層は基本層序にローマ数字(Ⅰ、Ⅱ・・・)、遺構堆積土にはアラビア数字(１、２・・・)を用いた。基本層位は数箇所で観察しており、それぞれにA～Gの識別番号を付した。「ＡⅠ層」は「基本層序AにおけるⅠ層」を表す。

6　土器実測図は、土器断面図の左側に外面図(拓影)、右側に内面図(拓影)を配した。

7　遺物番号は挿図ごとに１から付した。実測図を掲載せず写真のみを掲載した遺物は、図版ごとに①から番号を付した。なお写真のみを掲載した遺物についても、各遺物一覧表に基礎情報を記載している。

8　遺物番号は、第１図１を１－１、図版１の①を図版１－①のように略述した。遺物写真図版や遺構内遺物出土状況図などの遺物番号は挿図中の遺物番号と一致する。

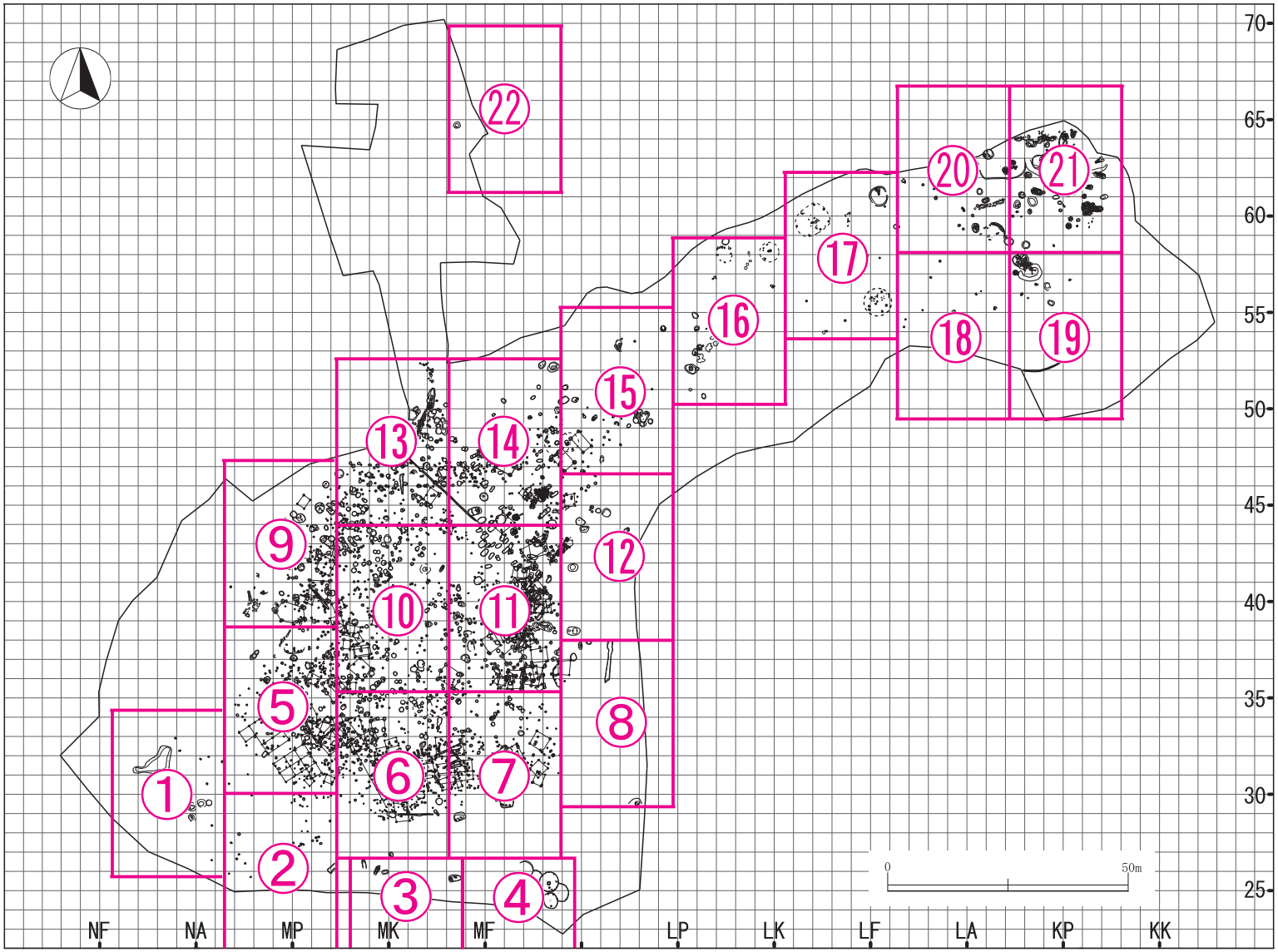
9　表の凡例は、各表の冒頭に記載した。

10　遺構平面図の礫に付した番号は第56表に対応する。

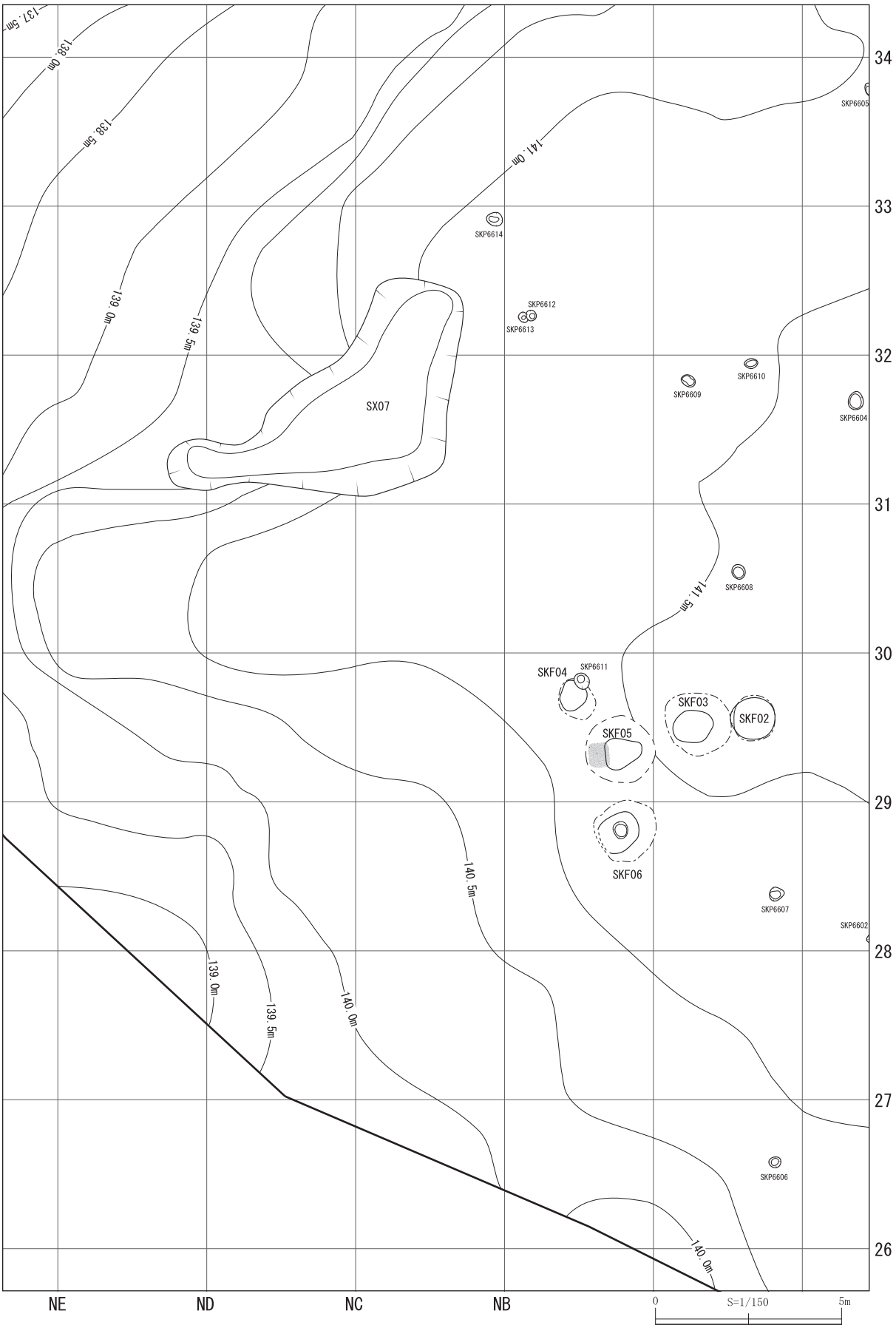
11　挿図中に用いたスクリーントーン・記号の凡例は以下の通りである。

＜遺構関連＞

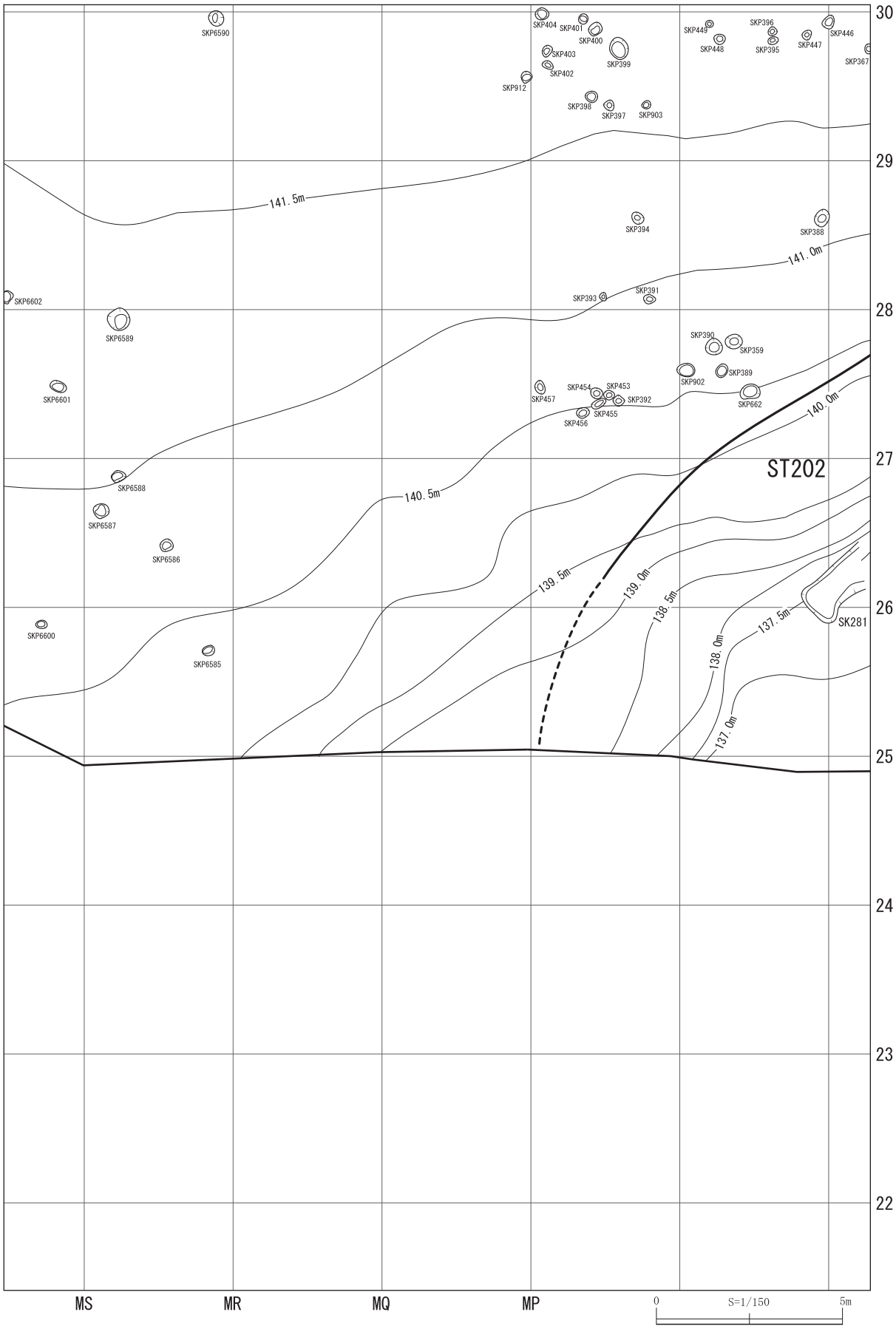
＜遺物関連＞



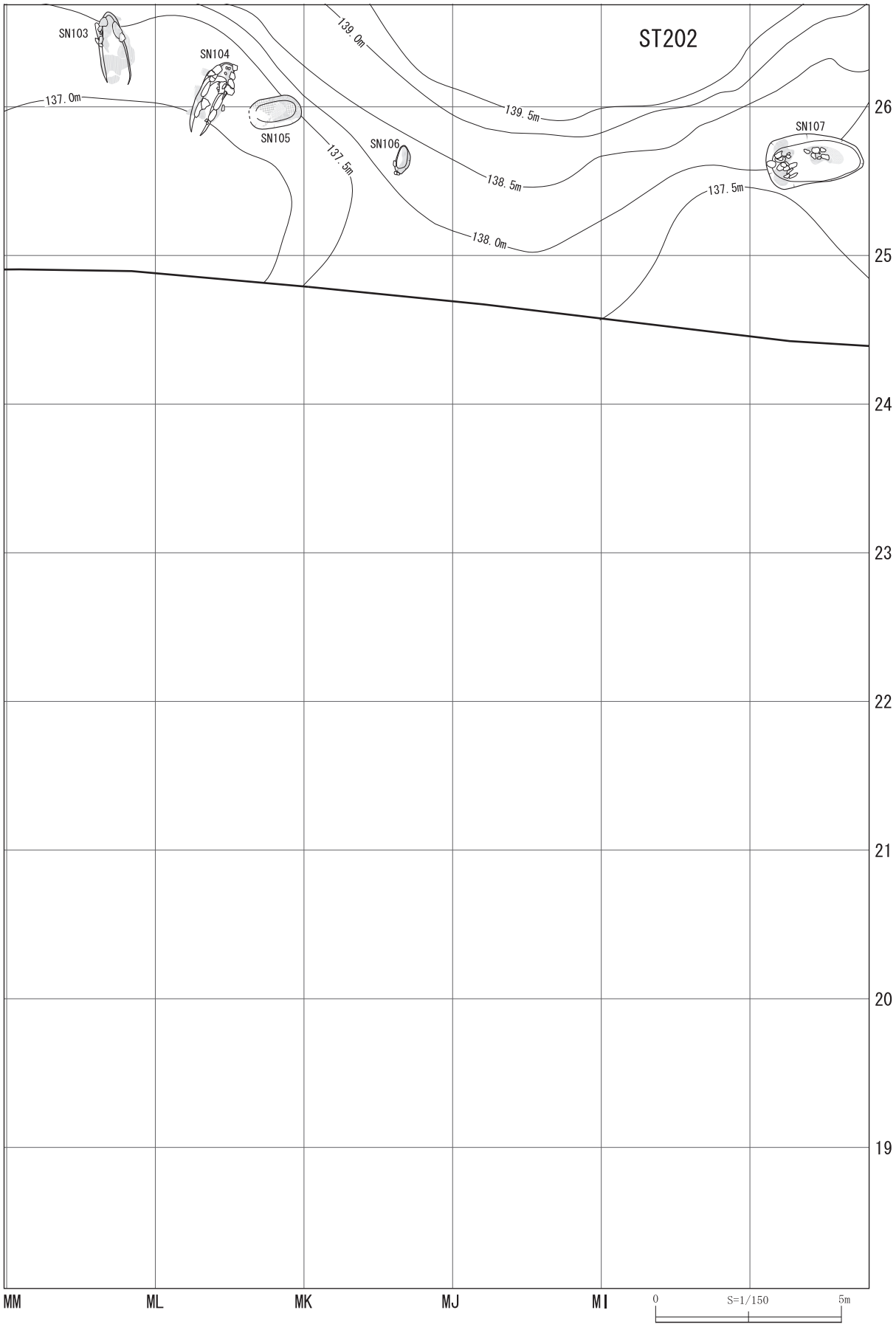

第19図　遺構配置図区割図



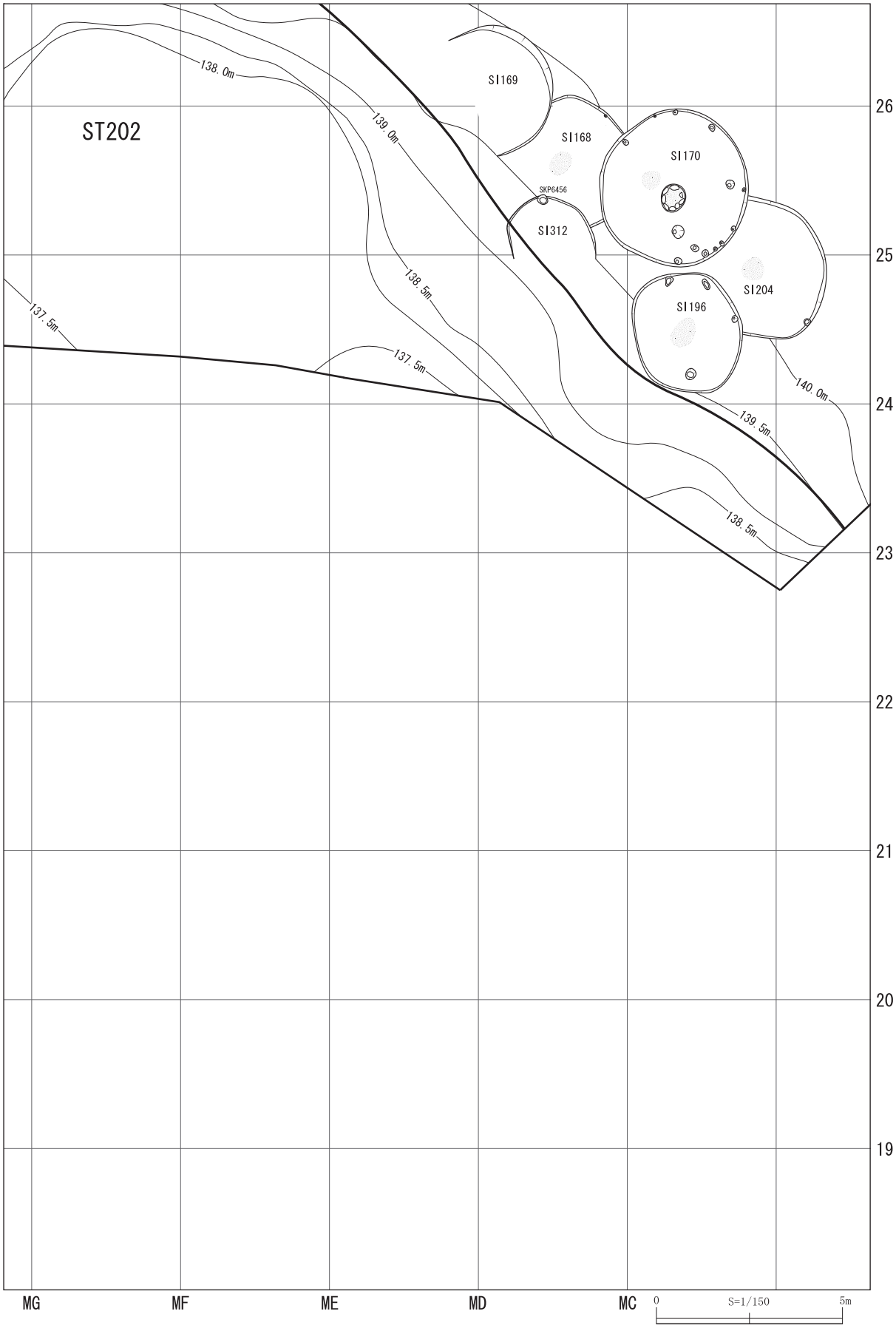

第20図　遺構配置図分割図①



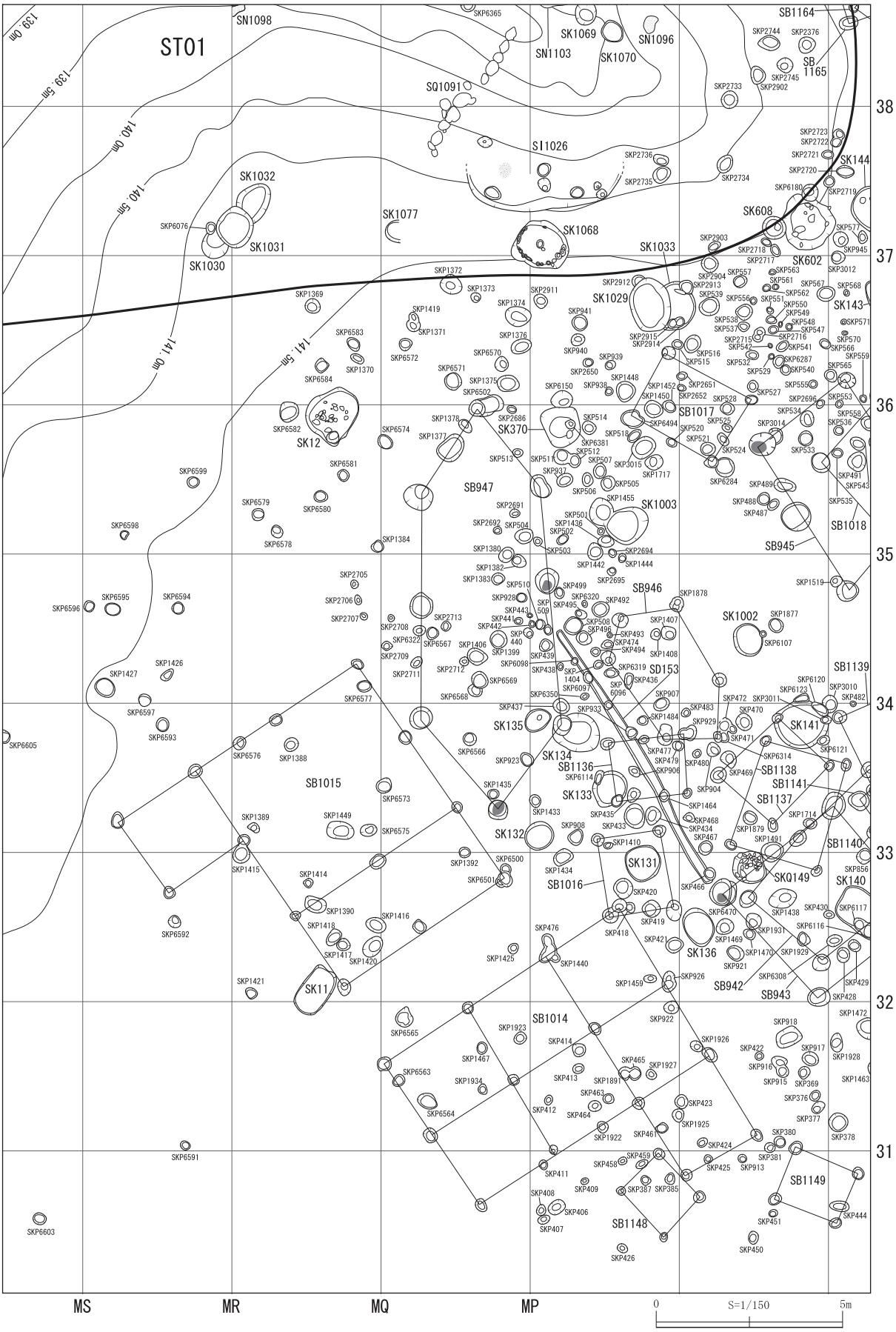

第21図　遺構配置図分割図②




第22図　遺構配置図分割図③

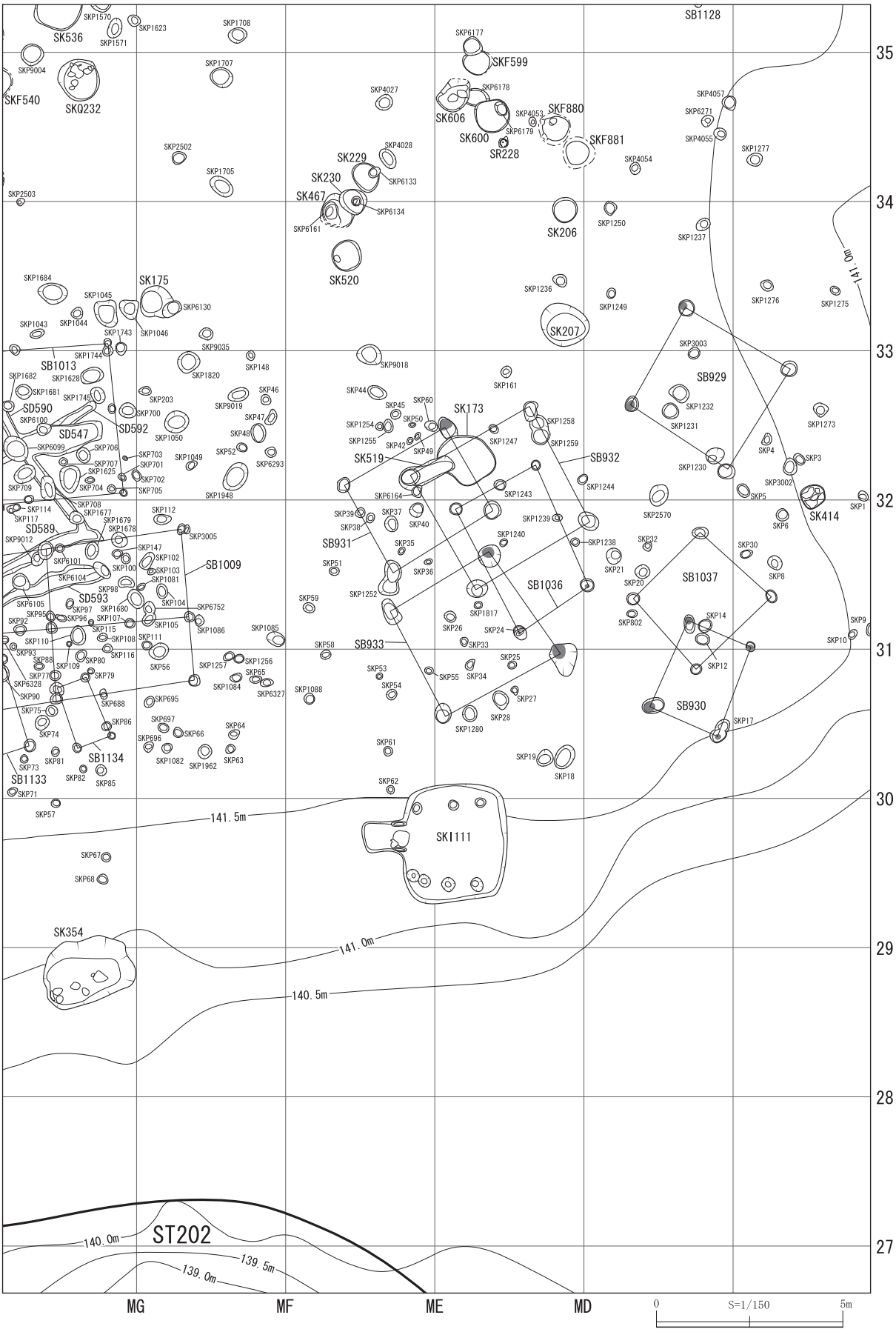



第23図　遺構配置図分割図④

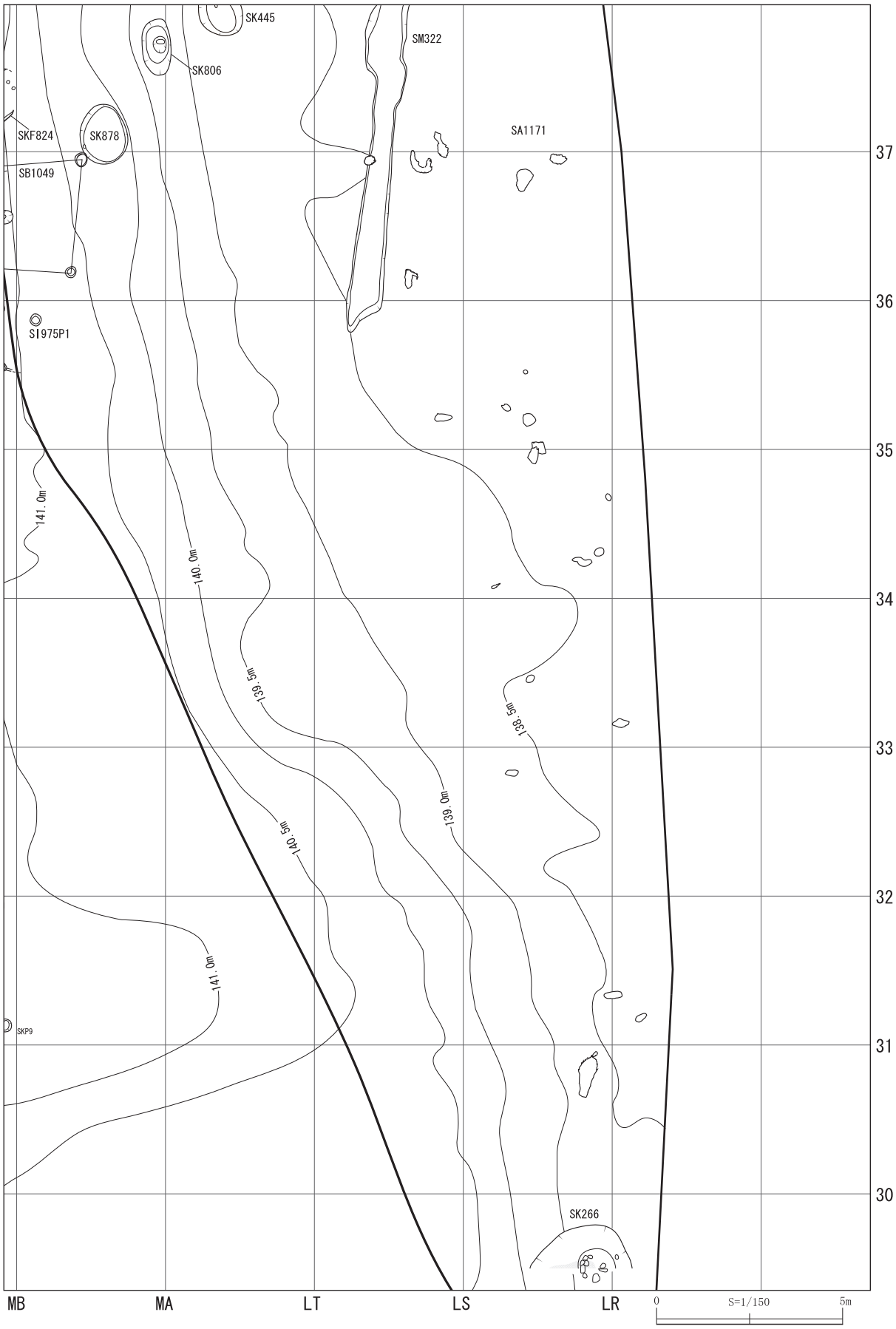



第24図　遺構配置図分割図⑤

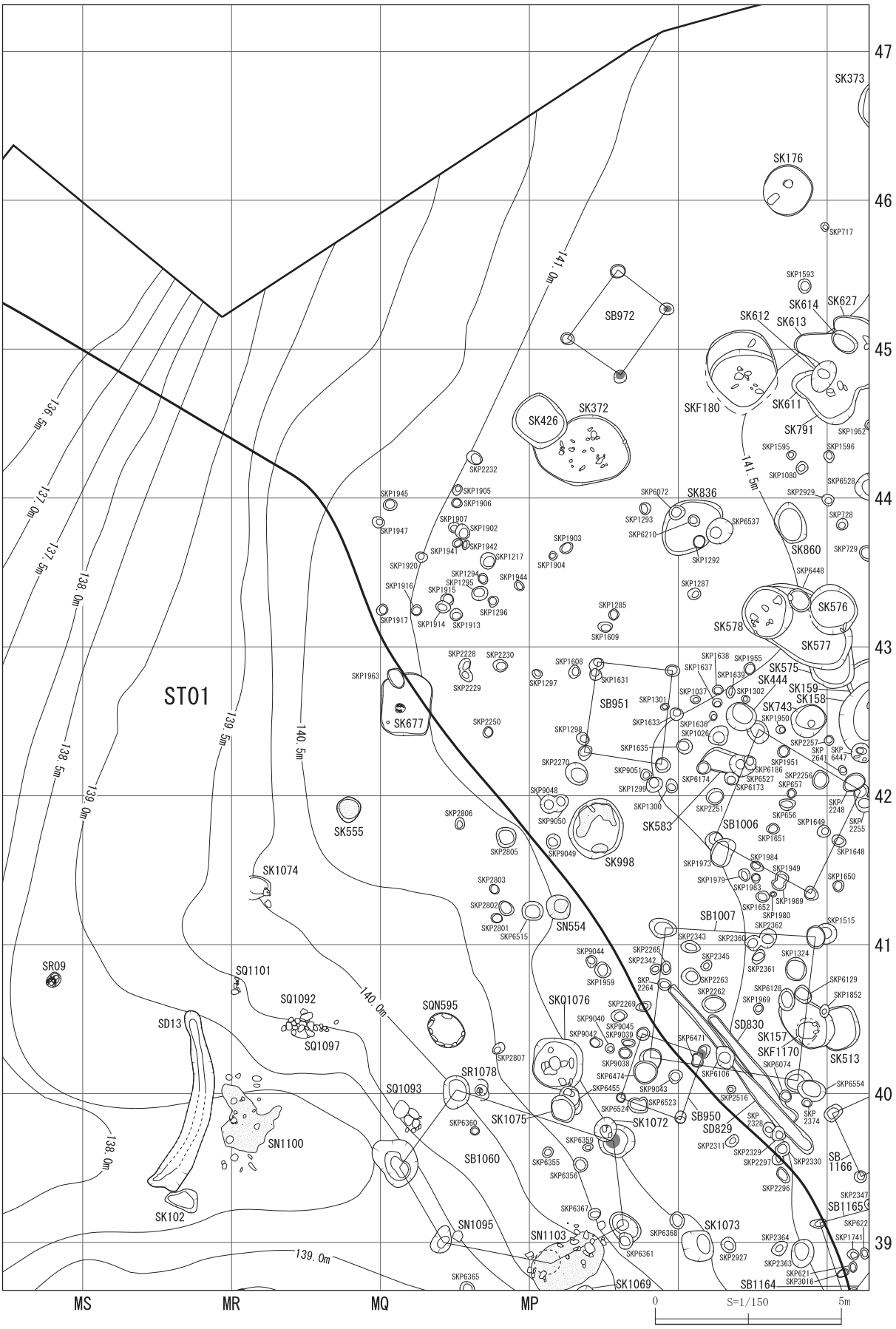
第25図　遺構配置図分割図⑥



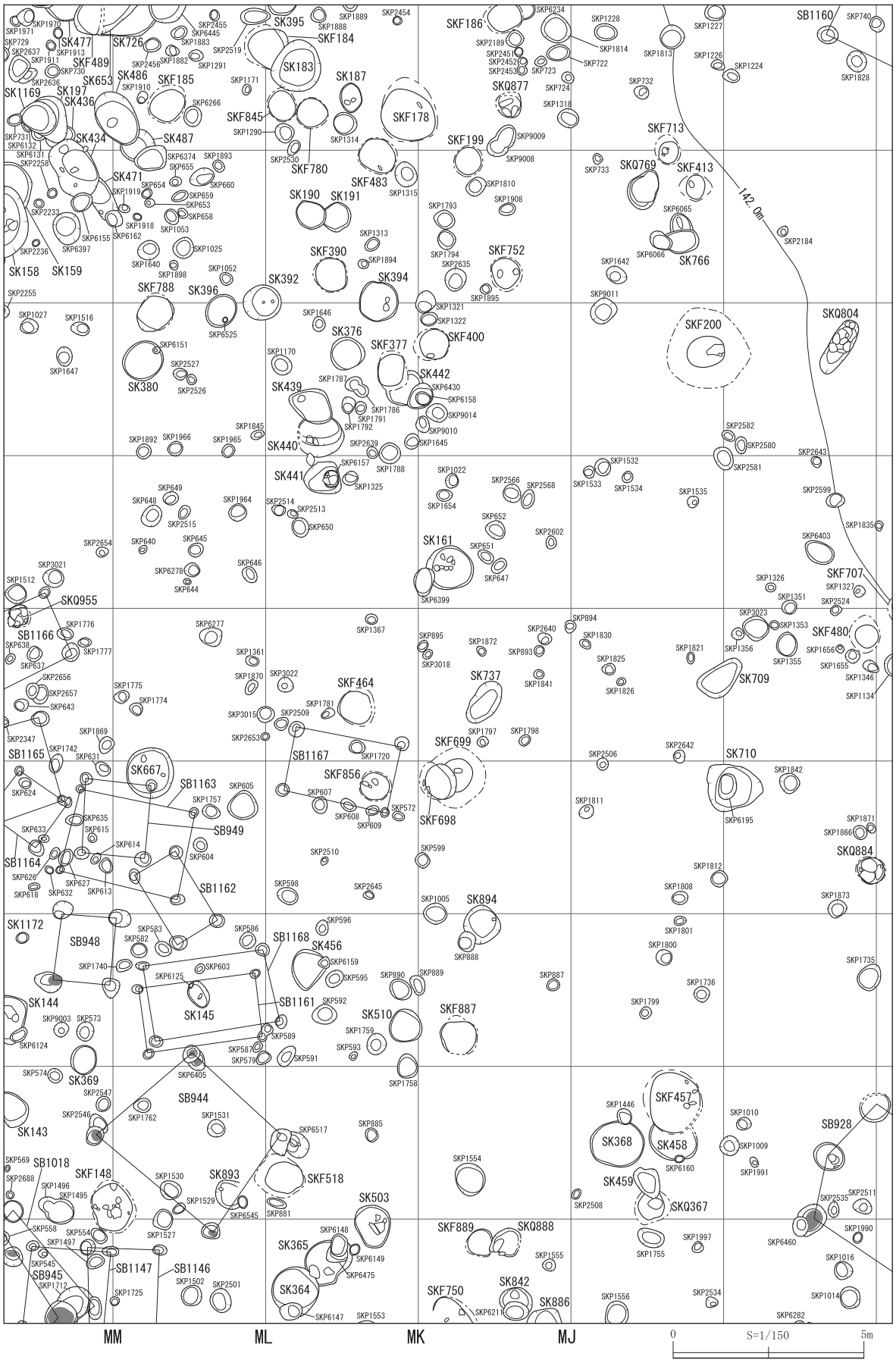

第26図　遺構配置図分割図⑦



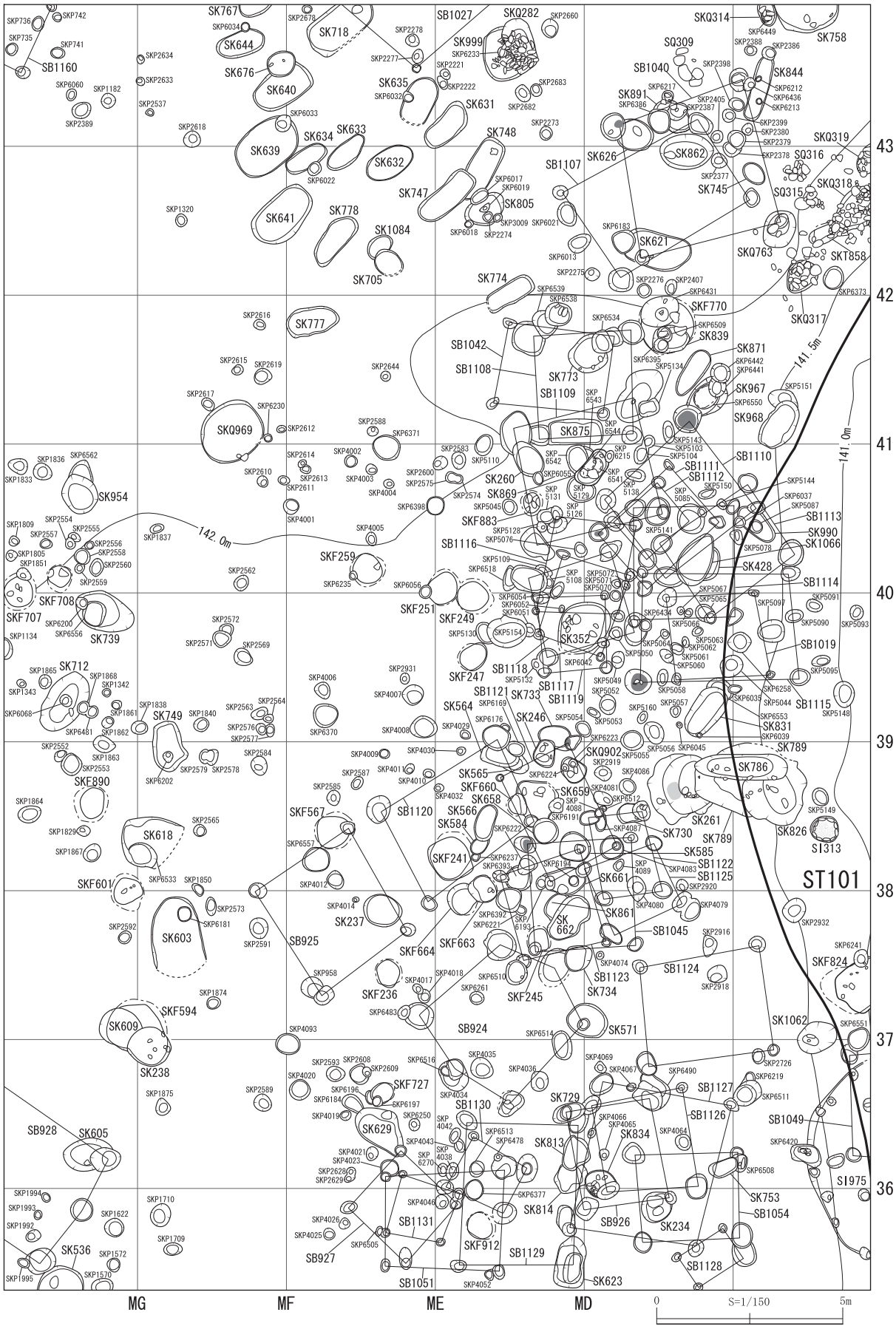

第27図　遺構配置図分割図⑧



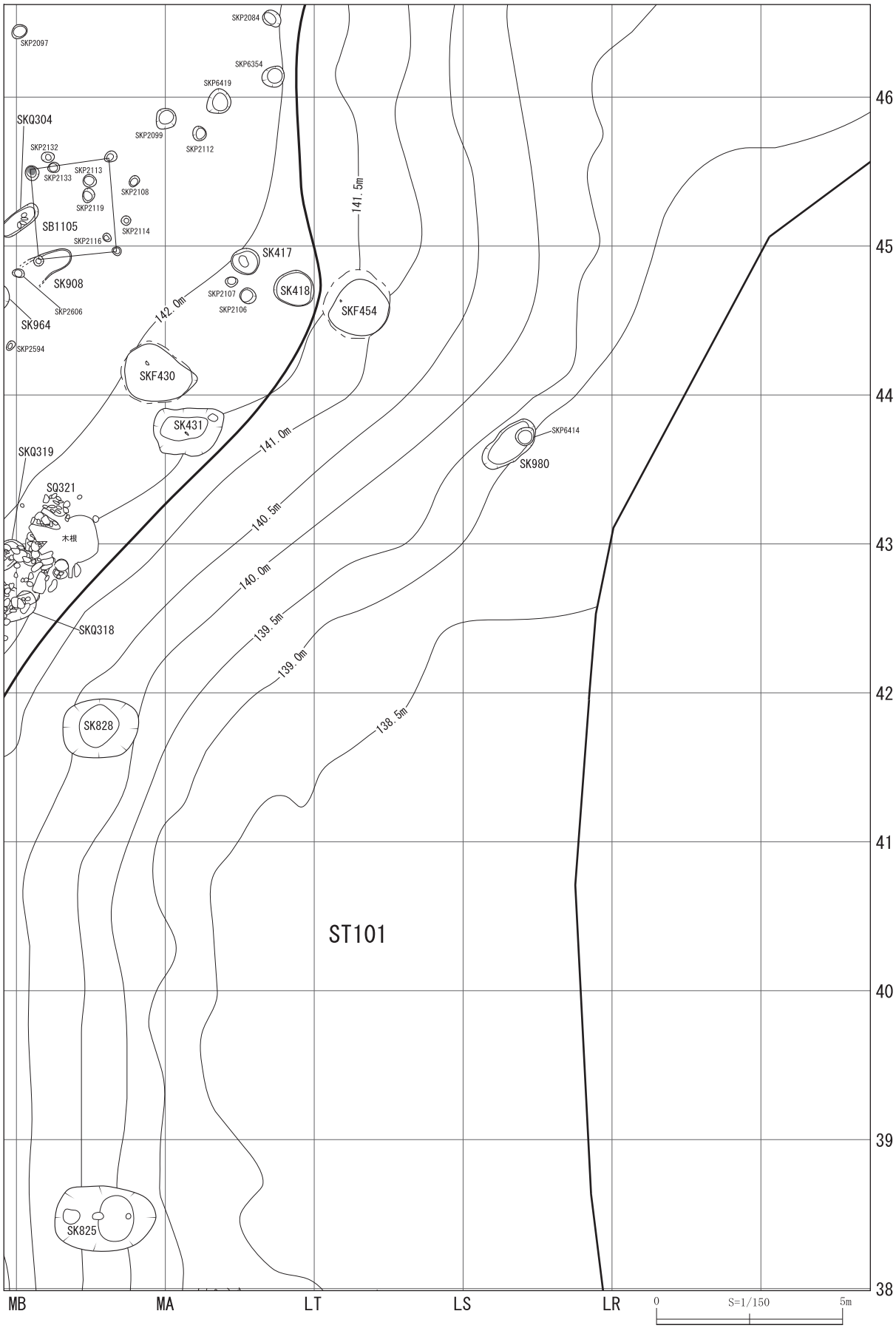

第28図　遺構配置図分割図⑨




第29図　遺構配置図分割図⑩

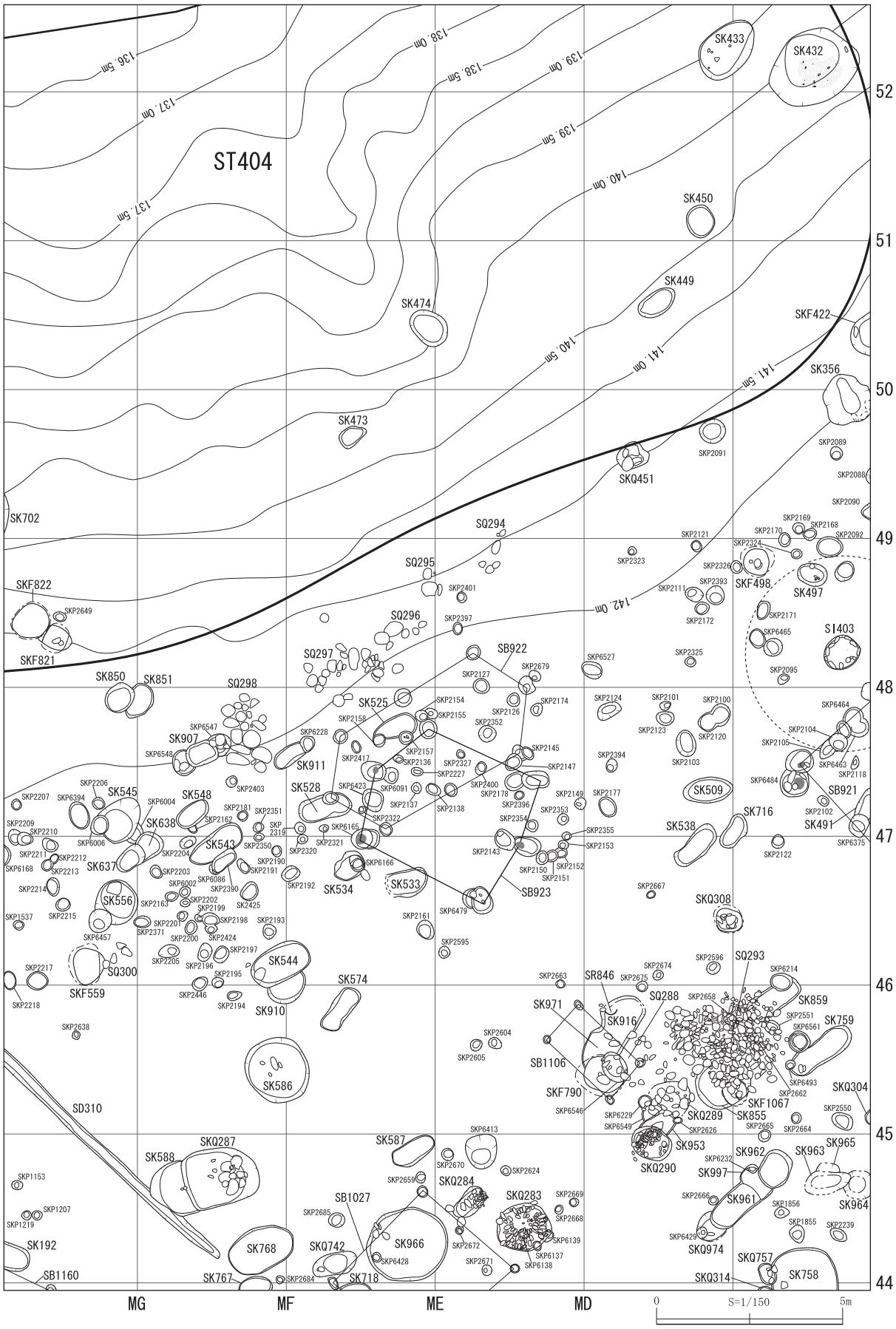



第30図　遺構配置図分割図⑪

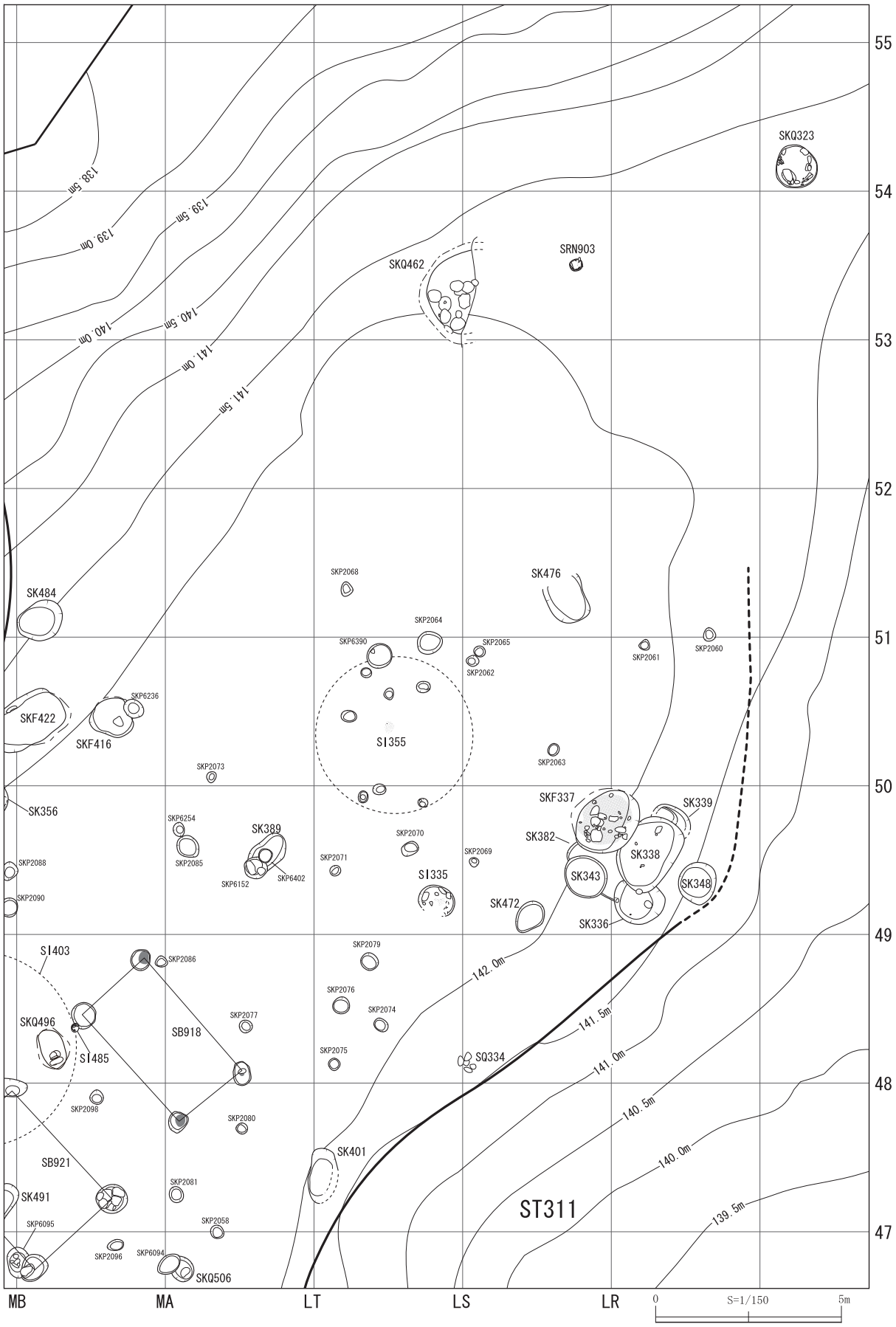



第31図　遺構配置図分割図⑫

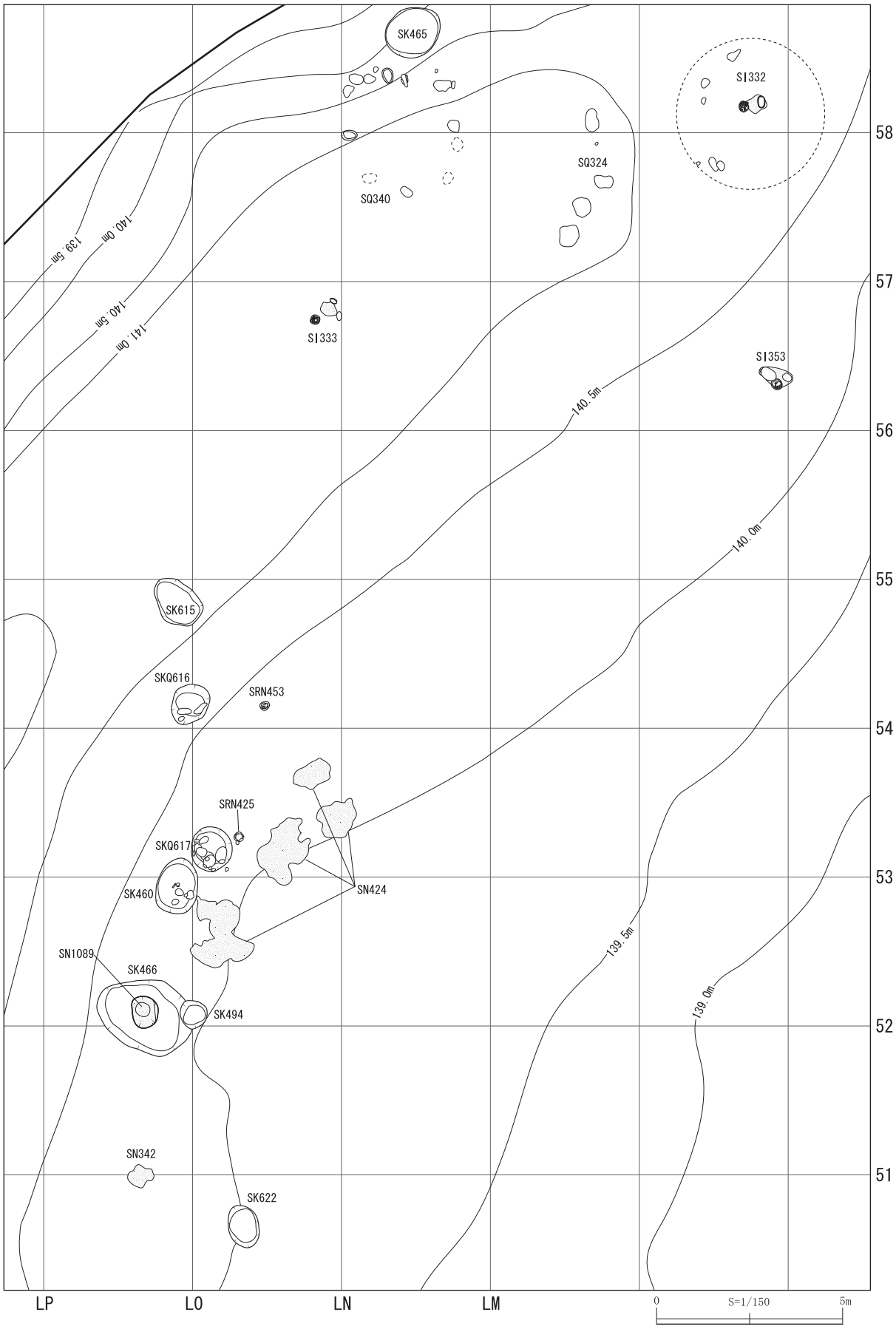
第32図　遺構配置図分割図⑬



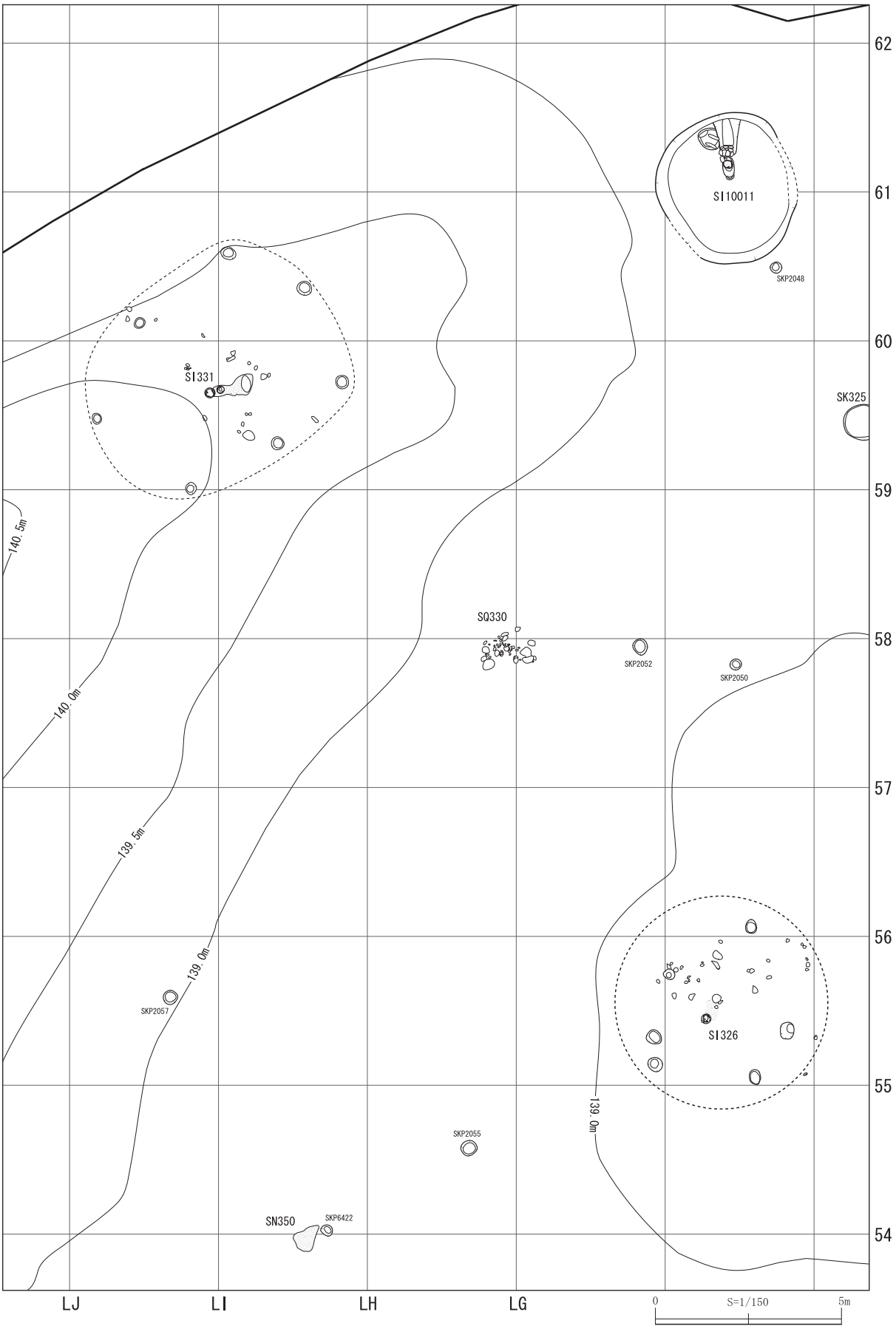

第33図　遺構配置図分割図⑭



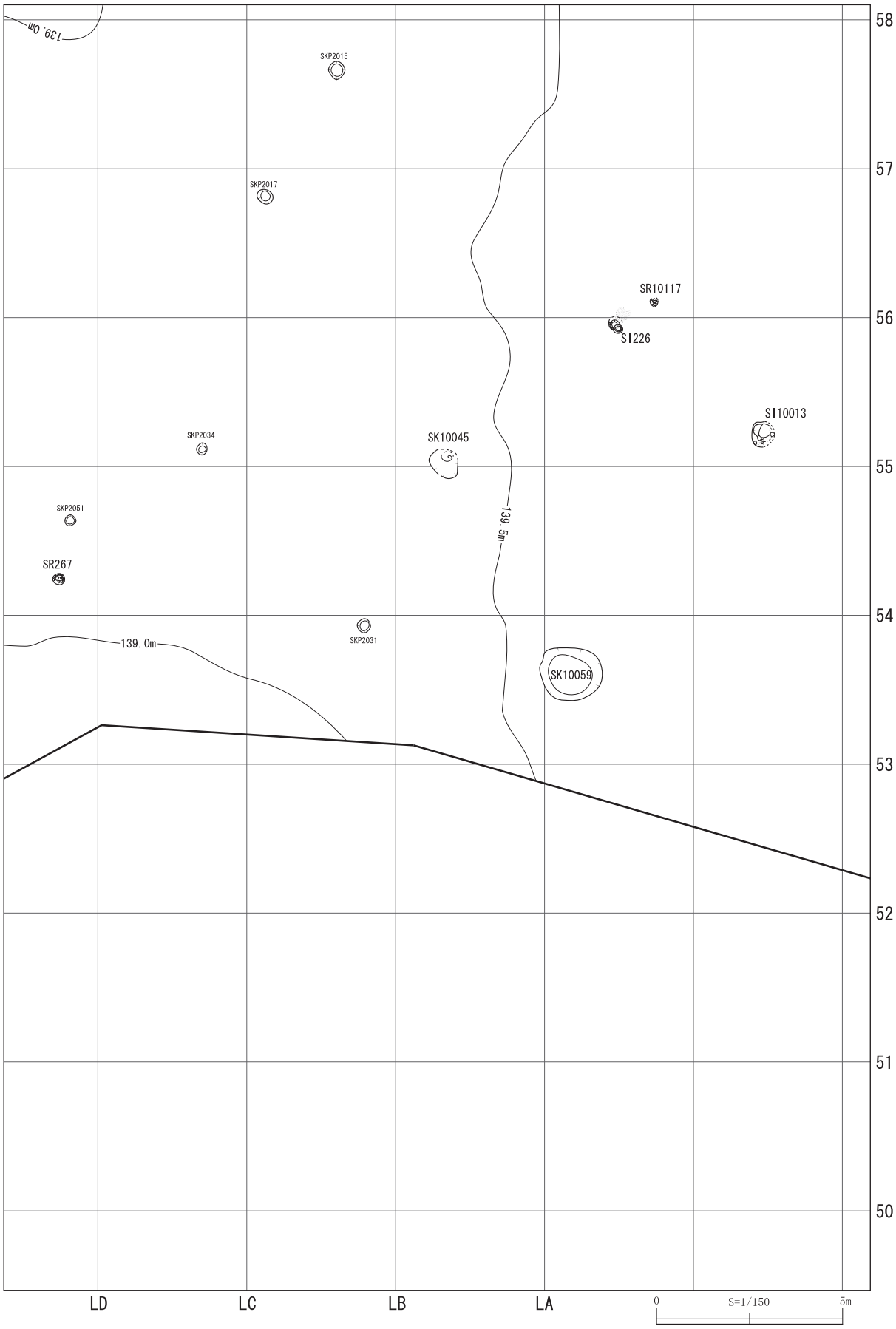

第34図　遺構配置図分割図⑮



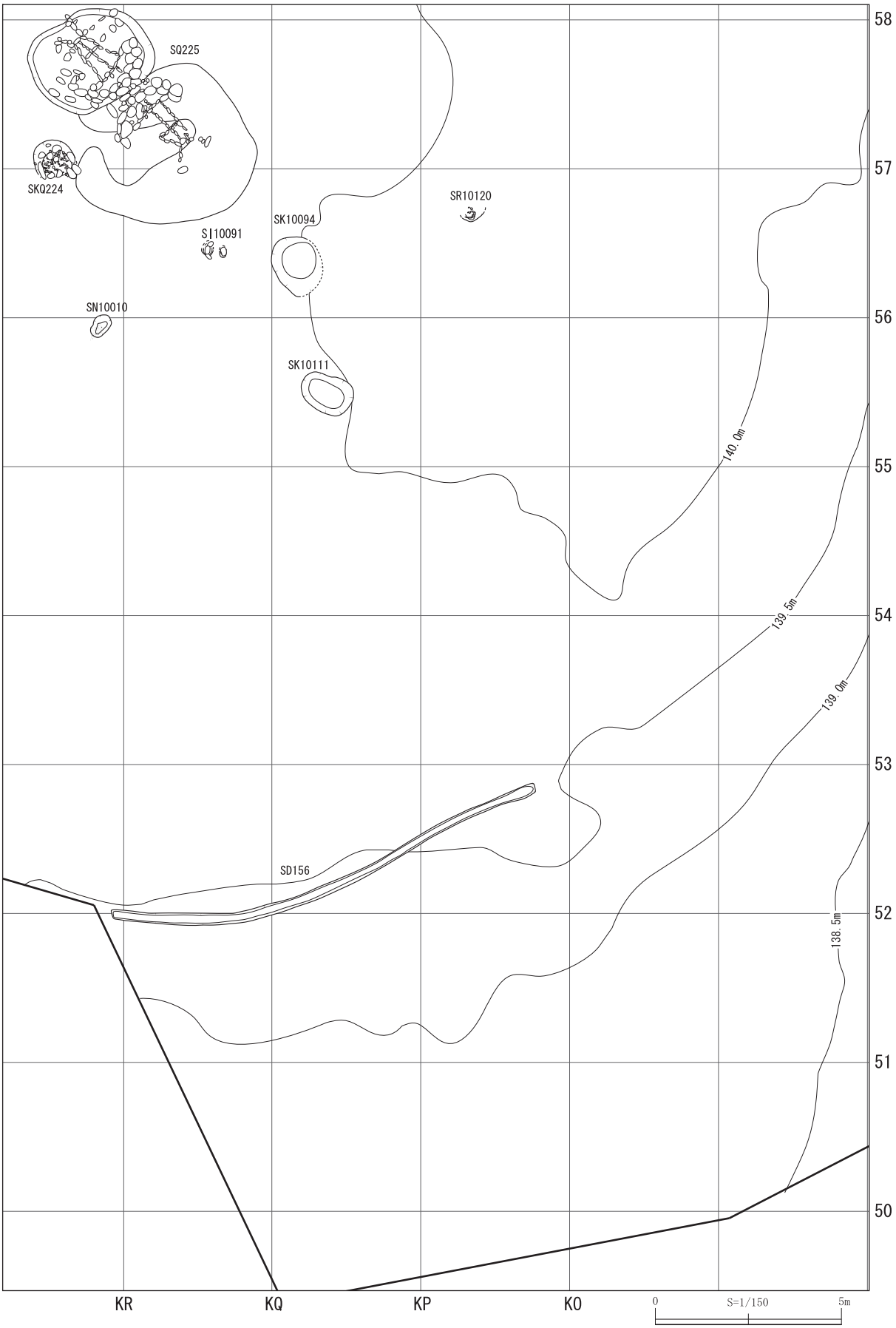

第35図　遺構配置図分割図⑯



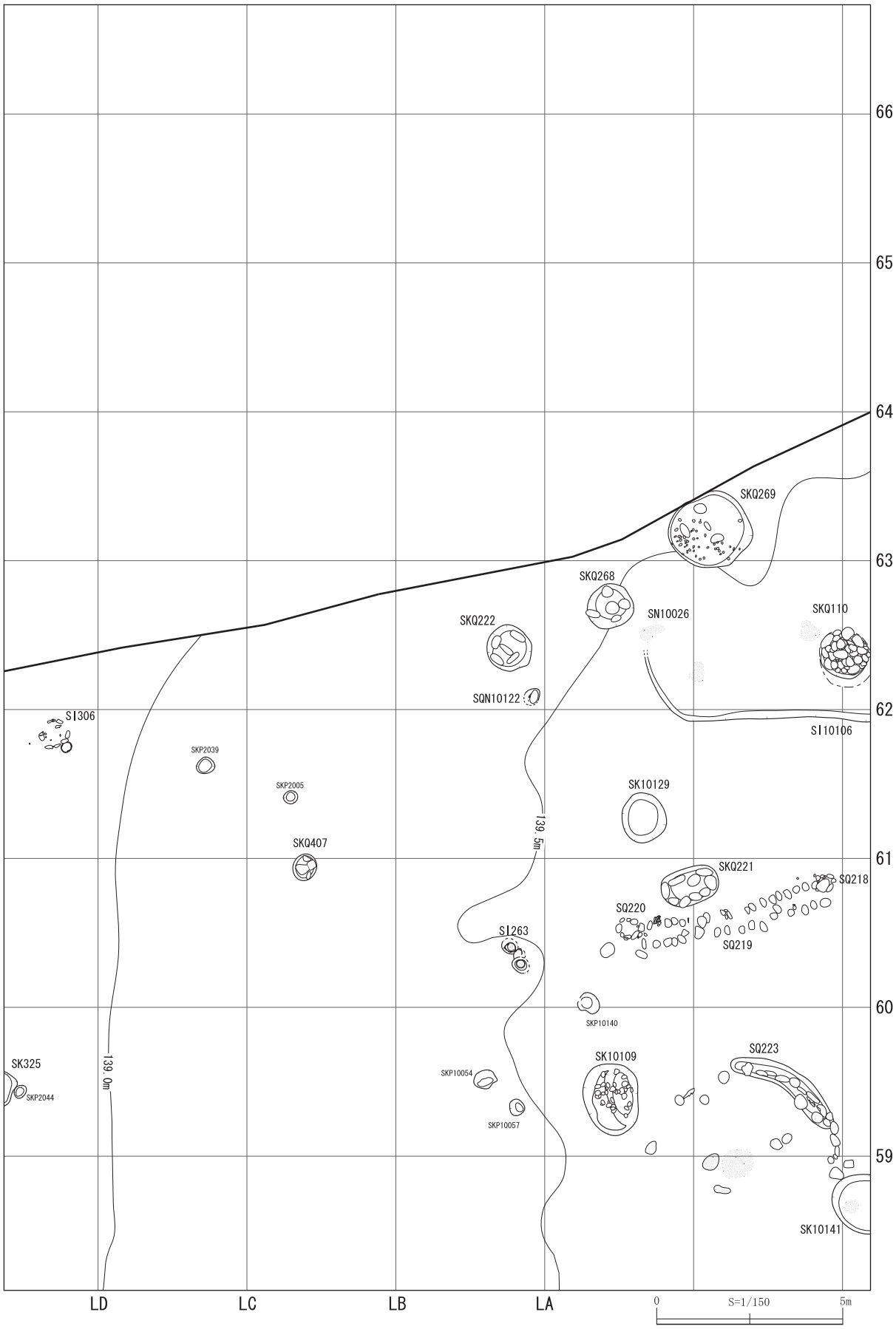

第36図　遺構配置図分割図⑰




第37図　遺構配置図分割図⑱

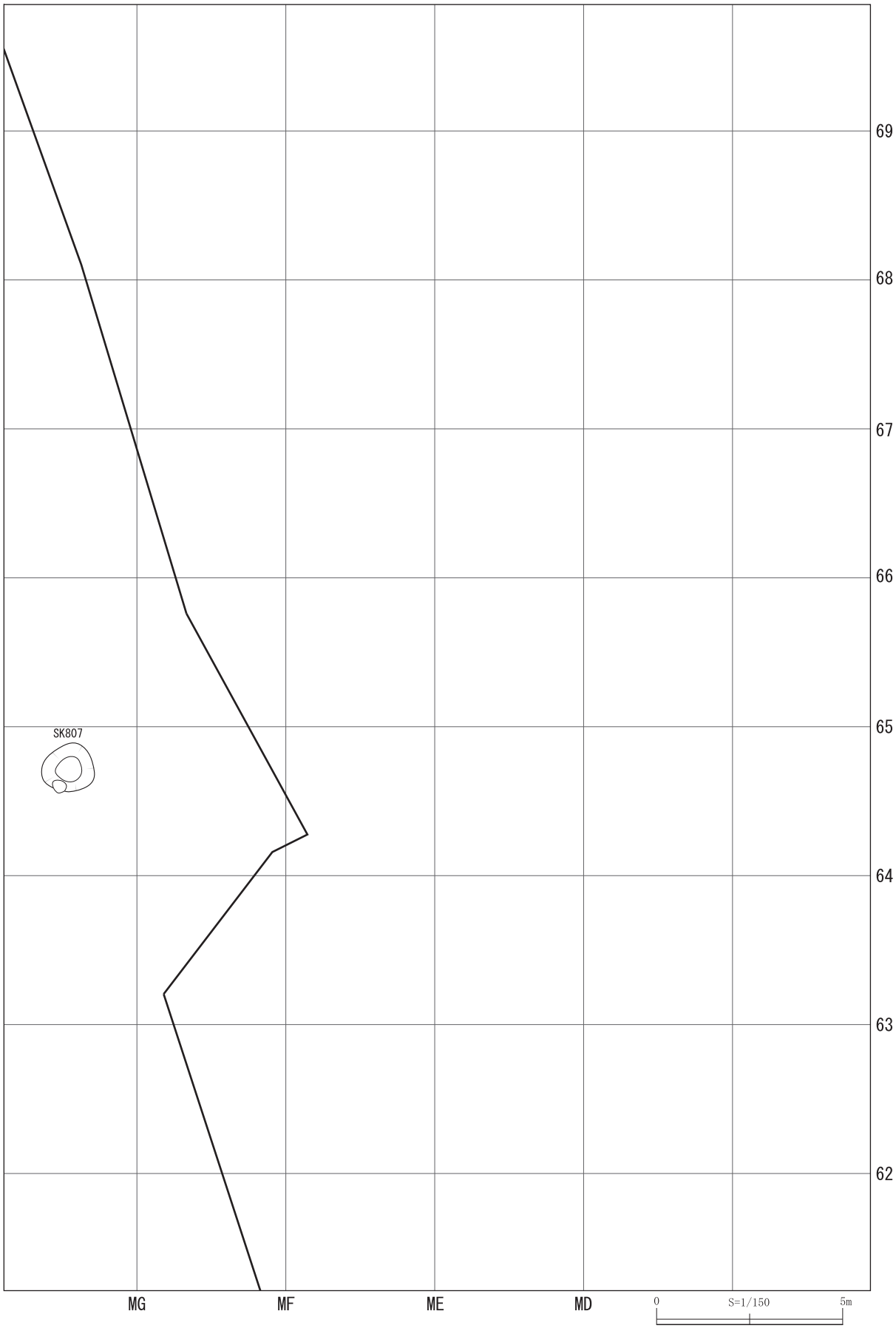



第38図　遺構配置図分割図⑲

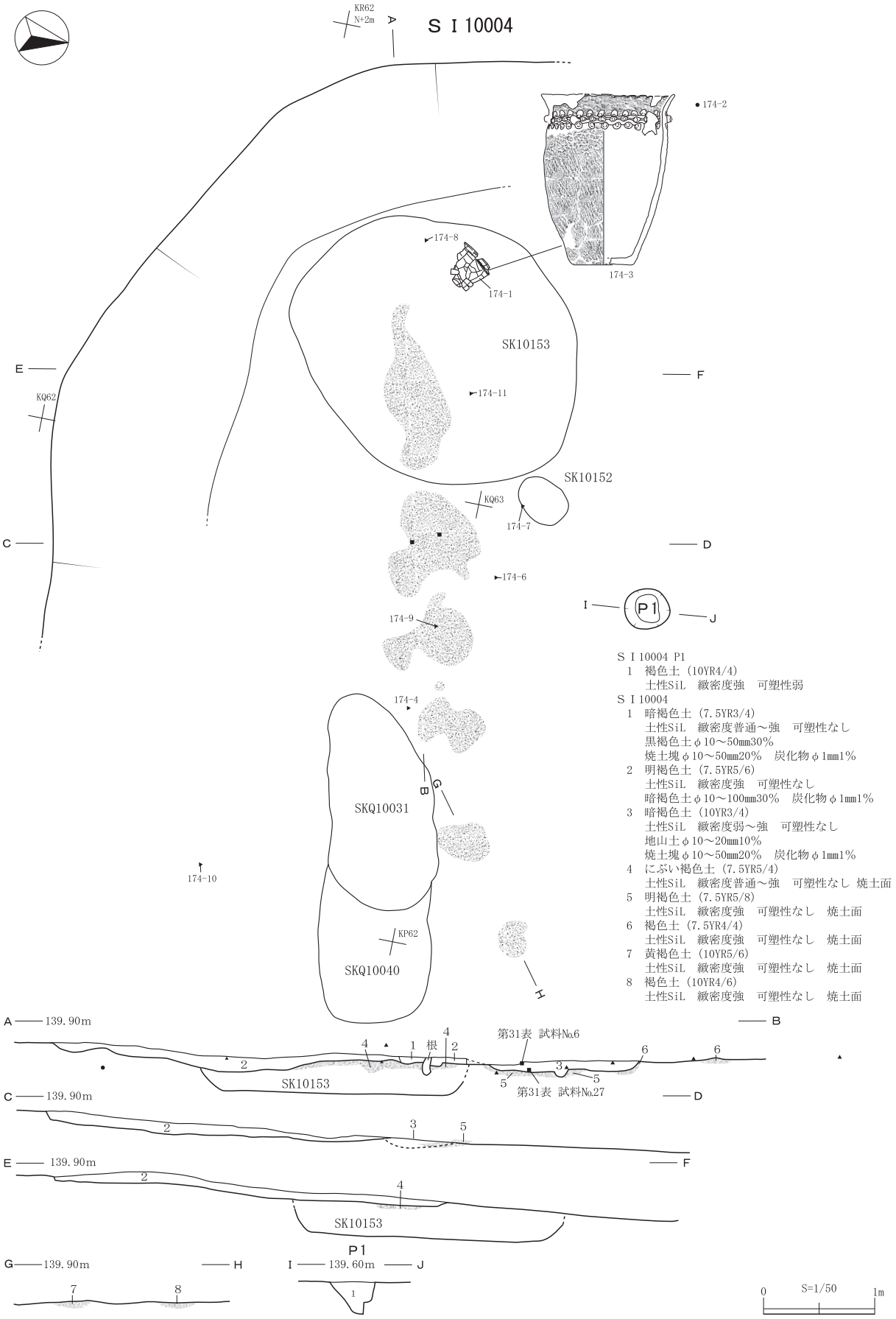



第39図　遺構配置図分割図⑳

第40図　遺構配置図分割図㉑




第41図　遺構配置図分割図㉒

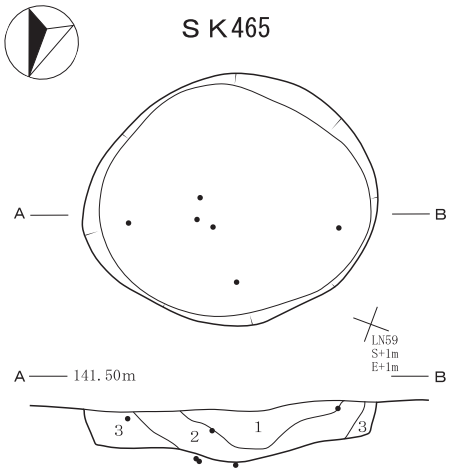



**第42図　縄文（前期）遺構図１**
SI10004竪穴住居跡

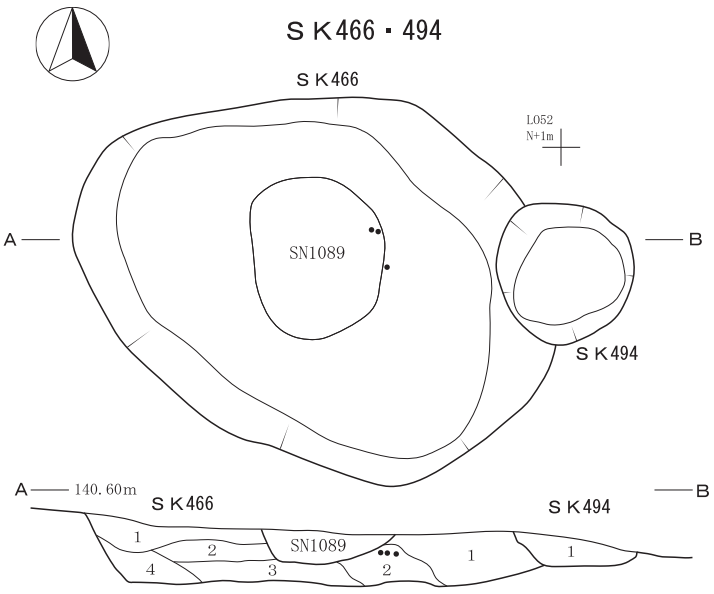
ＳＩ10106
1　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱　地山ブロックφ10～30mm20%　黒褐色土φ10～30mm20%
2　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度普通～強　可塑性弱　地山ブロックφ10～30mm10%　黒褐色土φ10～30mm10%
3　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性弱　地山土もや状20%
4　褐色土（10YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性弱　暗褐色土もや状30%　炭化物φ0.5mm0.5%
5　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度強　可塑性弱　焼土ブロックφ10～30mm10%　地山ブロックφ10mm5%　黒褐色土10%
6　褐色土（7.5YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性弱
7　褐色土（10YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性弱

0　S=1/50　1m

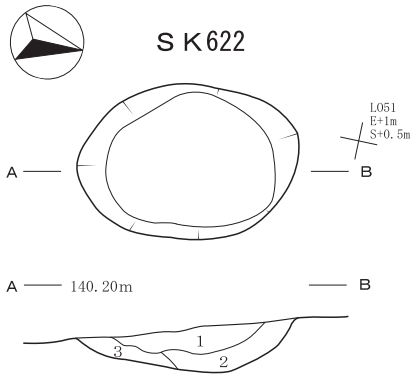
**第43図　縄文（前期）遺構図２**
SI10106竪穴住居跡



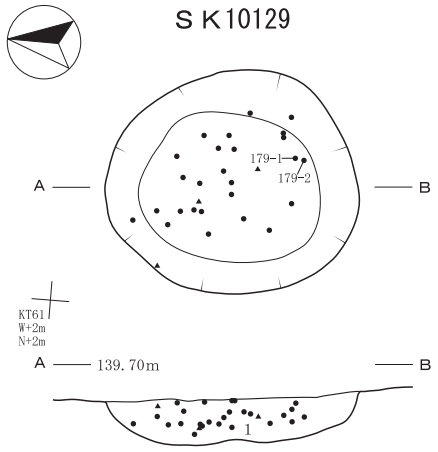

ＳＫ465
1　暗褐色土（10YR3/4）　土性SL　緻密度やや強い
　可塑性やや強い
　地山粒φ1～5mm10%　炭化物φ0.5～1mm3%
2　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiL　緻密度強い　可塑性やや強い
　地山粒φ0.5～2mm2%　炭化物φ1mm1%
3　暗褐色土（10YR3/4）　土性Si　緻密度普通　可塑性やや強い
　地山土40%



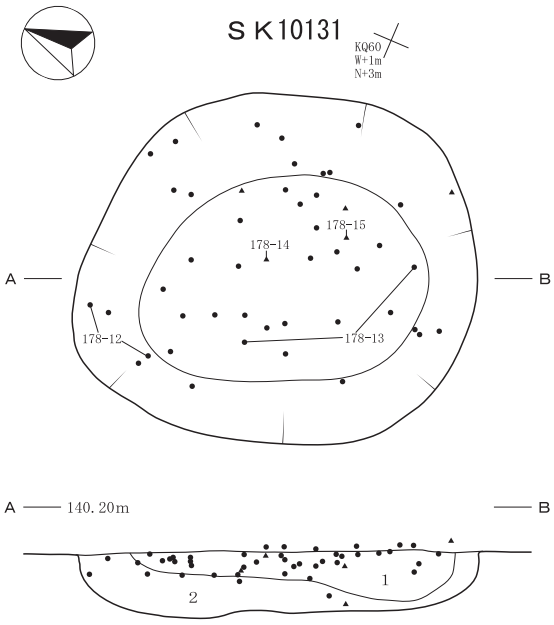

ＳＫ466
1　黒褐色土（10YR2/3）　土性CL　緻密度強い　可塑性強い
　炭化物φ0.5～2mm2%　地山土10%
2　暗褐色土（10YR3/3）　土性CL　緻密度やや強い　可塑性強い
　地山粒φ1～2mm3%　炭化物φ0.5～1mm1%
3　黒褐色土（10YR2/3）　土性CL　緻密度やや強い　可塑性強い　地山粒φ1～2mm2%
　炭化物φ0.5～１mm1%
4　黒褐色土（10YR2/3）　土性CL　緻密度強い　可塑性強い　炭化物φ0.5～1mm1%
　地山土マーブル状50%
ＳＫ494
1　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度強い　可塑性やや強い
　炭化物φ1～2mm2%　地山土20%




ＳＫ622
1　黒褐色土（10YR2/2）　土性SiL　緻密度強い
　可塑性やや強い　地山粒φ1～3mm5%　炭化物φ1mm2%
2　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度強い
　可塑性やや強い　炭化物φ1mm1%
3　褐色土（10YR4/4）　土性SiCL　緻密度強い
　可塑性強い　地山粒φ1～3mm2%



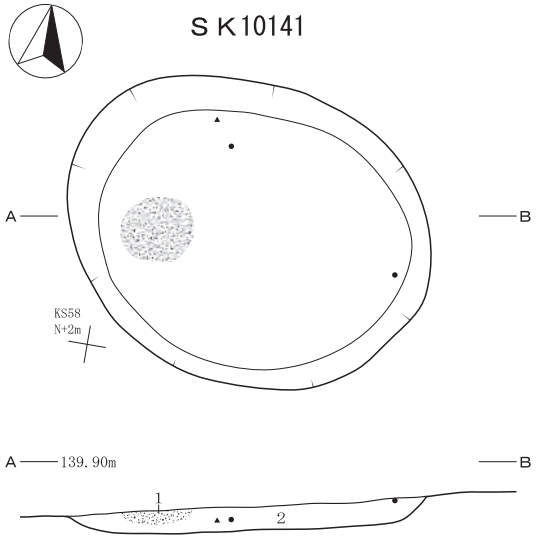

ＳＫ10129
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱
　地山ブロックφ5～43mm底面から両端の立ち上がりに7%　炭化物φ2～6mm3%



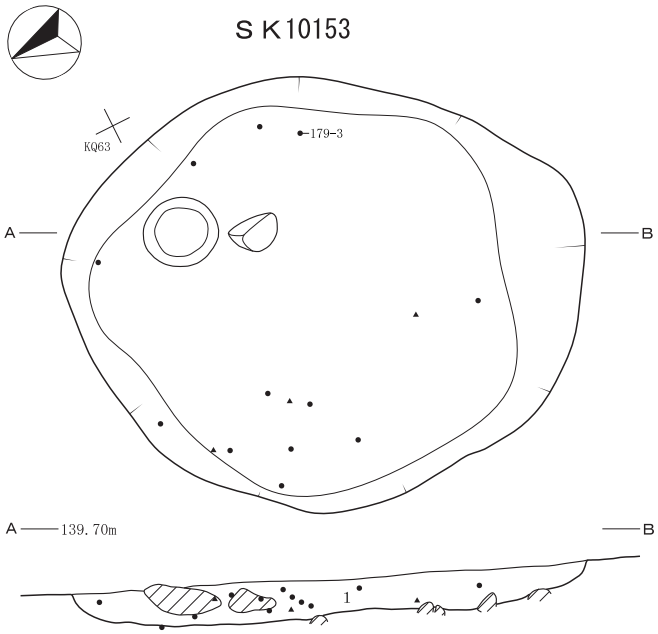

ＳＫ10131
1　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性弱
　地山ブロックφ5～23mm5%　炭化物φ2～7mm3%
2　褐色土（10YR4/6）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　地山ブロックφ5～8mm10%　炭化物φ2～7mm3%

0　S=1/40　1m

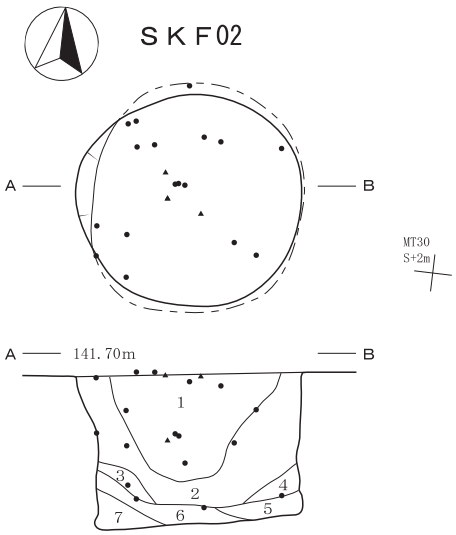
**第44図　縄文(前期)遺構図３**
SK465・466・494・622・10129・10131土坑



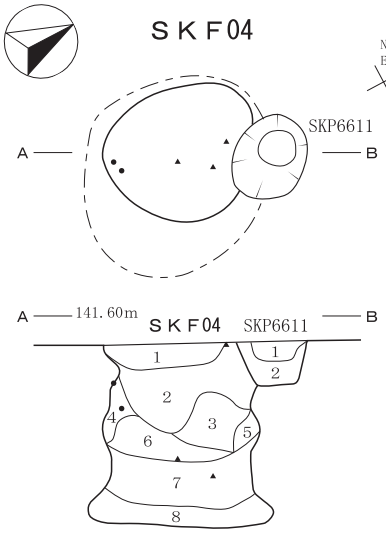

ＳＫ10141
1　暗褐色土（7.5YR3/4）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱
　焼土ブロックφ5～16mm上面に3%　炭化物φ2～5mm3%
2　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度普通～強　可塑性弱
　地山ブロックφ5～37mm5%　炭化物φ2～5mm3%




ＳＫ10153
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし～弱
　地山ブロックφ5～13mm7%　炭化物φ2～11mm2%




ＳＫＦ02
1　黒褐色土（10YR2/3）土性Si　緻密度やや強い　可塑性普通
　地山ブロックφ1～10mm5%　炭化物φ20～20mm 1個
2　暗褐色土（10YR3/4）土性Si　緻密度やや強い　可塑性普通
　地山ブロックφ1～5mm10%
3　暗褐色土（10YR3/3）土性Si　緻密度普通　可塑性　地山土30%
4　褐色土　（10YR4/6）土性Si　緻密度弱い　可塑性普通
5　暗褐色土（10YR3/4）土性Si　緻密度弱い　可塑性普通
　地山土1%　炭化物φ5mm1個
6　黒褐色土（10YR2/3）土性Si～HC　緻密度普通　可塑性やや強い
　地山土ブロックφ5～30mm5%
7　暗褐色土（10YR3/4）土性Si～HC　緻密度普通　可塑性やや強い
　地山ブロックφ5～10mm5%　炭化物φ1mm1%

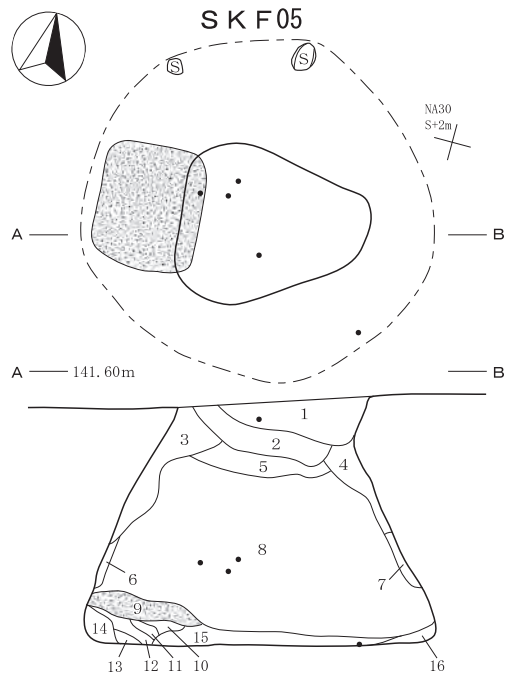



ＳＫＦ04
1　暗褐色土（10YR3/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性普通
　地山ブロックφ1～10mm3%　炭化物φ1mm1%
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　土性Si　緻密度普通　可塑性やや強い
　地山ブロックφ1～15mm7%
3　褐色土（10YR4/6）　土性Si～HC　緻密度弱い　可塑性やや強い
　地山ブロックφ1～10mm5%　炭化物φ1mm1%
4　暗褐色土（10YR3/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性やや強い
　地山ブロックφ1～7mm10%
5　暗褐色土（10YR3/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性やや強い
　地山ブロックφ10mm1%
6　褐色土（10YR4/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性やや強い
　地山ブロックφ1～20mm15%　炭化物φ1mm1%
7　褐色土（10YR4/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性強い
　地山ブロックφ1～30mm20%　炭化物φ1～3mm5%
8　褐色土（10YR4/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性強い
　地山ブロックφ1～7mm10%　炭化物φ1～10mm1%

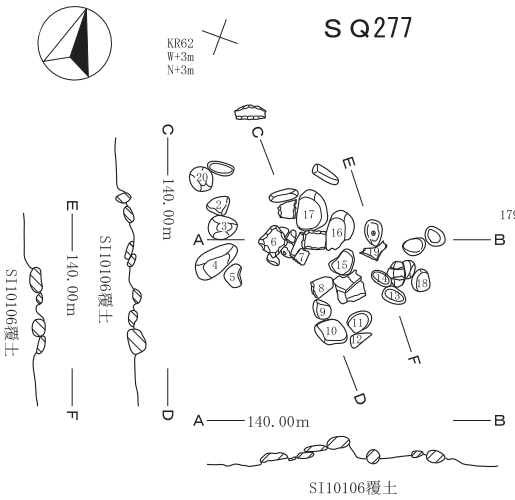
ＳＫＰ6611
1　暗褐色土（10YR3/3）　土性Si　緻密度弱い　可塑性普通
　地山ブロックφ1～10mm3%
2　暗褐色土（10YR3/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性やや強い
　地山ブロックφ1～15mm20%　炭化物φ2mm1%

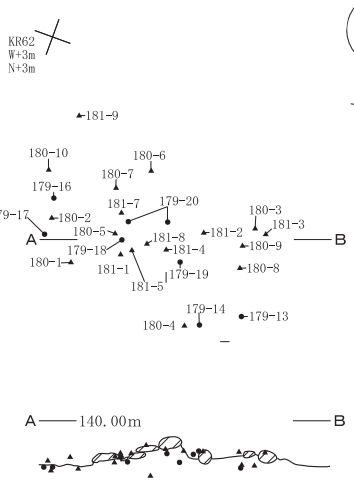
0　S=1/40　1m

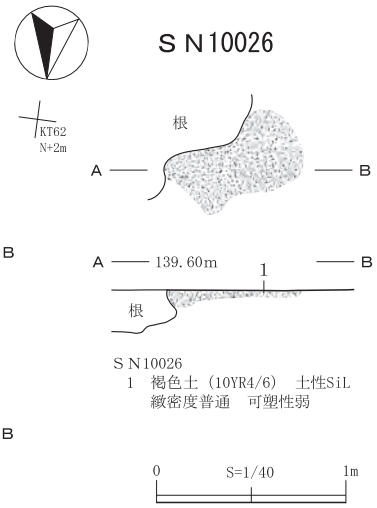
**第45図　縄文(前期)遺構図４**
SK10141・10153土坑、SKF02・04フラスコ状土坑



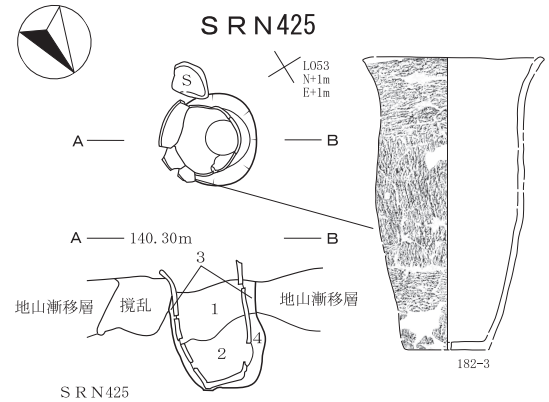

ＳＫＦ05
1　黒褐色土（10YR2/3）　土性Si　緻密度普通　可塑性強い
　地山ブロックφ1～15mm10%　炭化物φ1～2mm5%
2　暗褐色土（10YR3/4）　土性Si　緻密度普通　可塑性強い
　地山土60%　炭化物φ1～3mm1%
3　褐色土（10YR4/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性強い
　地山ブロックφ1～30mm30%　炭化物φ1～2mm3%
4　暗褐色土（10YR3/4）　土性Si　緻密度弱い　可塑性強い
　地山ブロックφ1～20mm15%　炭化物φ1mm1%
5　暗褐色土（10YR3/3）　土性Si　緻密度弱い　可塑性強い
　地山ブロックφ1～30mm5%　地山土10%　炭化物φ1～30mm1%
6　黄褐色土（10YR5/6）　土性Si～HC　緻密度普通　可塑性強い
7　黄褐色土（10YR5/6）　土性Si～HC　緻密度強い　可塑性強い　褐色土40%
8　黄褐色土（10YR5/8）　土性Si～HC　緻密度強い　可塑性強い　褐色土20%
9　褐色土（10YR4/6）　土性Si　緻密度弱い　可塑性強い　焼土φ10mm1%
10　褐色土（7.5YR4/4）土性Si　緻密度弱い　可塑性強い　焼土φ1～10mm1%
11　黄褐色土（10YR5/6）　土性Si～HC　緻密度普通　可塑性強い
12　褐色土（7.5YR4/4）　土性Si～HC　緻密度弱い　可塑性強い　焼土φ1～10mm5%
13　褐色土（10YR4/6）　土性Si～HC　緻密度弱い　可塑性強い　焼土φ1～2mm3%
14　にぶい黄褐色土（10YR5/4）　土性Si～HC　緻密度強い　可塑性強い
　地山ブロックφ1～20mm5%
15　暗褐色土（10YR3/3）　土性Si～S　緻密度弱い　可塑性強い
　地山ブロックφ1～20mm7%　炭化物φ1～10mm3%
16　にぶい黄褐色土（10YR5/4）　土性Si～HC　緻密度弱い　可塑性強い
　地山ブロックφ10mm1%



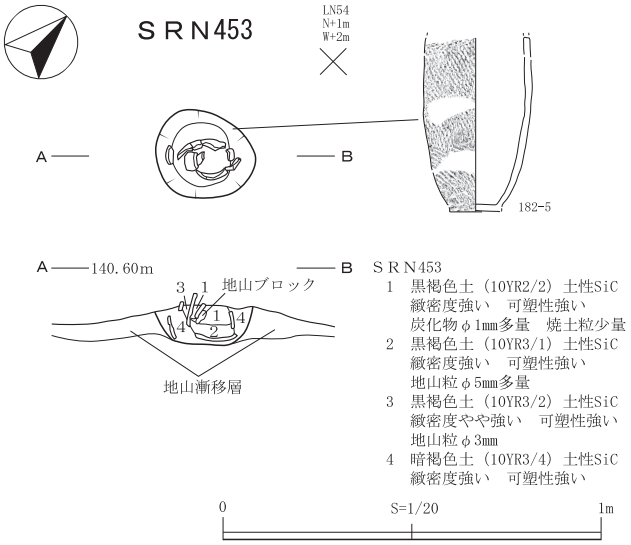




ＳＮ10026
1　褐色土（10YR4/6）　土性SiL
　緻密度普通　可塑性弱



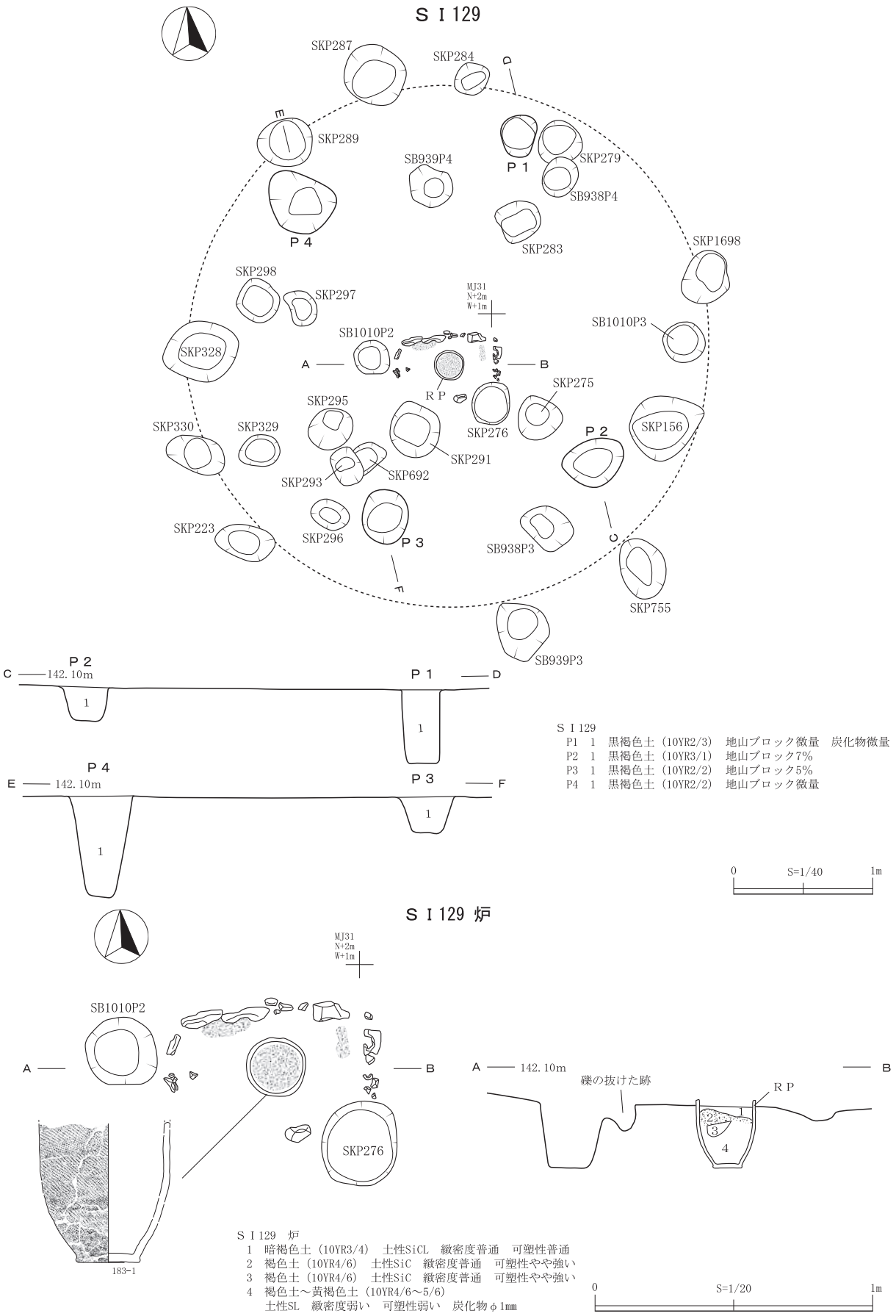

ＳＲＮ425
1　褐色土（7.5YR4/4）　土性SiC　緻密度やや強い
　可塑性強い　炭化物φ1～3mm少量　焼土粒多量
2　黄褐色土（10YR5/6）　土性HC　緻密度強い
　可塑性強い　炭化物φ10mm少量　焼土粒やや多い
3　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiC　緻密度強い
　可塑性強い　炭化物φ1mm少量
4　褐色土（10YR4/4）　土性SiL　緻密度強い　可塑性弱い



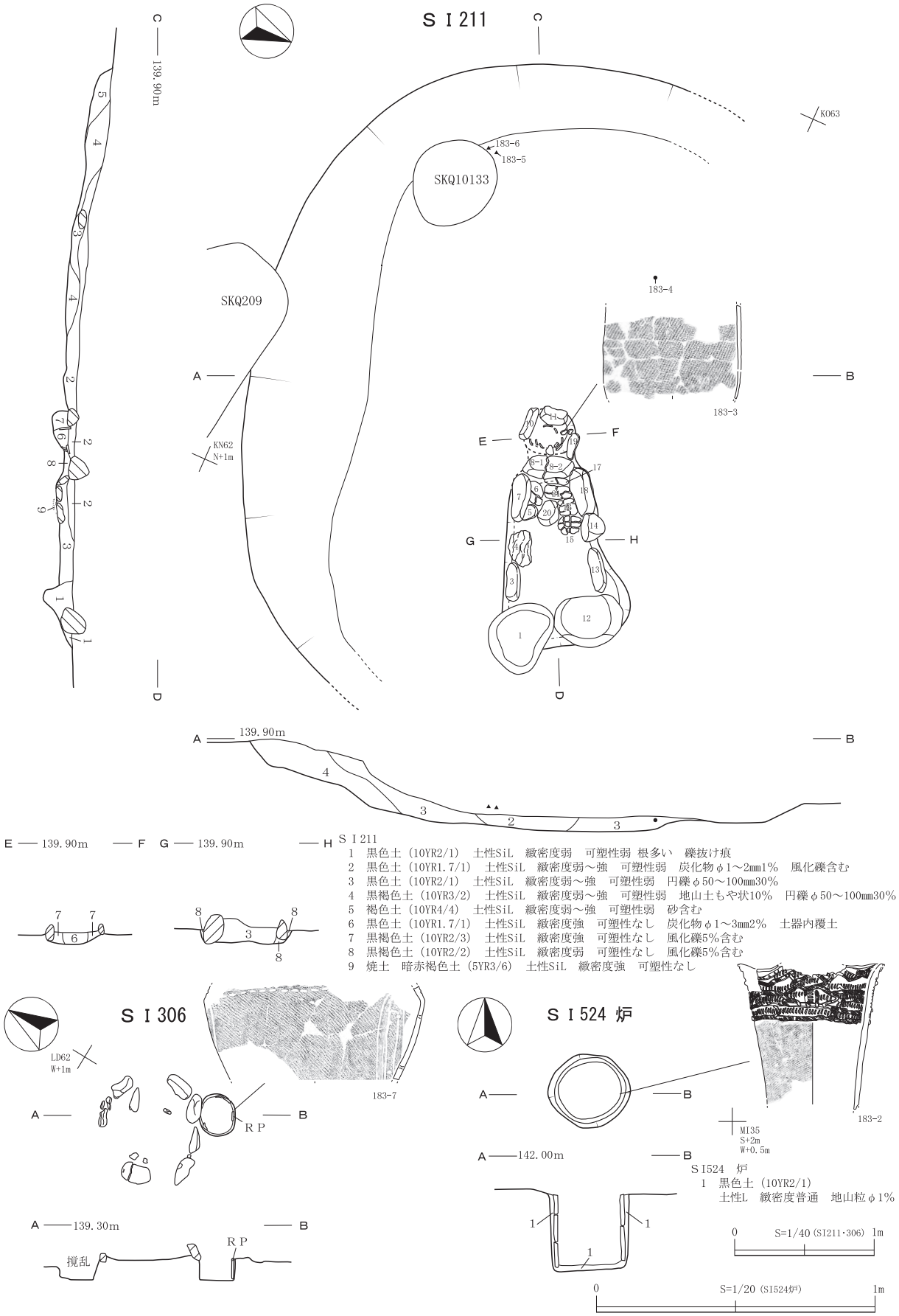

ＳＲＮ453
1　黒褐色土（10YR2/2）土性SiC
　緻密度強い　可塑性強い
　炭化物φ1mm多量　焼土粒少量
2　黒褐色土（10YR3/1）土性SiC
　緻密度強い　可塑性強い
　地山粒φ5mm多量
3　黒褐色土（10YR3/2）土性SiC
　緻密度やや強い　可塑性強い
　地山粒φ3mm
4　暗褐色土（10YR3/4）土性SiC
　緻密度強い　可塑性強い

**第46図　縄文(前期)遺構図５**

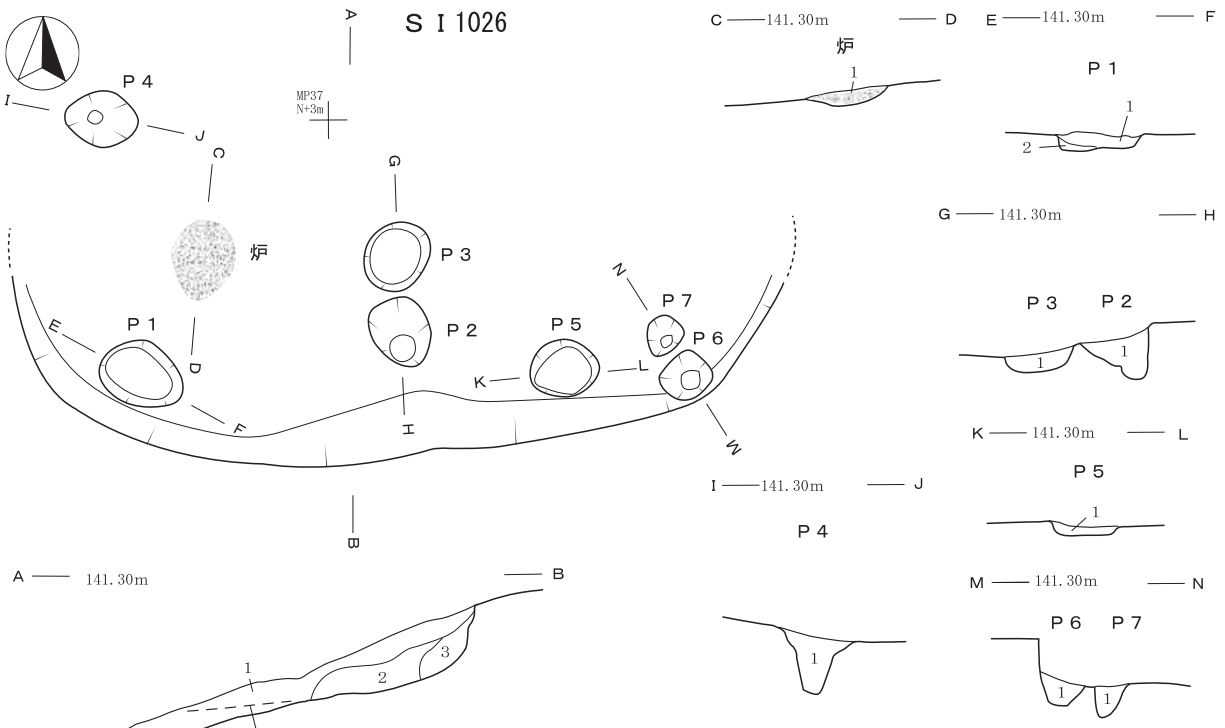
SKF05フラスコ状土坑、SQ277集石遺構、SRN425・453土器埋設炉、SN10026焼土遺構




**第47図　縄文（中期）遺構図１**
SI129竪穴住居跡

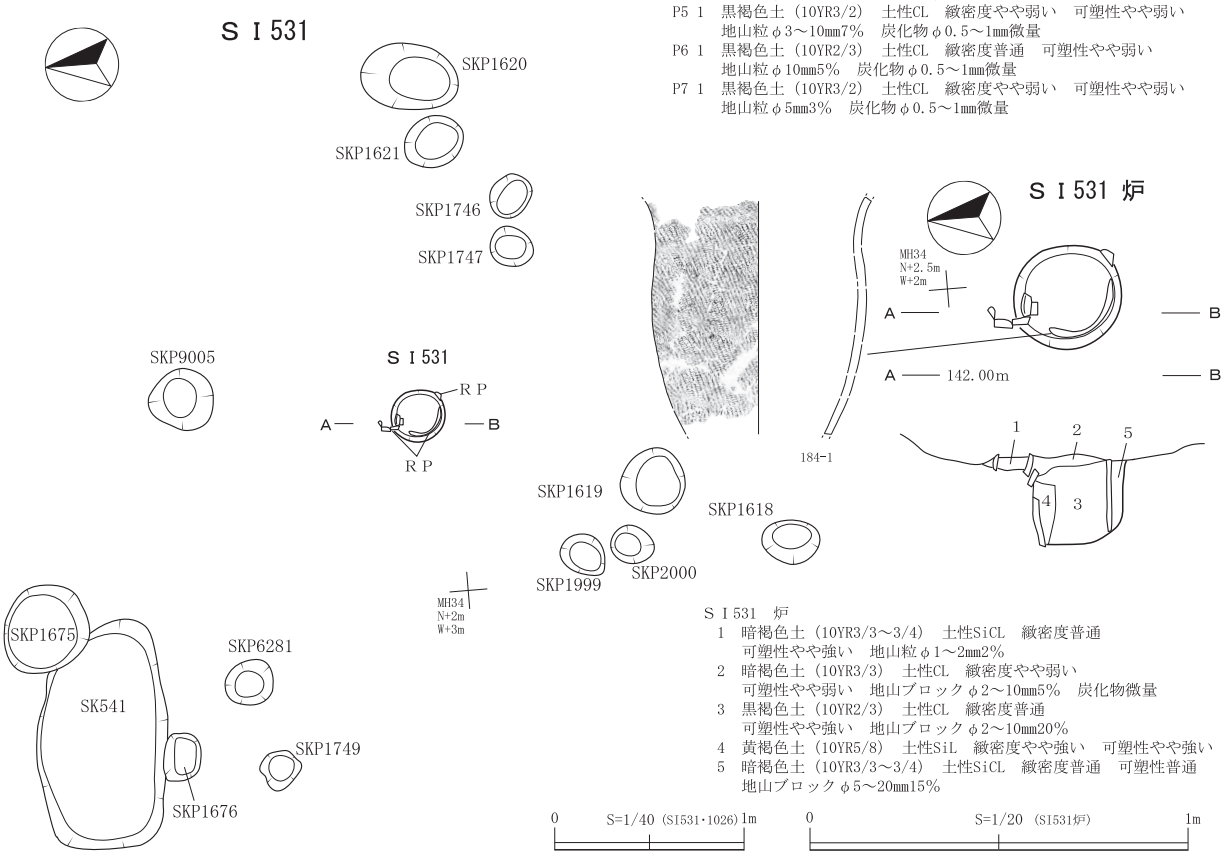



第48図 縄文（中期）遺構図２
SI211・306・524竪穴住居跡



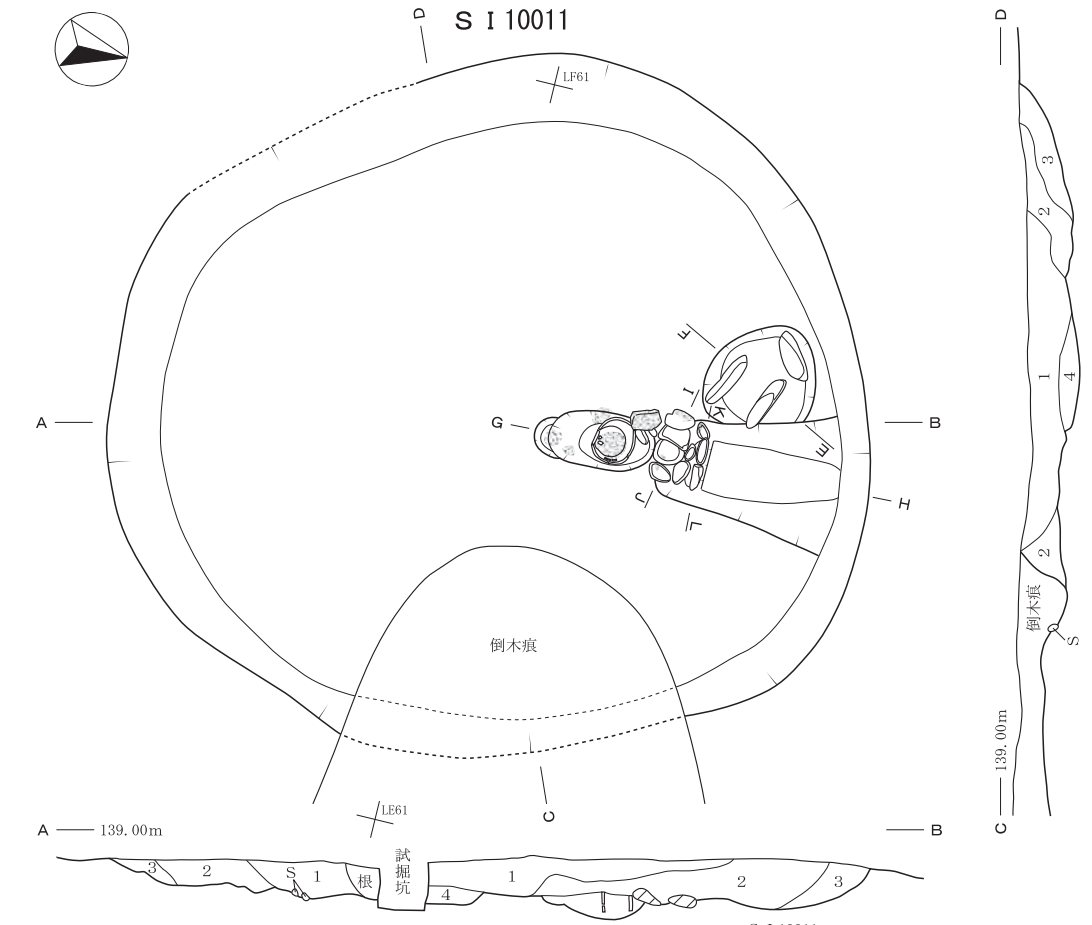

S I 1026
1 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL 緻密度やや強い
可塑性やや強い 地山ブロックφ5～50mm15% 炭化物φ0.5～1mm1%
2 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度普通
可塑性普通 地山ブロックφ5～15mm25% 炭化物φ0.5～1mm微量
3 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度普通
可塑性普通 地山ブロックφ5～10mm10% 炭化物φ0.5～1mm微量

炉 1 赤褐色土（2.5YR4/6） 土性CL～L 緻密度弱い 可塑性普通
地山粒φ5mm3% 炭化物φ0.5～1mm微量
P1 1 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL 緻密度普通 可塑性弱い
地山粒5% 地山ブロックφ10～50mm3% 炭化物φ1mm微量
2 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 土性CL 緻密度普通 可塑性やや弱い
P2 1 暗褐色土（10YR3/4） 土性CL 緻密度やや強い 可塑性弱い
地山ブロックφ10～25mm20% 炭化物φ1～2mm1%
P3 1 暗褐色土（10YR3/4） 土性CL 緻密度やや強い 可塑性弱い
地山粒φ5～20mm15% 炭化物φ0.5～1mm2%
P4 1 黒褐色土（10YR3/2） 土性CL 緻密度やや強い 可塑性やや弱い
地山粒φ5～10mm5% 炭化物φ1～3mm1%
P5 1 黒褐色土（10YR3/2） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや弱い
地山粒φ3～10mm7% 炭化物φ0.5～1mm微量
P6 1 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度普通 可塑性やや弱い
地山粒φ10mm5% 炭化物φ0.5～1mm微量
P7 1 黒褐色土（10YR3/2） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや弱い
地山粒φ5mm3% 炭化物φ0.5～1mm微量




S I 531 炉
1 暗褐色土（10YR3/3～3/4） 土性SiCL 緻密度普通
可塑性やや強い 地山粒φ1～2mm2%
2 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL 緻密度やや弱い
可塑性やや弱い 地山ブロックφ2～10mm5% 炭化物微量
3 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度普通
可塑性やや強い 地山ブロックφ2～10mm20%
4 黄褐色土（10YR5/8） 土性SiL 緻密度やや強い 可塑性やや強い
5 暗褐色土（10YR3/3～3/4） 土性SiCL 緻密度普通 可塑性普通
地山ブロックφ5～20mm15%

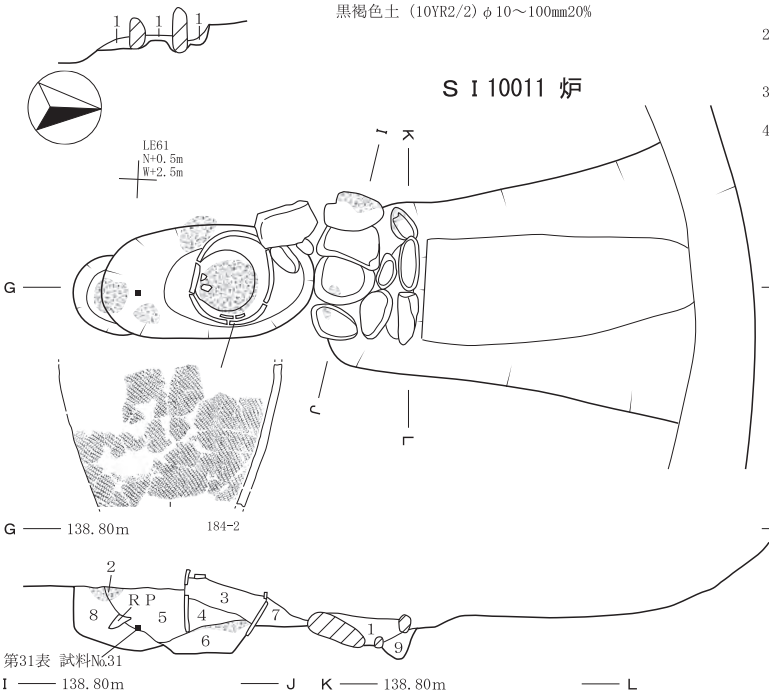
**第49図 縄文（中期）遺構図３**
SI531・1026竪穴住居跡




E-F
1 褐色土（10YR4/4） 土性C 緻密度普通 可塑性普通
黒褐色土（10YR2/2）φ10～100mm20%

ＳＩ10011
1 黒色土（10YR2/1） 土性L 緻密度弱 可塑性普通
地山粒3% 地山ブロックφ7～22mm1%
炭化物φ2～3mm1% 礫2点 礫数個
2 黒褐色土（10YR2/3） 土性L 緻密度弱 可塑性普通
地山粒2% 地山ブロックφ10～12mm1%
炭化物φ2～3mm1% 礫1点
3 暗褐色土（10YR3/4） 土性L 緻密度普通 可塑性普通
地山粒5% 地山ブロックφ5～23mm7% 炭化物φ2～3mm1%
4 黒褐色土（10YR2/2） 土性L 緻密度普通 可塑性強
地山粒3% 地山ブロックφ5～10mm5%

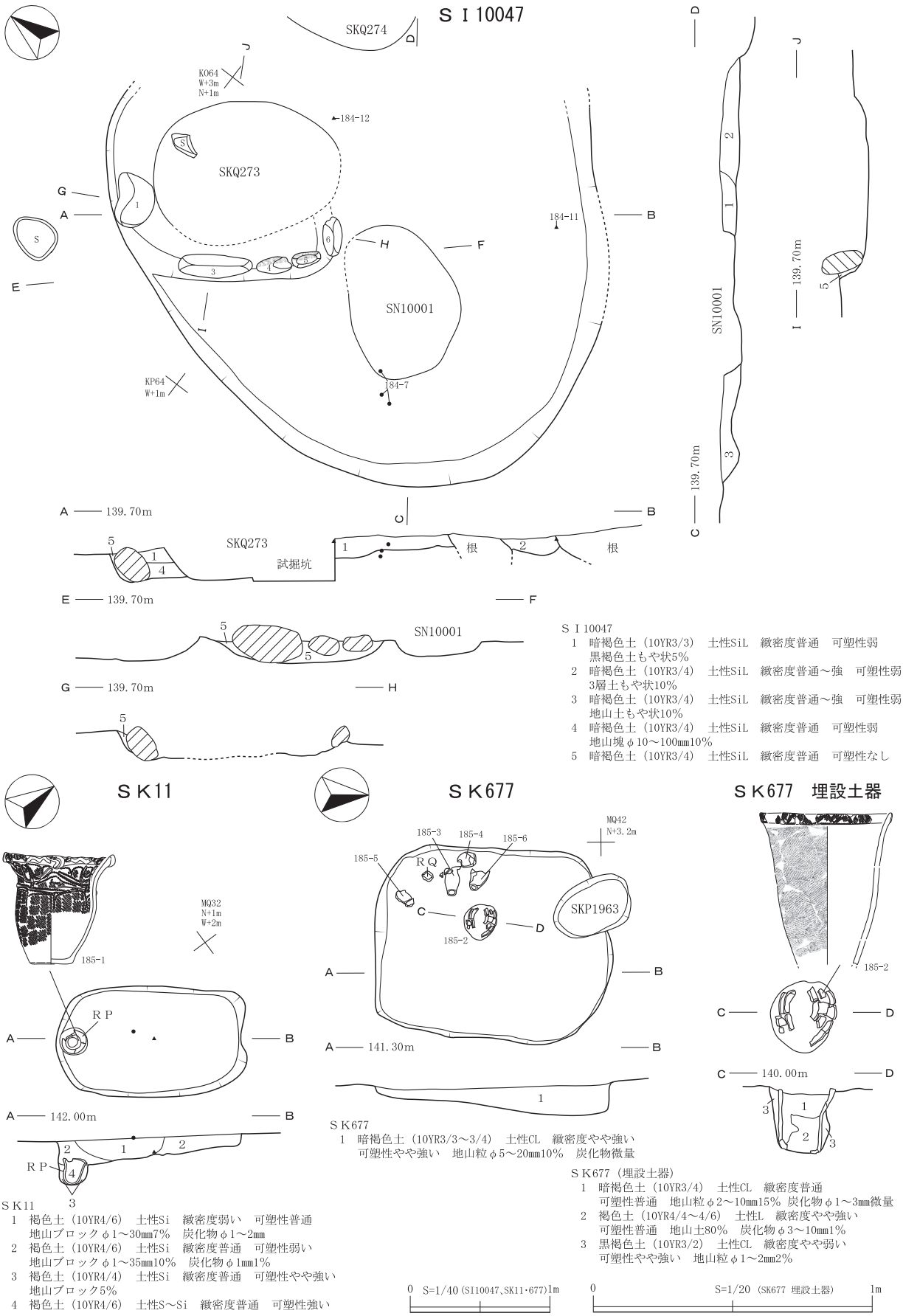
0 S=1/40 1m



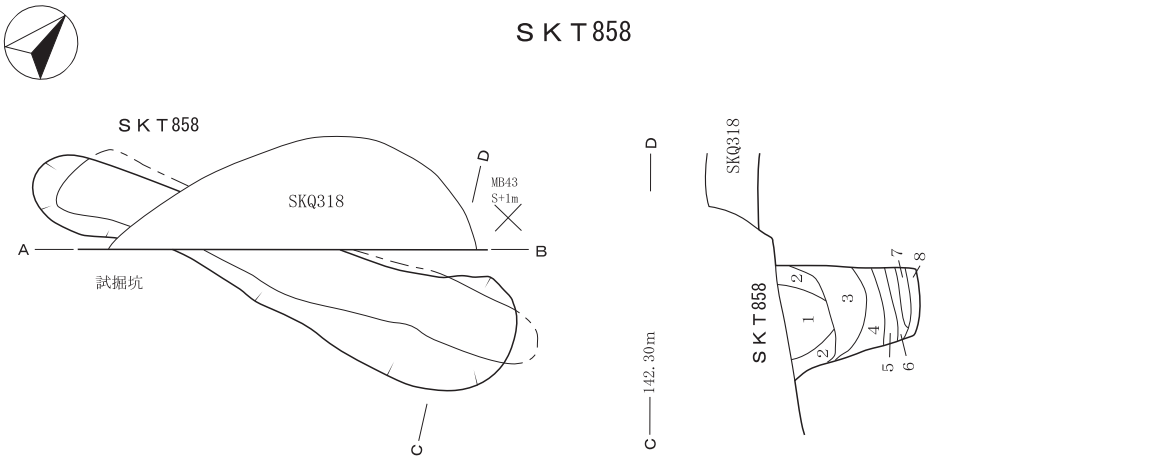

ＳＩ10011 炉
1 黒褐色土（10YR2/2） 土性SiL 緻密度強
可塑性弱 炭化物1% 地山ブロックφ3～100mm20%
焼土ブロックφ5mm1個
2 赤褐色土（5YR4/8） 土性SL 緻密度弱 粘性弱
3 黒褐色土（10YR2/3） 土性SiL 緻密度普通
可塑性中 炭化粒φ1mm1% 地山土もや状30%
地山ブロックφ10mm1%
4 黒色土（10YR2/1） 土性SiL 緻密度普通
可塑性普通 地山粒1～5mm1% 地山塊φ10～20mm5%
5 黒褐色土（10YR3/1） 土性SiL 緻密度普通～強
可塑性普通 焼土塊φ1～2mm1%
地山土塊φ1～10mm20% 土器片1個 炭化物1個
6 褐色土（10YR4/4） 土性SiL 緻密度強
可塑性普通 黒色土塊φ10～30mm5%
焼土塊φ20mm3%
7 暗褐色土（10YR3/3） 土性SiL 緻密度普通
可塑性普通 焼土塊φ1mm1% 黒色土塊φ5～10mm3%
地山土塊φ5～10mm5%
8 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 土性SiL 緻密度普通
可塑性普通 焼土塊φ1～10mm2%
地山土塊φ10～30mm20% 土器片1個
9 暗褐色土（10YR3/4） 土性SiL 緻密度普通
可塑性普通 地山土塊φ5～10mm30%

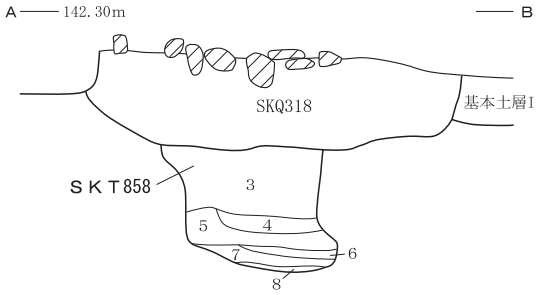
0 S=1/20 1m

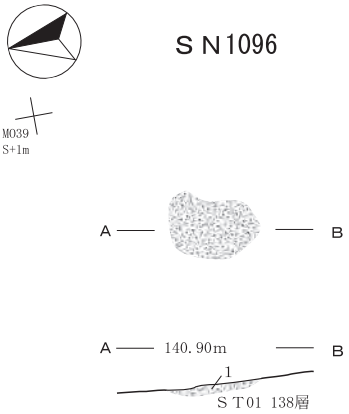
## 第50図 縄文（中期）遺構図４
SI10011竪穴住居跡




**第51図　縄文（中期）遺構図５**
SI10047竪穴住居跡、SK11・677土坑



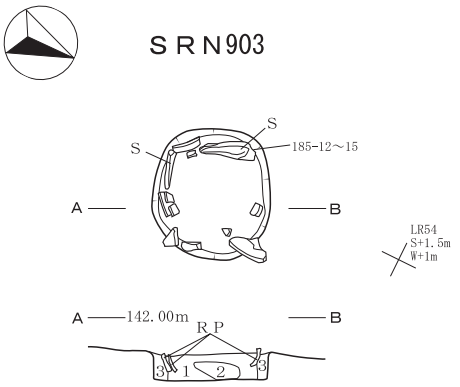




ＳＫＴ858
1　黒褐色土（10YR2/2）　土性SiC　緻密度強い　可塑性やや強い
　地山粒φ1～7mm3%　炭化物φ1～7mm3%
2　黒褐色土（10YR2/3）　土性LiC　緻密度強い　可塑性やや強い
　地山土φ10mm5%　炭化物φ1～3mm1%
3　暗褐色土（10YR3/3）　土性CL　緻密度やや強い　可塑性普通
　地山土30%
4　黒褐色土（10YR2/3）　土性CL　緻密度やや強い　可塑性普通
　地山土80%
5　黒褐色土（10YR2/3）　土性CL　緻密度やや強い　可塑性普通
　地山ブロックφ10～30mm30%
6　黒褐色土（10YR2/3）　土性CL　緻密度やや強い　可塑性普通
　地山土90%
7　黒褐色土（10YR2/3）　土性CL　緻密度やや強い　可塑性普通
　地山ブロックφ10～30mm30%
8　黒褐色土（10YR2/3）　土性CL　緻密度やや強い　可塑性普通
　地山土80%

ＳＮ1096
1　褐色土（7.5YR4/4）　土性CL
　緻密度やや弱い　可塑性普通
　炭化物φ5mm1%　黒褐色土20%

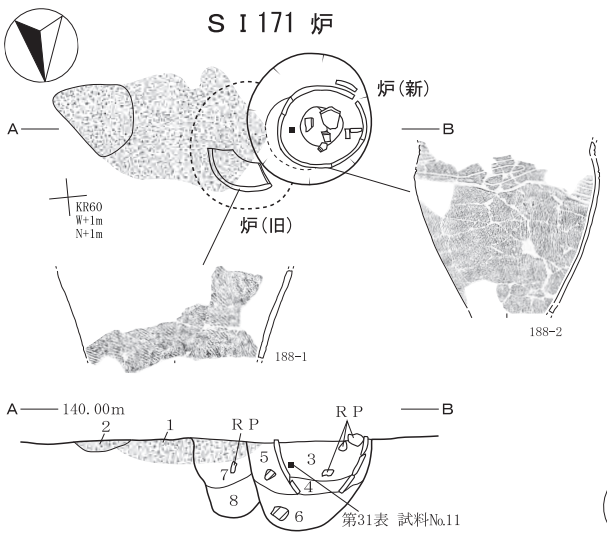
0　S=1/40　1m



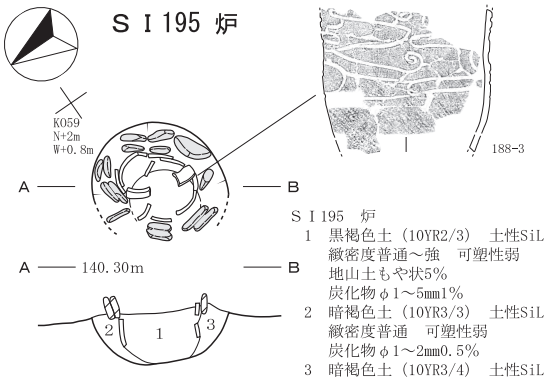

ＳＲＮ903
1　暗褐色土～黒褐色土（10YR3/4～4/4）
　土性CL　緻密度普通　可塑性やや強い
　地山粒φ5～10mm15%　炭化物φ2～5mm3%
　焼土粒φ2～5mm5%
2　橙色土（5YR6/6）
3　褐色土～黄褐色土（10YR4/6～5/6）
　土性SiCL　緻密度やや弱い　可塑性普通

0　S=1/20　1m

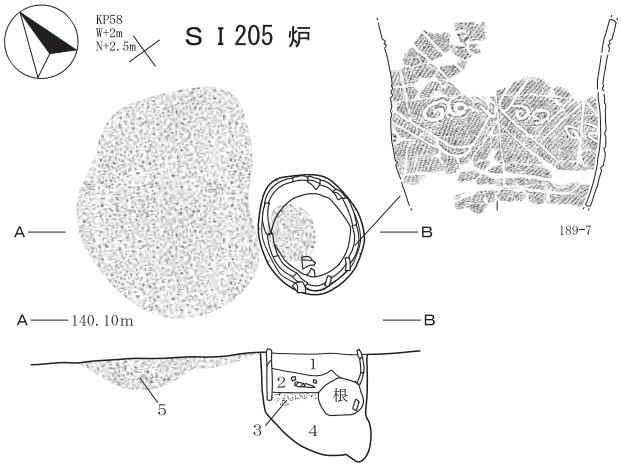
**第52図　縄文（中期）遺構図６**
SKT858陥し穴、SRN903土器埋設炉、SN1096焼土遺構



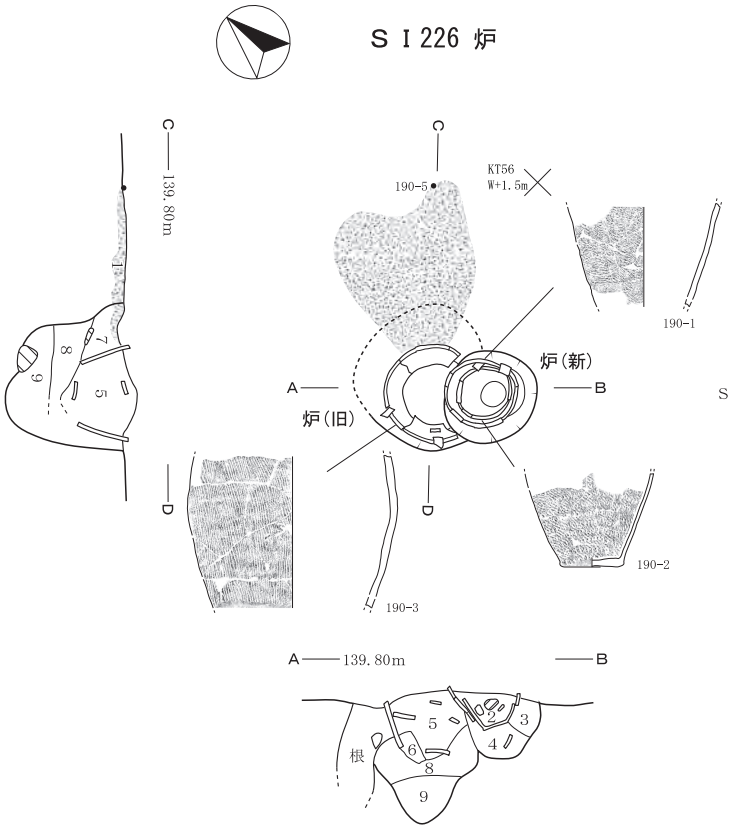

S I 171　炉
1　明赤褐色土（5YR5/8）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山土20%　炭化物φ1～2mm2%　焼土
2　明赤褐色土（5YR5/8）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山土50%　炭化物φ1～2mm1%　焼土ブロックφ1～5mm
3　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山ブロック20%　炭化物φ1～2mm1%　土器片少量
4　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山土10%
5　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山土3%　炭化物φ1～2mm2%　礫φ30mm少量
6　褐色土（10YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　暗褐色土（10YR3/3）5%　炭化物φ1～20mm2%
　礫φ30mm少量
7　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　地山土5%　炭化物φ1～5mm3%　土器片少量
8　褐色土（10YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし




S I 195　炉
1　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiL
　緻密度普通～強　可塑性弱
　地山土もや状5%
　炭化物φ1～5mm1%
2　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL
　緻密度普通　可塑性弱
　炭化物φ1～2mm0.5%
3　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL
　緻密度強　可塑性弱
　炭化物φ1mm0.5%



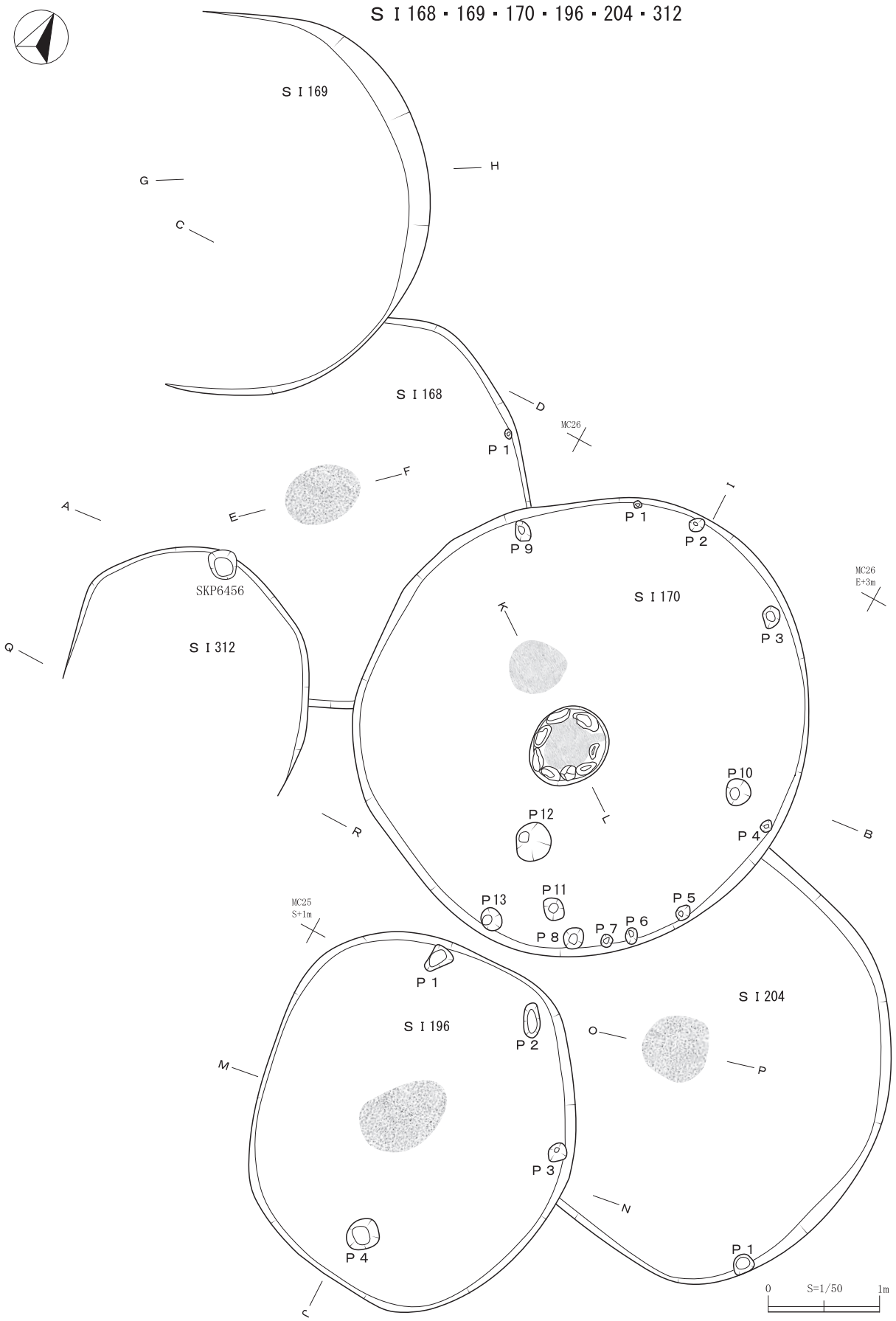

S I 205　炉
1　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱
　地山ブロックφ5～10mm左側に7%　炭化物φ3～5mm3%
2　黒色土（10YR2/1）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山ブロックφ5～17mm下側10%　炭化物φ3～7mm7%
　土器片　小礫1点
3　暗赤褐色（5YR3/4）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山ブロック(5YR4/6)φ5mm3%
4　褐色土（10YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　地山ブロックφ5～12mm30%　炭化物φ3～7mm2%
5　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　地山ブロック(5YR4/6)φ5～11mm中央部に7%
　炭化物φ2～3mm2%



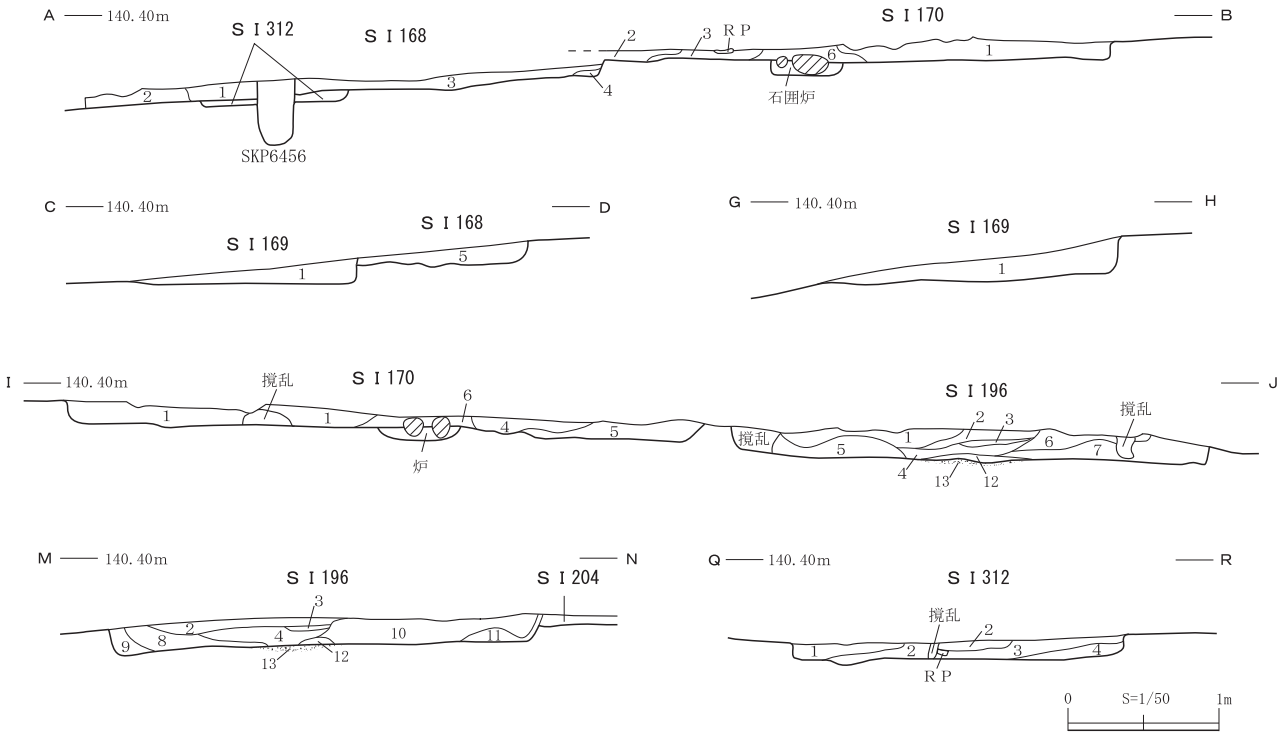

S I226　炉
1　にぶい赤褐色土（5YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　赤褐色の焼土ブロックφ5～6mm上半に5%　炭化物φ2～3mm3%
2　黒褐色土（10YR2/2）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山土1%　炭化物φ3～8mm3%　土器片数点　礫1点
3　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱
　地山ブロックφ5mm7%　炭化物φ2～3mm2%
4　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱
　地山土20%　土器片1点　小礫1点
5　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiL　緻密度普通　可塑性なし
　地山ブロックφ5～23mm下部に15%　炭化物φ2～3mm1%
6　褐色土（10YR4/6）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱
　地山土30%　炭化物φ2～3mm1%
7　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱
　地山土15%　炭化物φ2～3mm1%
8　褐色土（10YR4/4）　土性SiL　緻密度普通　可塑性弱
　地山土20%　炭化物φ2～3mm2%
9　黄褐色土（10YR5/6）　土性SiL　緻密度強　可塑性弱
　地山土30%　礫1点

0　S=1/20　1m

**第53図　縄文(後期)遺構図1**
SI171・195・205・226竪穴住居跡




第54図　縄文(後期)遺構図２
SI168・169・170・196・204・312竪穴住居跡




S I 168
1 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL
緻密度やや弱い 可塑性やや強い
地山粒50%
2 黒褐色土（10YR2/3）
緻密度やや弱い 可塑性普通
地山粒15～20%
3 黒褐色土（10YR3/2） 土性CL
緻密度普通 可塑性やや強い
地山粒φ10～20mm20～40%
炭化物φ10～20%3～5%
4 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL
緻密度普通 可塑性やや強い
地山粒30～50%
5 黒褐色土（10YR3/2） 土性SiCL
緻密度やや強い 可塑性普通
地山粒30% 炭化物微量

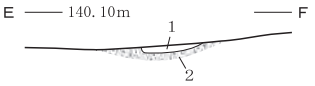
S I 169
1 暗褐色土（10YR3/3） 土性SiCL
緻密度やや強い 可塑性普通
地山粒φ10～20mm10%
炭化物φ10～20mm点在

S I 170
1 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL 緻密度やや強い 可塑性普通 地山粒φ10～20mm10% 炭化物φ5～15mm5%
2 黒褐色土（10YR2/3） 土性SiCL 緻密度やや強い 可塑性やや弱い 地山粒φ5～10mm10%
3 黒褐色土（10YR3/2） 土性CL 緻密度やや強い 可塑性普通 地山粒φ5～10mm5% 炭化物φ5～15mm5% 焼土粒微量
4 暗褐色土（10YR3/4） 土性CL 緻密度普通 可塑性やや強い 地山粒φ5～15mm5% 炭化物φ2～5mm1～3%
5 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山粒φ2～5mm微量 炭化物φ1～3mm微量
6 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度普通 可塑性やや強い 炭化物φ3～15mm5%

S I 196
1 暗褐色土（10YR3/3） 土性SiCL 緻密度やや弱い 可塑性やや弱い 地山粒φ5～10mm微量
2 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山粒φ2～5mm7% 焼土φ2～5mm微量
3 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 焼土粒φ30～50mm30%
4 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山粒φ2～5mm10% 炭化物φ2～5mm5%
5 暗褐色土（10YR3/4） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山粒φ5～15mm20%
6 黒褐色土（10YR3/2） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山ブロックφ5～30mm40%
7 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山粒φ5～10mm微量 炭化物φ2～5mm微量
8 黒褐色土（10YR2/3）土性CL 緻密度やや弱い 可塑性普通 地山粒φ2～15mm5～10% 炭化物φ2～5mm3～5%
9 黒褐色土（10YR2/2～2/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山土φ1～5mm5～10% 炭化物微量
10 黒褐色土（10YR2/3） 土性LC 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山粒φ5～20mm20% 炭化物φ2～5mm10%
11 暗褐色土（10YR3/3）土性LC 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山粒φ5～15mm30%
12 黒褐色土（10YR2/3）土性CL 緻密度やや弱い 可塑性普通 地山粒微量 炭化物φ5～10mm3～5% 焼土微量
13 明赤褐色土（5YR5/8） 土性CL 緻密度普通 可塑性やや強い 炭化物φ1～3mm微量

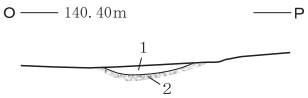
S I 312
1 暗褐色土（10YR3/4） 土性SiCL 緻密度やや弱い 可塑性やや弱い 炭化物φ5mm数点
2 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度普通 可塑性やや強い
3 褐色土（10YR4/4） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山ブロックφ5～30mm20%
4 暗褐色土（10YR3/4） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 地山粒φ2～15mm20%

## S I 168 炉

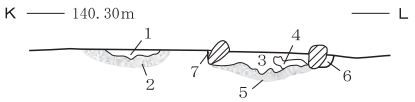



S I 168 炉
1 暗褐色土（10YR3/4）
土性LC 緻密度やや弱い 可塑性やや強い
炭化物φ2～5mm3% 焼土5～10mm3%
2 明赤褐色土（5YR5/8）
土性SiCL 緻密度普通 可塑性弱い
炭化物φ2～5mm微量

## S I 204 炉




## S I 170 炉

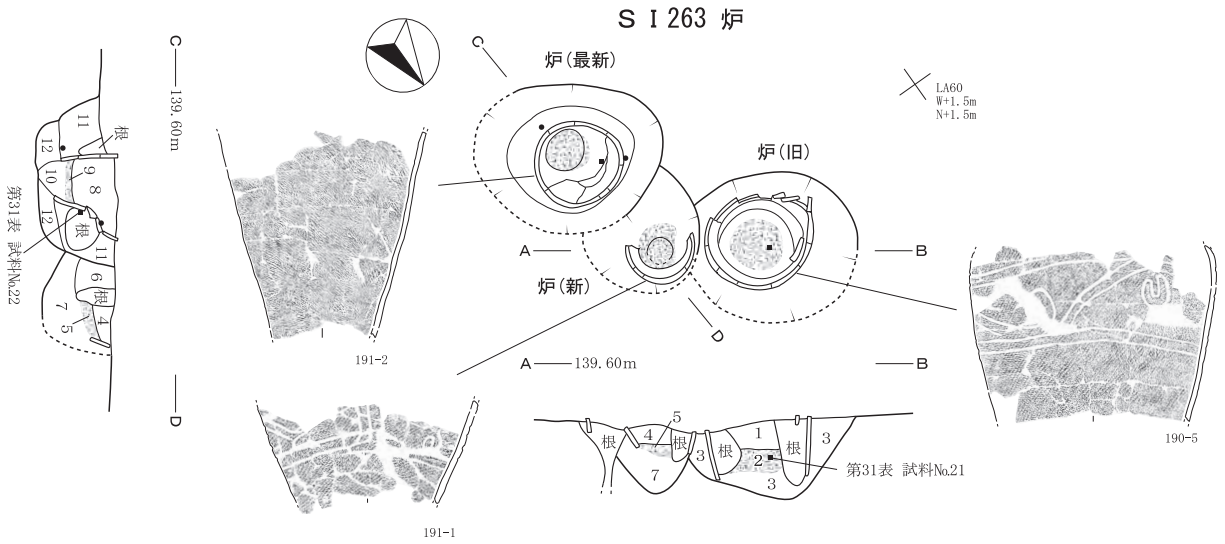



S I 170 炉
1 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い 焼土粒φ1～3mm5%
2 明赤褐色土（5YR5/6） 土性SiCL 緻密度普通 可塑性やや弱い 炭化物φ5～10mm20%
3 黄褐色土（10YR5/8） 土性L 緻密度普通 可塑性強い
4 暗褐色土（10YR3/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い
炭化物φ5～20mm微量 焼土粒φ5～10mm10%
5 赤褐色土～明赤褐色土（5YR4/8～5/6） 土性SiCL 緻密度やや弱い 可塑性やや弱い
6 黄褐色土（10YR5/8） 土性L 緻密度普通 可塑性やや強い
7 黒褐色土（10YR3/2） 土性SiCL 緻密度やや弱い 可塑性普通
地山粒φ3～5mm微量 炭化物φ5～10mm微量 焼土φ0.5～1mm微量

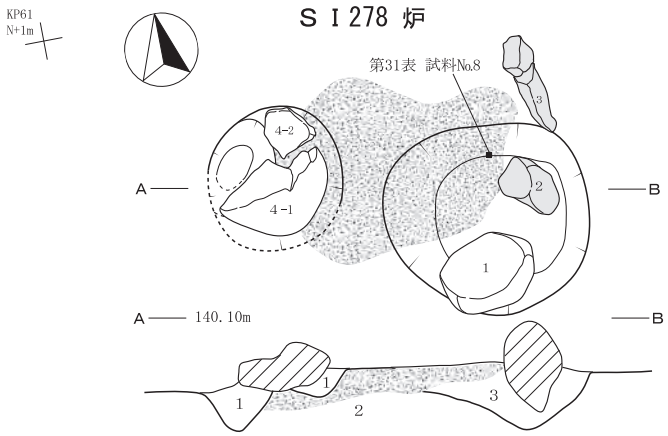
S I 204 炉
1 暗褐色土（10YR3/3）土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い
炭化物φ2～10mm1～3%
2 黄褐色土（10YR5/8）土性L～CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い

0 S=1/40 1m

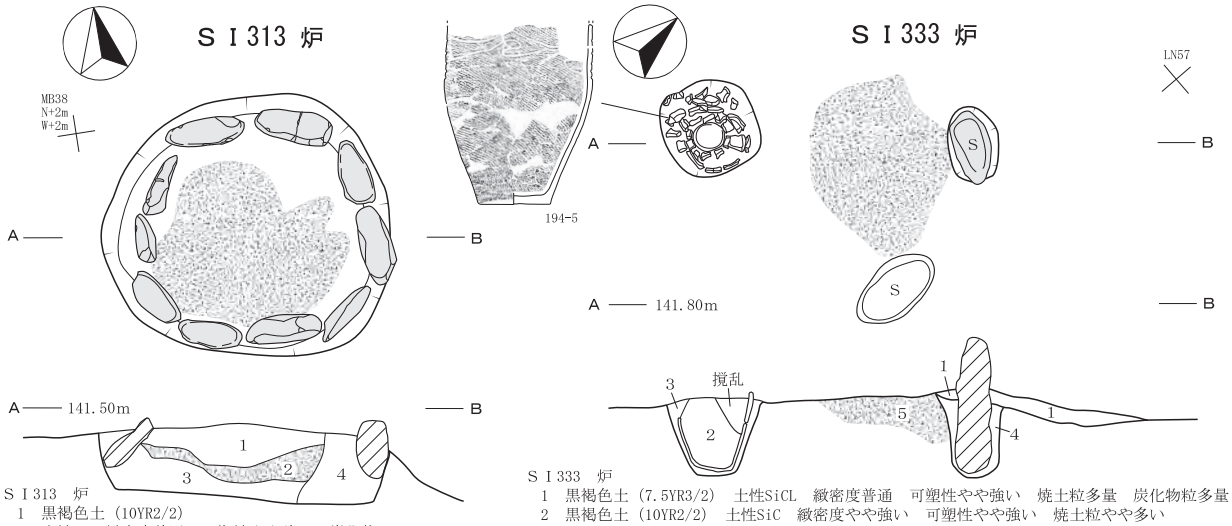
**第55図 縄文（後期）遺構図３**
SI168・169・170・196・204・312竪穴住居跡




ＳＩ263　炉（旧）
1　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　焼土φ1～5mm5%　炭化物φ1～5mm5%
　地山土(10YR4/6)φ3～10mm上部に20%
2　焼土面　にぶい赤褐色土（5YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　炭化物φ1mm1%
3　褐色土（10YR4/6）　土性SiL　緻密度強
ＳＩ263　炉（新）
4　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　焼土φ1mm1%　炭化物φ1～3mm10%
　褐色土（10YR4/4）φ1～10mm全面に20%
5　焼土面　にぶい赤褐色土（5YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
6　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　焼土φ1mm1%　炭化物φ1～3mm10%
　褐色土(10YR4/4)φ1～10mm全面に20%
7　褐色土（10YR4/6）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　炭化物φ1～3mm3%　暗褐色土(10YR3/3)φ3～5mm全面に10%
ＳＩ263　炉（最新）
8　黒色土（10YR1.7/1）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　焼土φ1～10mm3%　炭化物φ1～40mm20%
　黒褐色土（10YR2/2）1～30mm全面に30%
9　焼土面　にぶい赤褐色土（5YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
10　黒褐色土（10YR2/2）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし　炭化物φ1～5mm10%
11　褐色土（10YR4/4）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし
　焼土φ1～5mm1%　炭化物φ1～3mm3%　暗褐色土（10YR3/3）φ1～30mm全面に20%
12　褐色土（10YR4/6）　土性SiL　緻密度強　可塑性なし　炭化物φ1～3mm1%
　暗褐色土（10YR3/3）φ1～5mm全面に5%




ＳＩ278　炉
1　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiL　緻密度普通～強　可塑性弱
　地山土φ5～20mm20%　炭化物φ1～5mm2%
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）～褐色土（7.5YR4/6）
　土性SiL　緻密度弱～強　可塑性弱
3　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度弱～強　可塑性弱
　地山土もや状10%

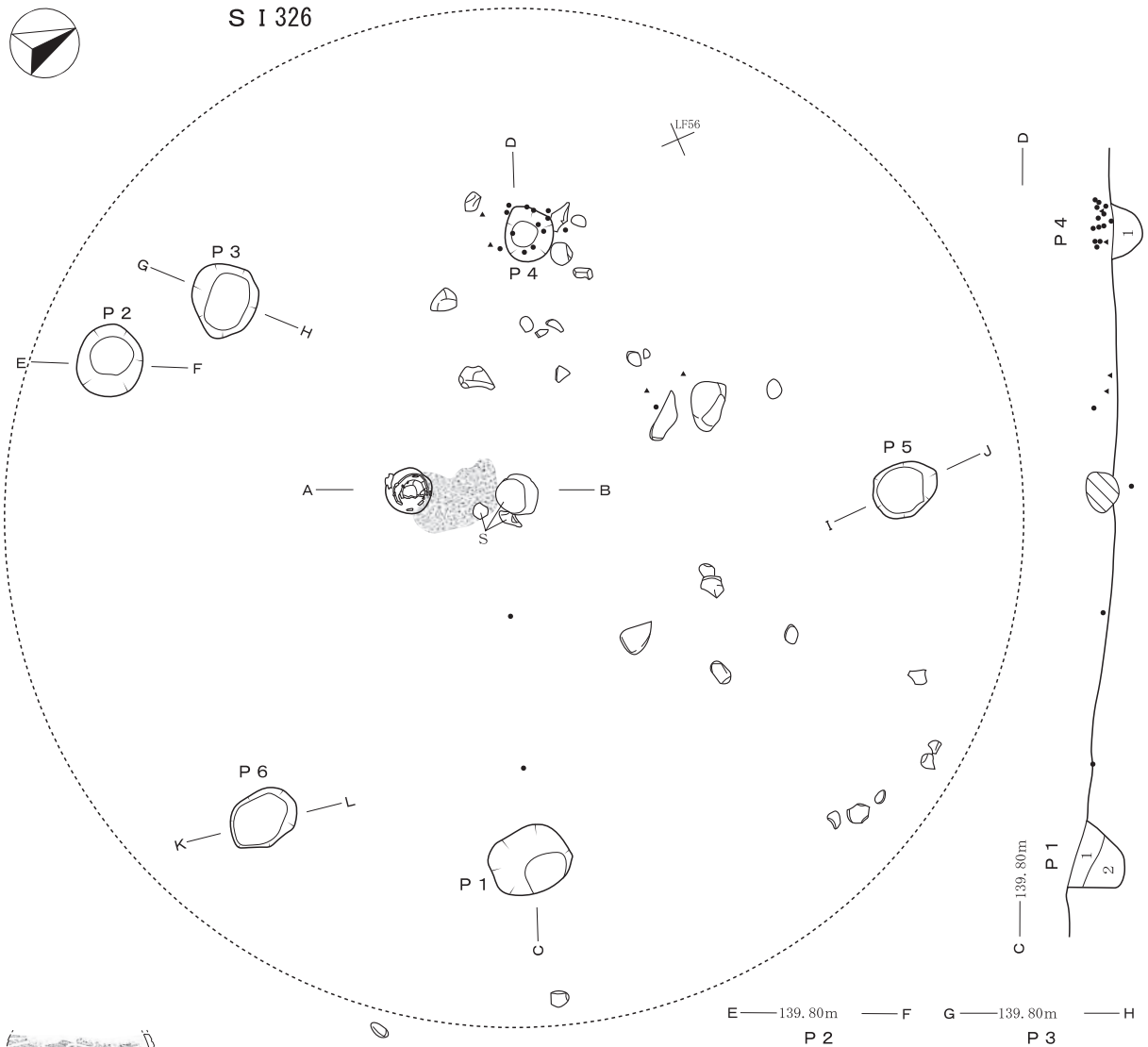


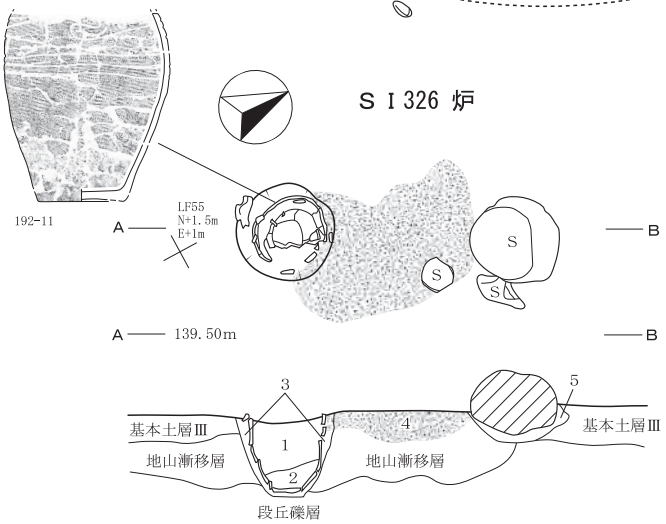

ＳＩ313　炉
1　黒褐色土（10YR2/2）
　土性CL　緻密度普通　可塑性やや強い　炭化物φ5～15mm
2　褐色土～黄褐色土（10YR4/6～5/6）
　土性L　緻密度やや弱い　可塑性弱い　炭化物φ40～50mm10～15%
3　暗褐色土（10YR3/3）
　土性L～CL　緻密度やや弱い　可塑性普通
4　黒褐色土（10YR2/3）
　土性L～CL　緻密度普通　可塑性やや強い

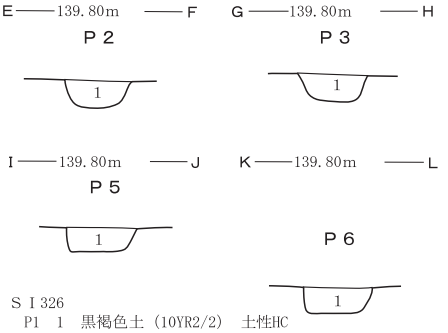
ＳＩ333　炉
1　黒褐色土（7.5YR3/2）　土性SiCL　緻密度普通　可塑性やや強い　焼土粒多量　炭化物粒多量
2　黒褐色土（10YR2/2）　土性SiC　緻密度やや強い　可塑性やや強い　焼土粒やや多い
　炭化物粒少量
3　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　土性SiCL　緻密度強い　可塑性やや強い
4　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiC　緻密度強い　可塑性強い　焼土粒φ1mm少量
5　褐色土（7.5YR4/4）　土性SiL　緻密度強い　可塑性弱い　焼土ブロック含む　炭化物粒多量

0　S=1/20　1m

## 第56図　縄文（後期）遺構図４
SI263・278・313・333竪穴住居跡



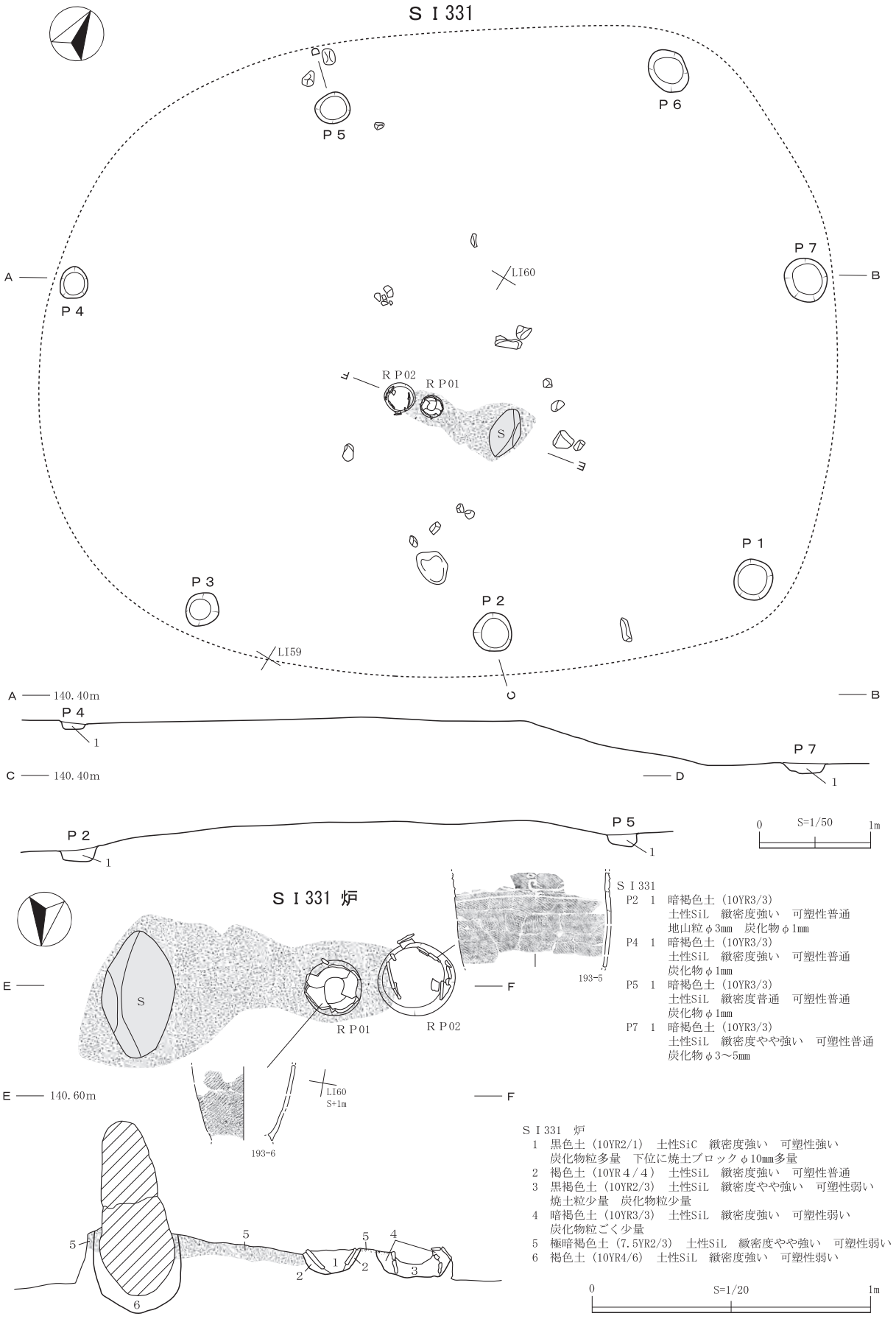

ＳＩ326　炉
1　黒色土（10YR2/1）　土性SiCL　緻密度普通　可塑性普通　炭化物粒やや多い　焼土粒やや多い
　下位中央部に炭化物層1cm弱
2　黒色土（10YR2/1）
　土性SiCL　緻密度やや強い　可塑性やや弱い　地山粒φ10mm少量　炭化物粒1層より多い
3　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiCL　緻密度やや強い　可塑性やや強い　炭化物φ2～5mmやや多い
4　暗褐色土（7.5YR3/4）　土性SiL　緻密度やや強い　可塑性弱い　炭化物φ1～3mm少量
5　黒褐色土（10YR2/2）
　土性Si　緻密度強い　可塑性普通　地山ブロックφ10～20mm多量　焼土粒φ1～30mm多い

ＳＩ326
P1　1　黒褐色土（10YR2/2）　土性HC
　緻密度強い　可塑性強い
　2　暗褐色土（10YR3/4）　土性HC
　緻密度強い　可塑性強い
P2　1　黒色土（10YR2/1）　土性Si
　緻密度強い　可塑性強い
P3　1　黒褐色土（10YR3/1）　土性Si
　緻密度強い　可塑性やや強い
P4　1　黒褐色土（10YR3/1）　土性Si
　緻密度強い　可塑性やや強い
P5　1　黒褐色土（10YR3/2）　土性Si
　緻密度普通　可塑性弱い　炭化物微量
P6　1　暗褐色土（10YR3/3）　土性Si
　緻密度やや強い　可塑性やや強い
　炭化物φ10～30mm微量

0　S=1/40　1m

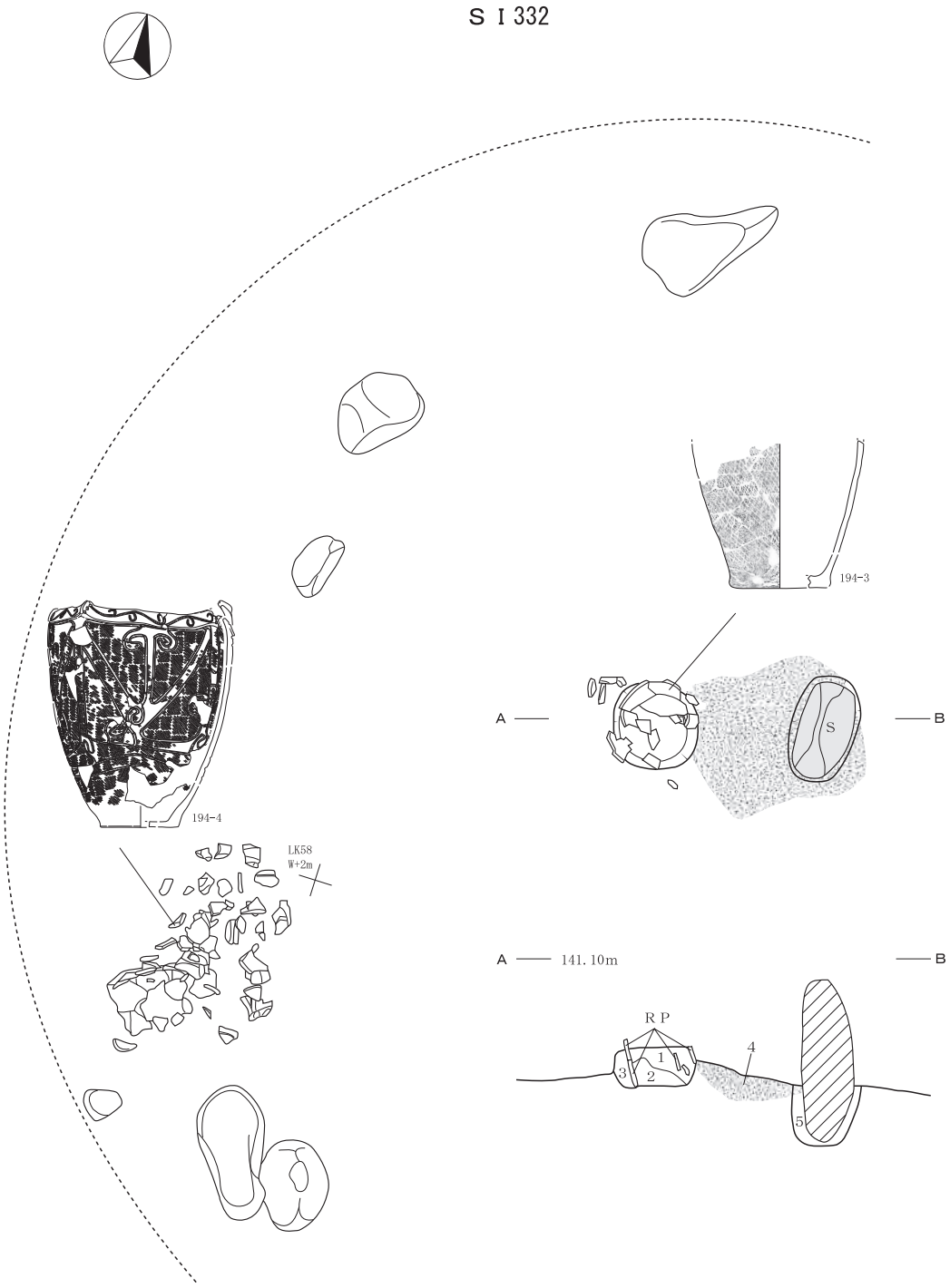
0　S=1/20　（ＳＩ326炉）　1m

## 第57図　縄文（後期）遺構図５
SI326竪穴住居跡




**第58図　縄文（後期）遺構図６**

SI331竪穴住居跡

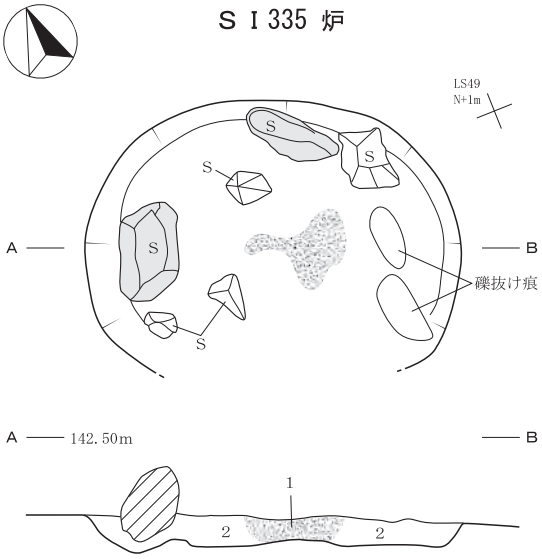



S I 332
1　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiCL　緻密度やや強い　可塑性やや強い　地山ブロックφ20～50mm　炭化物φ1mm
2　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiL　緻密度やや強い　可塑性弱い　炭化物φ1～3mm
3　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiCL　緻密度強い　可塑性やや強い　炭化物φ1mm
4　明赤褐色土（5YR5/8）　土性 SiCL　緻密度やや強い　可塑性やや強い　炭化物φ1mm
5　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiCL　緻密度強い　可塑性やや強い

0　S=1/20　1m

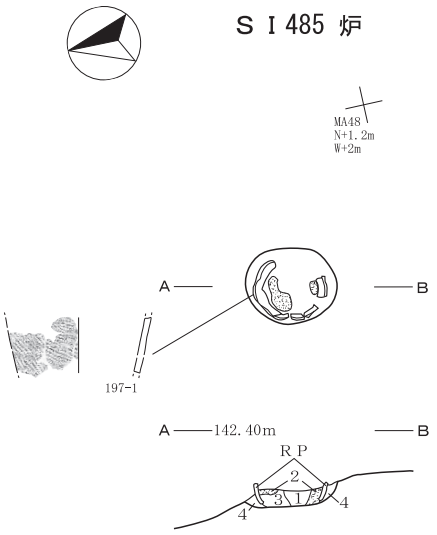
第59図　縄文（後期）遺構図７
SI332竪穴住居跡

## ＳＩ335 炉



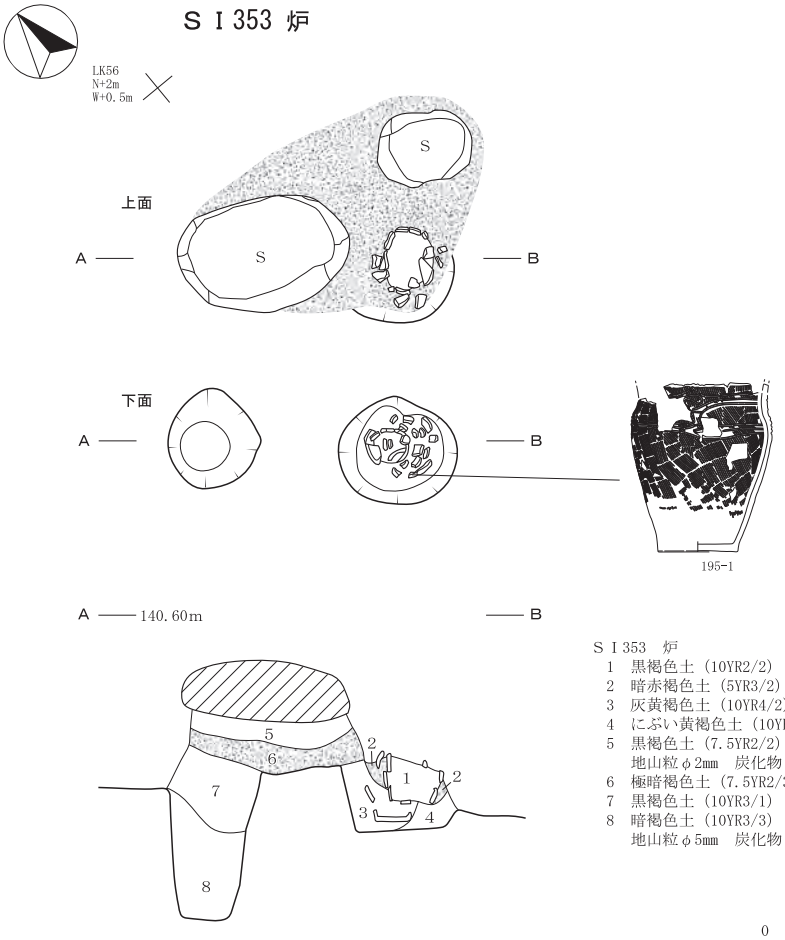

ＳＩ335　炉
1　橙色土（7.5YR7/6）土性SiL　緻密度やや強い　可塑性普通
2　黒褐色土（10YR3/1）土性Si　緻密度普通　可塑性普通

## ＳＩ485 炉




ＳＩ485　炉
1　暗褐色土（10YR3/4）
　土性SiL　緻密度やや強い　可塑性やや強い
2　橙色土（7.5YR7/6）
　土性Si　緻密度きわめて強い　可塑性弱い
3　褐色土（10YR4/4）
　土性SiL　緻密度やや強い　可塑性強い
4　褐色土（10YR4/4）
　土性SL　緻密度やや強い　可塑性やや強い　炭化物φ0.5～1mm1％

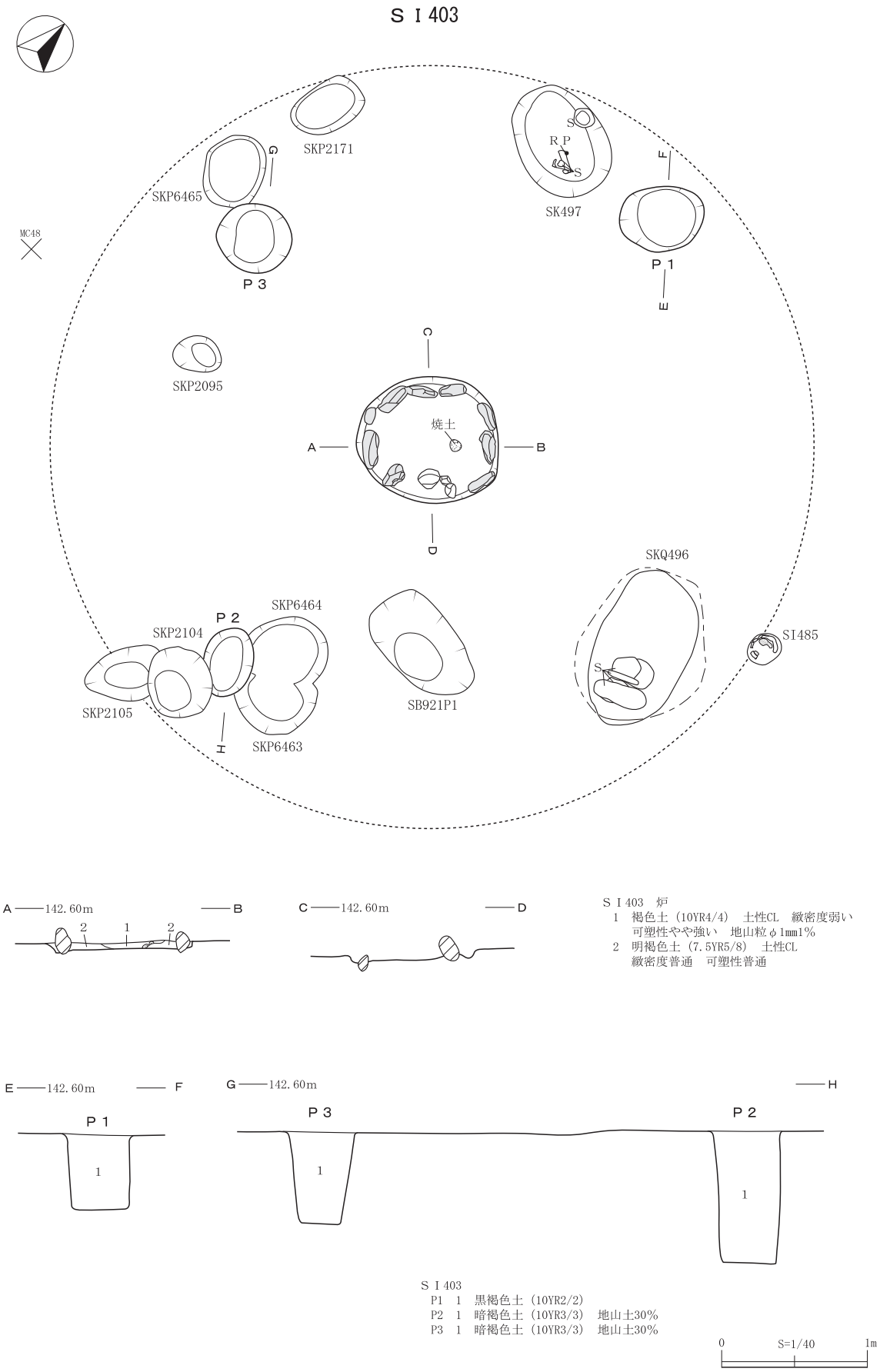
## ＳＩ353 炉



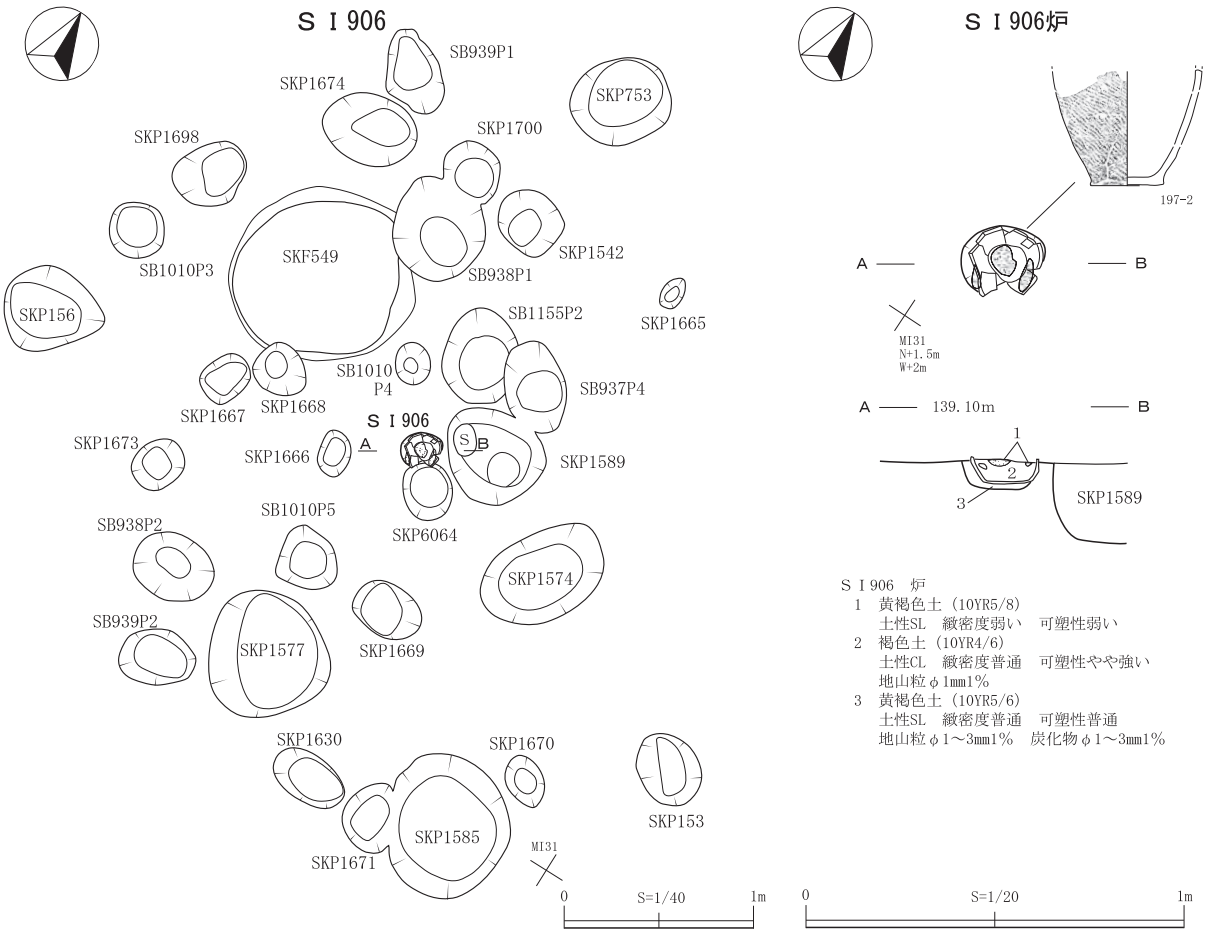

ＳＩ353　炉
1　黒褐色土（10YR2/2）　土性SiC　緻密度やや強い　可塑性強い
2　暗赤褐色土（5YR3/2）　土性SiC　緻密度強い　可塑性強い
3　灰黄褐色土（10YR4/2）　土性SiCL　緻密度強い　可塑性やや強い
4　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　土性SiL　緻密度強い　可塑性弱い
5　黒褐色土（7.5YR2/2）　土性SiL　緻密度やや強い　可塑性弱い
　地山粒φ2mm　炭化物φ3mm
6　極暗褐色土（7.5YR2/3）　土性SiL　緻密度強い　可塑性弱い　炭化物φ3mm
7　黒褐色土（10YR3/1）　土性SiC　緻密度強い　可塑性強い
8　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度やや強い　可塑性弱い
　地山粒φ5mm　炭化物φ8mm

0　S=1/20　1m

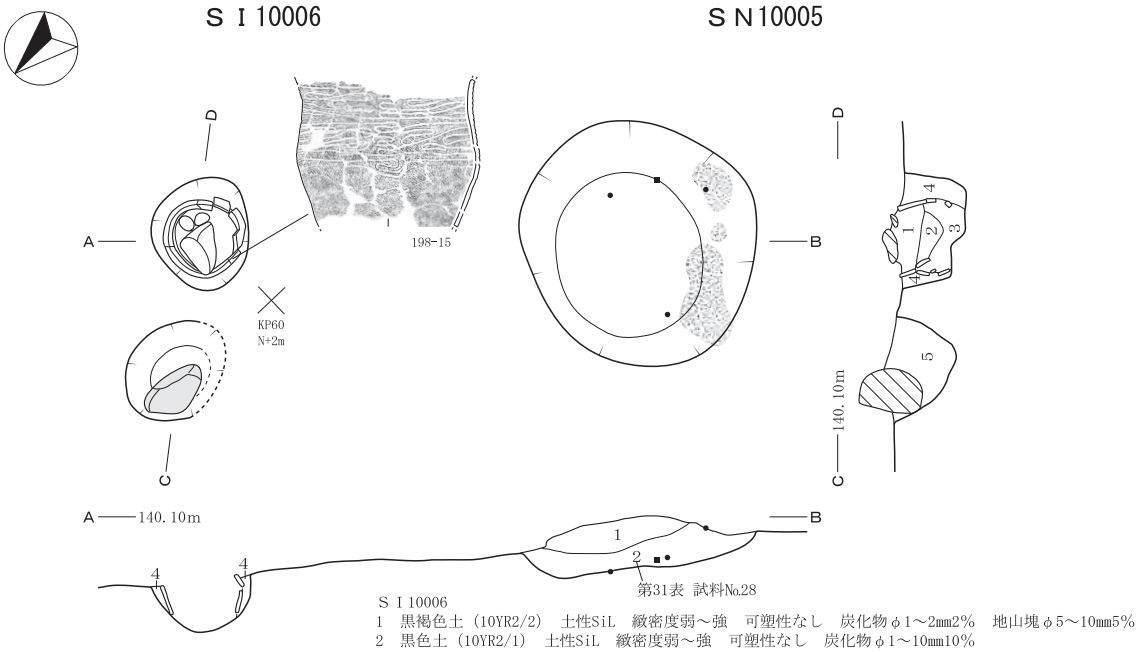
**第60図　縄文（後期）遺構図８**
SI335・353・485竪穴住居跡




**第61図　縄文(後期)遺構図９**
SI403竪穴住居跡



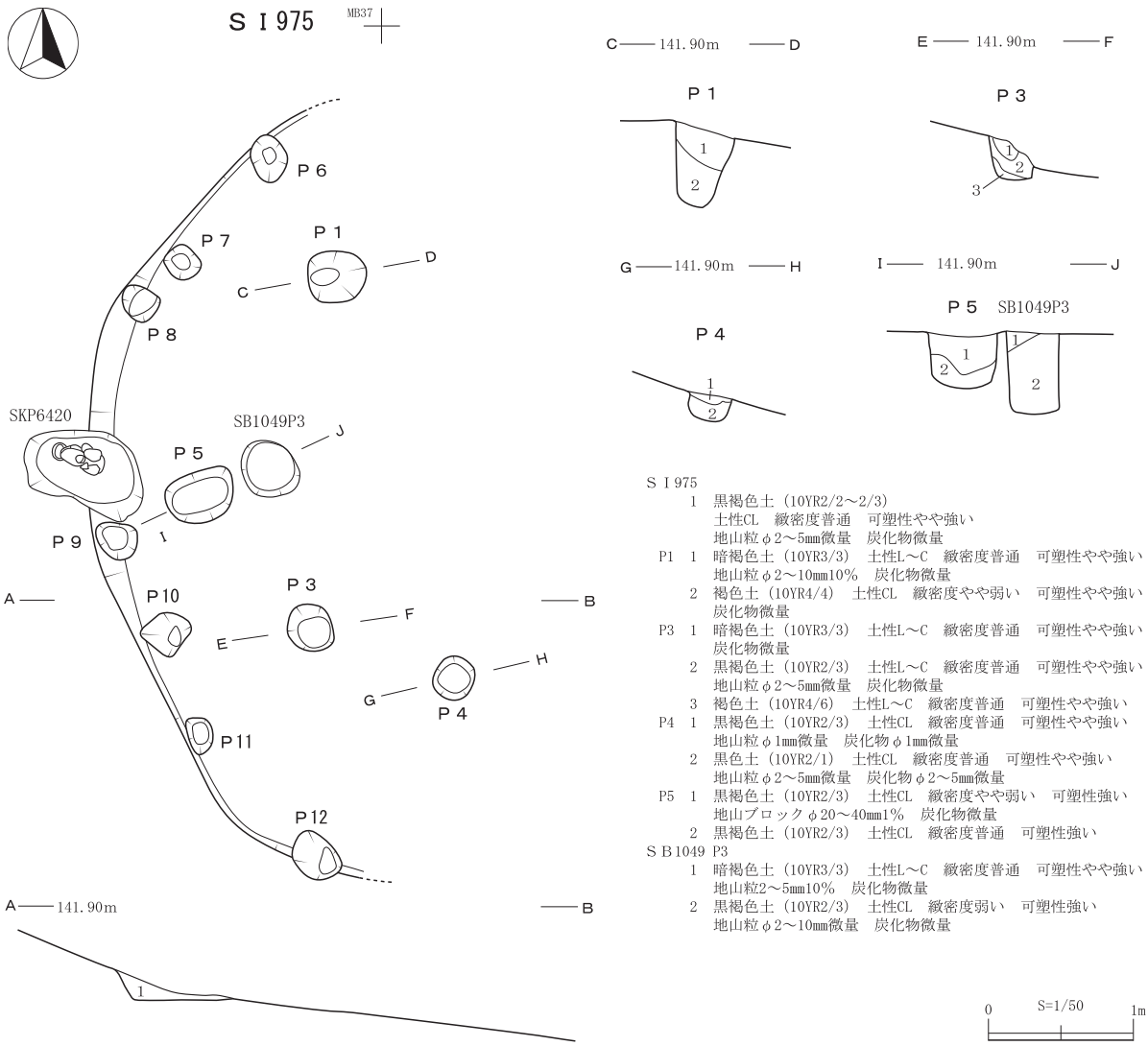

ＳＩ906　炉
1　黄褐色土（10YR5/8）
　土性SL　緻密度弱い　可塑性弱い
2　褐色土（10YR4/6）
　土性CL　緻密度普通　可塑性やや強い
　地山粒φ1mm1%
3　黄褐色土（10YR5/6）
　土性SL　緻密度普通　可塑性普通
　地山粒φ1～3mm1%　炭化物φ1～3mm1%




ＳＮ10005
1　黒褐色土（10YR2/3）　土性SiL　緻密度普通～強　可塑性弱
　炭化物φ1～5mm2%
2　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度弱～強　可塑性弱
　地山土もや状30%　焼土ブロックφ1～5mm3%

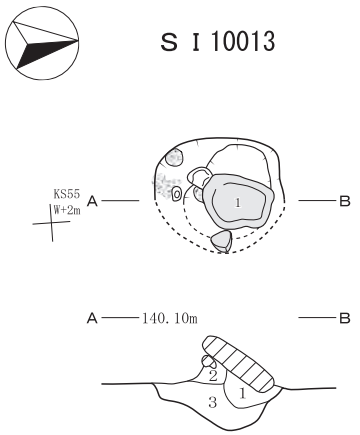
ＳＩ10006
1　黒褐色土（10YR2/2）　土性SiL　緻密度弱～強　可塑性なし　炭化物φ1～2mm2%　地山塊φ5～10mm5%
2　黒色土（10YR2/1）　土性SiL　緻密度弱～強　可塑性なし　炭化物φ1～10mm10%
3　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度普通～強　可塑性なし～弱
　地山塊φ5～10mm10%　炭化物φ1～2mm1%
4　暗褐色土（10YR3/4）　土性SiL　緻密度弱～強　可塑性なし　地山土もや状10%　炭化物φ1～2mm2%
5　暗褐色土（10YR3/3）　土性SiL　緻密度普通～強　可塑性なし　地山土もや状5%　炭化物φ1～2mm2%

**第62図　縄文（後期）遺構図10**
SI906・10006竪穴住居跡、SN10005焼土遺構

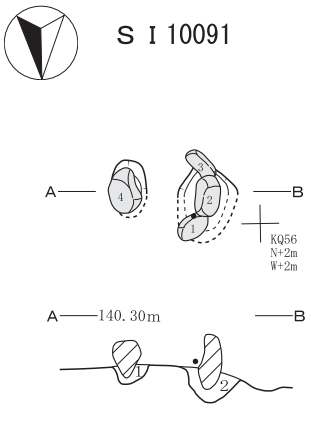



S I 975
1 黒褐色土（10YR2/2～2/3）
土性CL 緻密度普通 可塑性やや強い
地山粒φ2～5mm微量 炭化物微量
P1 1 暗褐色土（10YR3/3） 土性L～C 緻密度普通 可塑性やや強い
地山粒φ2～10mm10% 炭化物微量
2 褐色土（10YR4/4） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性やや強い
炭化物微量
P3 1 暗褐色土（10YR3/3） 土性L～C 緻密度普通 可塑性やや強い
炭化物微量
2 黒褐色土（10YR2/3） 土性L～C 緻密度普通 可塑性やや強い
地山粒φ2～5mm微量 炭化物微量
3 褐色土（10YR4/6） 土性L～C 緻密度普通 可塑性やや強い
P4 1 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度普通 可塑性やや強い
地山粒φ1mm微量 炭化物φ1mm微量
2 黒色土（10YR2/1） 土性CL 緻密度普通 可塑性やや強い
地山粒φ2～5mm微量 炭化物φ2～5mm微量
P5 1 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度やや弱い 可塑性強い
地山ブロックφ20～40mm1% 炭化物微量
2 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度普通 可塑性強い
S B1049 P3
1 暗褐色土（10YR3/3） 土性L～C 緻密度普通 可塑性やや強い
地山粒2～5mm10% 炭化物微量
2 黒褐色土（10YR2/3） 土性CL 緻密度弱い 可塑性強い
地山粒φ2～10mm微量 炭化物微量

0 S=1/50 1m



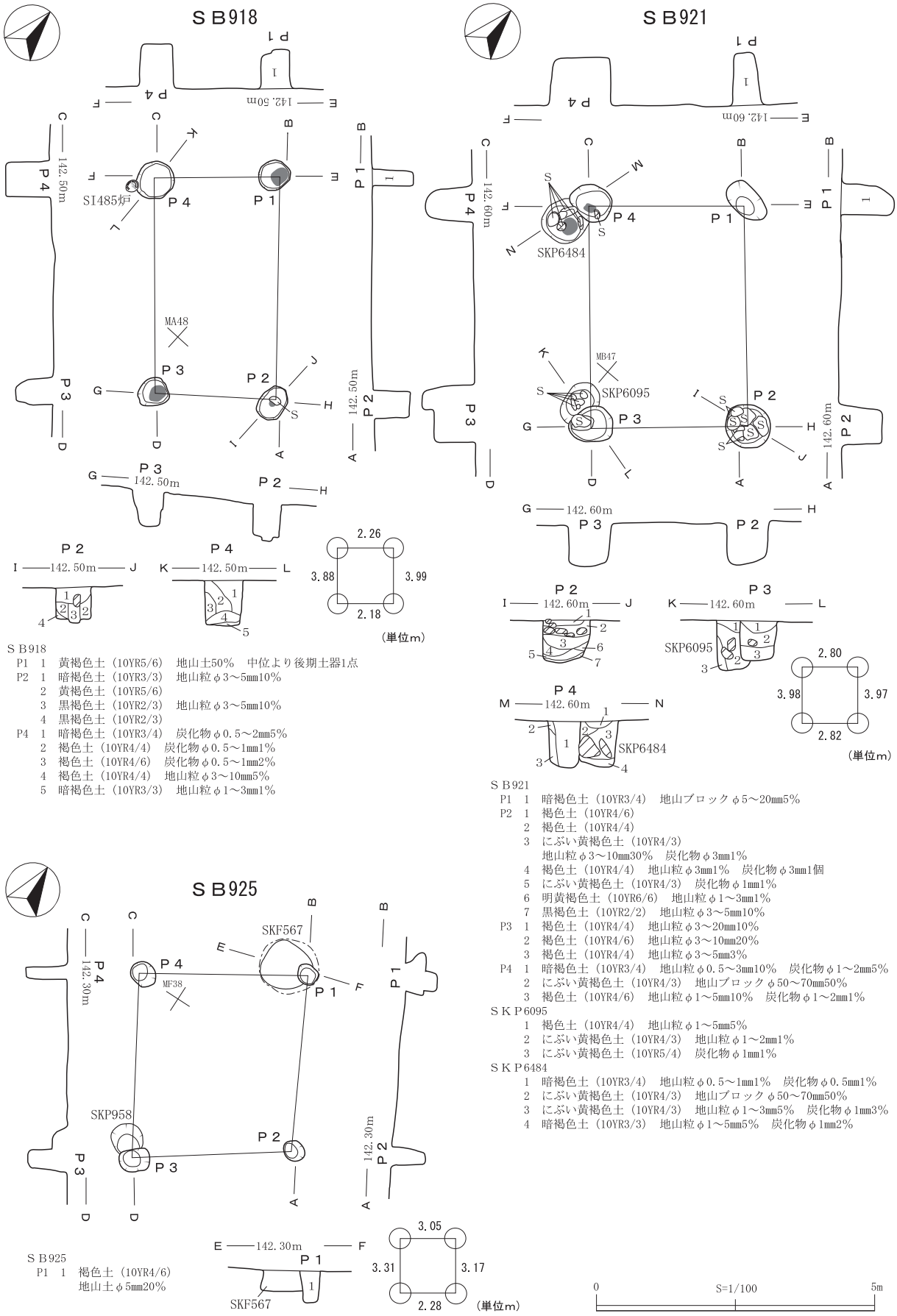

S I 10013
1 暗褐色土（10YR3/3） 土性L 緻密度弱 可塑性普通
地山ブロックφ5～12mm2% 地山土3% 炭化物φ2～3mm1%
2 黒褐色土（10YR2/3） 土性L 緻密度弱 可塑性弱
地山ブロックφ5mm1% 地山土2% 炭化物φ2mm1%
焼土ブロック5YR4/4混入
3 暗褐色土（10YR3/4） 土性L 緻密度普通 可塑性強
地山ブロックφ7～24mm15% 地山土30% 炭化物φ3～12mm2%




S I 10091
1 黒褐色土（10YR2/2） 土性SiL 緻密度強 可塑性普通
地山土1%
2 黒褐色土（10YR3/2） 土性SiL 緻密度強 可塑性普通
地山ブロックφ5～7mm5%

0 S=1/40 1m

第63図 縄文（後期）遺構図11
SI975・10013・10091竪穴住居跡




SB918
P1 1 黄褐色土（10YR5/6） 地山土50% 中位より後期土器1点
P2 1 暗褐色土（10YR3/3） 地山粒φ3～5mm10%
2 黄褐色土（10YR5/6）
3 黒褐色土（10YR2/3） 地山粒φ3～5mm10%
4 黒褐色土（10YR2/3）
P4 1 暗褐色土（10YR3/4） 炭化物φ0.5～2mm5%
2 褐色土（10YR4/4） 炭化物φ0.5～1mm1%
3 褐色土（10YR4/6） 炭化物φ0.5～1mm2%
4 褐色土（10YR4/4） 地山粒φ3～10mm5%
5 暗褐色土（10YR3/3） 地山粒φ1～3mm1%

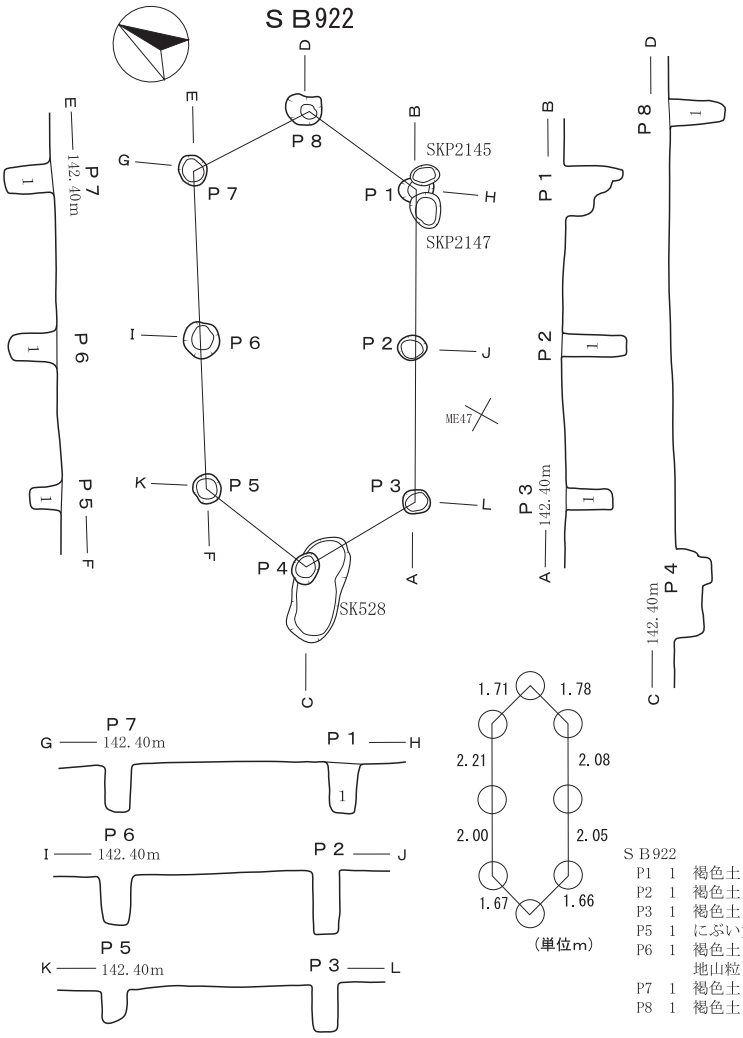
SB921
P1 1 暗褐色土（10YR3/4） 地山ブロックφ5～20mm5%
P2 1 褐色土（10YR4/6）
2 褐色土（10YR4/4）
3 にぶい黄褐色土（10YR4/3）
地山粒φ3～10mm30% 炭化物φ3mm1%
4 褐色土（10YR4/4） 地山粒φ3mm1% 炭化物φ3mm1個
5 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 炭化物φ1mm1%
6 明黄褐色土（10YR6/6） 地山粒φ1～3mm1%
7 黒褐色土（10YR2/2） 地山粒φ3～5mm10%
P3 1 褐色土（10YR4/4） 地山粒φ3～20mm10%
2 褐色土（10YR4/6） 地山粒φ3～10mm20%
3 褐色土（10YR4/4） 地山粒φ3～5mm3%
P4 1 暗褐色土（10YR3/4） 地山粒φ0.5～3mm10% 炭化物φ1～2mm5%
2 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 地山ブロックφ50～70mm50%
3 褐色土（10YR4/6） 地山粒φ1～5mm10% 炭化物φ1～2mm1%

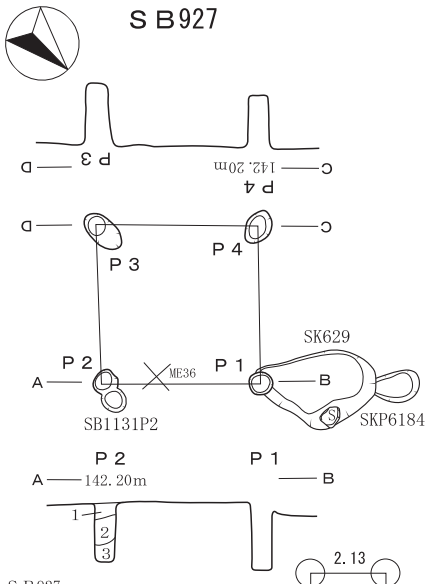
SKP6095
1 褐色土（10YR4/4） 地山粒φ1～5mm5%
2 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 地山粒φ1～2mm1%
3 にぶい黄褐色土（10YR5/4） 炭化物φ1mm1%

SKP6484
1 暗褐色土（10YR3/4） 地山粒φ0.5～1mm1% 炭化物φ0.5mm1%
2 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 地山ブロックφ50～70mm50%
3 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 地山粒φ1～3mm5% 炭化物φ1mm3%
4 暗褐色土（10YR3/3） 地山粒φ1～5mm5% 炭化物φ1mm2%

SB925
P1 1 褐色土（10YR4/6）
地山土φ5mm20%

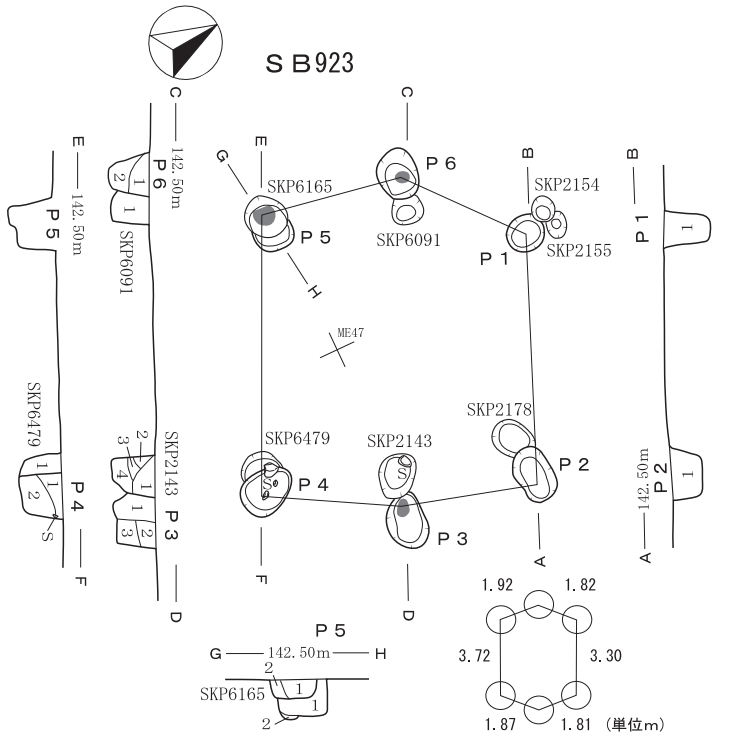
**第64図 縄文（後期）遺構図12**
SB918・921・925掘立柱建物跡




SB927
P2 1 暗褐色土（10YR3/4）
地山土20%
2 黒褐色土～暗褐色土
（10YR2/3～3/3）
地山粒多量
3 黒褐色土（10YR2/3）
地山粒多量

SB922
P1 1 褐色土（10YR4/6） 地山粒φ1～3mm5% 炭化物φ1mm1%
P2 1 褐色土（10YR4/4） 地山粒φ3～5mm10%
P3 1 褐色土（10YR4/4） 底面に礫 地山粒φ3～5mm5%
P5 1 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 炭化物φ1～3mm1%
P6 1 褐色土（10YR4/4）
地山粒φ3～5mm10% 炭化物φ1～2mm 礫1点3%
P7 1 褐色土（10YR4/4） 地山粒φ1～5mm20%
P8 1 褐色土（10YR4/6） 地山粒φ1～3mm




SB923
P1 1 にぶい黄褐色土（10YR4/3） 炭化物φ1mm1%
P2 1 暗褐色土（10YR3/4） 地山粒φ3～5mm5%
P3 1 暗褐色土（10YR3/3）
地山粒φ0.5～1mm5% 炭化物φ0.5～2mm2%
2 暗褐色土（10YR3/3） 地山ブロックφ10～30mm20%
3 暗褐色土（10YR3/3） 地山土20%
P4 1 暗褐色土（10YR3/3）
地山粒φ2～5mm10% 炭化物φ1～2mm3%
2 暗褐色土（10YR3/3） 地山粒φ3～10mm30%
地山土30% 炭化物φ1～3mm5%
P5 1 暗褐色土（10YR3/3）
地山粒φ5～20mm 炭化物φ1mm2%
2 褐色土（10YR4/6） 炭化物φ1mm1%
P6 1 暗褐色土（10YR3/3）
地山粒φ5～20mm30% 炭化物φ0.5～1mm2%
2 褐色土（10YR4/4） 炭化物φ0.5～1mm2%

SKP2143
1 黒褐色土（10YR2/3） 地山粒20% 炭化物φ1～5mm5%
2 褐色土（10YR4/6） 地山土20% 炭化物φ0.5～1mm2%
3 黒褐色土（10YR2/3）
4 黒褐色土（10YR2/3）
地山土マーブル状に20% 焼土粒2%

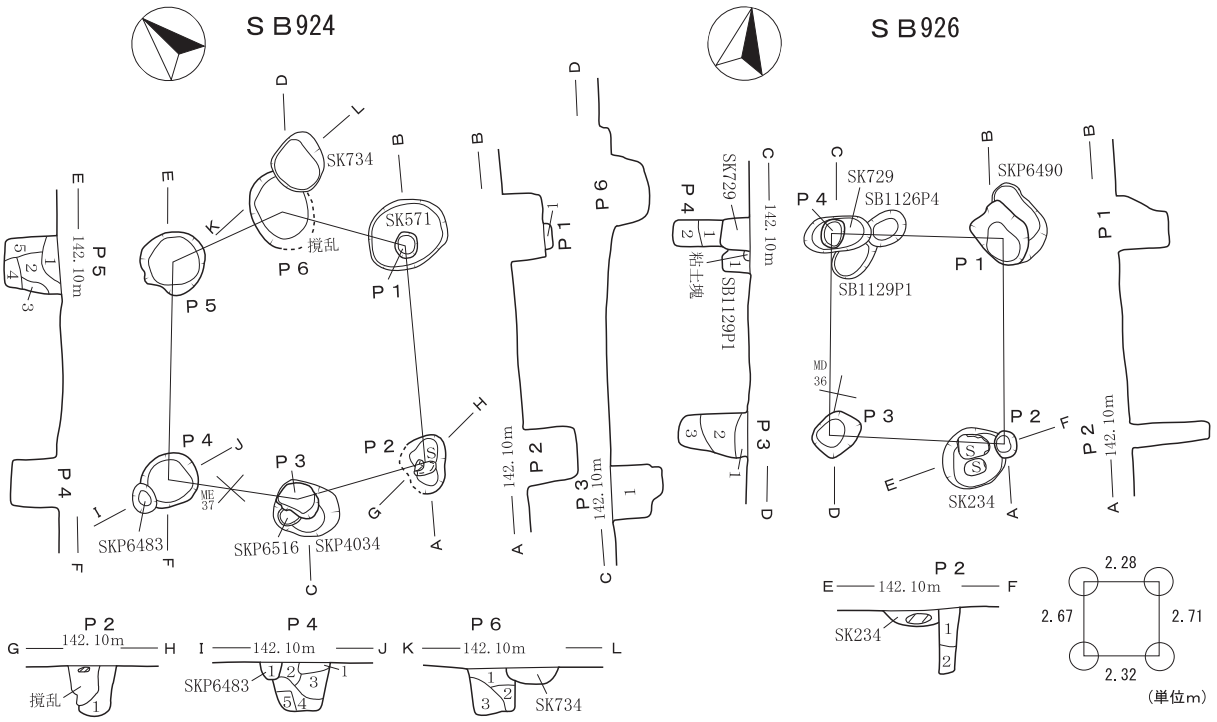
SKP6091
1 褐色土（10YR4/4）
地山粒φ1～2mm20% 炭化物φ1～3mm5%

SKP6165
1 暗褐色土（10YR3/4）
地山粒φ5～20mm 炭化物φ1mm1%
2 暗褐色土（10YR3/4） 炭化物φ1～3mm5%

SKP6479
1 暗褐色土（10YR3/3）
地山粒φ1～3mm3% 炭化物φ1mm2%

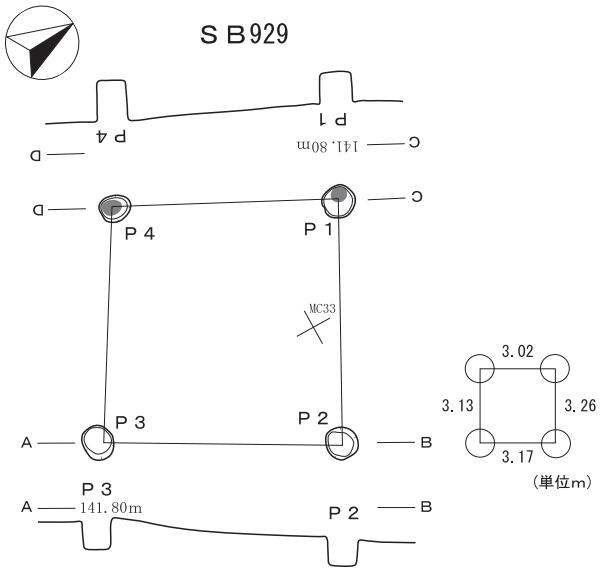
0 S=1/100 5m

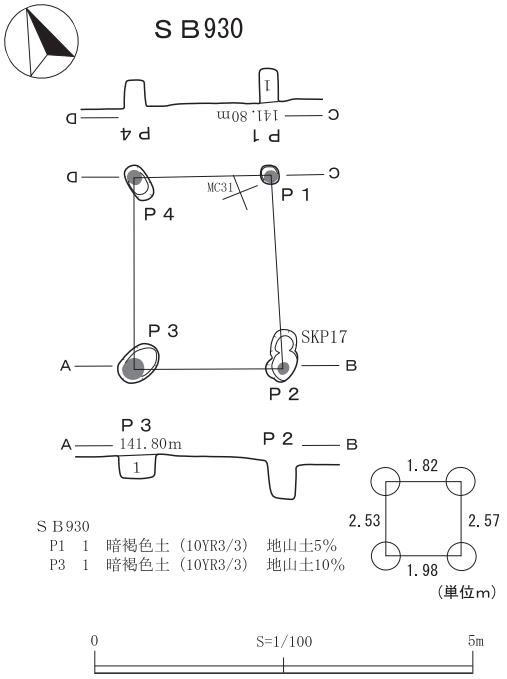
**第65図 縄文（後期）遺構図13**
SB922・923・927掘立柱建物跡




ＳＢ924
P1　1　黒色土（10YR2/1）　地山粒φ2～5mm15%
P2　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒2～5mm
　　地山ブロックφ40～50mm5%　炭化物微量
P3　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒多量
P4　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒3%
　　2　褐色土（10YR4/4）　地山粒10～15%
　　3　暗褐色土（10YR3/3）　炭化物3%　地山粒φ5～10mm
　　4　暗褐色土～褐色土（10YR3/4～4/4）　地山粒15%
　　5　にぶい黄褐色土（10YR5/4）　地山粒5～10%
　　地山ブロックφ50～60mm20%
P5　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒20%　炭化物微量
　　2　褐色土（10YR4/6）　地山土15%　炭化物微量
　　3　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒5%　炭化物微量
　　4　にぶい横褐色土（10YR4/3）　炭化物微量
　　5　褐色土（10YR4/4）　地山粒10%　地山土20%　炭化物微量
P6　1　褐色土（10YR4/4）　地山粒φ2～5mm　炭化物微量
　　2　褐色土（10YR4/6）　炭化物微量
　　3　暗褐色土～にぶい黄褐色土　（10YR3/3～4/3）
　　地山ブロックφ30～100mm15%　炭化物微量
ＳＫＰ6483
　　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒5%

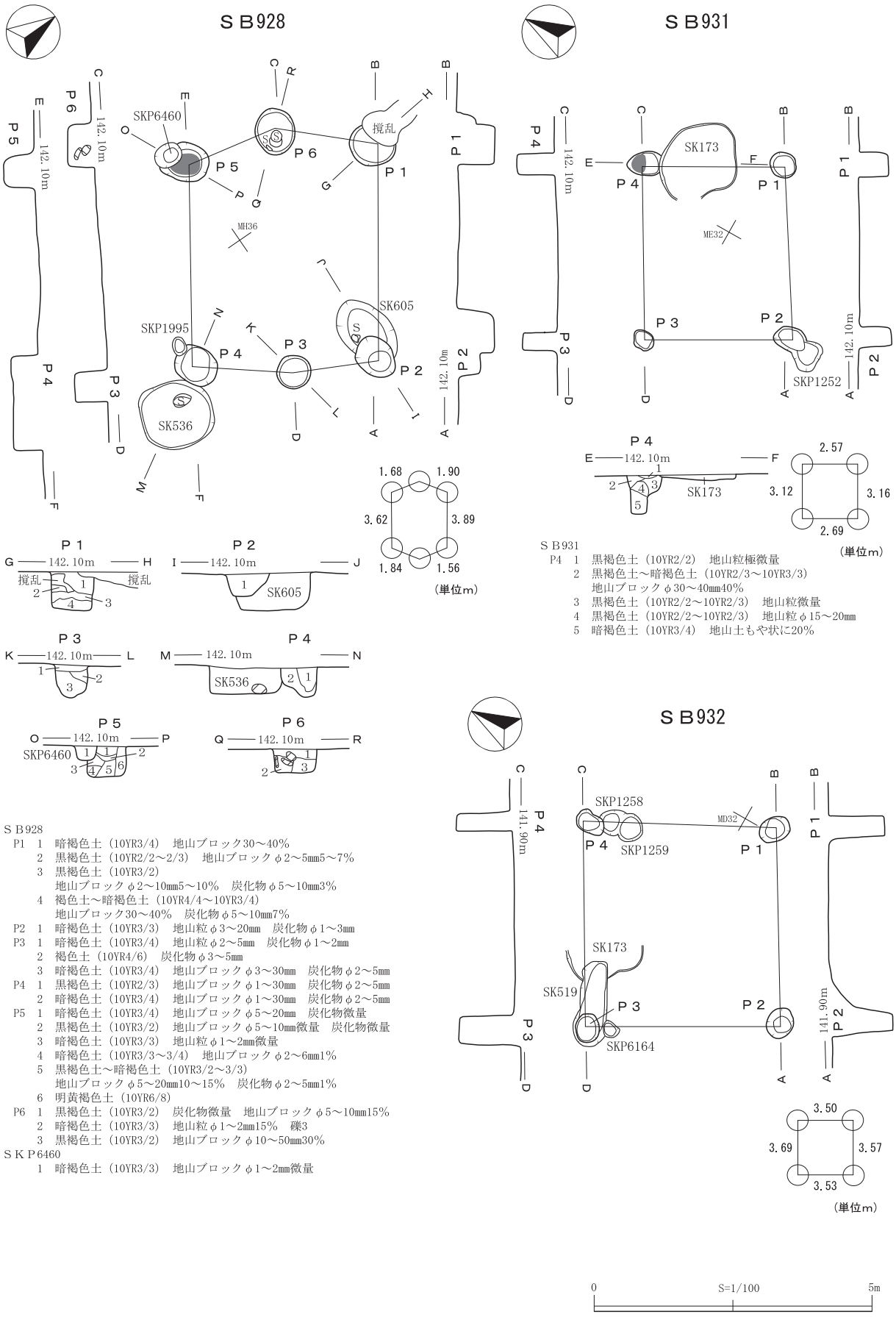
ＳＢ926
P2　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒φ2～5mm　炭化物微量
　　2　暗褐色土～にぶい黄褐色土（10YR3/3～4/3）
　　地山ブロックφ30～50mm15%　炭化物微量
P3　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒φ2～5mm　炭化物微量
　　2　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒φ2～5mm　炭化物微量
　　3　褐色土（10YR4/6）　地山粒φ2～5mm　炭化物微量
P4　1　褐色土（10YR4/4）　地山粒含む　炭化物微量
　　2　褐色土（10YR4/6）　地山粒微量　炭化物微量
ＳＢ1129
P1　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒含む　炭化物微量




ＳＢ930
P1　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山土5%
P3　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山土10%

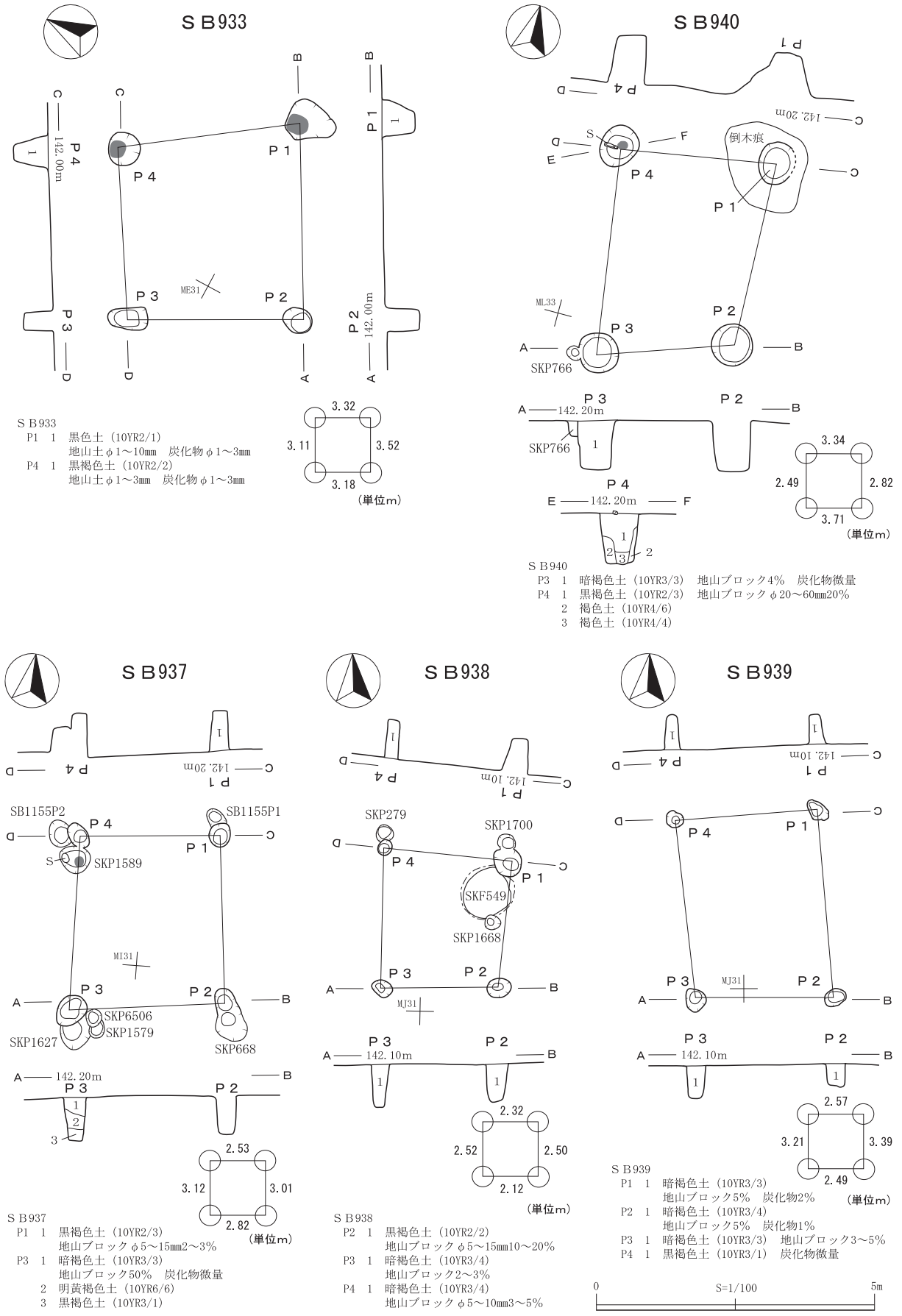
**第66図　縄文（後期）遺構図14**
SB924・926・929・930掘立柱建物跡




ＳＢ928
P1　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロック30～40%
　　2　黒褐色土（10YR2/2～2/3）　地山ブロックφ2～5mm5～7%
　　3　黒褐色土（10YR3/2）
　　地山ブロックφ2～10mm5～10%　炭化物φ5～10mm3%
　　4　褐色土～暗褐色土（10YR4/4～10YR3/4）
　　地山ブロック30～40%　炭化物φ5～10mm7%
P2　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒φ3～20mm　炭化物φ1～3mm
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒φ2～5mm　炭化物φ1～2mm
　　2　褐色土（10YR4/6）　炭化物φ3～5mm
　　3　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロックφ3～30mm　炭化物φ2～5mm
P4　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山ブロックφ1～30mm　炭化物φ2～5mm
　　2　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロックφ1～30mm　炭化物φ2～5mm
P5　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロックφ5～20mm　炭化物微量
　　2　黒褐色土（10YR3/2）　地山ブロックφ5～10mm微量　炭化物微量
　　3　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒φ1～2mm微量
　　4　暗褐色土（10YR3/3～3/4）　地山ブロックφ2～6mm1%
　　5　黒褐色土～暗褐色土（10YR3/2～3/3）
　　地山ブロックφ5～20mm10～15%　炭化物φ2～5mm1%
　　6　明黄褐色土（10YR6/8）
P6　1　黒褐色土（10YR3/2）　炭化物微量　地山ブロックφ5～10mm15%
　　2　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒φ1～2mm15%　礫3
　　3　黒褐色土（10YR3/2）　地山ブロックφ10～50mm30%
ＳＫＰ6460
　　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山ブロックφ1～2mm微量

ＳＢ931
P4　1　黒褐色土（10YR2/2）　地山粒極微量
　　2　黒褐色土～暗褐色土（10YR2/3～10YR3/3）
　　地山ブロックφ30～40mm40%
　　3　黒褐色土（10YR2/2～10YR2/3）　地山粒微量
　　4　黒褐色土（10YR2/2～10YR2/3）　地山粒φ15～20mm
　　5　暗褐色土（10YR3/4）　地山土もや状に20%

**第67図　縄文（後期）遺構図15**
SB928・931・932掘立柱建物跡




S B933
P1　1　黒色土（10YR2/1）
　　地山土φ1～10mm　炭化物φ1～3mm
P4　1　黒褐色土（10YR2/2）
　　地山土φ1～3mm　炭化物φ1～3mm

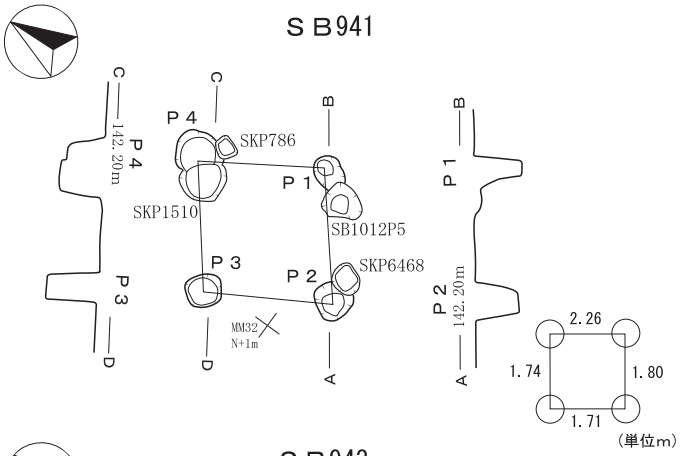
S B940
P3　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山ブロック4%　炭化物微量
P4　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山ブロックφ20～60mm20%
　　2　褐色土（10YR4/6）
　　3　褐色土（10YR4/4）

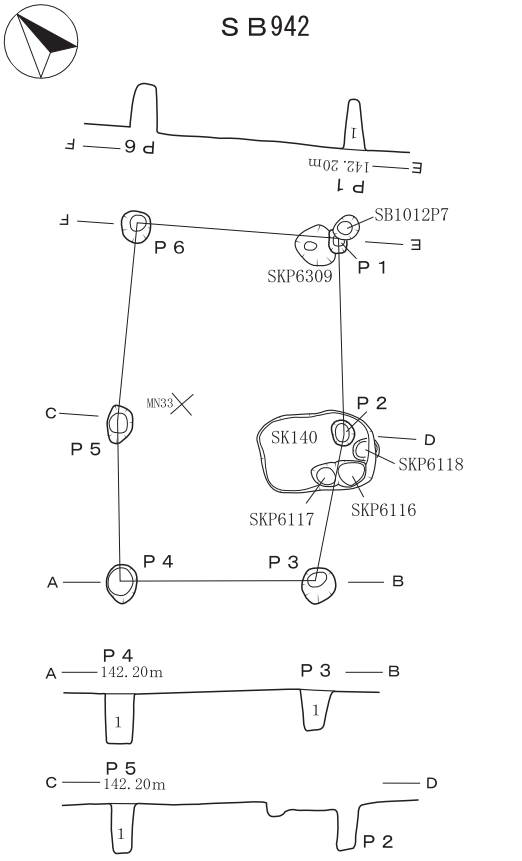
S B937
P1　1　黒褐色土（10YR2/3）
　　地山ブロックφ5～15mm2～3%
P3　1　暗褐色土（10YR3/3）
　　地山ブロック50%　炭化物微量
　　2　明黄褐色土（10YR6/6）
　　3　黒褐色土（10YR3/1）

S B938
P2　1　黒褐色土（10YR2/2）
　　地山ブロックφ5～15mm10～20%
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）
　　地山ブロック2～3%
P4　1　暗褐色土（10YR3/4）
　　地山ブロックφ5～10mm3～5%

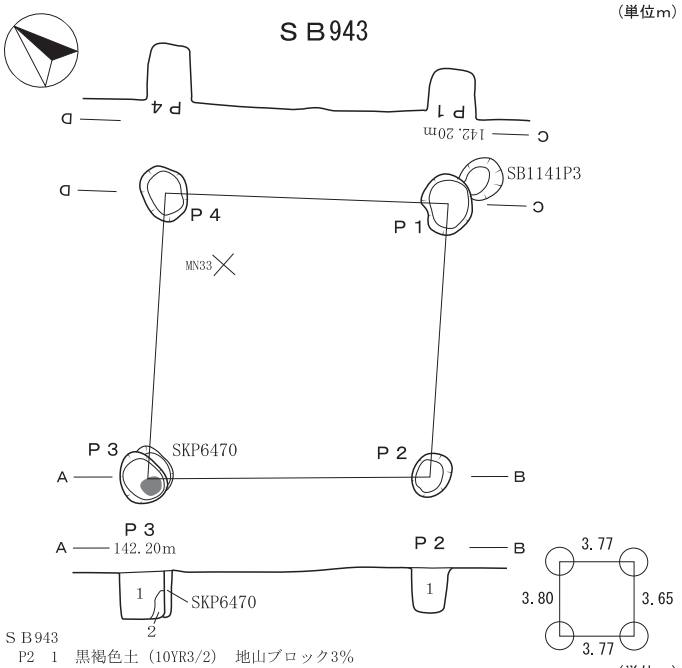
S B939
P1　1　暗褐色土（10YR3/3）
　　地山ブロック5%　炭化物2%
P2　1　暗褐色土（10YR3/4）
　　地山ブロック5%　炭化物1%
P3　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山ブロック3～5%
P4　1　黒褐色土（10YR3/1）　炭化物微量

**第68図　縄文（後期）遺構図16**
SB933・937・938・939・940掘立柱建物跡

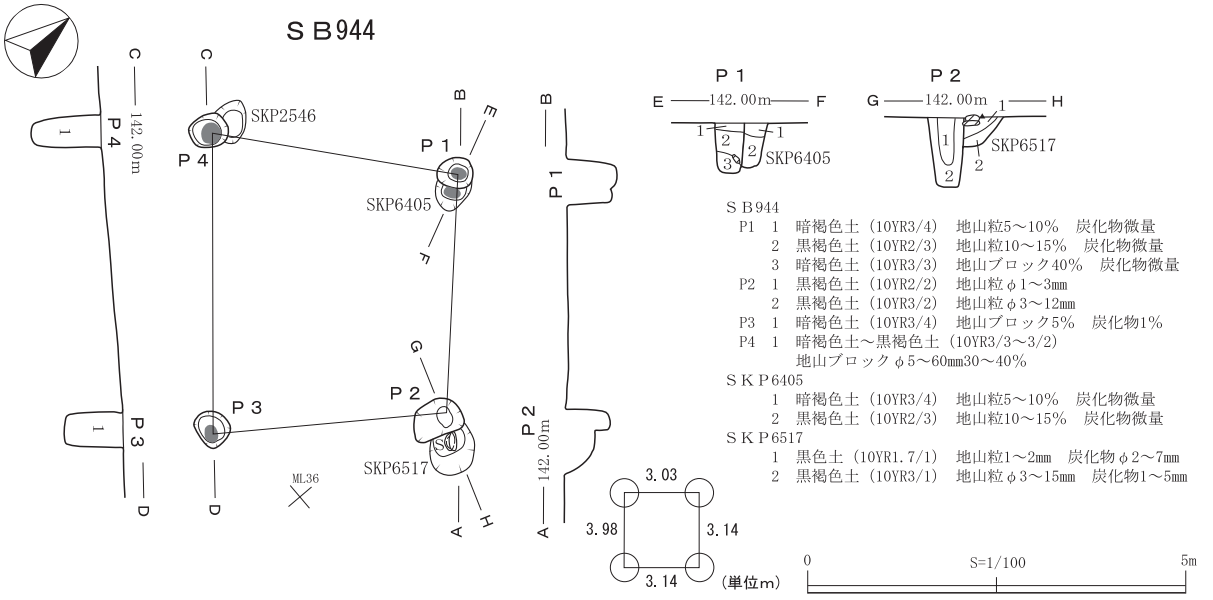



ＳＢ942
P1　1　黒褐色土（10YR2/3）
　　地山粒5%
P3　1　黒褐色土（10YR3/1）
　　地山ブロック5%　炭化物2%
P4　1　灰黄褐色土（10YR4/2）
　　地山ブロック2%　炭化物1%
P5　1　灰黄褐色土（10YR4/2）
　　地山ブロック20%　炭化物微量

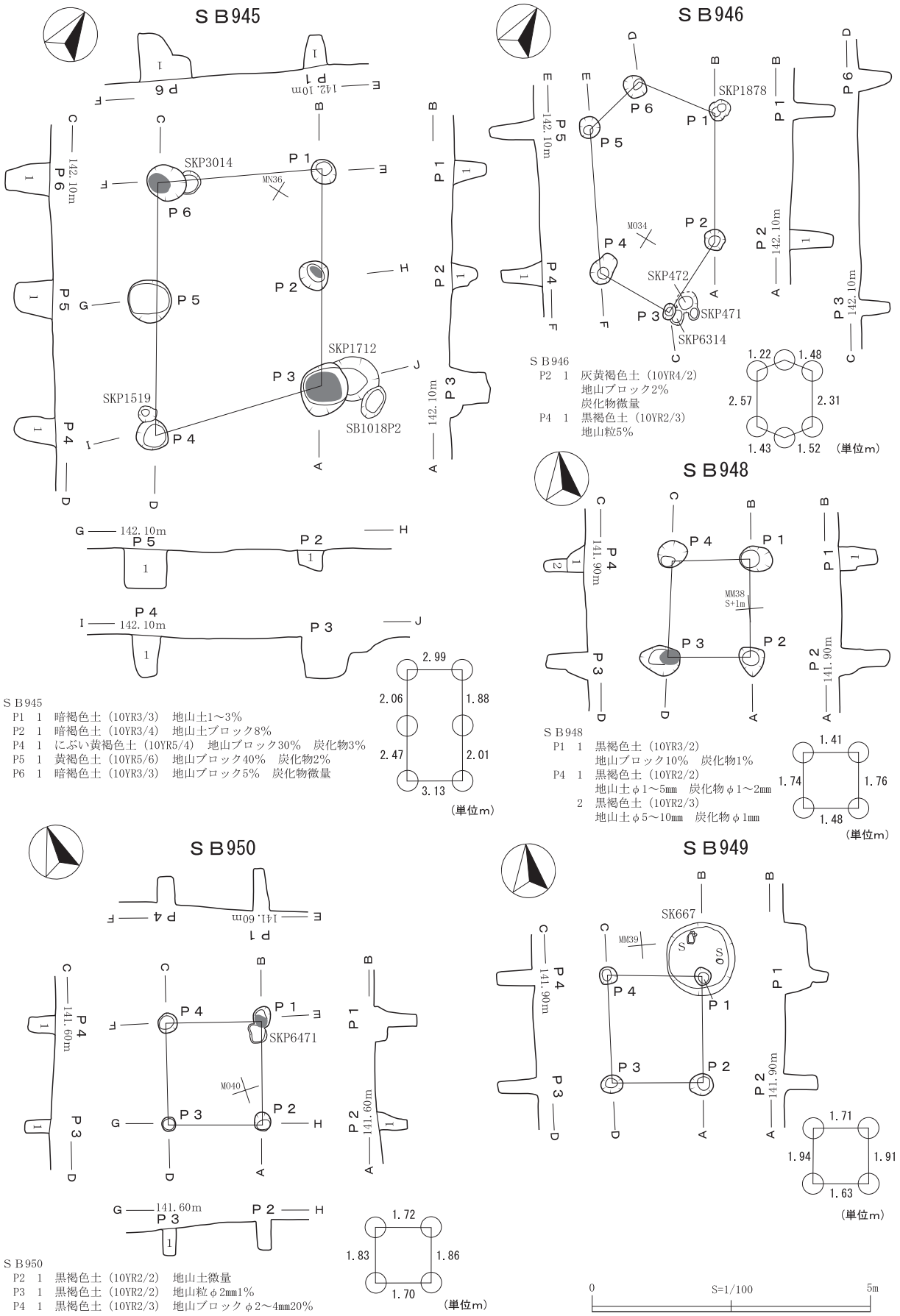



ＳＢ943
P2　1　黒褐色土（10YR3/2）　地山ブロック3%
P3　1　にぶい黄褐色土（10YR5/3）　地山粒10%　地山ブロック φ20～30㎜
　　2　褐色土～黄褐色土（10YR4/6～5/6）　地山粒10%




ＳＢ944
P1　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒5～10%　炭化物微量
　　2　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒10～15%　炭化物微量
　　3　暗褐色土（10YR3/3）　地山ブロック40%　炭化物微量
P2　1　黒褐色土（10YR2/2）　地山粒φ1～3㎜
　　2　黒褐色土（10YR3/2）　地山粒φ3～12㎜
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロック5%　炭化物1%
P4　1　暗褐色土～黒褐色土（10YR3/3～3/2）
　　地山ブロックφ5～60㎜30～40%
ＳＫＰ6405
　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒5～10%　炭化物微量
　2　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒10～15%　炭化物微量
ＳＫＰ6517
　1　黒色土（10YR1.7/1）　地山粒1～2㎜　炭化物φ2～7㎜
　2　黒褐色土（10YR3/1）　地山粒φ3～15㎜　炭化物1～5㎜

**第69図　縄文（後期）遺構図17**
SB941・942・943・944掘立柱建物跡



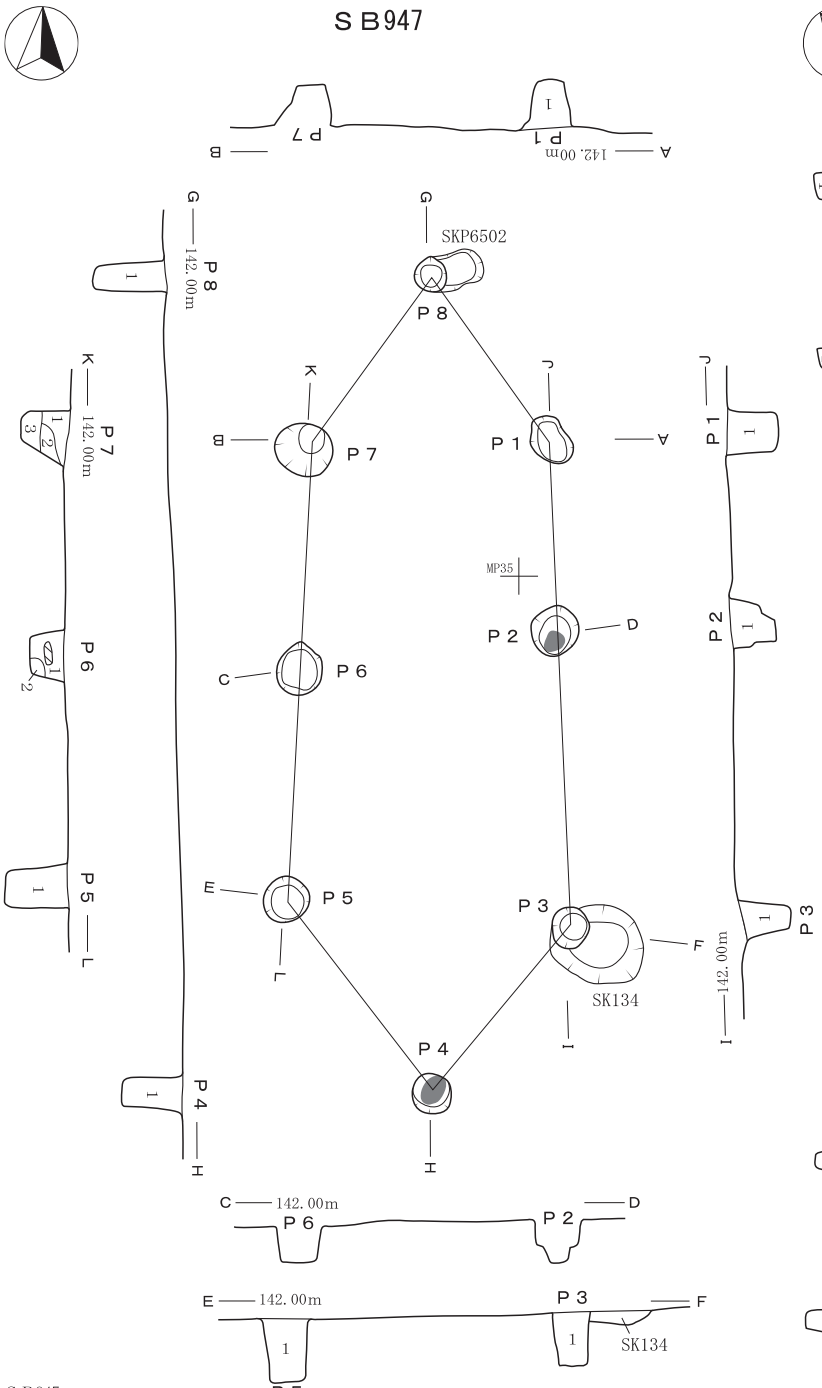

S B945
P1 1 暗褐色土（10YR3/3） 地山土1～3%
P2 1 暗褐色土（10YR3/4） 地山土ブロック8%
P4 1 にぶい黄褐色土（10YR5/4） 地山ブロック30% 炭化物3%
P5 1 黄褐色土（10YR5/6） 地山ブロック40% 炭化物2%
P6 1 暗褐色土（10YR3/3） 地山ブロック5% 炭化物微量

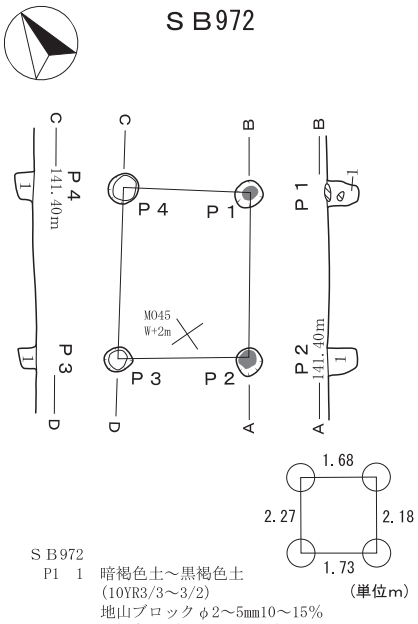
S B946
P2 1 灰黄褐色土（10YR4/2）
地山ブロック2%
炭化物微量
P4 1 黒褐色土（10YR2/3）
地山粒5%

S B948
P1 1 黒褐色土（10YR3/2）
地山ブロック10% 炭化物1%
P4 1 黒褐色土（10YR2/2）
地山土φ1～5mm 炭化物φ1～2mm
2 黒褐色土（10YR2/3）
地山土φ5～10mm 炭化物φ1mm

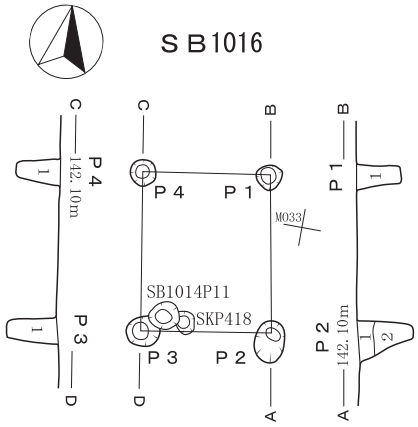
S B950
P2 1 黒褐色土（10YR2/2） 地山土微量
P3 1 黒褐色土（10YR2/2） 地山粒φ2mm1%
P4 1 黒褐色土（10YR2/3） 地山ブロックφ2～4mm20%

**第70図 縄文（後期）遺構図18**
SB945・946・948・949・950掘立柱建物跡

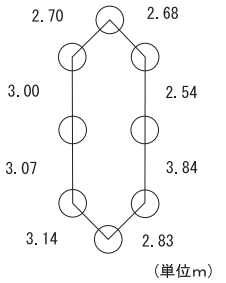



SB972
P1 1 暗褐色土～黒褐色土 (10YR3/3～3/2)
地山ブロック φ2～5mm10～15%
P2 1 黒褐色土 (10YR2/2～2/3)
地山ブロック φ5～20mm1%
P3 1 暗褐色土 (10YR3/3)
地山ブロック10% 炭化物微量
P4 1 黒褐色土 (10YR3/2)
地山ブロック φ2～10mm2～3%
炭化物 φ1～2mm1%



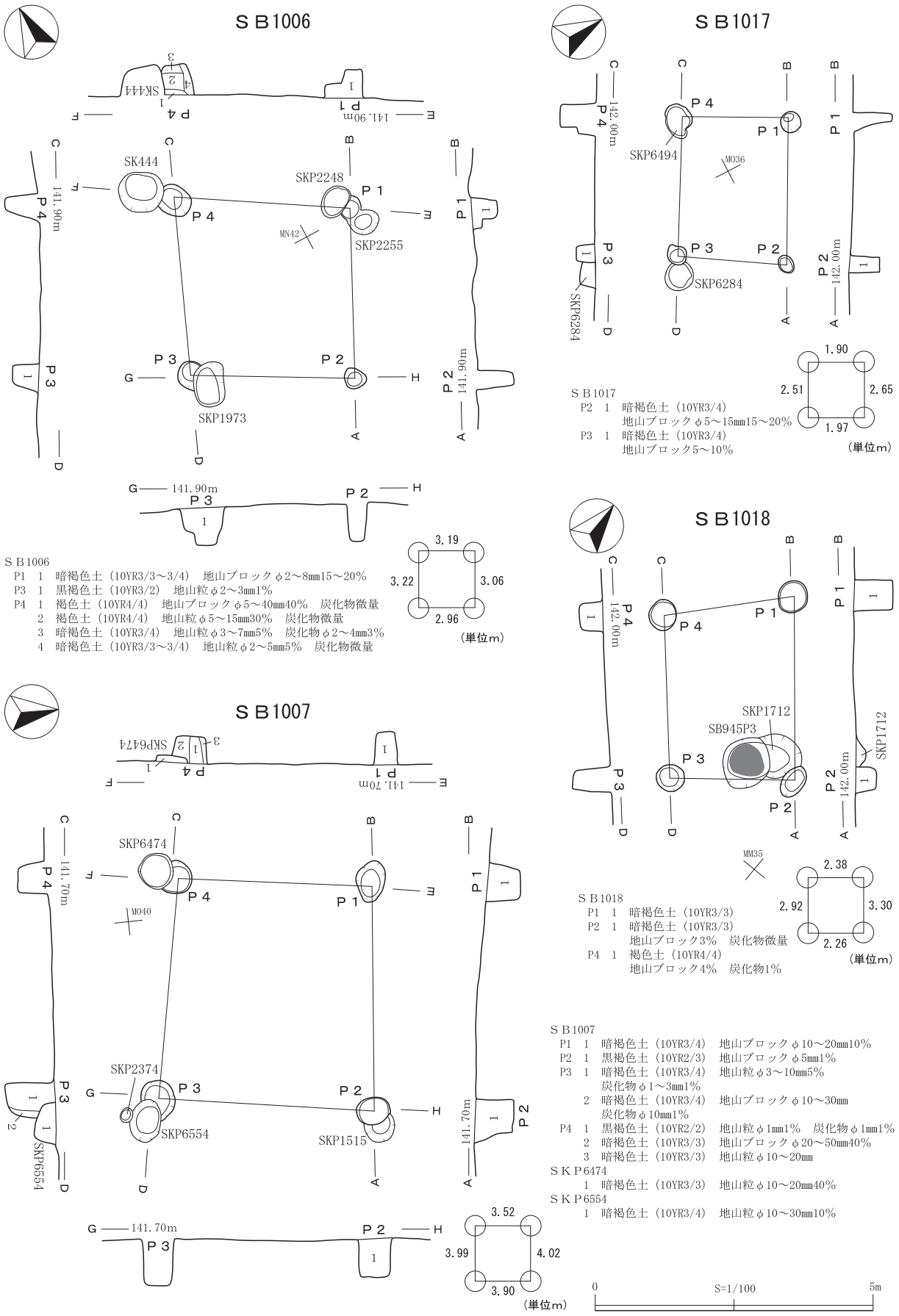

SB947
P1 1 黒褐色土 (10YR3/2) 地山ブロック5% 炭化物2%
P2 1 暗褐色土 (10YR3/4) 地山ブロック2～3% 炭化物微量
P3 1 暗褐色土 (10YR3/3)
地山ブロック φ2～40mm5% 地山土10～15%
P4 1 黒褐色土 (10YR3/2) 地山ブロック5% 炭化物微量
P5 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) 地山ブロック5% 炭化物1%
P6 1 にぶい黄褐色土 (10YR4/3)
2 暗褐色土 (10YR3/4) 地山ブロック20% 炭化物1%
P7 1 黒褐色土 (10YR2/3) 地山ブロック φ10～70mm
2 黄褐色土 (10YR5/8)
3 暗褐色土 (10YR3/4) 地山ブロック
P8 1 暗褐色土 (10YR3/3) 地山粒～ブロック φ2～15mm3～5%




SB1016
P1 1 黒褐色土 (10YR2/3)
地山ブロック10%
P2 1 褐色土 (10YR4/4)
地山ブロック30%
炭化物微量
2 暗褐色土 (10YR3/4)
地山ブロック30%
炭化物微量
P3 1 暗褐色土 (10YR3/3) 地山ブロック15～20%
P4 1 黒褐色土 (10YR3/2)
地山ブロック φ40% 炭化物 φ2%

0 S=1/100 5m

**第71図 縄文(後期)遺構図19**
SB947・972・1016掘立柱建物跡



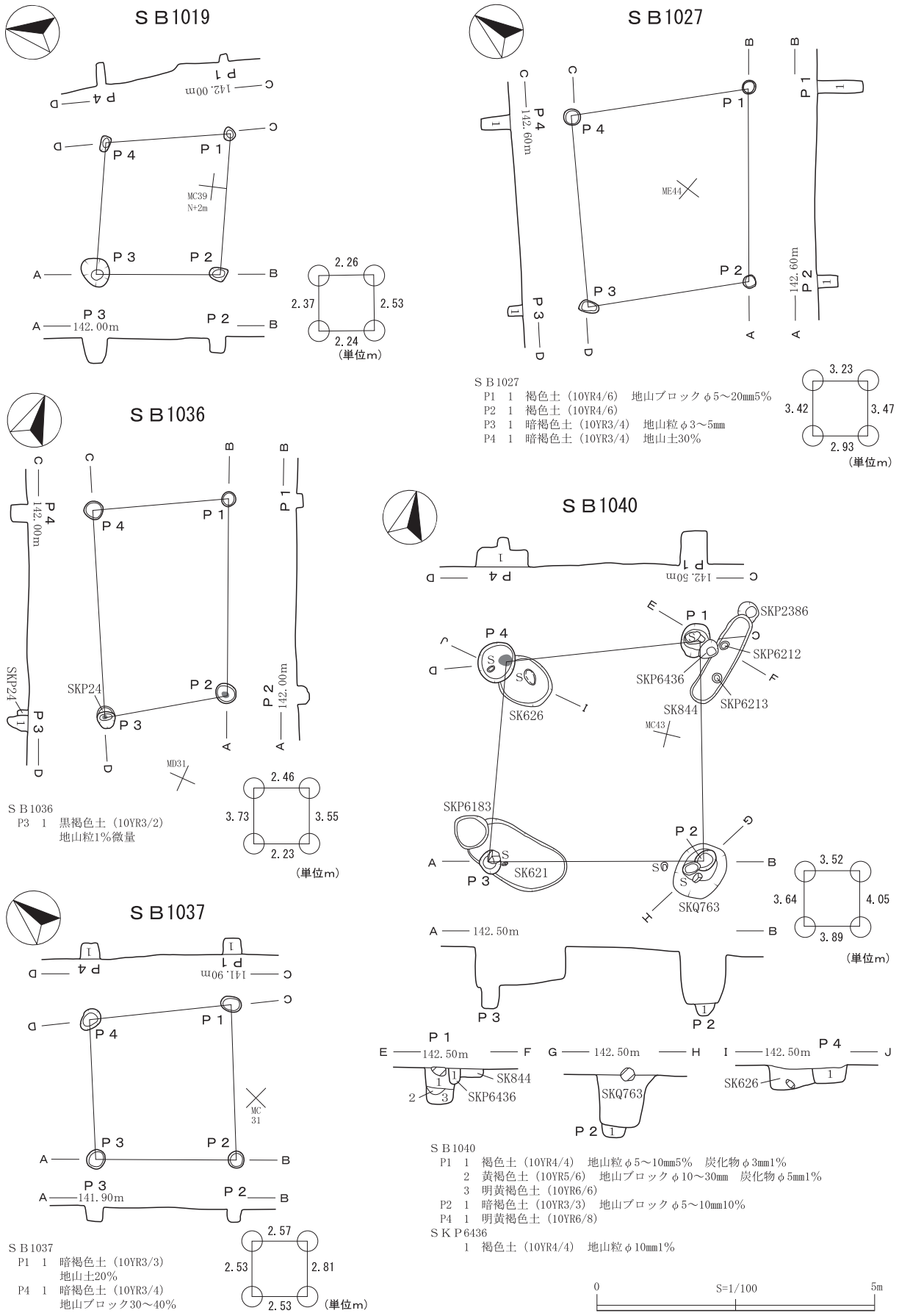

S B 1006
P1 1 暗褐色土（10YR3/3～3/4） 地山ブロック φ2～8mm15～20%
P3 1 黒褐色土（10YR3/2） 地山粒 φ2～3mm1%
P4 1 褐色土（10YR4/4） 地山ブロック φ5～40mm40% 炭化物微量
2 褐色土（10YR4/4） 地山粒 φ5～15mm30% 炭化物微量
3 暗褐色土（10YR3/4） 地山粒 φ3～7mm5% 炭化物 φ2～4mm3%
4 暗褐色土（10YR3/3～3/4） 地山粒 φ2～5mm5% 炭化物微量

S B 1017
P2 1 暗褐色土（10YR3/4）
地山ブロック φ5～15mm15～20%
P3 1 暗褐色土（10YR3/4）
地山ブロック5～10%

S B 1018
P1 1 暗褐色土（10YR3/3）
P2 1 暗褐色土（10YR3/3）
地山ブロック3% 炭化物微量
P4 1 褐色土（10YR4/4）
地山ブロック4% 炭化物1%

S B 1007
P1 1 暗褐色土（10YR3/4） 地山ブロック φ10～20mm10%
P2 1 黒褐色土（10YR2/3） 地山ブロック φ5mm1%
P3 1 暗褐色土（10YR3/4） 地山粒 φ3～10mm5%
炭化物 φ1～3mm1%
2 暗褐色土（10YR3/4） 地山ブロック φ10～30mm
炭化物 φ10mm1%
P4 1 黒褐色土（10YR2/2） 地山粒 φ1mm1% 炭化物 φ1mm1%
2 暗褐色土（10YR3/3） 地山ブロック φ20～50mm40%
3 暗褐色土（10YR3/3） 地山粒 φ10～20mm
S K P 6474
1 暗褐色土（10YR3/3） 地山粒 φ10～20mm40%
S K P 6554
1 暗褐色土（10YR3/4） 地山粒 φ10～30mm10%

**第72図 縄文（後期）遺構図20**
SB1006・1007・1017・1018掘立柱建物跡



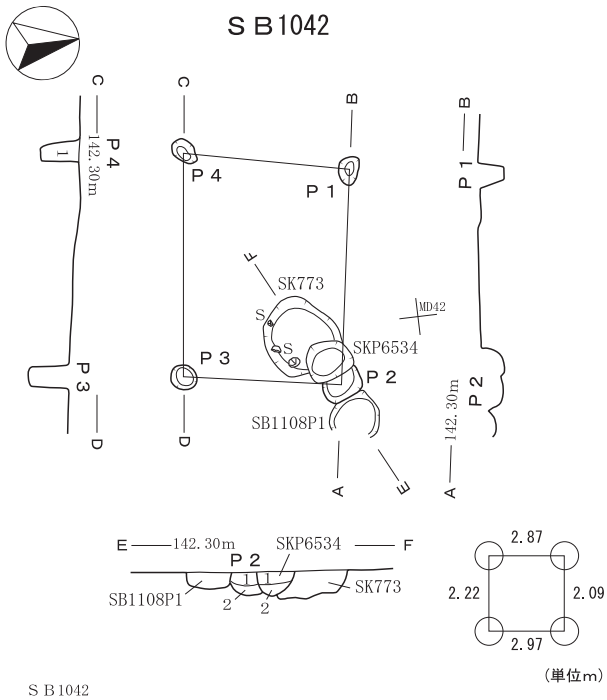

S B 1027
P1　1　褐色土（10YR4/6）　地山ブロック φ5～20mm5%
P2　1　褐色土（10YR4/6）
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒 φ3～5mm
P4　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山土30%

S B 1036
P3　1　黒褐色土（10YR3/2）
地山粒1%微量

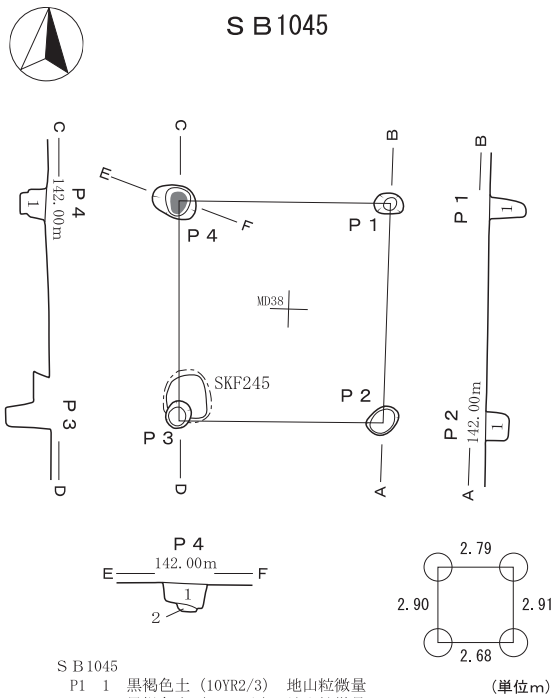
S B 1037
P1　1　暗褐色土（10YR3/3）
地山土20%
P4　1　暗褐色土（10YR3/4）
地山ブロック30～40%

S B 1040
P1　1　褐色土（10YR4/4）　地山粒 φ5～10mm5%　炭化物 φ3mm1%
2　黄褐色土（10YR5/6）　地山ブロック φ10～30mm　炭化物 φ5mm1%
3　明黄褐色土（10YR6/6）
P2　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山ブロック φ5～10mm10%
P4　1　明黄褐色土（10YR6/8）
S K P 6436
1　褐色土（10YR4/4）　地山粒 φ10mm1%

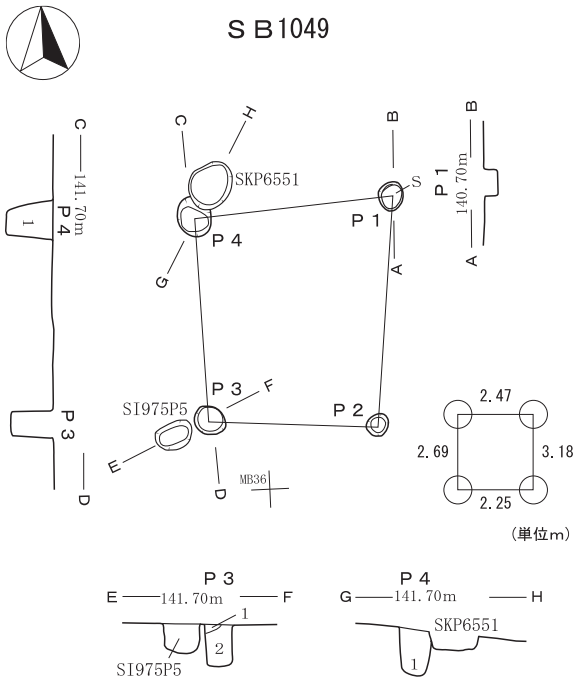
**第73図　縄文（後期）遺構図21**
SB1019・1027・1036・1037・1040掘立柱建物跡



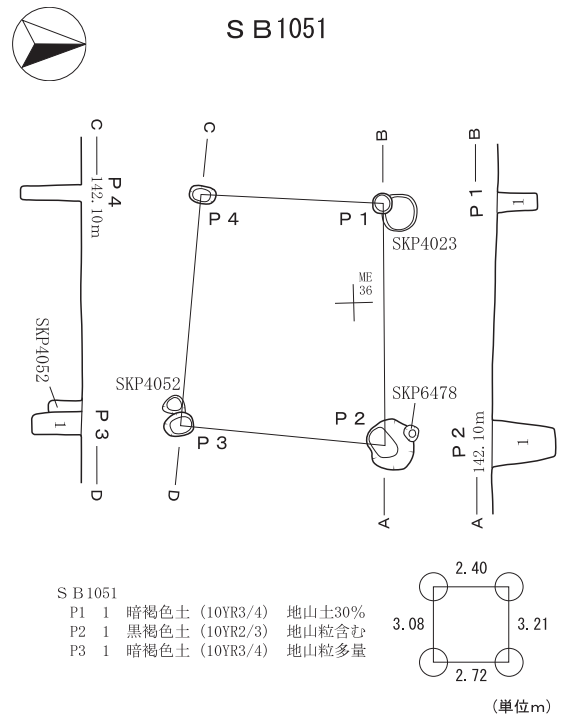

ＳＢ1042
P2　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロックφ10～40mm
　　2　褐色土（10YR4/4）　地山粒φ10mm
P4　1　褐色土（10YR4/4）　炭化物塊
ＳＫＰ6534
　　1　褐色土（10YR4/4）　地山粒φ10mm
　　2　褐色土（10YR4/6）　地山粒φ10～20mm




ＳＢ1045
P1　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒微量
P2　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒微量
P4　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒含む　炭化物微量



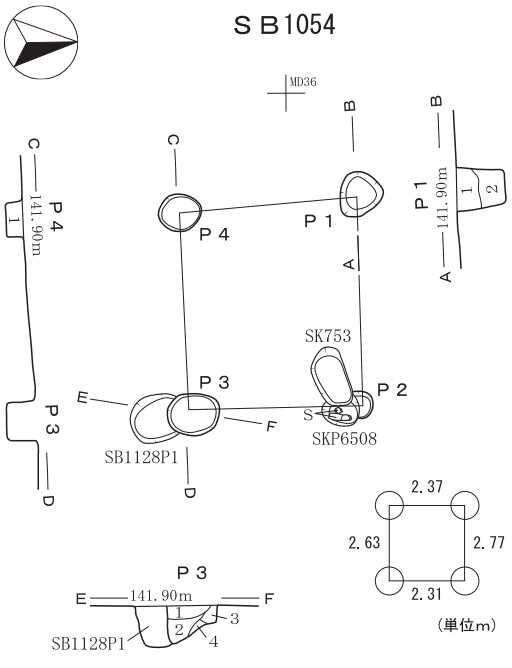

ＳＢ1049
P3　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒φ2～5mm10%　炭化物微量
　　2　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒φ2～10mm微量　炭化物微量
P4　1　黒褐色土～暗褐色土（10YR2/3～3/3）　炭化物微量



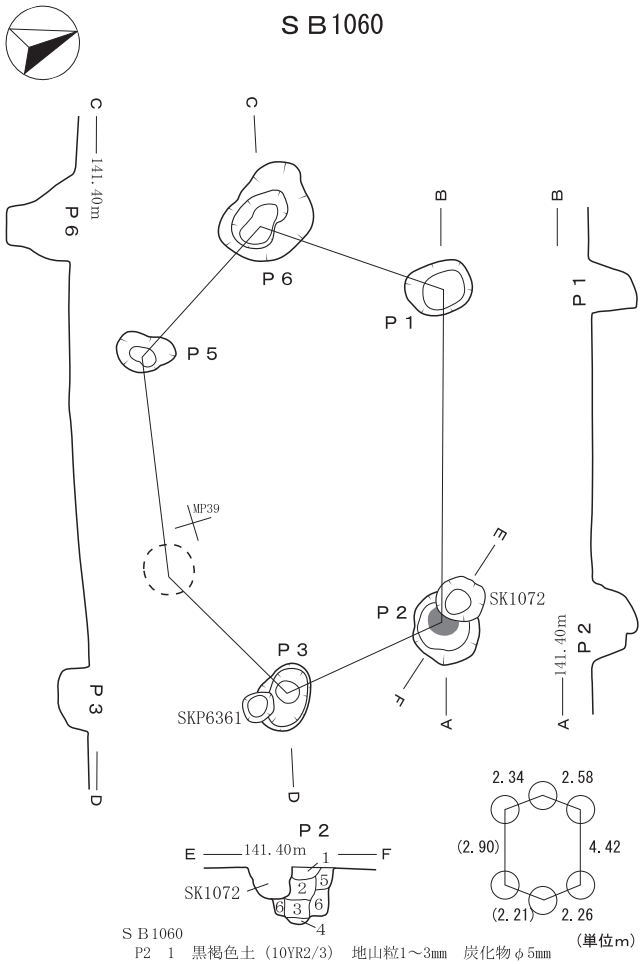

ＳＢ1051
P1　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山土30%
P2　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒含む
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒多量

0　S=1/100　5m

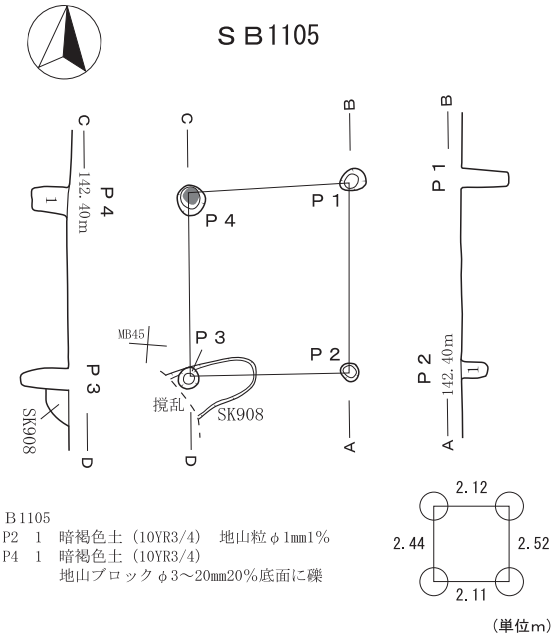
**第74図　縄文（後期）遺構図22**
SB1042・1045・1049・1051掘立柱建物跡



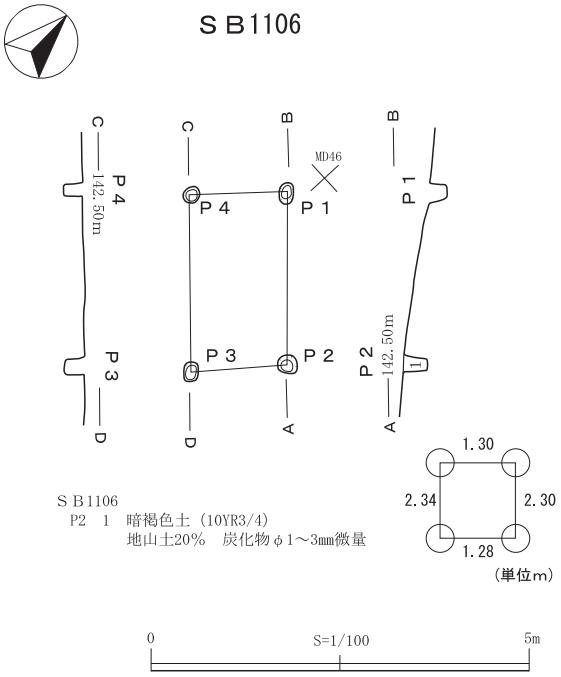

SB1054
P1　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒微量
　　2　褐色土（10YR4/6）　地山粒普通
P3　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒5%　炭化物微量
　　2　暗褐色土（10YR3/3）　地山土15%　炭化物微量
　　3　暗褐色土（10YR3/3）　炭化物微量
　　4　褐色土（10YR4/4）　炭化物微量
P4　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山土40%




SB1060
P2　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒1～3mm　炭化物φ5mm
　　2　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒3～5mm　炭化物φ3mm
　　3　黒褐色土（10YR2/2）　地山粒5mm　炭化物φ2～3mm
　　4　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒3mm　炭化物2～3mm
　　5　灰黄褐色土～黄褐色土（10YR4/2～5/8）
　　6　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒5～30mm　炭化物3～5mm
P5　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒20%

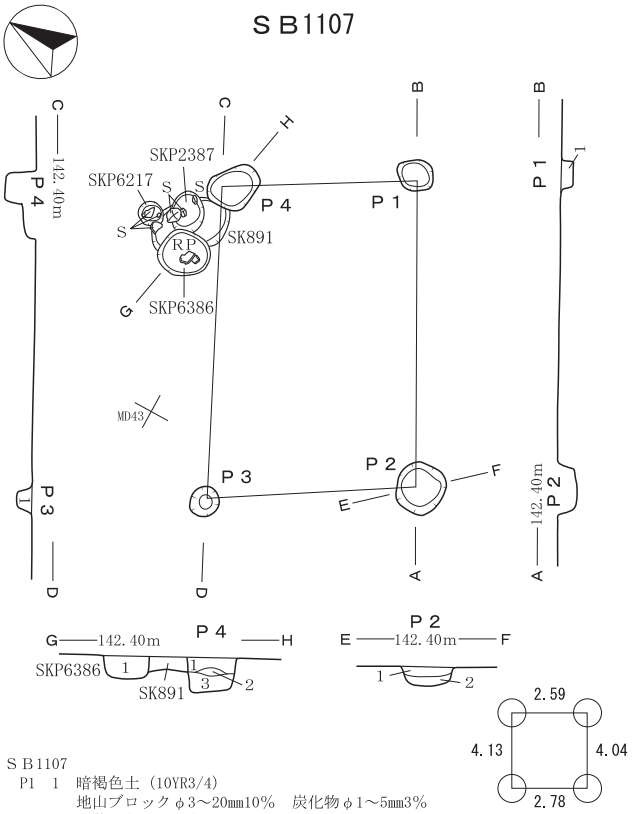


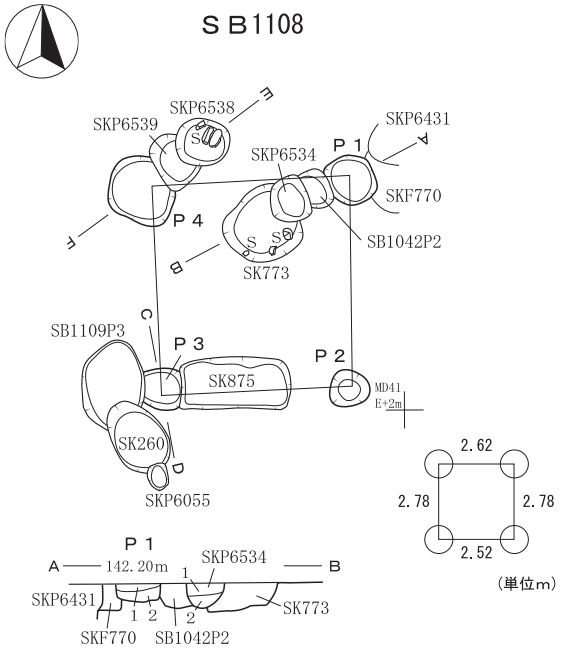

SB1105
P2　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒φ1mm1%
P4　1　暗褐色土（10YR3/4）
　　地山ブロックφ3～20mm20%底面に礫




SB1106
P2　1　暗褐色土（10YR3/4）
　　地山土20%　炭化物φ1～3mm微量

**第75図　縄文(後期)遺構図23**
SB1054・1060・1105・1106掘立柱建物跡




SB1107
- P1 1 暗褐色土（10YR3/4）
  地山ブロックφ3～20mm10%　炭化物φ1～5mm3%
- P2 1 灰黄褐色土～褐色土（10YR4/2～4/6）
  炭化物φ1mm　地山粒φ2～8mm
  2 にぶい黄褐色土～黄褐色土（10YR5/4～5/6）
  地山粒φ3～5mm　炭化物φ1～3mm
- P3 1 暗褐色土（10YR3/4）　地山粒φ5～20mm10%
- P4 1 褐色土（10YR4/6）　地山ブロックφ10～50mm　炭化物φ3mm1%
  2 黄褐色土（10YR5/6）　地山粒φ10mm30%
  3 褐色土（10YR4/4）　地山粒φ10mm10%

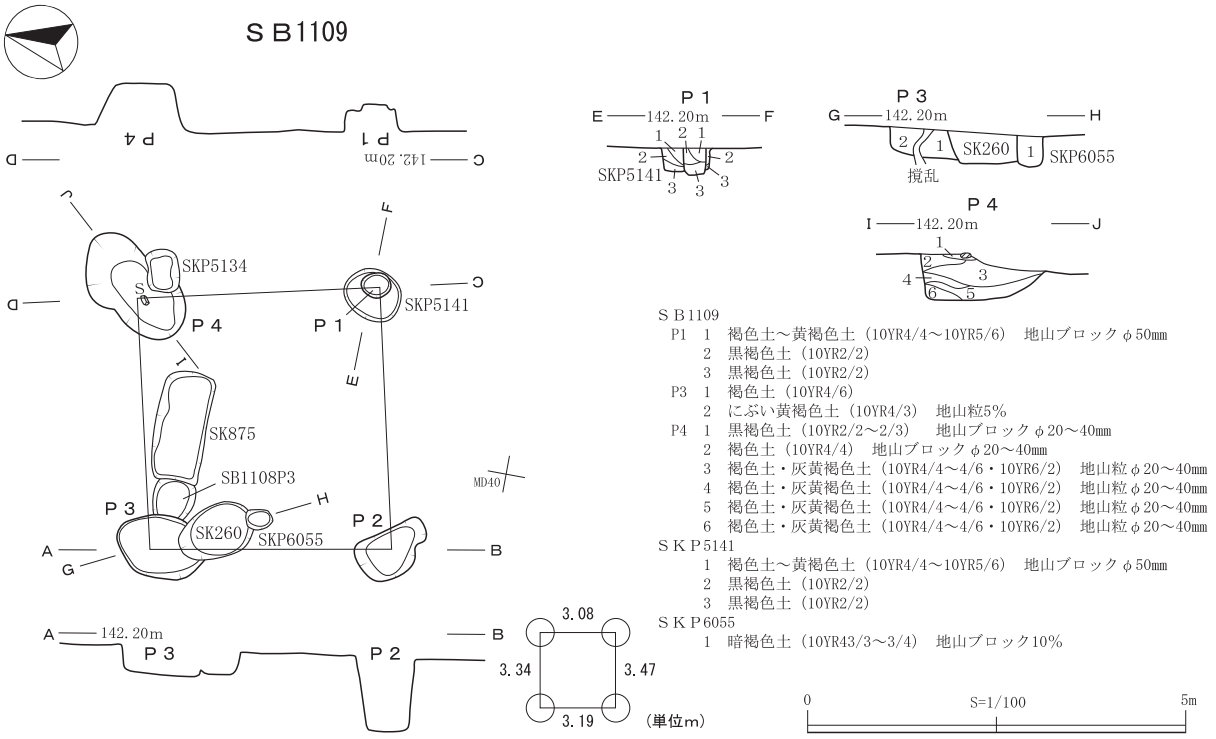
SKP6386
- 1 褐色土（10YR4/6）　地山ブロック5～30%

SB1108
- P1 1 暗褐色土（10YR3/4）　地山粒φ1mm
  2 暗褐色土（10YR3/3）　地山粒φ2mm
- P4 1 黄褐色土（10YR5/6）　地山粒φ5mm5%　炭化物φ1～3mm1%
  2 黄褐色土（10YR5/8）　地山ブロックφ50mm1%

SKP6534
- 1 褐色土（10YR4/4）　地山粒φ10mm
- 2 褐色土（10YR4/6）　地山粒φ10～20mm

SKP6538
- 1 褐色土（10YR4/4）　地山粒φ1～3mm1%
- 2 褐色土（10YR4/6）　地山ブロックφ10～40mm10%

SKP6539
- 1 褐色土（10YR4/6）　地山粒φ5mm1%

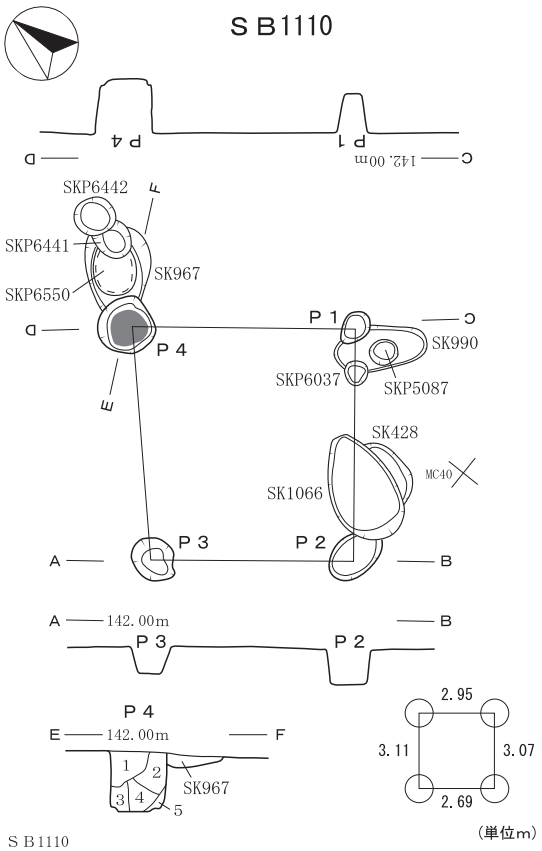



SB1109
- P1 1 褐色土～黄褐色土（10YR4/4～10YR5/6）　地山ブロックφ50mm
  2 黒褐色土（10YR2/2）
  3 黒褐色土（10YR2/2）
- P3 1 褐色土（10YR4/6）
  2 にぶい黄褐色土（10YR4/3）　地山粒5%
- P4 1 黒褐色土（10YR2/2～2/3）　地山ブロックφ20～40mm
  2 褐色土（10YR4/4）　地山ブロックφ20～40mm
  3 褐色土・灰黄褐色土（10YR4/4～4/6・10YR6/2）　地山粒φ20～40mm
  4 褐色土・灰黄褐色土（10YR4/4～4/6・10YR6/2）　地山粒φ20～40mm
  5 褐色土・灰黄褐色土（10YR4/4～4/6・10YR6/2）　地山粒φ20～40mm
  6 褐色土・灰黄褐色土（10YR4/4～4/6・10YR6/2）　地山粒φ20～40mm

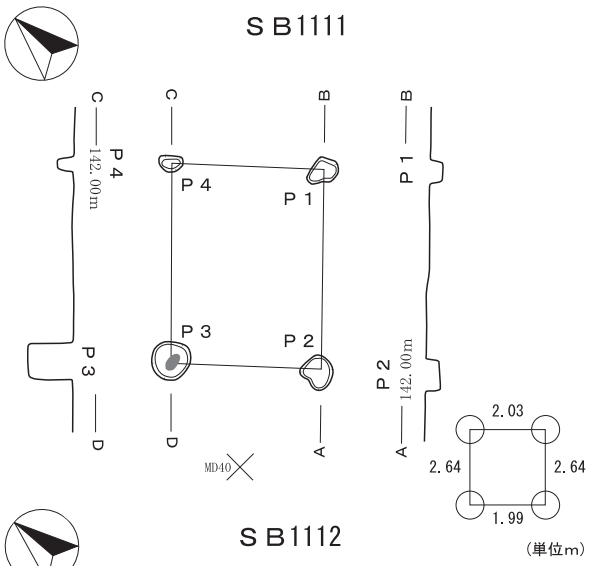
SKP5141
- 1 褐色土～黄褐色土（10YR4/4～10YR5/6）　地山ブロックφ50mm
- 2 黒褐色土（10YR2/2）
- 3 黒褐色土（10YR2/2）

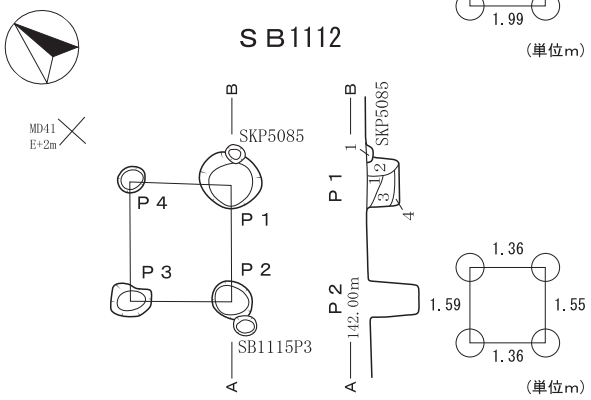
SKP6055
- 1 暗褐色土（10YR43/3～3/4）　地山ブロック10%

**第76図　縄文（後期）遺構図24**
SB1107・1108・1109掘立柱建物跡

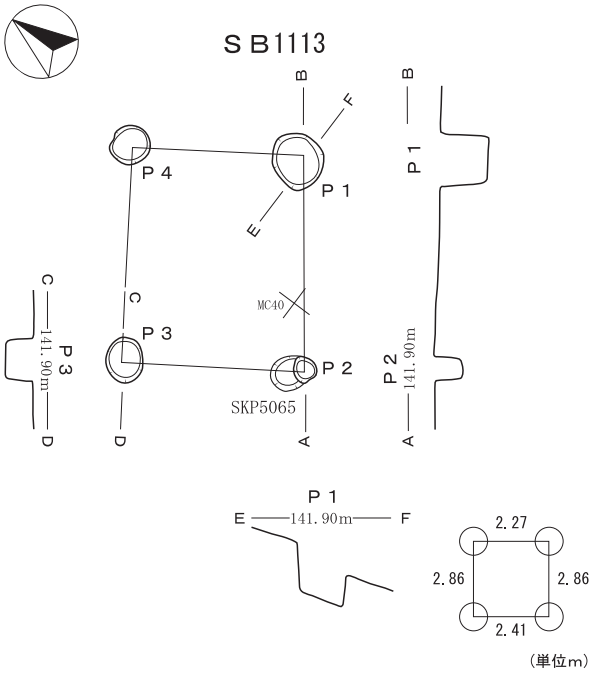


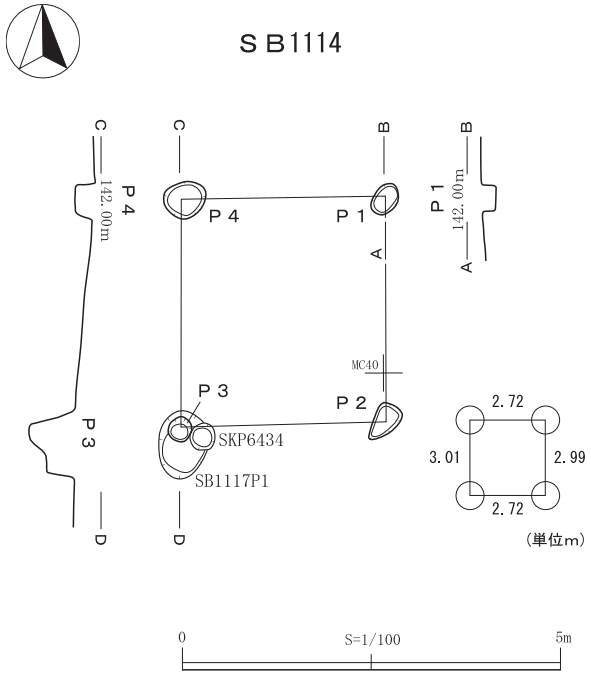

ＳＢ1110
P4　1　黒色土～黒褐色土・褐色土～黄褐色土
(10YR2/1～2/2・10YR4/4～5/6)　地山ブロック φ30㎜
2　黒褐色土～褐色土・褐色土～黄褐色土
(10YR2/3～4/4・10YR4/4～5/6)
3　黒褐色土～暗褐色土・にぶい黄橙色土～浅黄橙色土
(10YR2/3～3/4・10YR7/2～8/3)
4　黒褐色土～褐色土・にぶい黄橙色土～浅黄橙色土
(10YR2/3～4/4・10YR7/2～8/3)
5　にぶい黄橙色土～浅黄橙色土 (10YR7/2～8/3)



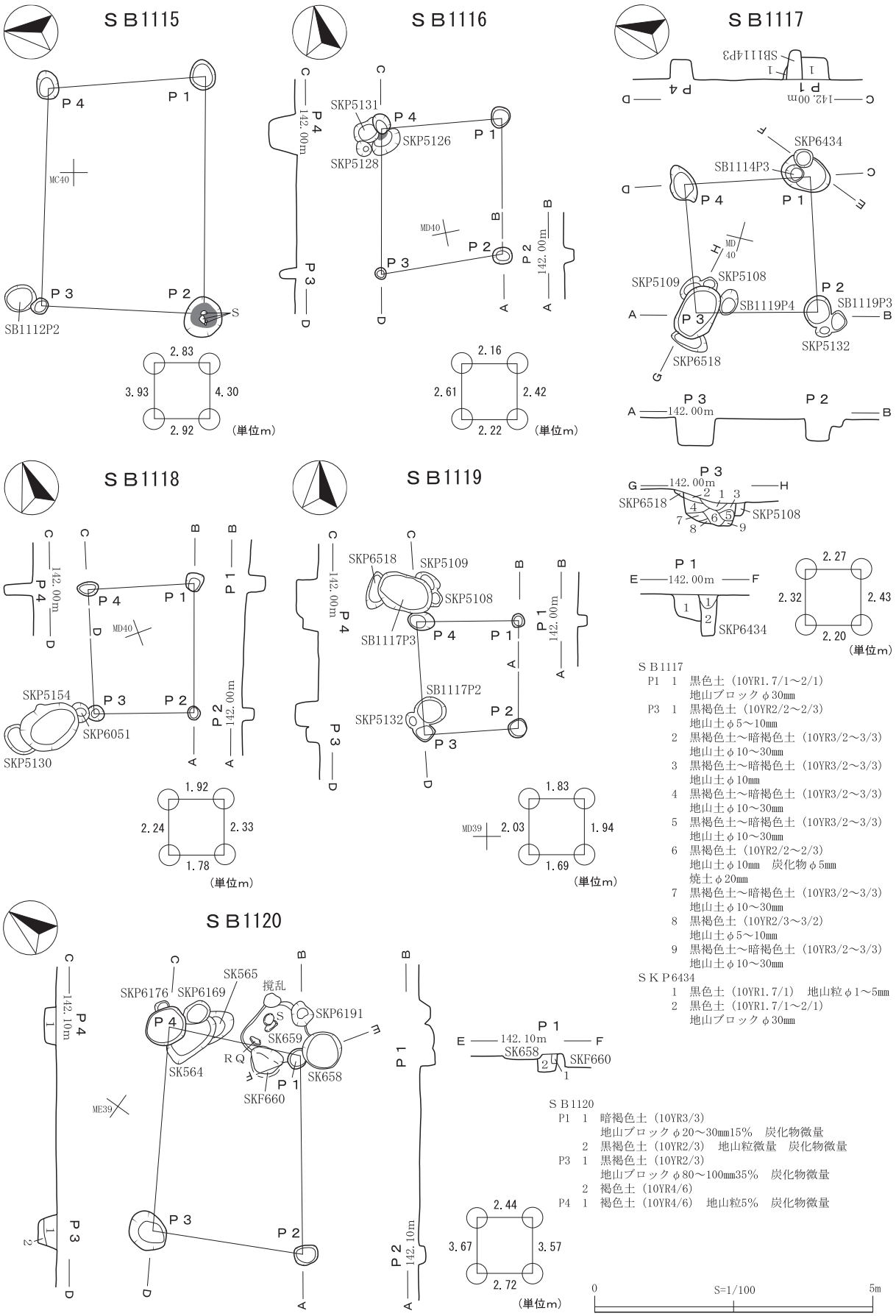




ＳＢ1112
P1　1　黒色土～黒褐色土・褐色土～黄褐色土・黒褐色土
(10YR2/1～2/2・10YR4/6～5/6・10YR2/3)　地山ブロック φ30㎜
2　黒色土～黒褐色土・褐色土～黄褐色土・黒褐色土
(10YR2/1～2/2・10YR4/6～5/6・10YR2/3)　地山ブロック φ30㎜
3　黒色土・黒色土～黒褐色土
(10YR2/1～1.7/1・10YR2/1～2/2)　地山ブロック φ30～50㎜
4　黒色土・黒色土～黒褐色土
(10YR2/1～1.7/1・10YR2/1～2/2)　地山粒 φ10㎜
ＳＫＰ5085
1　黒色土 (10YR2/1)　地山粒 φ10～20㎜




第77図　縄文(後期)遺構図25
SB1110・1111・1112・1113・1114掘立柱建物跡




SB1117

P1 1 黒色土（10YR1.7/1～2/1）
地山ブロックφ30mm

P3 1 黒褐色土（10YR2/2～2/3）
地山土φ5～10mm

2 黒褐色土～暗褐色土（10YR3/2～3/3）
地山土φ10～30mm

3 黒褐色土～暗褐色土（10YR3/2～3/3）
地山土φ10mm

4 黒褐色土～暗褐色土（10YR3/2～3/3）
地山土φ10～30mm

5 黒褐色土～暗褐色土（10YR3/2～3/3）
地山土φ10～30mm

6 黒褐色土（10YR2/2～2/3）
地山土φ10mm　炭化物φ5mm
焼土φ20mm

7 黒褐色土～暗褐色土（10YR3/2～3/3）
地山土φ10～30mm

8 黒褐色土（10YR2/3～3/2）
地山土φ5～10mm

9 黒褐色土～暗褐色土（10YR3/2～3/3）
地山土φ10～30mm

SKP6434

1 黒色土（10YR1.7/1）　地山粒φ1～5mm

2 黒色土（10YR1.7/1～2/1）
地山ブロックφ30mm

SB1120

P1 1 暗褐色土（10YR3/3）
地山ブロックφ20～30mm15%　炭化物微量

2 黒褐色土（10YR2/3）　地山粒微量　炭化物微量

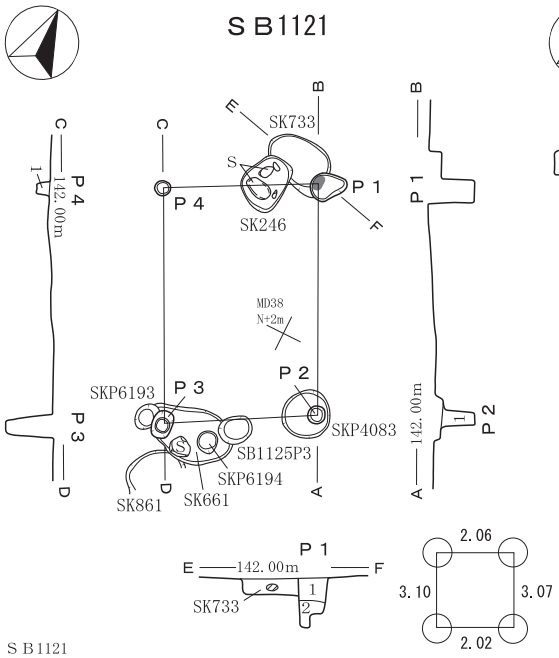
P3 1 黒褐色土（10YR2/3）
地山ブロックφ80～100mm35%　炭化物微量

2 褐色土（10YR4/6）

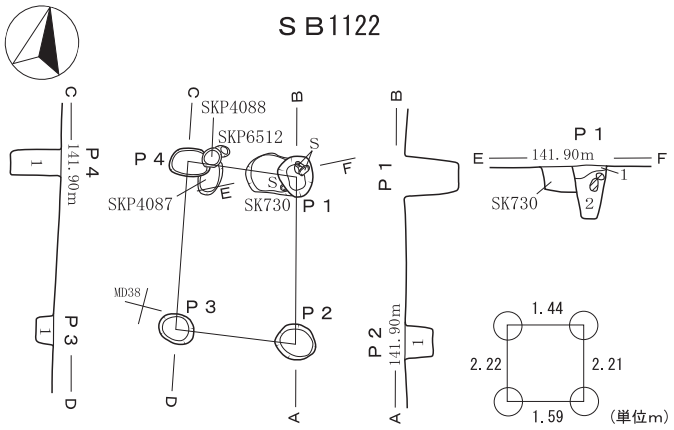
P4 1 褐色土（10YR4/6）　地山粒5%　炭化物微量

**第78図　縄文（後期）遺構図26**

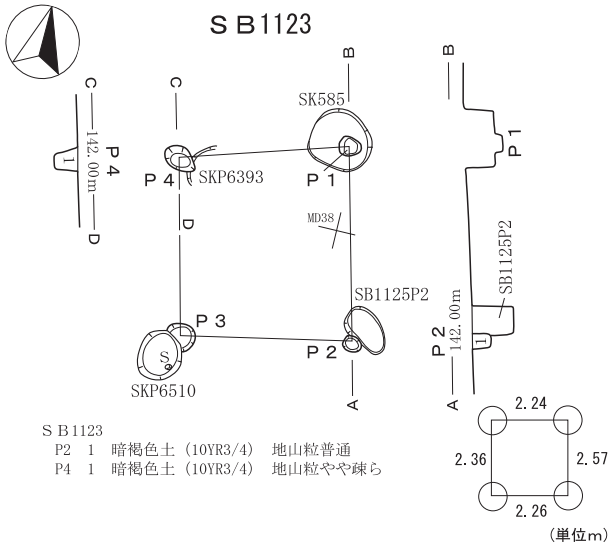
SB1115・1116・1117・1118・1119・1120掘立柱建物跡



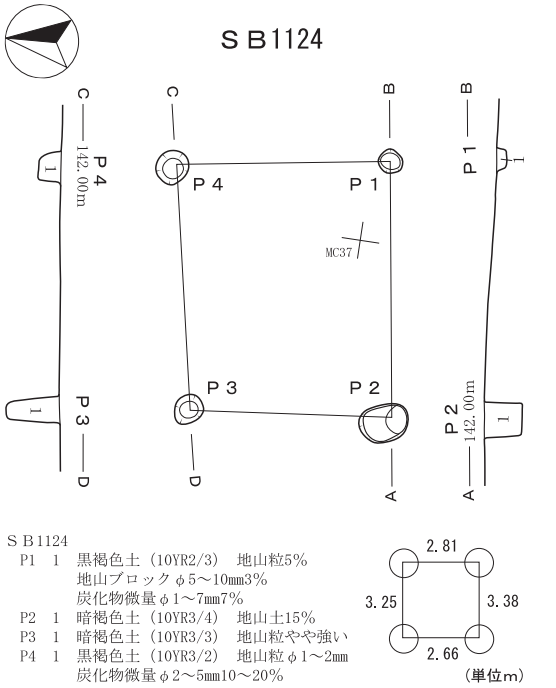

SB1121
P1　1　黒褐色土～暗褐色土（10YR2/3～3/3）
　　地山粒含む（上層より密）　炭化物微量
　　2　暗褐色土（10YR3/3）
　　地山ブロックφ30～40mm15～20%　炭化物微量
P2　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒微量
P4　1　褐色土（10YR4/4）　地山粒多量



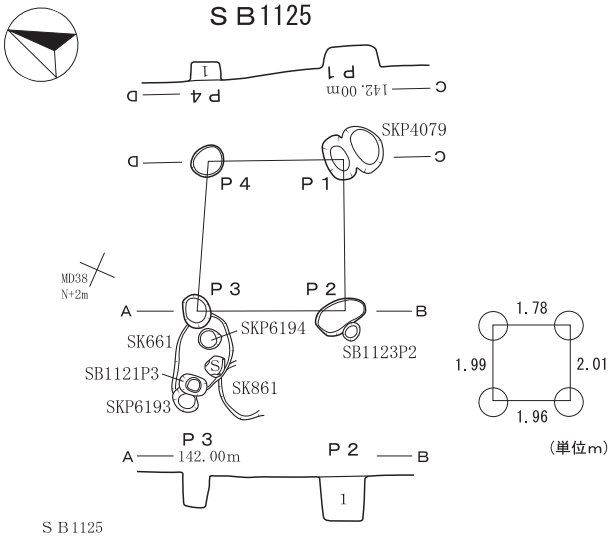

SB1122
P1　1　褐色土（10YR4/4）　地山粒20%　炭化物微量
　　2　黒褐色土（10YR2/2）　地山粒微量　炭化物微量
P2　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒普通
P3　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒微量
P4　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山土15%




SB1123
P2　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒普通
P4　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒やや疎ら




SB1124
P1　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒5%
　　地山ブロックφ5～10mm3%
　　炭化物微量φ1～7mm7%
P2　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山土15%
P3　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒やや強い
P4　1　黒褐色土（10YR3/2）　地山粒φ1～2mm
　　炭化物微量φ2～5mm10～20%

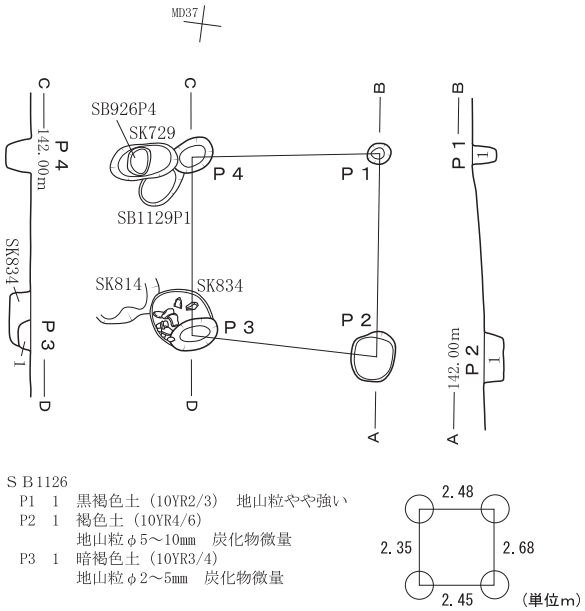



SB1125
P2　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒やや強い
P4　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山ブロックφ40～50mm20%

0　S=1/100　5m

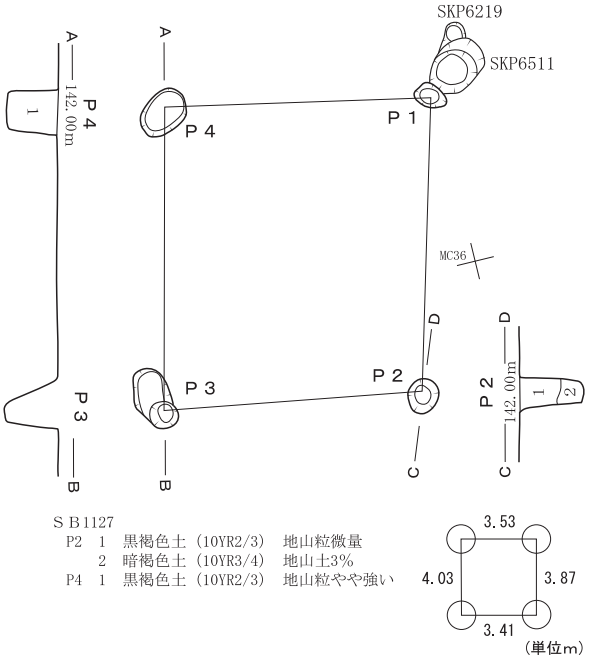
**第79図　縄文（後期）遺構図27**
SB1121・1122・1123・1124・1125掘立柱建物跡

## ＳＢ1126



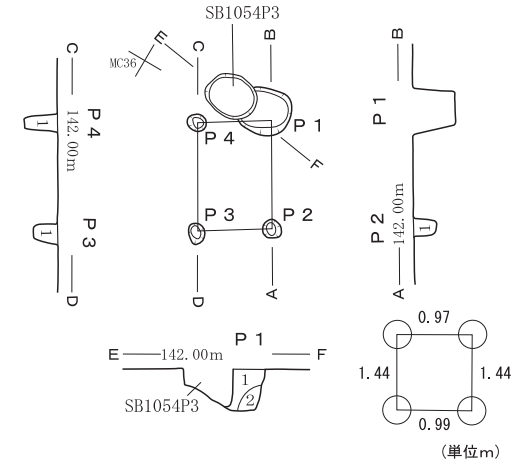

ＳＢ1126
P1　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒やや強い
P2　1　褐色土（10YR4/6）
　　地山粒φ5～10mm　炭化物微量
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）
　　地山粒φ2～5mm　炭化物微量

## ＳＢ1127



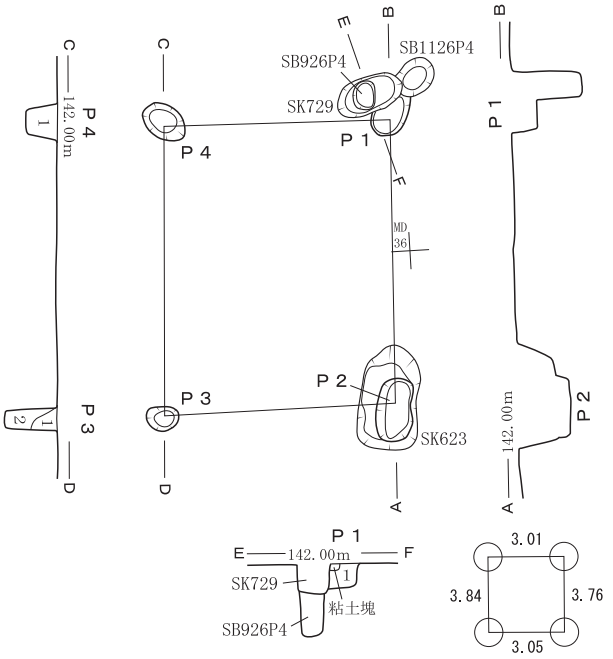

ＳＢ1127
P2　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒微量
　　2　暗褐色土（10YR3/4）　地山土3%
P4　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒やや強い

## ＳＢ1128




ＳＢ1128
P1　1　黒褐色土～暗褐色土（10YR2/3～3/3）
　　地山粒5%　炭化物微量
　　2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　炭化物微量
P2　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒弱い
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒微量
P4　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒微量

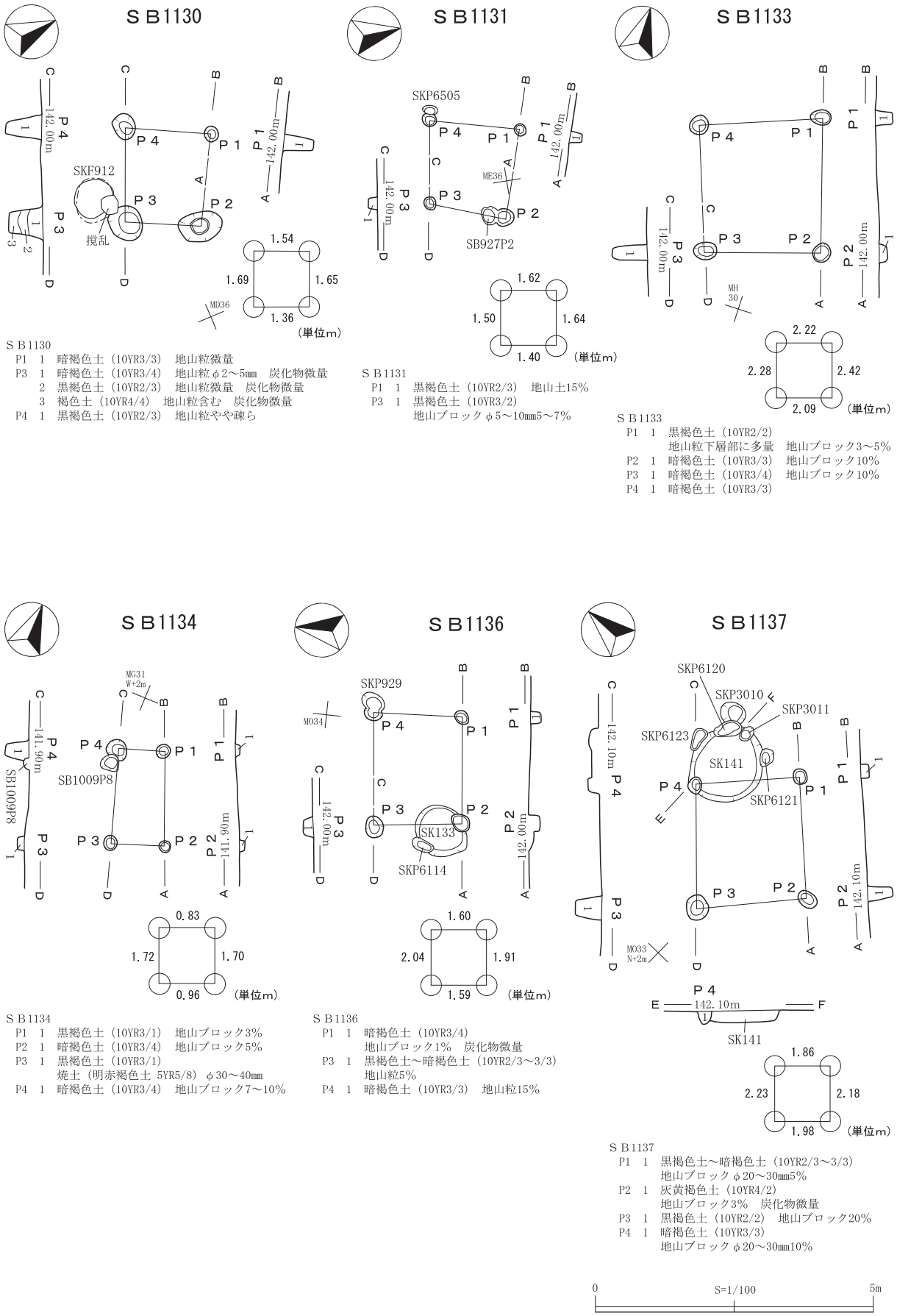
## ＳＢ1129




ＳＢ1129
P1　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒含む、多層より密　炭化物微量
P3　1　褐色土（10YR4/4）　地山粒多量
　　2　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒やや疎ら
P4　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒やや多く含む

0　S=1/100　5m

**第80図　縄文（後期）遺構図28**
SB1126・1127・1128・1129掘立柱建物跡




S B1130
P1　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒微量
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山粒φ2～5mm　炭化物微量
　　2　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒微量　炭化物微量
　　3　褐色土（10YR4/4）　地山粒含む　炭化物微量
P4　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山粒やや疎ら

S B1131
P1　1　黒褐色土（10YR2/3）　地山土15%
P3　1　黒褐色土（10YR3/2）
　　地山ブロックφ5～10mm5～7%

S B1133
P1　1　黒褐色土（10YR2/2）
　　地山粒下層部に多量　地山ブロック3～5%
P2　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山ブロック10%
P3　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロック10%
P4　1　暗褐色土（10YR3/3）

S B1134
P1　1　黒褐色土（10YR3/1）　地山ブロック3%
P2　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロック5%
P3　1　黒褐色土（10YR3/1）
　　焼土（明赤褐色土 5YR5/8）φ30～40mm
P4　1　暗褐色土（10YR3/4）　地山ブロック7～10%

S B1136
P1　1　暗褐色土（10YR3/4）
　　地山ブロック1%　炭化物微量
P3　1　黒褐色土～暗褐色土（10YR2/3～3/3）
　　地山粒5%
P4　1　暗褐色土（10YR3/3）　地山粒15%

S B1137
P1　1　黒褐色土～暗褐色土（10YR2/3～3/3）
　　地山ブロックφ20～30mm5%
P2　1　灰黄褐色土（10YR4/2）
　　地山ブロック3%　炭化物微量
P3　1　黒褐色土（10YR2/2）　地山ブロック20%
P4　1　暗褐色土（10YR3/3）
　　地山ブロックφ20～30mm10%

**第81図　縄文（後期）遺構図29**
SB1130・1131・1133・1134・1136・1137掘立柱建物跡